

**新発田市
福祉に関するアンケート調査
報告書**

令和6年3月
新発田市

目次

調査概要	1
調査結果	2
■ 調査対象者本人について	2
問1 調査票の回答者	2
問2 年齢	2
問3 性別	3
問4 居住圏域	3
■ 障がいの状況について	4
問5 日常生活における支援の必要性	4
問6 支援してくれる人	6
問7 主な支援者の年齢	6
問8 身体障害者手帳	7
問9 該当する身体障がい	7
問10 療育手帳	8
問11 精神障害者保健福祉手帳	8
問12 難病の認定	10
問13 発達障がいの診断	10
問14 強度行動障がい	10
問15 高次脳機能障がいの診断	11
問16 高次脳機能障がいの関連障がい	11
問17 医療的ケア	12
問18 受けている医療的ケア	12
■ 日常生活について	13
問19 現在一緒に暮らしている人	13
問20 現在暮らしている場所	13
問21 将来一緒に暮らしたい人	14
問22 将来暮らしたい場所	14
問23 地域生活支援	15
問24 外出の頻度	16
問25 外出時の同伴者	17
問26 外出の目的	17
問27 外出時に困ること	18
問28 外出時の移動手段	19
問29 日中の過ごし方	20
問30 勤務形態	21
問31 就労意向	21
問32 職業訓練の利用意向	21

問 33	就労支援	22
問 34	相談先	23
問 35	障がいや福祉サービスに関する情報	24
問 36	障害支援区分	25
■ 権利擁護		26
問 37	障がいによる差別	26
問 38	今までにされた差別や嫌がらせ	27
問 39	成年後見制度の認知度	40
■ 災害時の避難		41
問 40	災害時の避難	41
問 41	近所で助けてくれる人	42
問 42	個別避難計画	43
問 43	災害時に困ること	43
■ スポーツ活動について		44
問 44	身体を動かすことについて	44
問 45	スポーツ活動時に不便なこと	44
問 46	やってみたいスポーツ	45
■ 障がい福祉施策について		46
問 47	新発田市の障がい福祉施策について	46
問 48	障がい福祉サービス等の利用状況と利用意向	47
問 49	障がい福祉サービスを利用しない理由	81
■ 障がい児支援について		82
問 50	重症心身障がい児の認定	82
問 51	障がいに気づいた年齢	82
問 52	障がいに気づいたときの相談先	83
問 53	将来の不安	84
問 54	充実させるべき支援	85
■ 障がい児福祉サービスの利用状況		86
問 55	障がい児福祉サービス等の利用状況と利用意向	86
問 56	障がい児福祉サービスを利用しない理由	114
■ 自由意見		115
■ 障がい福祉サービス等の利用に関するクロス集計表		139
■ アンケート結果からみる課題やニーズ		170

調査概要

【調査目的】

本調査は、令和 6 年度を初年度とする「第 7 期新発田市障がい者計画・第 7 期障がい福祉計画・第 3 期障がい児福祉計画」の策定に向け、本市における障がい福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるための基礎資料とすることを目的として実施しました。

【調査内容】

- 調査月：令和 5 年（2023 年）8 月～9 月
- 調査基準日：令和 5 年（2023 年）7 月 1 日現在
- 調査対象者：新発田市民で以下の手帳をお持ちの 65 歳未満の方
身体障害者手帳をお持ちの方
療育手帳をお持ちの方
精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
- 配布・回収方法：郵送による配布・回収

【有効回答数】

- 配布部数：2,320 部
- 回収部数：1,158 部
- 回収率：49.9%
- 有効回答数：1,152 部

【報告書の見方】

- ① 報告書中の「n」の数値は、設問への回答者数を表します。
- ② 回答の比率は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。したがって、回答者比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ③ 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答（「あてはまるものすべてに○」等）の設問については、すべての回答比率の合計が 100.0%を超えることがあります。
- ④ クロス集計の算出は、無回答を除いている場合は、単純集計と数値・%値が一致しない場合があります。
- ⑤ 本調査は 65 歳未満に郵送していますが、問 2『年齢』で 65 歳以上が含まれているのは、回答方式が記述式であり、記述された年齢を集計したためです。
- ⑥ グラフ内の項目名は一部省略しています。
- ⑦ 手帳所持のクロス表の網掛けの部分は、横軸の最大値となっています。

※ クロスグラフの回答数（n）が少数の場合は、その傾向に注意が必要です。

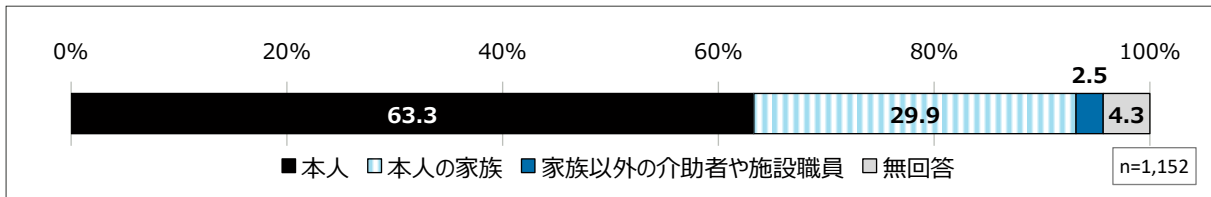
調査結果

■ 調査対象者本人について

問 1 調査票の回答者

この調査票にお答えいただくのはどなたですか

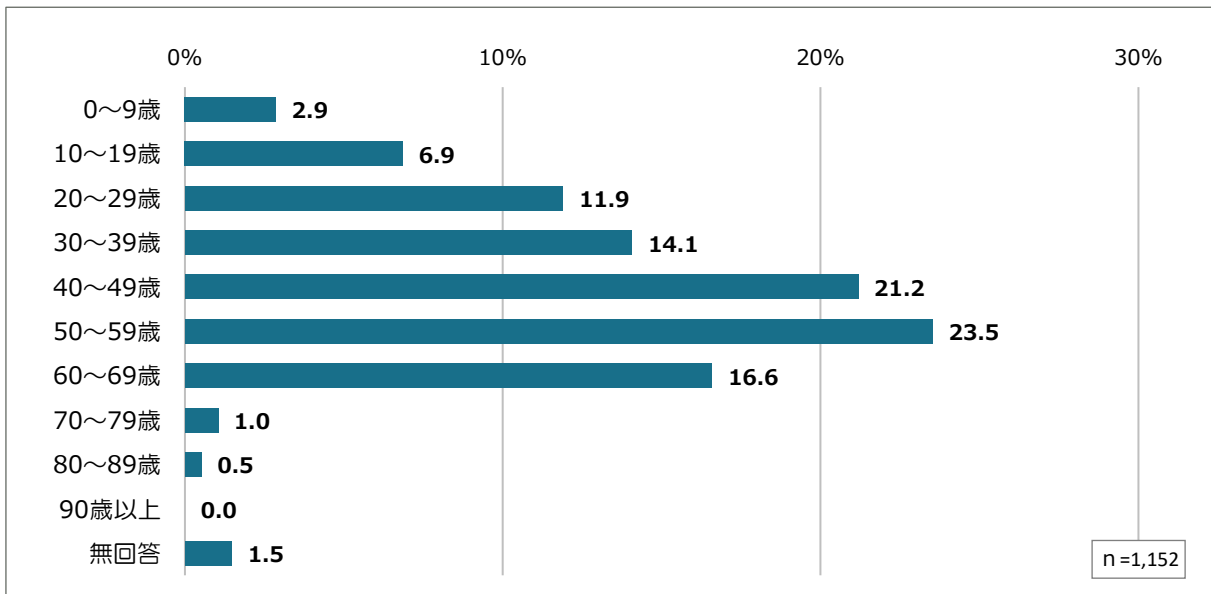
「本人」が63.3%となっています。



問 2 年齢

あなたは何歳ですか（令和5年7月1日現在）

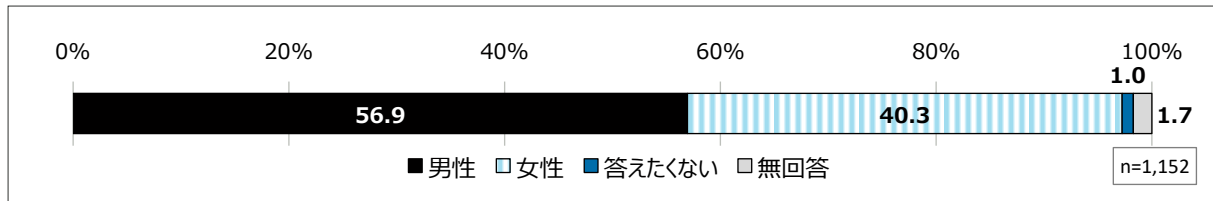
「50～59歳」が23.5%と最も高く、平均年齢は43.7歳となっています。



問3 性別

あなたの性別をお答えください

「男性」が56.9%、「女性」が40.3%となっています。

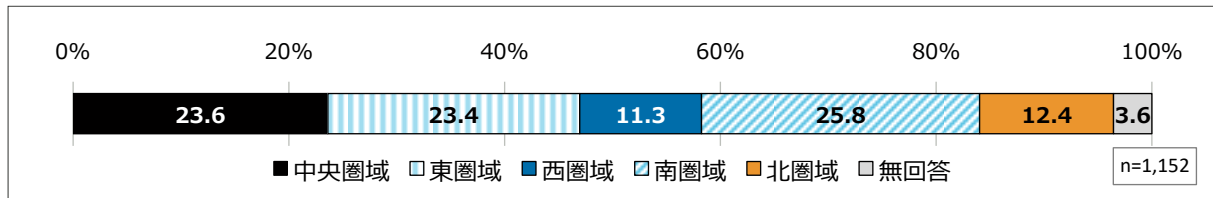


問4 居住圏域

あなたがお住まいの地域はどちらですか

中央圏域	外ヶ輪小学校区、猿橋小学校区
東圏域	二葉小学校区、東小学校区（五十公野）、川東小学校区、七葉小学校区
西圏域	東小学校区（五十公野以外）、佐々木小学校区、豊浦小学校区
南圏域	御免町小学校区、住吉小学校区、東豊小学校区
北圏域	紫雲寺小学校区、米子小学校区、藤塚小学校区、加治川小学校区

「南圏域」が25.8%と最も高くなっています。

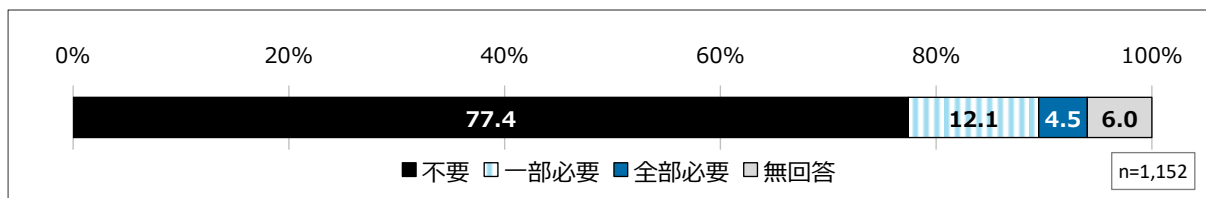


■ 障がいの状況について

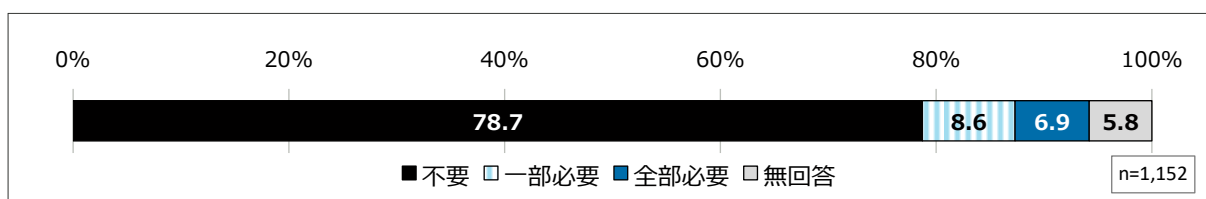
問 5 日常生活における支援の必要性

日常生活の中で、次の支援が必要ですか

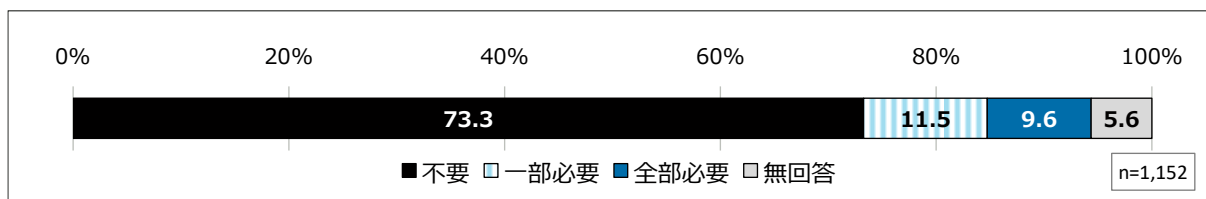
① 食事の介助



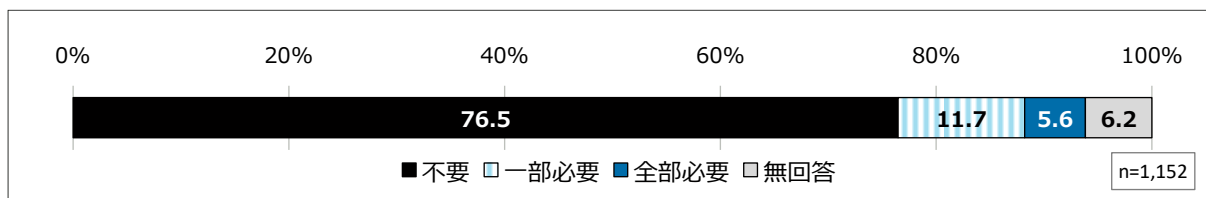
② トイレの介助



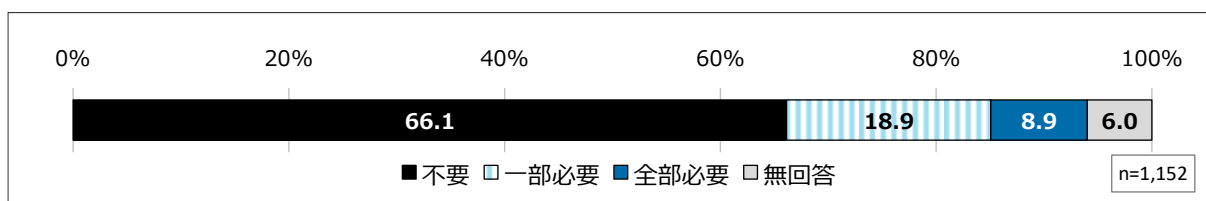
③ 入浴の介助



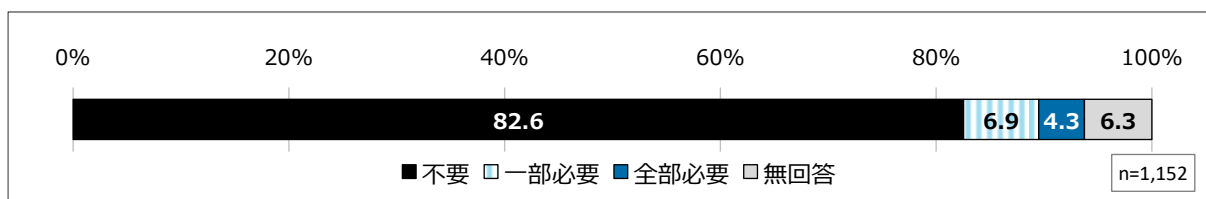
④ 衣服の着脱の介助



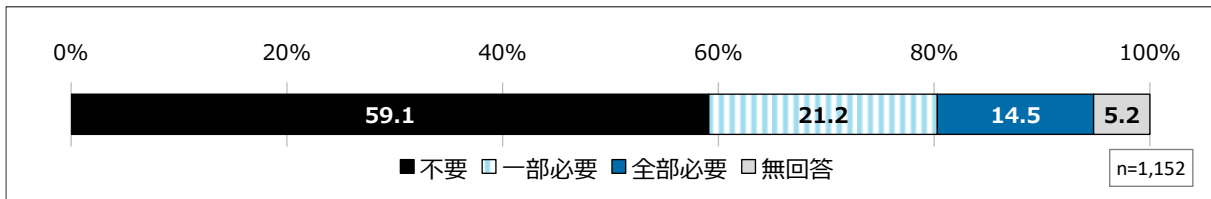
⑤ 身だしなみの介助



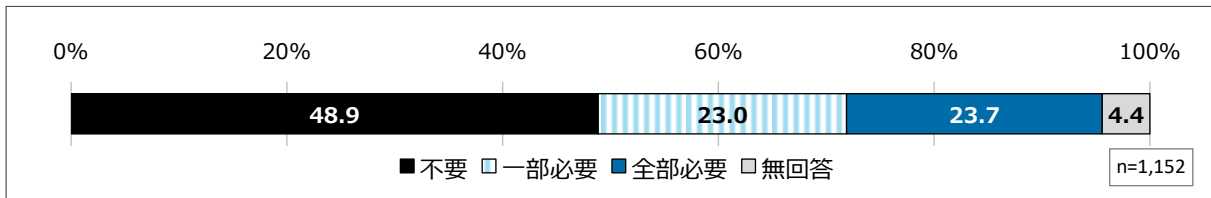
⑥ 家の中の移動の介助



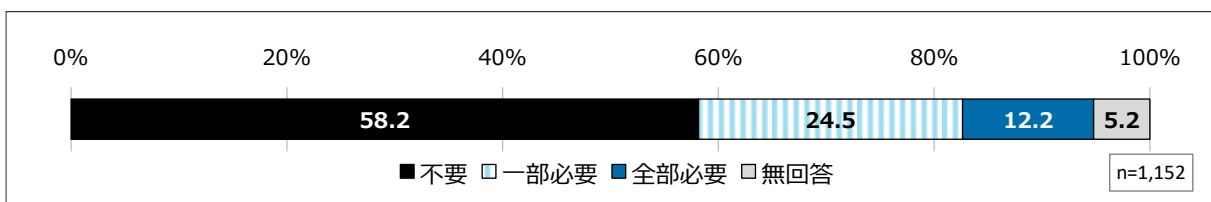
⑦ 外出の介助



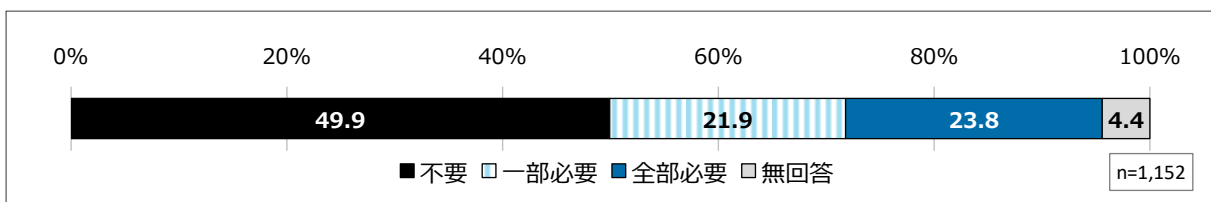
⑧ 受診・通院の介助



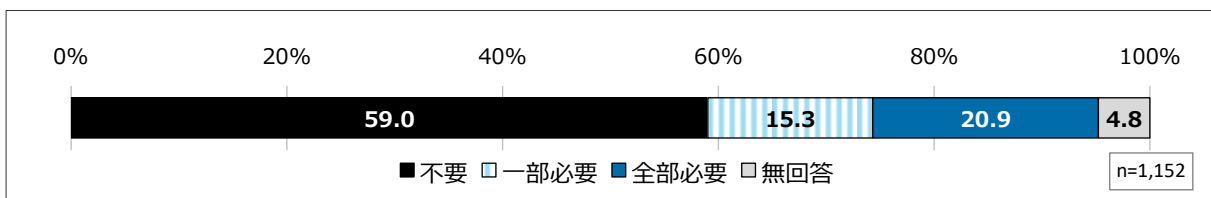
⑨ 家族以外の人との意思疎通の援助



⑩ お金の管理の援助



⑪ 薬の管理の援助

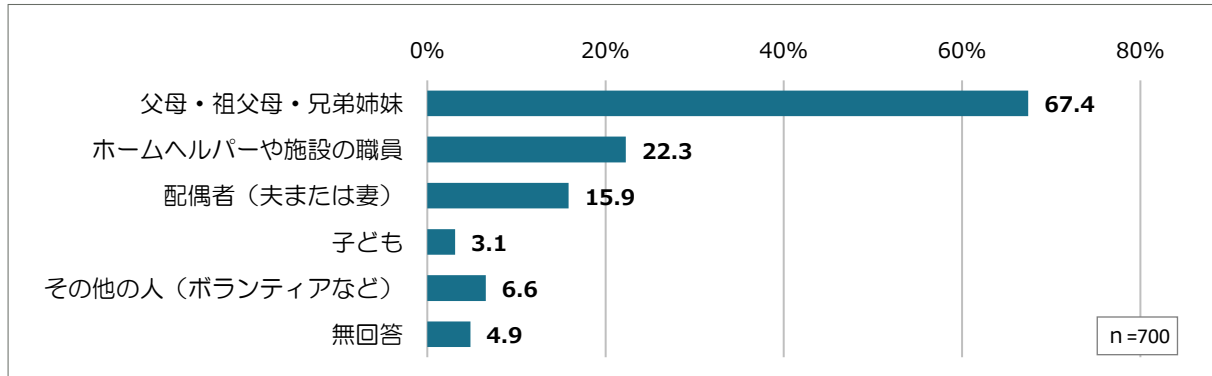


問6 支援してくれる人

問5の①～⑩のいずれかで「一部必要」または「全部必要」と回答した方のみ

あなたを支援してくれる方は主に誰ですか（複数回答）

「父母・祖父母・兄弟姉妹」が67.4%と最も高くなっています。



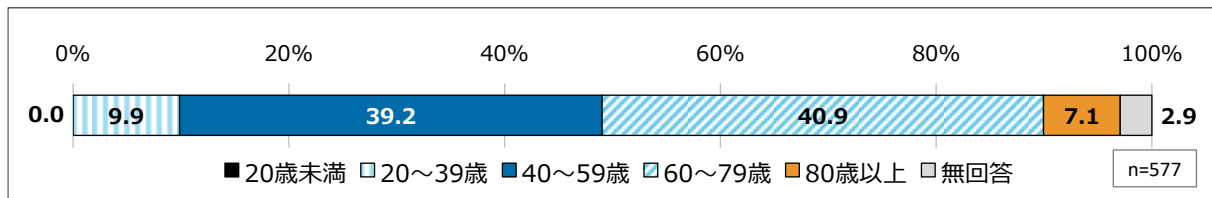
問7 主な支援者の年齢

問6で「父母・祖父母・兄弟姉妹」「配偶者（夫または妻）」「子ども」のいずれかを回答した方のみ

支援してくれる家族で主な方の年齢、性別をお答えください

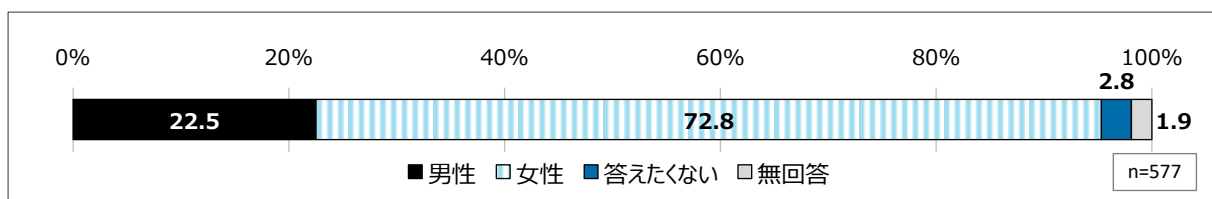
① 年齢（令和5年7月1日現在）

「60～79歳」が40.9%、「40～59歳」が39.2%で、平均年齢は58.8歳となっています。



② 性別

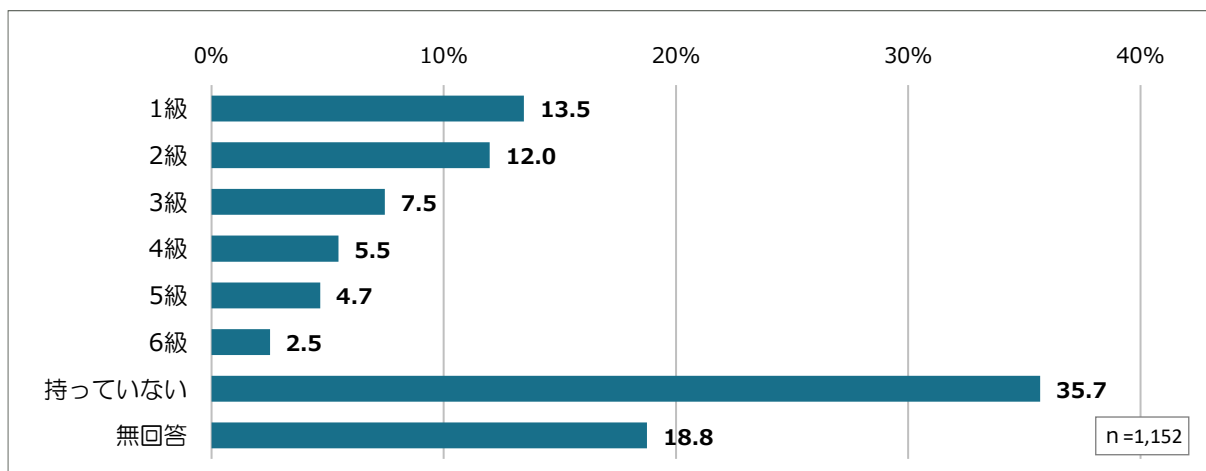
「女性」の割合が高く、72.8%となっています。



問 8 身体障害者手帳

身体障害者手帳をお持ちの場合、該当する等級をお答えください

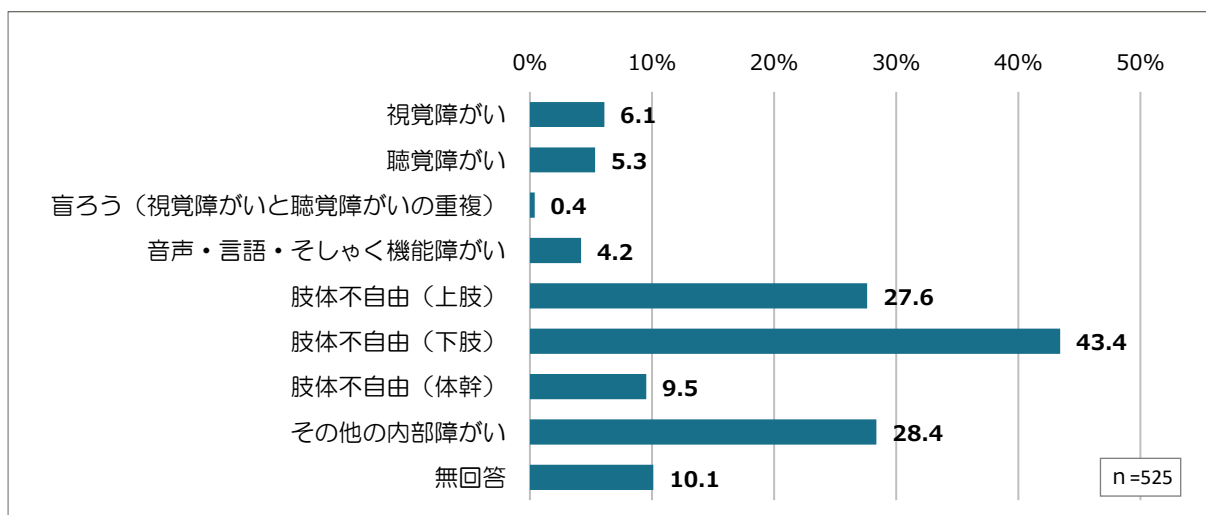
等級にかかわらず身体障害者手帳を持っている割合は 45.7%で、「持っていない」は 35.7%となっています。



問 9 該当する身体障がい

身体障害者手帳をお持ちの場合、該当する障がいをお答えください（複数回答）

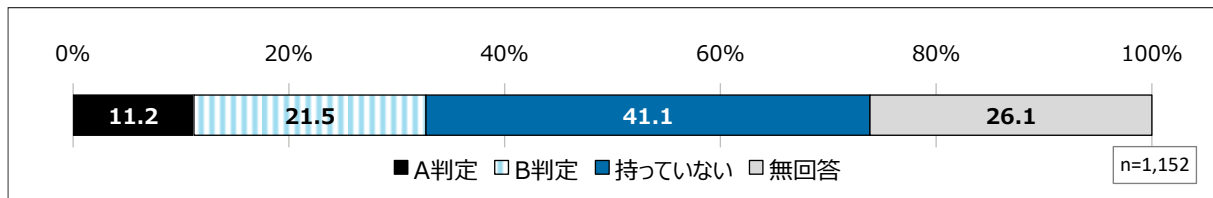
「肢体不自由（下肢）」が 43.4%と最も高く、次いで「その他の内部障がい」が 28.4%、「肢体不自由（上肢）」が 27.6%となっています。



問 10 療育手帳

療育手帳をお持ちの場合、該当する等級をお答えください

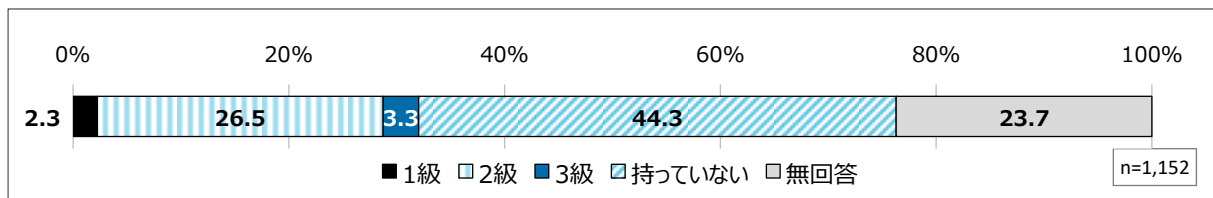
判定にかかわらず療育手帳を持っている割合は 32.7%で、「持っていない」は 32.7%となっています。



問 11 精神障害者保健福祉手帳

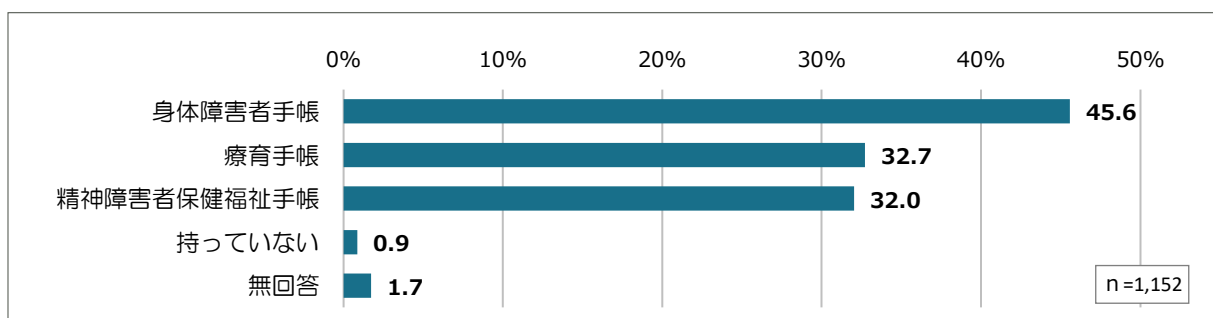
精神障害者保健福祉手帳をお持ちの場合、該当する等級をお答えください

等級にかかわらず精神障害者保健福祉手帳を持っている割合は 32.0%で、「持っていない」は 44.3%となっています。



● 障がいに関する手帳を所持している割合

「身体障害者手帳」の割合が最も高く、45.6%となっています。



障がい者に関する手帳の所持別 障がい者に関する手帳の所持

	合計	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳	持っていない	無回答
全体	1,152 100.0%	525 45.6%	377 32.7%	369 32.0%	10 0.9%	20 1.7%
身体障害者手帳	525 100.0%	525 100.0%	67 12.8%	70 13.3%	0 0.0%	0 0.0%
療育手帳	377 100.0%	67 17.8%	377 100.0%	24 6.4%	0 0.0%	0 0.0%
精神障害者 保健福祉手帳	369 100.0%	70 19.0%	24 6.5%	369 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

※ 以降のクロス集計グラフでは、身体障害者手帳所持者を「身体障がい」、療育手帳所持者を「知的障がい」、精神障害者保健福祉手帳所持者を「精神障がい」、持っていない人は「手帳なし」と表記します。

性別×年齢別 障がい者に関する手帳の所持

		合計	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳	持っていない	無回答
全体		1152 100.0%	525 45.6%	377 32.7%	369 32.0%	10 0.9%	20 1.7%
男性	0～18歳	56 100.0%	12 21.4%	45 80.4%	9 16.1%	1 1.8%	0 0.0%
	18～39歳	191 100.0%	29 15.2%	111 58.1%	67 35.1%	1 0.5%	4 2.1%
	40～64歳	395 100.0%	238 60.3%	67 17.0%	131 33.2%	2 0.5%	9 2.3%
	65～74歳	7 100.0%	4 57.1%	6 85.7%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%
	75歳以上	4 100.0%	3 75.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
女性	0～18歳	33 100.0%	14 42.4%	21 63.6%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%
	18～39歳	123 100.0%	28 22.8%	49 39.8%	51 41.5%	4 3.3%	1 0.8%
	40～64歳	289 100.0%	174 60.2%	59 20.4%	84 29.1%	2 0.7%	4 1.4%
	65～74歳	10 100.0%	4 40.0%	5 50.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
	75歳以上	7 100.0%	3 42.9%	3 42.9%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%

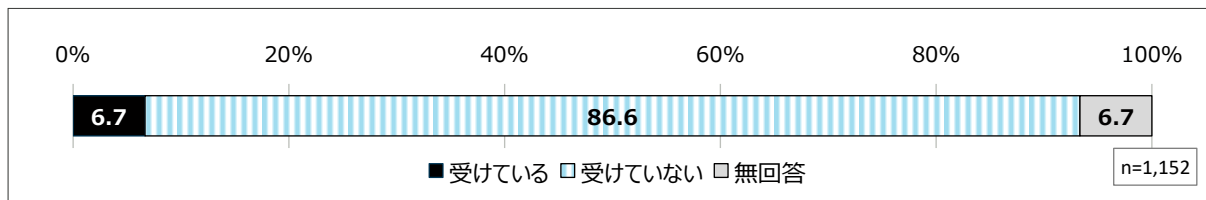
居住圏域別 障がい者に関する手帳の所持

	合計	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳	持っていない	無回答
全体	1,152 100.0%	525 45.6%	377 32.7%	369 32.0%	10 0.9%	20 1.7%
中央圏域	272 100.0%	121 44.5%	83 30.5%	102 37.5%	3 1.1%	2 0.7%
東圏域	269 100.0%	127 47.2%	94 34.9%	80 29.7%	2 0.7%	4 1.5%
西圏域	130 100.0%	67 51.5%	47 36.2%	27 20.8%	0 0.0%	4 3.1%
南圏域	297 100.0%	122 41.1%	90 30.3%	109 36.7%	2 0.7%	6 2.0%
北圏域	143 100.0%	73 51.0%	50 35.0%	33 23.1%	2 1.4%	2 1.4%

問 12 難病の認定

あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか

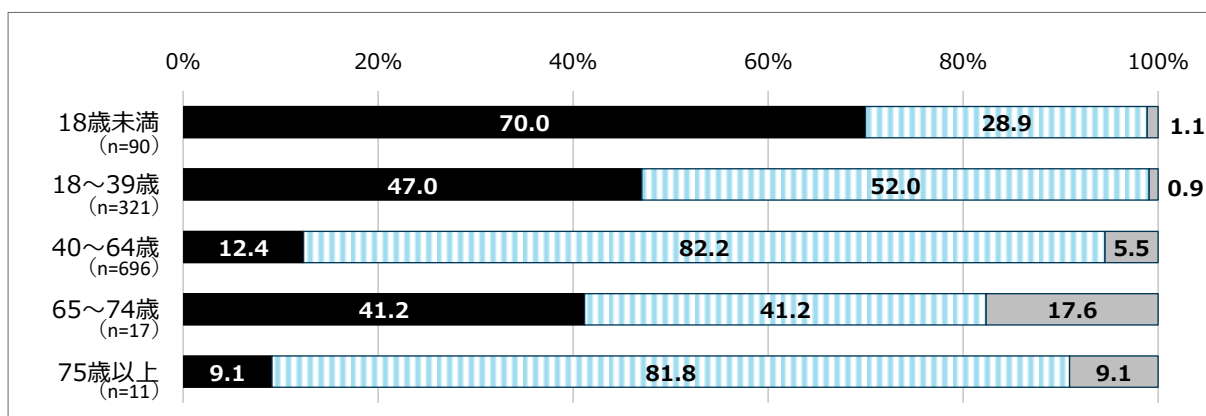
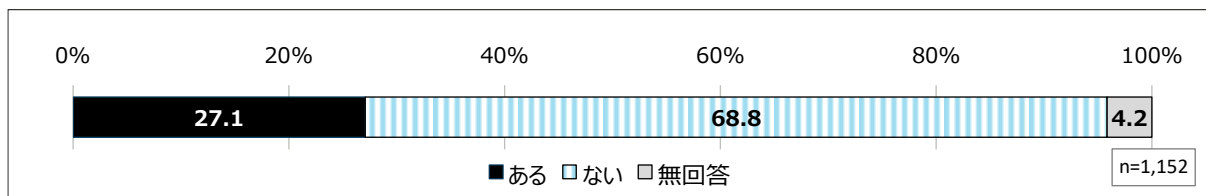
「受けている」が6.7%、「受けていない」が86.6%となっています。



問 13 発達障がいの診断

あなたは発達障がいと診断されたことがありますか

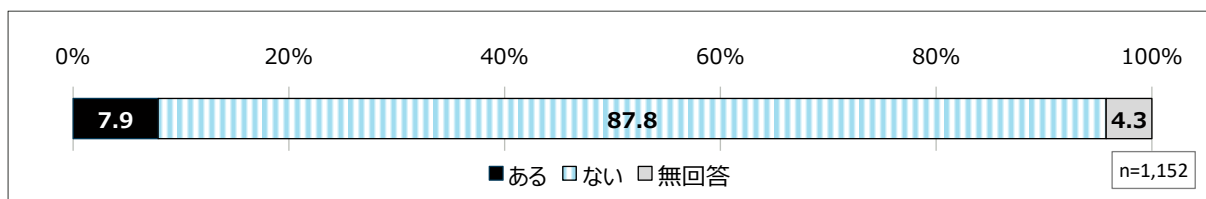
「ある」が27.1%、「ない」が68.8%となっています。
18歳未満では「ある」が70.0%となっています。



問 14 強度行動障がい

あなたは強度行動障がいがあると言われたことはありますか

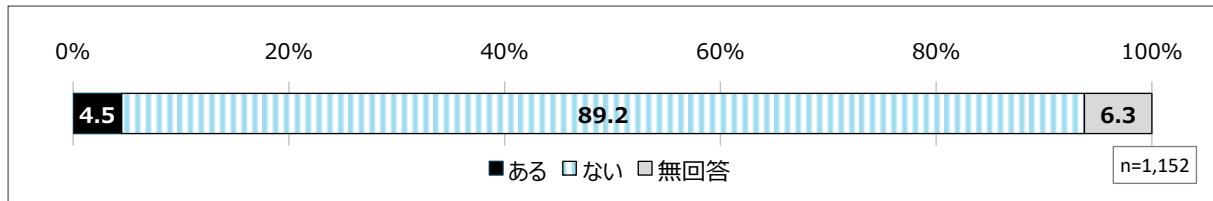
「ある」が7.9%、「ない」が87.8%となっています。



問 15 高次脳機能障がい診断

あなたは高次脳機能障がいと診断されたことがありますか

「ある」が4.5%、「ない」が89.2%となっています。

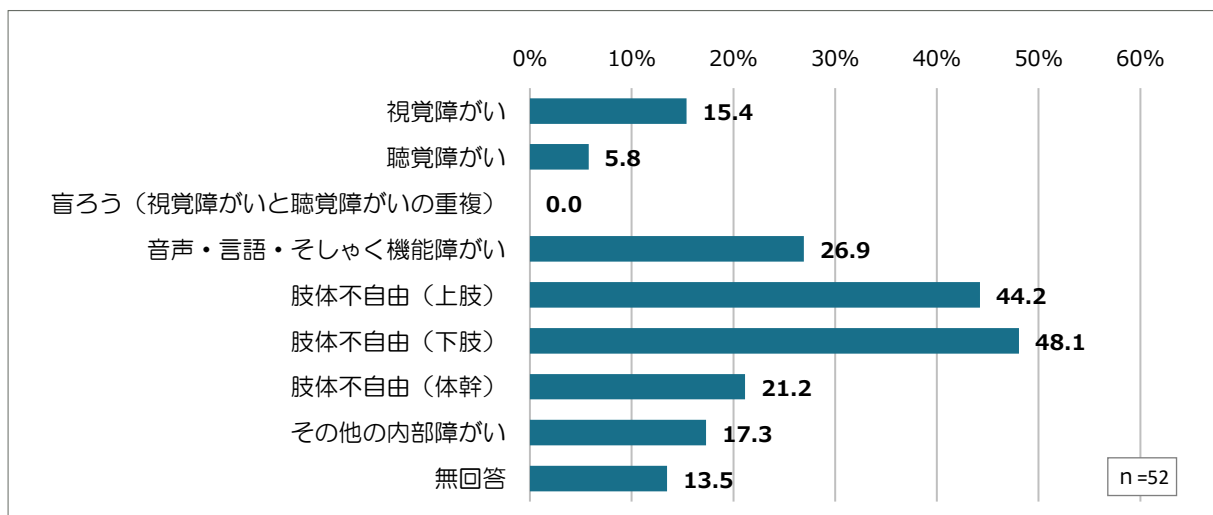


問 16 高次脳機能障がいの関連障がい

問 15 で「ある」と回答した方のみ

関連障がいをお答えください（複数回答）

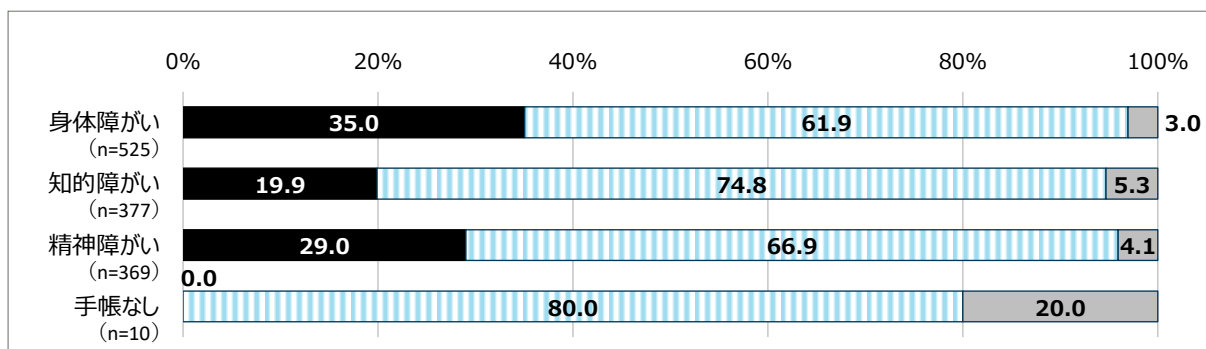
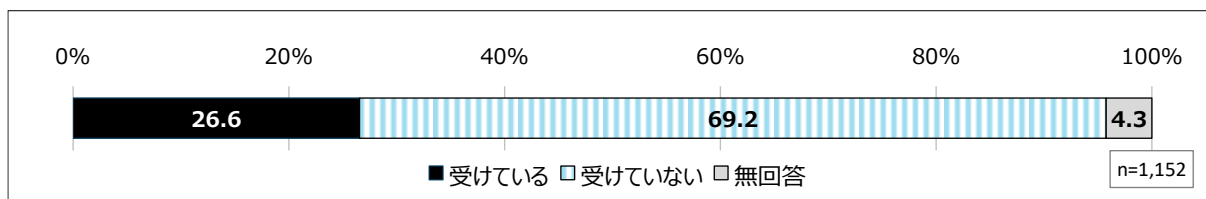
「肢体不自由（下肢）」が48.1%と最も高く、次いで「肢体不自由（上肢）」が44.2%となっています。



問 17 医療的ケア

あなたは現在医療的ケアを受けていますか

「受けている」が26.6%、「受けていない」が69.2%となっています。
障がいの種別にみると、身体障がいでは「受けている」割合が最も高く35.0%となっています。

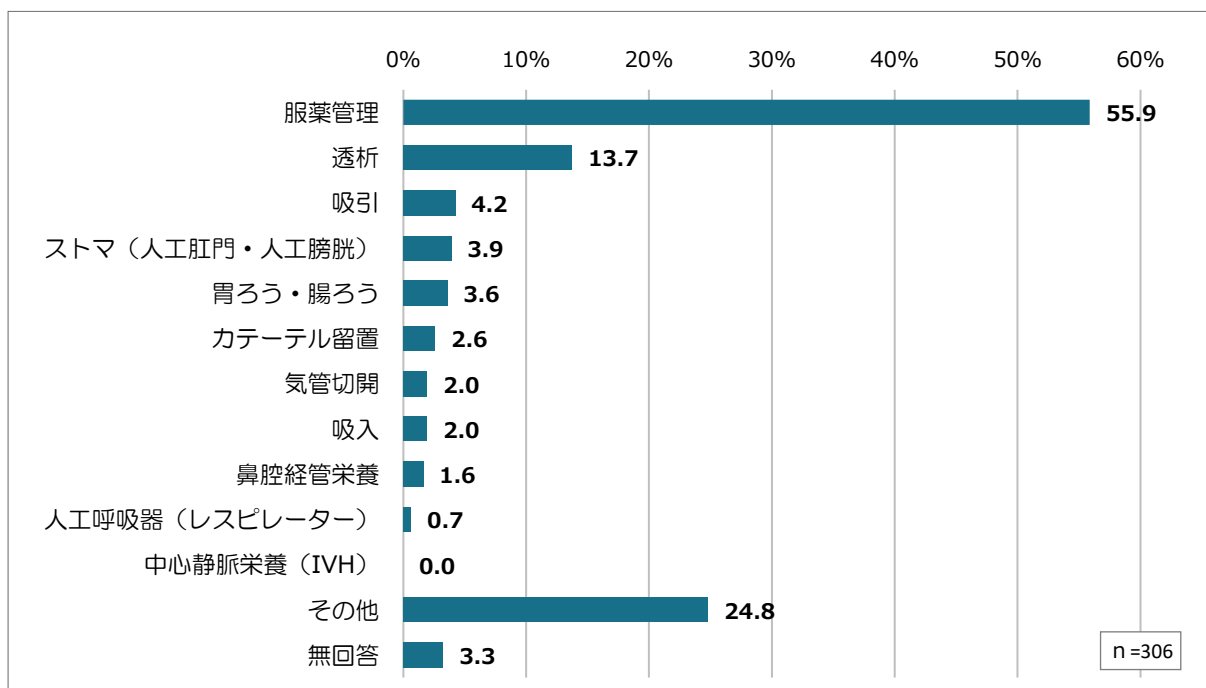


問 18 受けている医療的ケア

問 17 で「受けている」と回答した方のみ

あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください（複数回答）

「服薬管理」が55.9%と最も高くなっています。



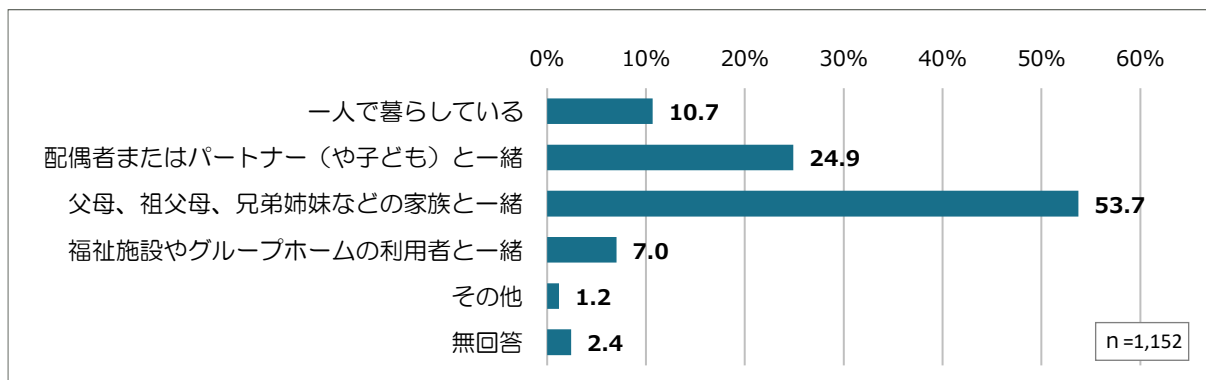
※ 「その他」について、具体的に記載する欄はありませんでした。

■ 日常生活について

問 19 現在一緒に暮らしている人

あなたが現在一緒に暮らしている人をお答えください

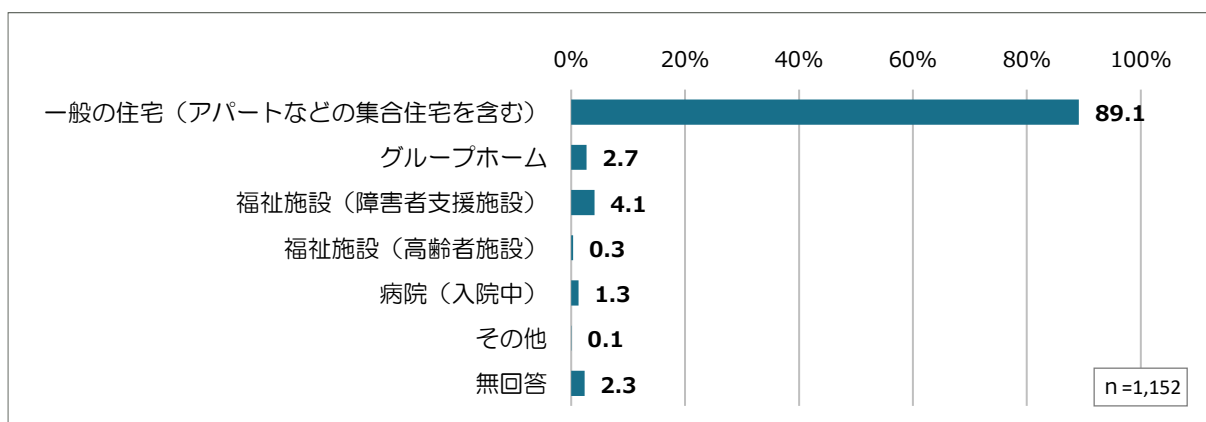
「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に」が53.7%と最も高くなっています。



問 20 現在暮らしている場所

あなたが現在暮らしている場所をお答えください

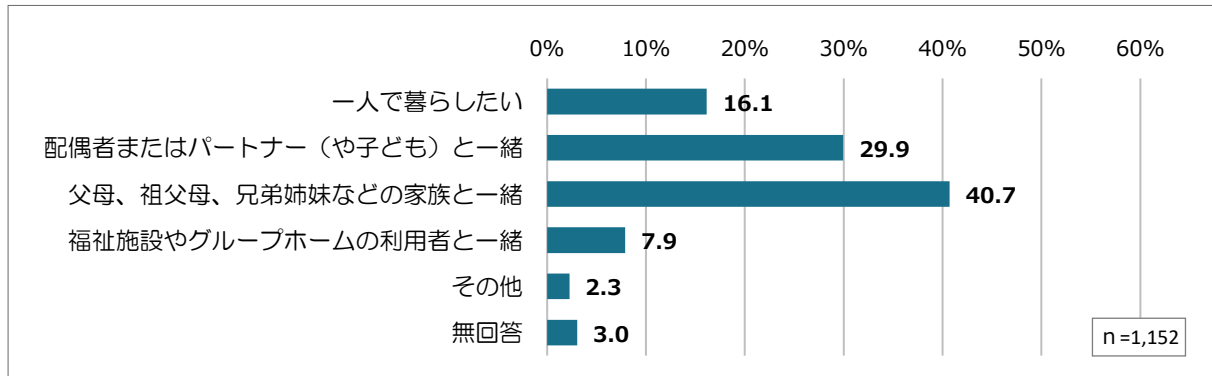
「一般の住宅（アパートなどの集合住宅を含む）」が89.1%となっています。



問 21 将来一緒に暮らしたい人

あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。一緒に暮らしたい人をお答えください

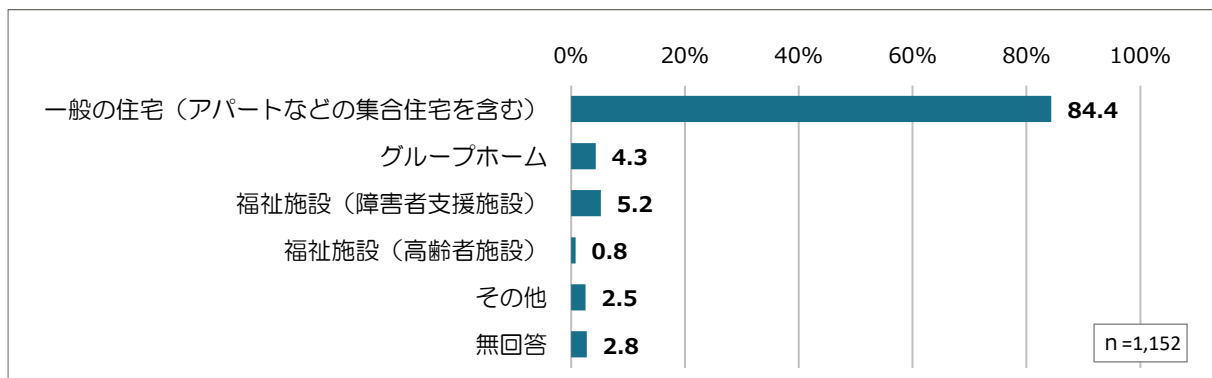
「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に」が40.7%と最も高くなっています。



問 22 将来暮らしたい場所

あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。暮らしたい場所をお答えください

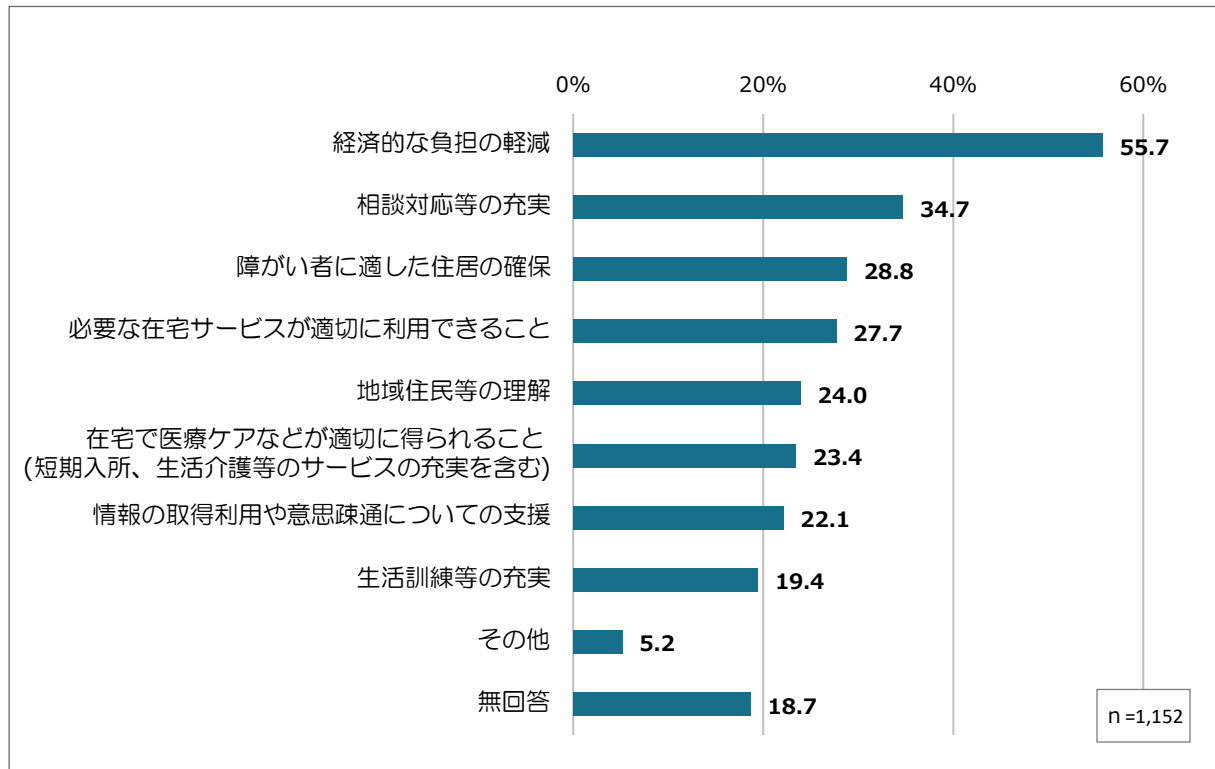
「一般の住宅（アパートなどの集合住宅を含む）」が84.4%となっています。



問 23 地域生活支援

地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか（複数回答）

「経済的な負担の軽減」の割合が最も高く、55.7%となっています。



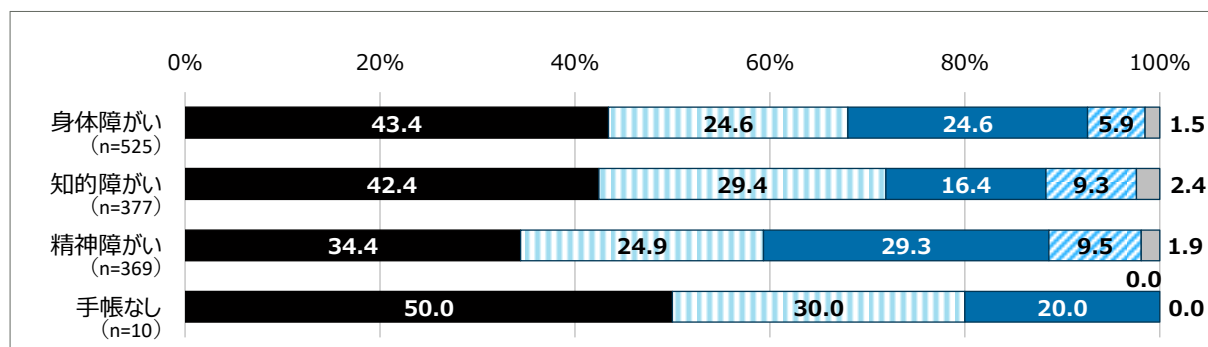
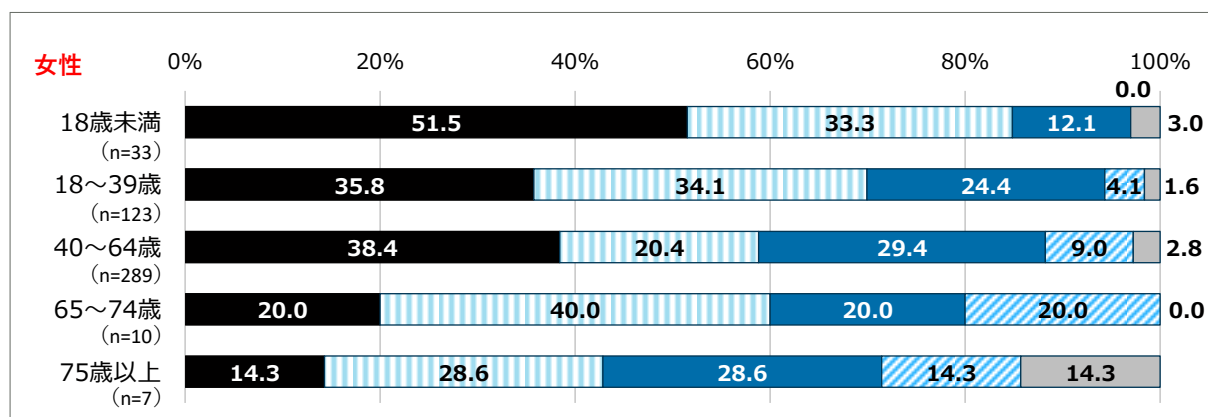
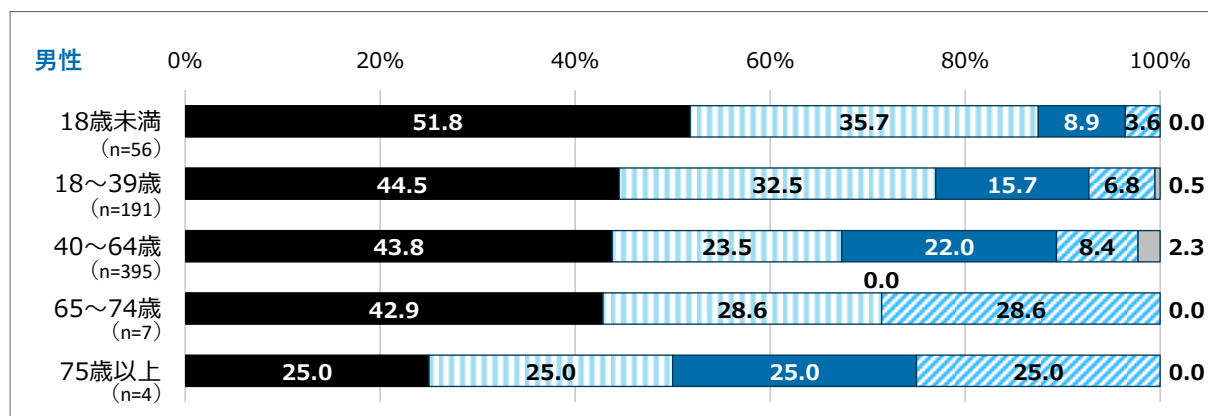
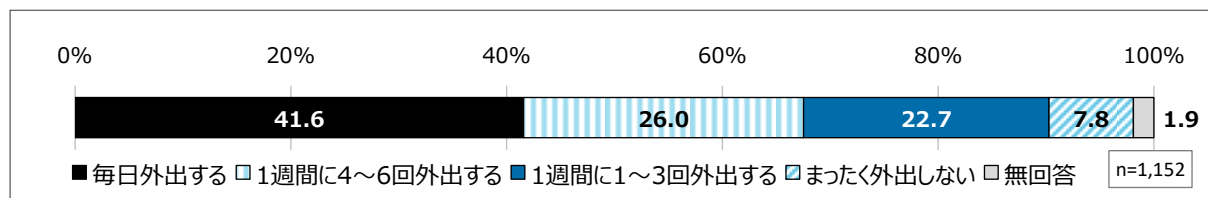
問 24 外出の頻度

あなたは、1週間にどの程度外出しますか

「毎日外出する」が41.6%と最も高くなっています。一方で「まったく外出しない」は7.8%となっています。

性別・年齢別にみると、男性のほうが「毎日外出する」割合が高くなっています。男性、女性ともに年齢が上がるほど外出の頻度が低くなる傾向がみられます。

障がいの種別にみると、精神障がいでは「毎日外出する」の割合が低くなっています。

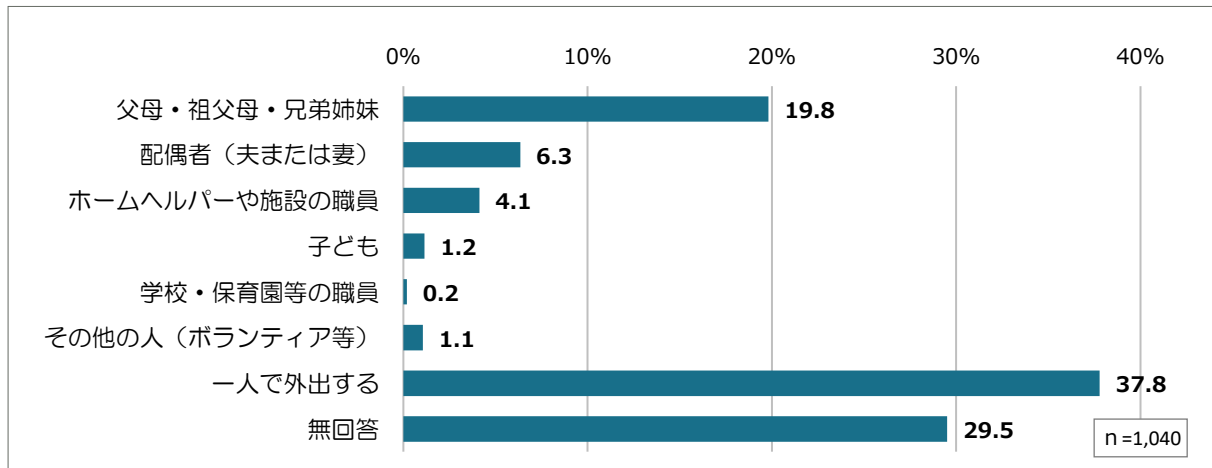


問 25 外出時の同伴者

問 24 で「まったく外出しない」以外を回答した方のみ

あなたが外出するときの主な同伴者は誰ですか

同伴者で最も割合が高いのは「父母・祖父母・兄弟姉妹」で 19.8%となっていますが、「一人で外出する」が 37.8%となっています。

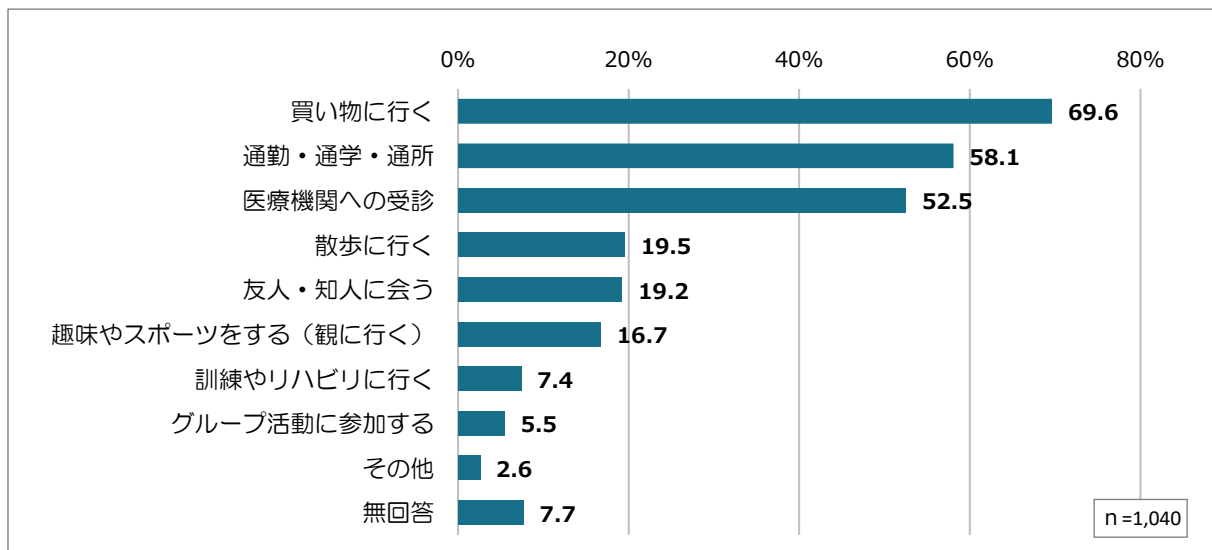


問 26 外出の目的

問 24 で「まったく外出しない」以外を回答した方のみ

あなたは、どのような目的で外出することが多いですか (複数回答)

「買い物に行く」が 69.6%と最も高く、次いで「通勤・通学・通所」が 58.1%、「医療機関への受診」が 52.5%となっています。

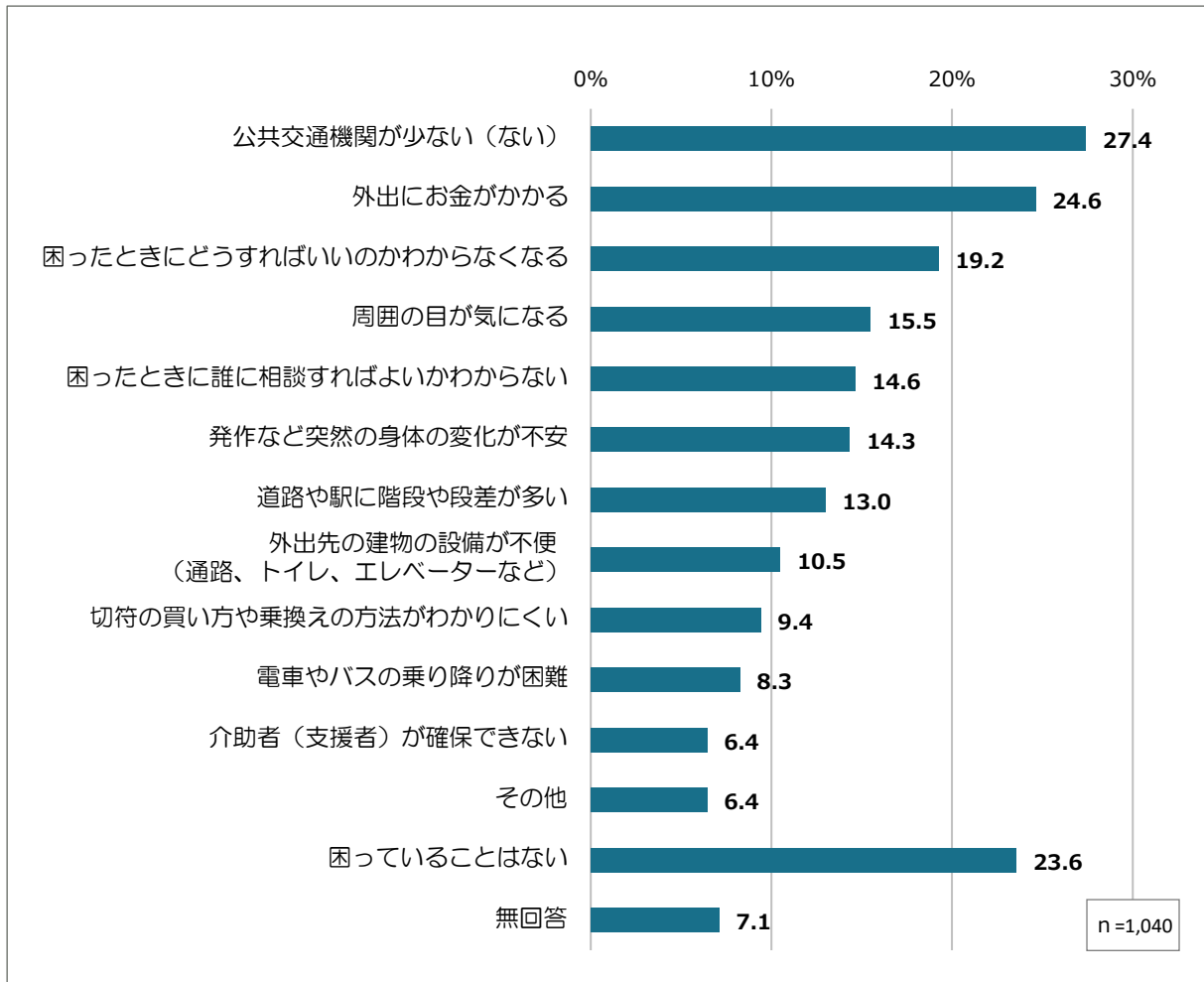


問 27 外出時に困ること

問 24 で「まったく外出しない」以外を回答した方のみ

外出するときに困ることは何ですか（複数回答）

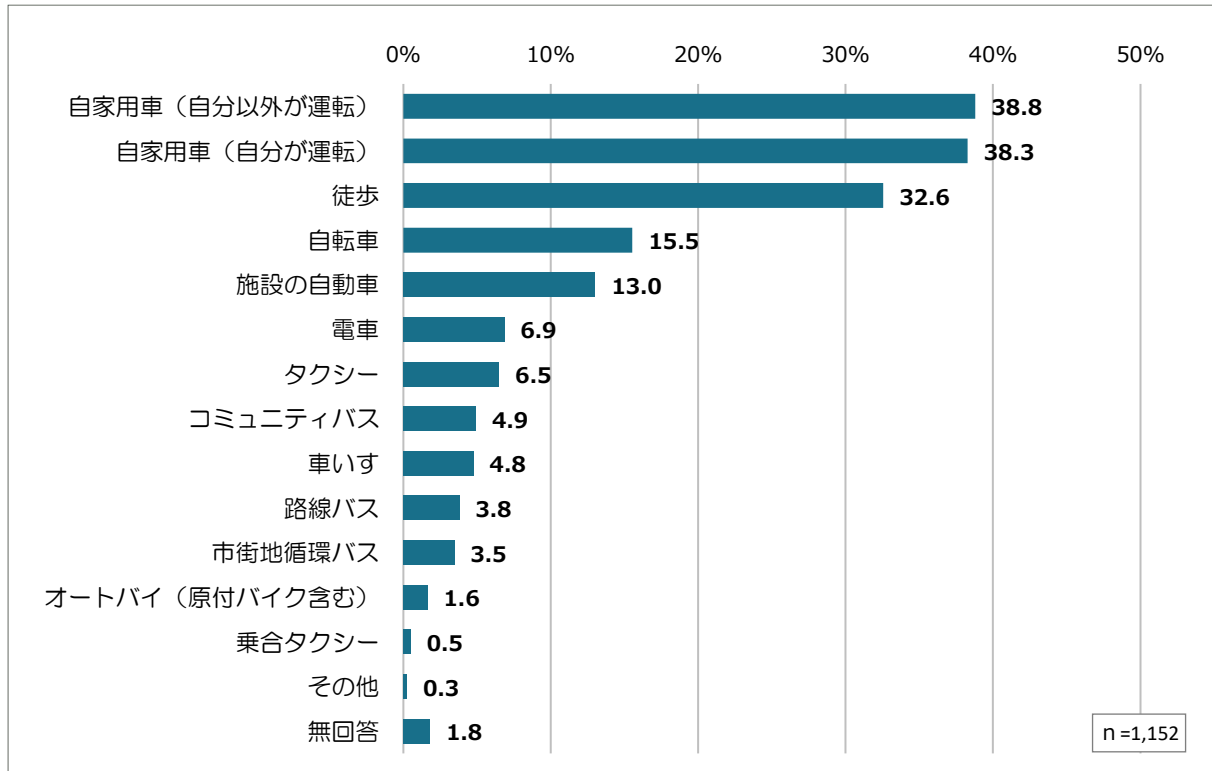
「公共交通機関がない(少ない)」が 27.4%と最も高く、次いで「外出にお金がかかる」が 24.6%となっています。一方で「特に困っていることはない」は 23.6%となっています。



問 28 外出時の移動手段

あなたの主な移動手段は次のうちどれですか（複数回答）

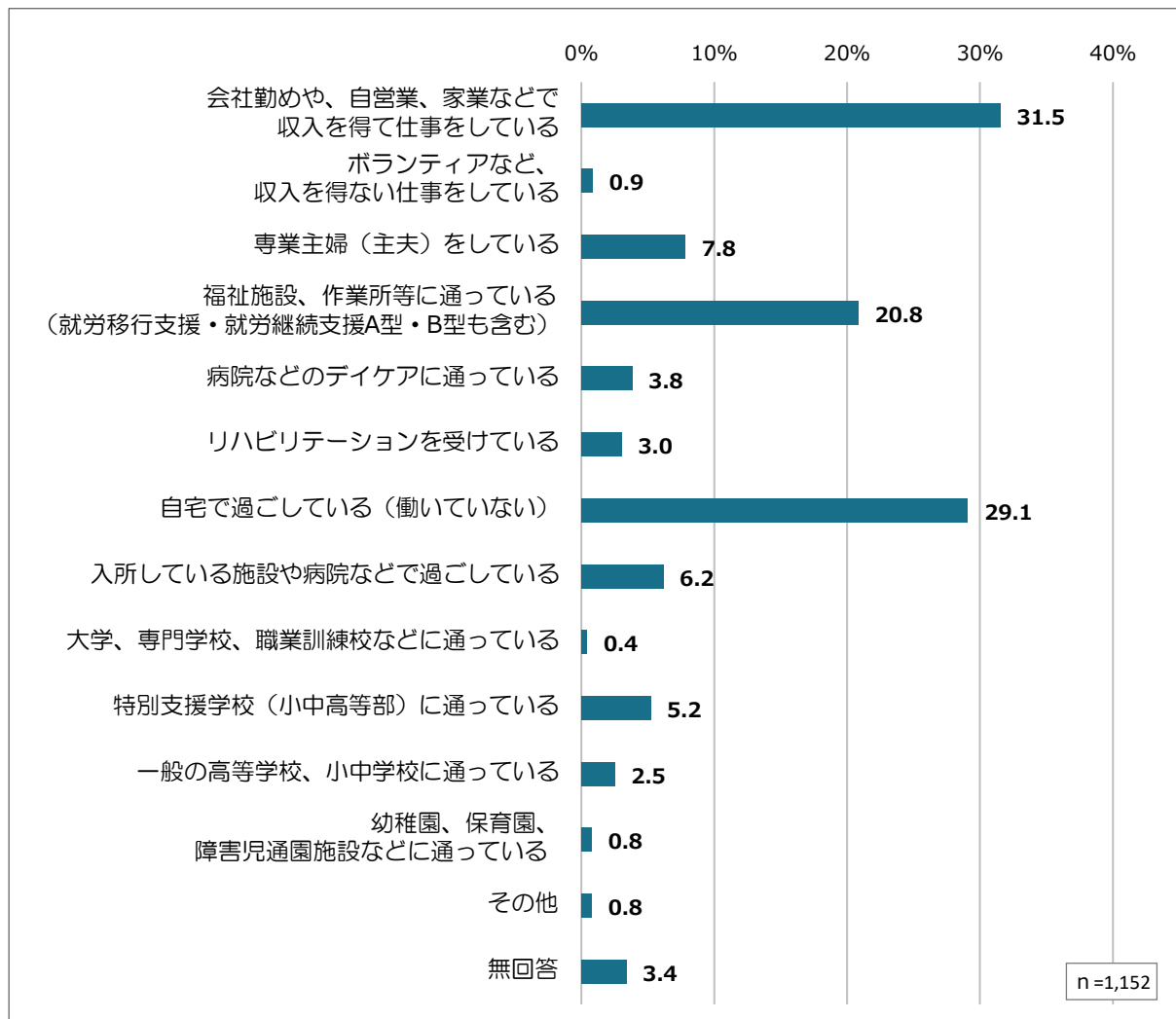
「自家用車（自分以外が運転）」が 38.8%と最も高く、次いで「自家用車（自分が運転）」が 38.3%となっています。



問 29 日中の過ごし方

あなたは、平日の日中をどのように過ごしていますか（複数回答）

「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が31.5%と最も高く、次いで「自宅で過ごしている（働いていない）」が29.1%となっています。

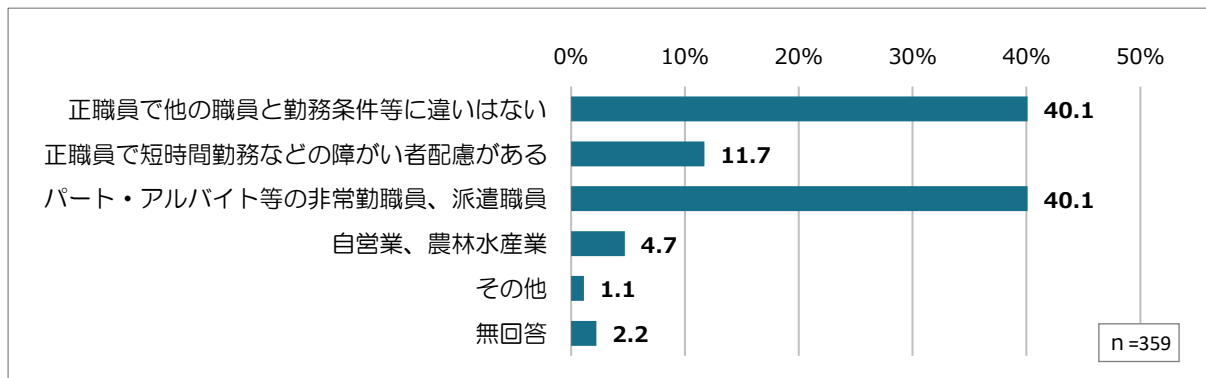


問 30 勤務形態

18～64歳で、問29で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」と回答した方のみ

どのような勤務形態で働いていますか

「正社員で他の職員と勤務条件等に違いはない」と「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が40.1%と最も高くなっています。

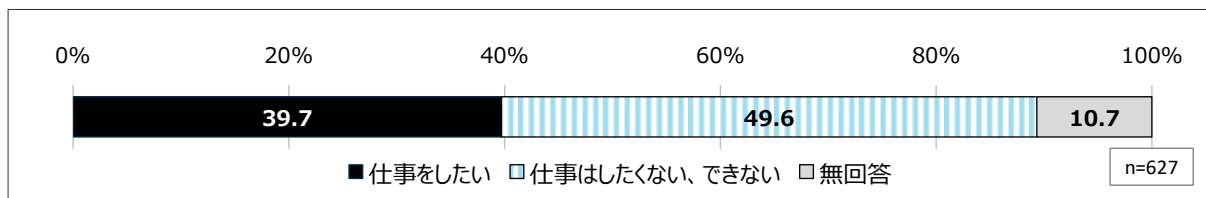


問 31 就労意向

18～64歳で、問29で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」と回答しなかった方のみ

あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか

「仕事をしたい」が39.7%、「仕事はしたくない、できない」が49.6%となっています。

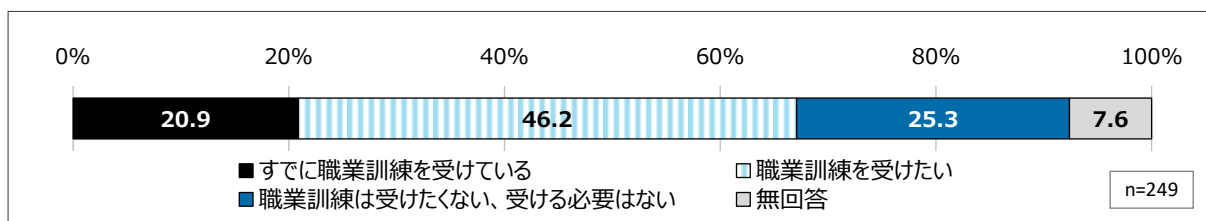


問 32 職業訓練の利用意向

問31で「仕事をしたい」と回答した方のみ

収入を得る仕事をするために職業訓練などを受けてくださいか

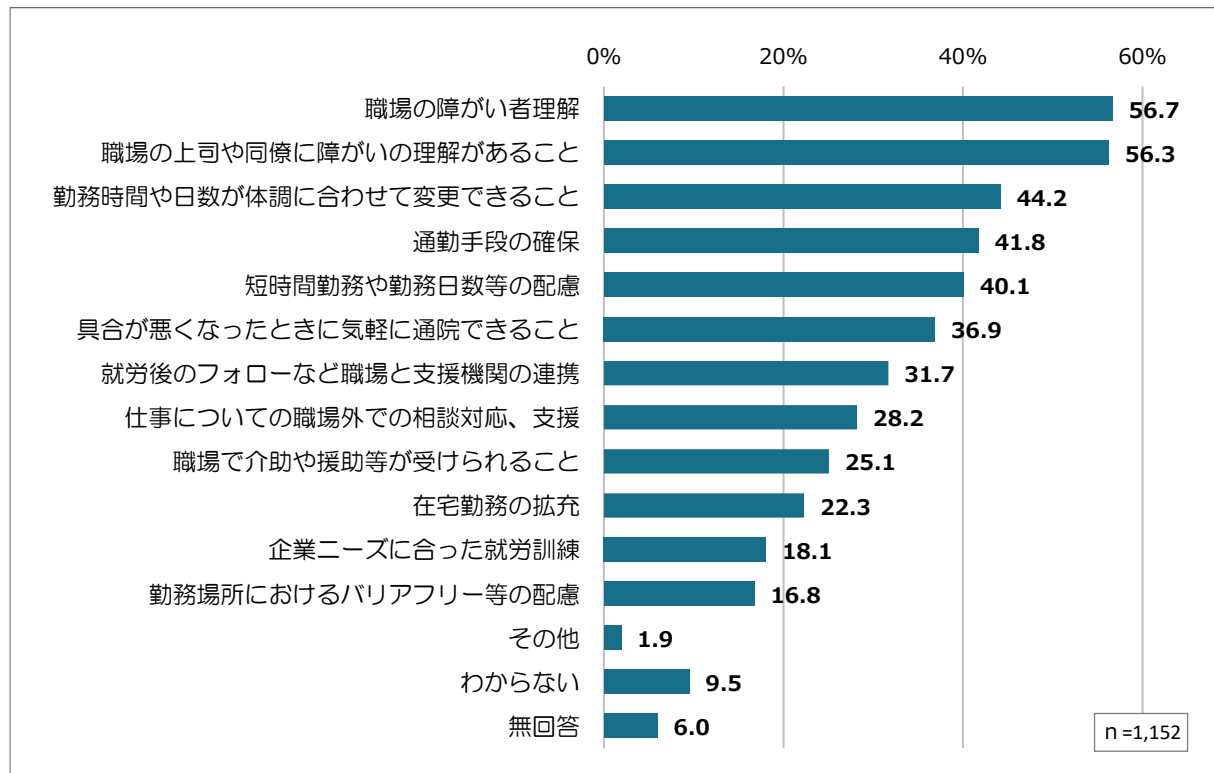
「職業訓練を受けたい」が46.2%となっています。



問 33 就労支援

あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか（複数回答）

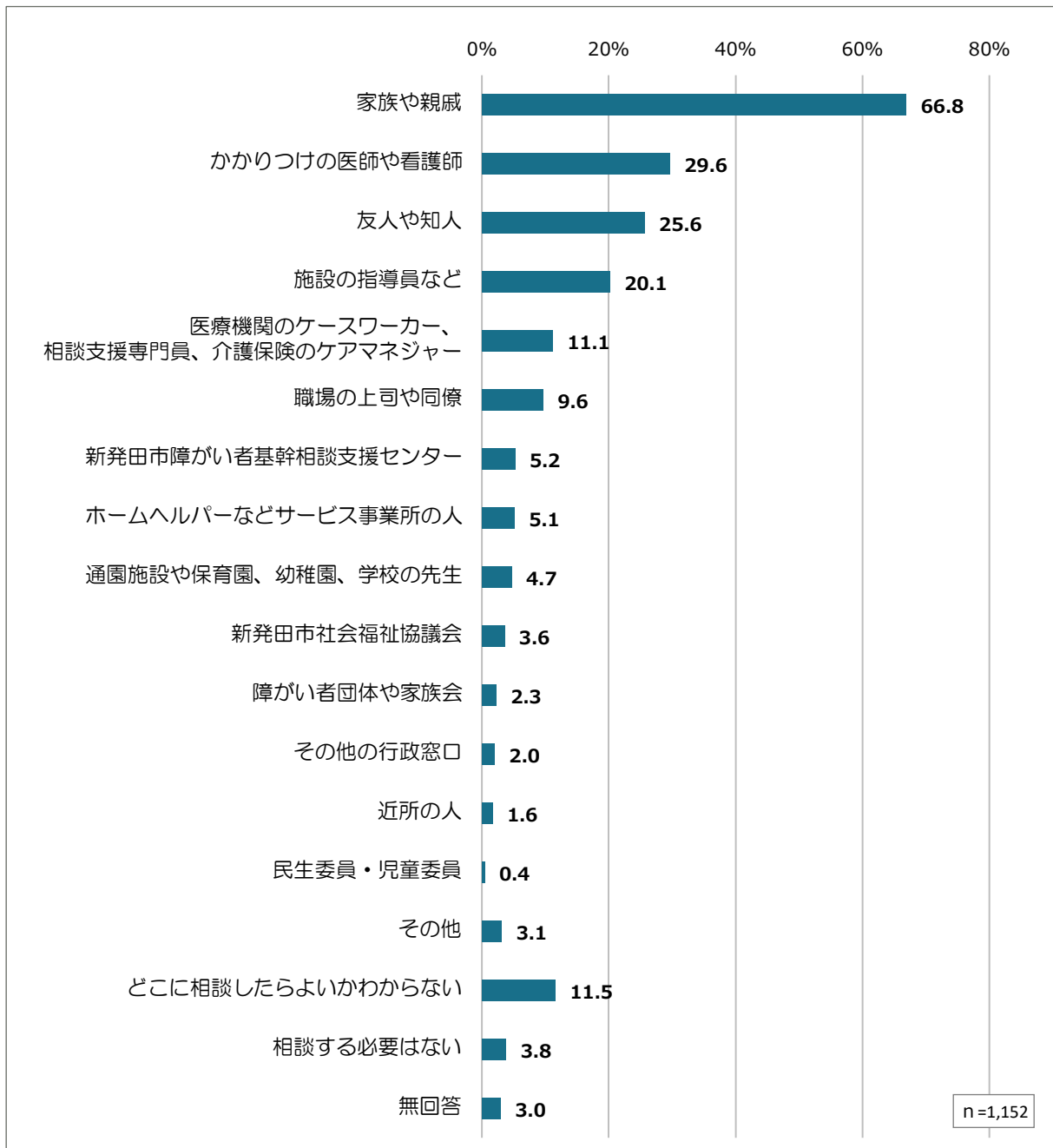
「職場の障がい者理解」が56.7%と最も高く、次いで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が56.3%となっています。



問 34 相談先

あなたは、悩みや不安を誰に（どこに）相談していますか（複数回答）

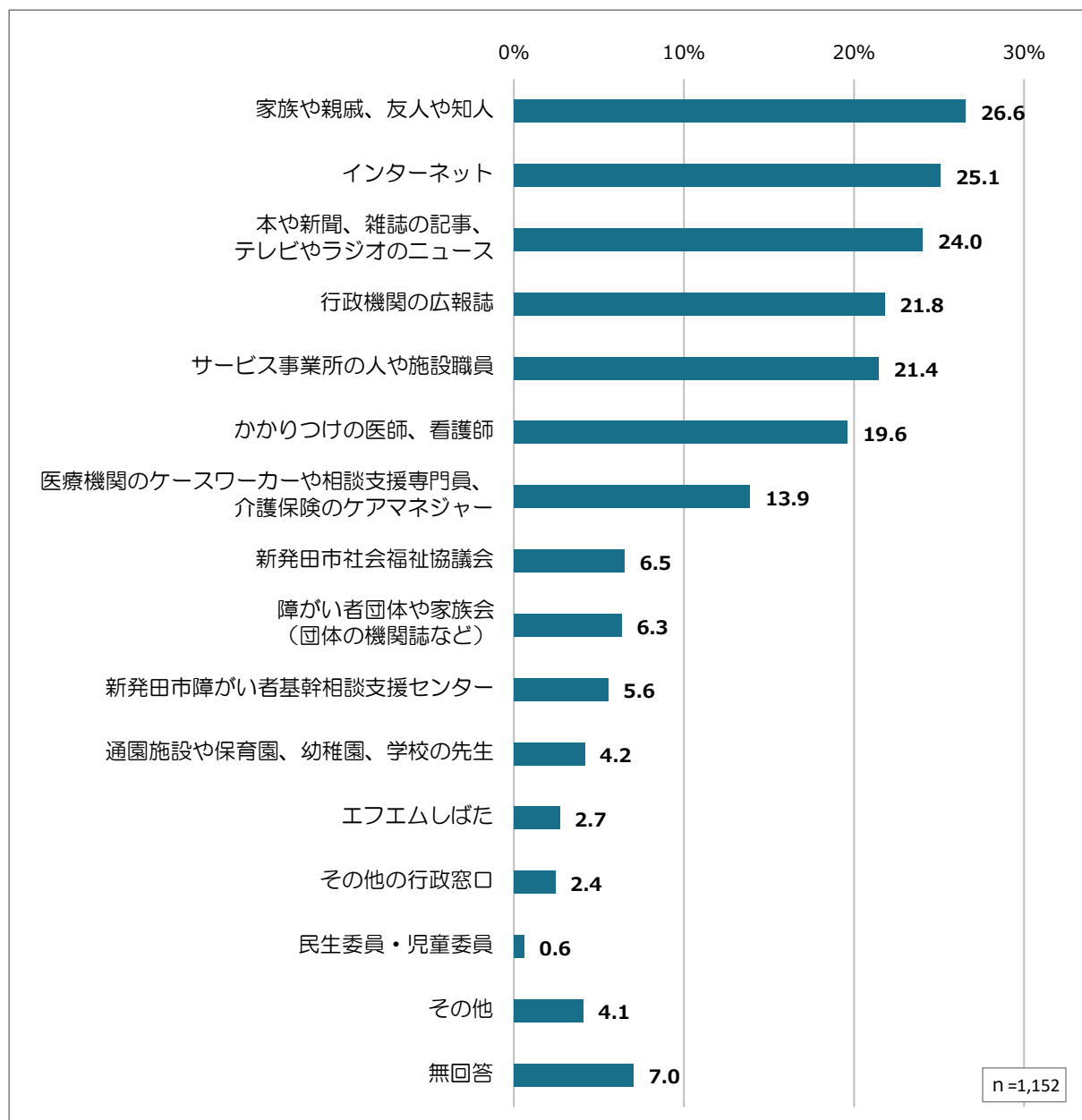
「家族や親戚」が66.8%と最も高くなっています。



問 35 障がいや福祉サービスに関する情報

あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか（複数回答）

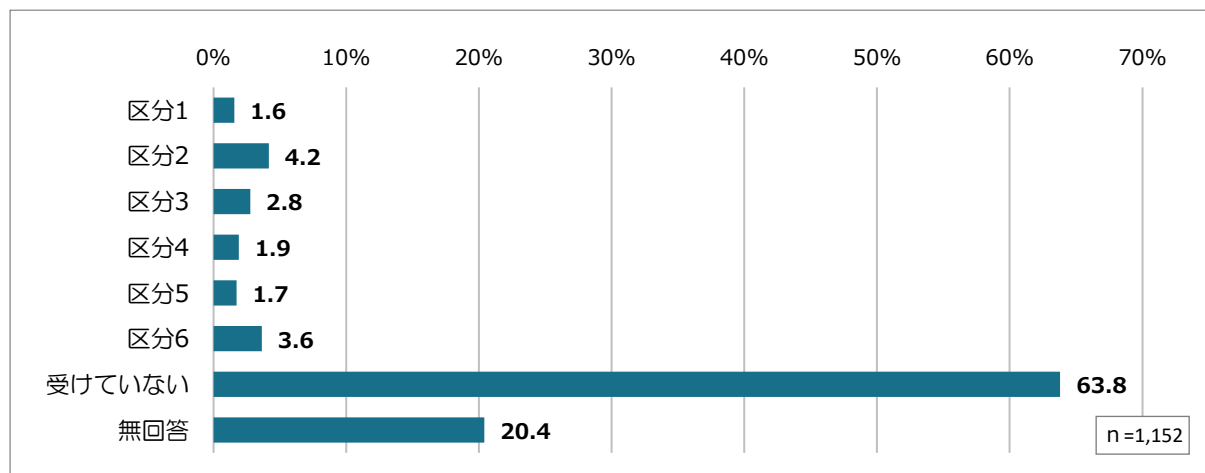
「家族や親戚、友人や知人」が26.6%と最も高く、次いで「インターネット」が25.1%、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が24.0%となっています。



問 36 障害支援区分

あなたは障害支援区分の認定を受けていますか

「区分 1」～「区分 6」いずれかの認定を受けている割合は 15.8%、「受けていない」割合は 63.8%となっています。

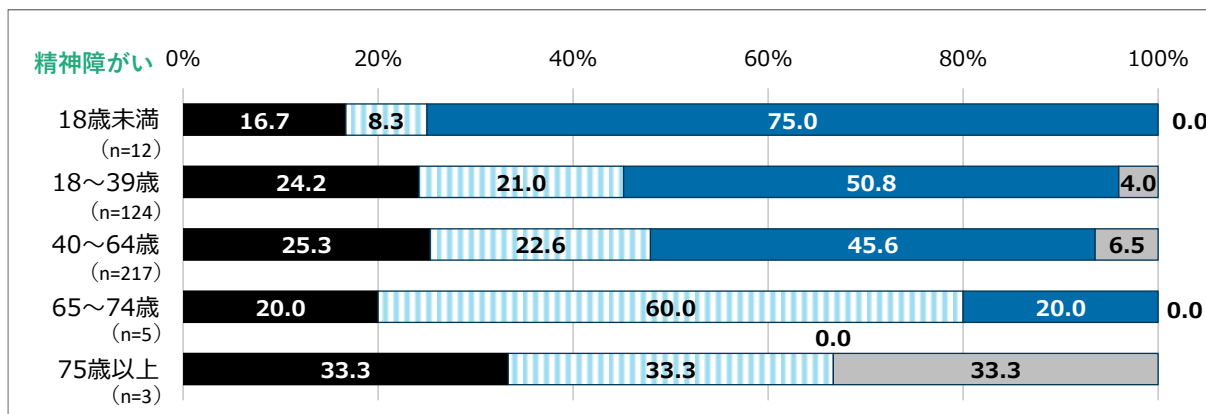
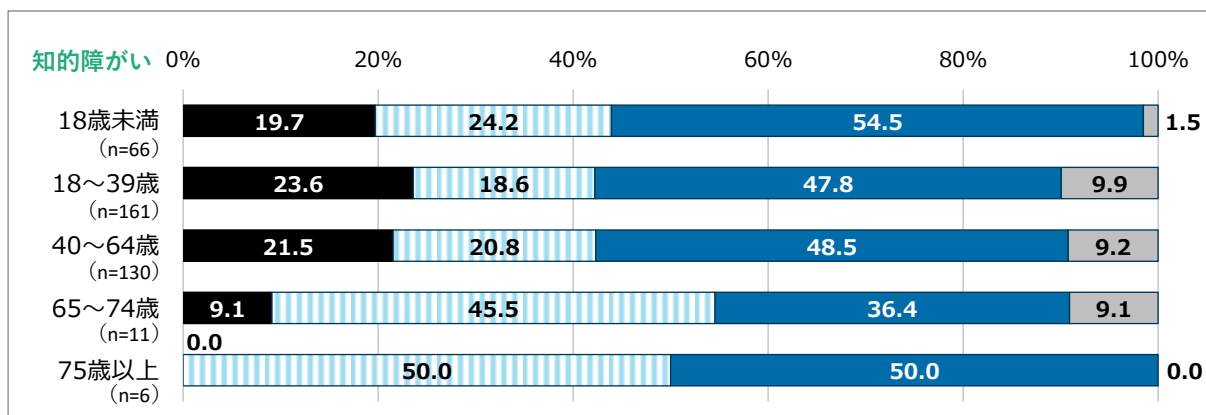
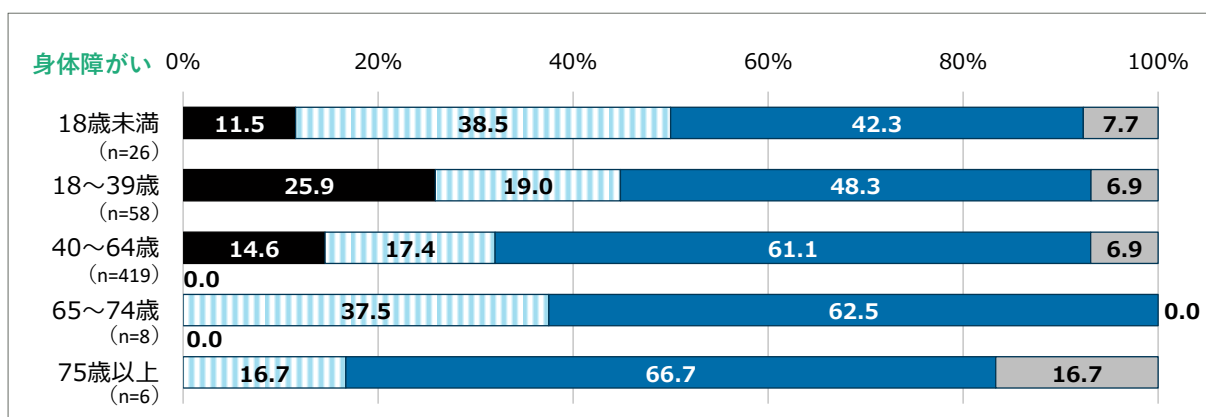
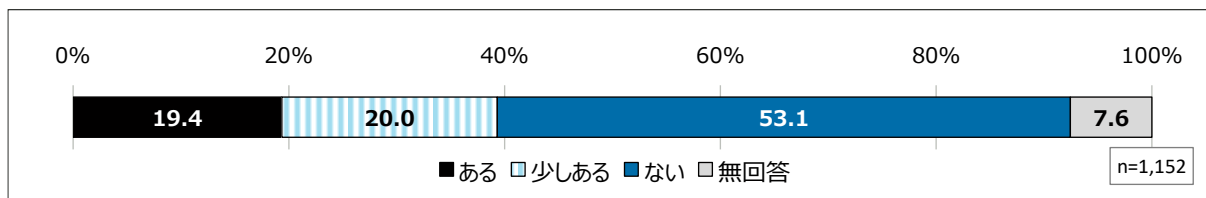


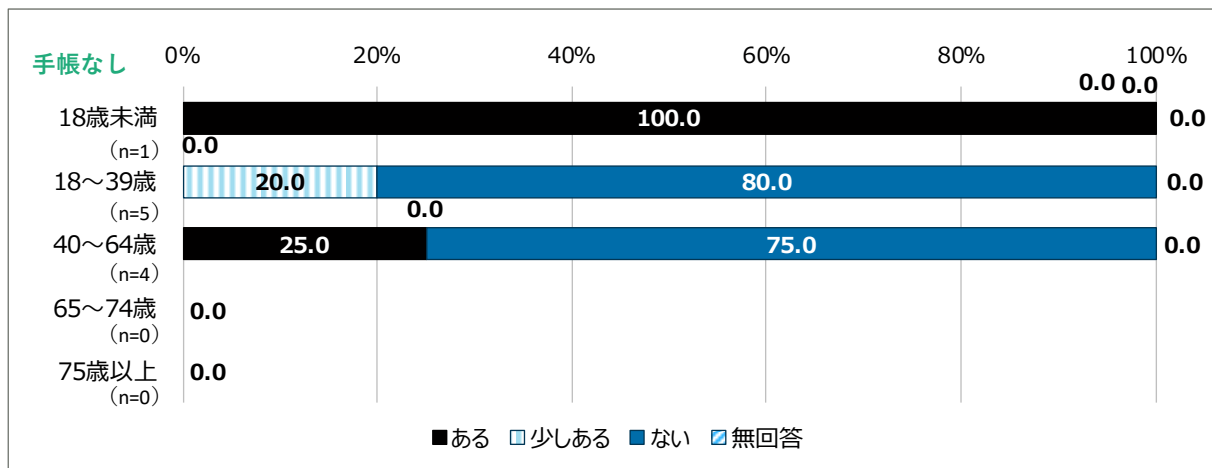
■ 権利擁護

問 37 障がいによる差別

障がいがあることを理由に差別を受けたり、嫌な思いをしたことがありますか

「ある」と「少しある」を合わせると 39.4%となっています。





問 38 今までにされた差別や嫌がらせ

問 41 で「ある」または「少しある」と回答した方のみ

どのようなことがありましたか。可能であれば具体的にお書きください（自由記述）

- プライバシー侵害。【50代】
- 仕事で、差別を受けるときがあった。【50代】
- 手術後、自宅近くを杖歩行でリハビリ中、「若いのに、こんなになって…」など、聞こえるように話す人がいた。洋式タイプのトイレしか使用できないため並んでいるのに、和式のトイレに「空いているから入って下さい」と、声をかけられる。洋式に並ぶ理由があるのに。【60代】
- 仕事するとき、「どうせ障がい者だから、この仕事はできないでしょう」と、他の人と差別された。障がい者だから、仕事を与えられない。【60代】
- 「外見は何も普通の人と変わらずわからないから、見た目もわかるくらいになってたらいいのに」と言われて、ショック受けました。【60代】
- 異性と付き合うときに、病気を理由に拒否されたことがある。内部障がいのため、見た目は普通なので、手帳を出したとき、疑われたことがある。【年齢不明】
- 昔、職場で、給与等で足元をみられた。人生の落ちこぼれ者のように扱われる。【60代】
- 身体の中に入っている ICD（Implantable Cardioverter Defibrillator：植込み型除細動器）について、目につくために、いろいろ聞かれる。【50代】
- 会社で「障がいのある人間は使えない」と言われたこと。【50代】
- かなり前のことですが、東京の病院の帰りに、駅からタクシーに乗りました。障がい者には、タクシー代 1 割引の補助券が出るので、使おうと思って出したところ、運転手さんに「チッ」と、舌打ちをされ、非常に不快でした。もちろん、早く通わせてくださる方もいるので、たまたま機嫌が悪かったのかな？【50代】
- 外出先で見下された発言を受けたことがある。【50代】
- 障がいをバカにされたことがある。【20代】
- 週 1 で家事支援サービスを受けているが、サービス担当者から「自力でできる作業は、支援できないルールだ」と、しつこく言われました。家事が自力でできないほどなら、週 1 の支援で足りるはずもなく、事実上のサービス拒否。福祉サービスを受ける人は、こうした肩身の狭い思いをさせられると知りました。【40代】
- 子どもの頃に、いじめ等。【50代】
- 会社の障がい者に対する理解がない。会社は障がい者を再雇用しない。転職も大変不利であった。転職できなかったので、無職しかない。【60代】
- 就職するとき、面接で断られる。【50代】

- 単純に嫌味などを言われる。【40代】
- 何かをお願いするとき、見た目が普通と変わらないため、少し嫌な顔をされた。【50代】
- 「死ぬ」と言われた。【50代】
- 見た目であついたり、ジーンと見られたりした。学校で仲間はずれにされた。【10代】
- 外出の際は、酸素ボンベを使用しているのに、ジロジロ見られることはよくあります。【60代】
- 医療的ケアが必要なために、サービスを使えない。周りから見られる。【30代】
- 最初に担当になったケアマネジャーが、私の話をまったく聞かず、家族とばかり話し、障がいについて理解のない生活目標をつくったり、「リフォーム申請はわからないので、業者さん（介護販売業者）に言ってくれ」と言われたりした。そこに頼むわけじゃないのに、その対応はどうなんだろうと思った。【50代】
- 前職場で「障がい者野郎」と、ののしられた。前職場で、定年以降の継続任用について、話し合い等なく、一方的に断られた。【60代】
- 職場で、耳が遠いことを知ると、あまり話かけられることがなくなり、無視される。【60代】
- 障がい者雇用で、できないことは面接時すべて話して採用されたにもかかわらず、「一般社員と同じことをしろ」と、毎日言われ続けた。うつ病になりました。【60代】
- 以前の仕事を辞めるとき、障がい者雇用を埋めておきたいので出勤しなくていいから席だけおいてくれないかと言われた。【60代】
- 周囲の視線に嫌だなと思ったことがある。小学校で他学年の子に「なんで車いすなの？」「治るの？」「かわいそうな子」と言われたことがある。【10歳未満】
- 障がい者駐車場に停めた際、見た目は健常者なので「ここに停めていいんか？」と言われた。手帳を開示して説明した。【60代】
- 家にいるのに、親を買い物に来るまで連れていかないとされる。親も忘れて怒る。2人とも認知症あり。あちこち連れて行くと具合が悪くても言われる。親は私の身体の事は忘れてる。【50代】
- タクシーを使うとき、手帳を見せたら嫌な顔をされた。タクシー券を使おうとしたら他のタクシー会社を呼ぶように言われた。【50代】
- 以前の勤務先で、走らされたり重いものを持たされたり、私の身体に一番悪い仕事や指示（命令）をされたことがあった。【50代】
- 勤務に配慮していただいておりますが、そのことで、他職員の負担になっていることを感じる。【50代】
- 医者は病気（難病の他に）の原因がわからないことを「太ってるせいだ」と言った。すごく頭にきた。ステロイドという薬を飲んでいるので太りやすいのだが、ひどい言い方をされて嫌だった。【50代】
- 車いすに乗っていると人混みで場所を取るため、「邪魔だ。車いすで来るな」と言われた。タクシーの乗り降りのときにドライバーに「早くしろ」と言われた。【50代】
- 賃金格差。【60代】
- 体の内部のことなので、障がい者として見られないときがある。【40代】
- 耳につけている人工内耳の機械を、知らない子どもに触られそうになったり、「変なのつけてる」と言われたりすることがあった。【10歳未満】
- 周りの目。歩き方の見方や目つきなど。【50代】
- 憐みの目で見られる。【40代】
- いじめにあった。言語聴覚士として臨床実習をしていたときに、患者から「障がいは前世の行いの報いだ」などと荒唐無稽なことを言われた。自分のことを棚に上げていることが理解できないのか。【20代】
- コンサート等で障がい者席を希望すると、内部障がいで見えにくい目で見えないため手帳の提示を求められる。少し前にヘルプマークを健常者がファッションで身に着けるというのもとても不快だ。

【50代】

- 職場で無視されることが多々ある。【50代】
- エレベーターですが、無理やり乗ってくる人、後から乗ってきて先にさっさと出ていく人。エレベーターはたくさん嫌な思いをしましたが慣れてきました。このほかにもされてはいると思いますが、以前は常にカチンときていましたが今ではほとんど忘れるようにしています…なるべく…そうしないとストレスでおかしくなります。【10代】
- トイレ使用。【50代】
- ストマ装具に対する違和感を他人が抱く。【60代】
- とても冷たくあしらわれ、悲しい気持ちになりました。もし業務が本当に大変なようであれば、人員の拡充等、職員の方が気持ちよく働ける環境づくりが必要と思われまます。【40代】
- 弱視であることを、説明しても理解してもらえないことがある。転入手続きのときにもありました。【50代】
- ありますが、病気の関係で思い出したくありません。【30代】
- 職場でなかなか新しい業務を任されない。情報が伝わらない。【30代】
- ちょっと見ただけではわからないので、周囲に理解されない。「人並みに」「みんな同じ」を強要されると相当つらい。自分のペースだと「急げ」と言われた。ムラ社会だと特に葬儀のシキタリがつらい。和服着用＝草履、長時間座れない。あれは地獄だった。動いているのがあたりまえ。【60代】
- 見た目では障がいがあることがわからないので理解されづらい。【50代】
- 就職時、障がいがあることで不採用になった（差別を受けた）。【50代】
- 買物で、少し混んでいたためか、中年の女の人に、邪魔者扱いされた。【60代】
- 見た目には障がいを感じられないので、できないことなど時間がかかったりすると、「こんなことぐらい、誰にだってすぐにできるだろう」という目で見られてしまうこと。【50代】
- 見た目では判断できないので、無理な作業があったりする。駐車場でも、「歩けるなら停めるな」と言われるが、ドアを開けるのに、大きく開けないといけない。【50代】
- 暴言。【40代】
- 体が不自由になり、職もなくなり、やりたいことができなくなった。【40代】
- 車いすに乗っていると振り返って何度も見られる。【40代】
- 好奇の目にさらされたり、上司からの不条理な圧力などがあった。【40代】
- 職場で所長が変わったが、「障がい者である」との引継ぎがされていなかった（4級で他の人と同じ仕事ができているからか）。【50代】
- 仕事の面で障がいがない人と同じように仕事ができないときなど、冷たい目で見られたりする。【60代】
- いろいろあります。【50代】
- デイケアで事務次長および職員より若いからと言われ、両手を使える利用者を特別扱いし、私には何も介助してくれない（風呂での介助）。ここではすべて書ききれない。【60代】
- 差別というより気遣いなんだろうけど、ポケットティッシュを配っていた手を引っ込められてもらえなかった…いつも。残念。【40代】
- 窓口や、医療機関、店舗などで、障がいのある私が話しかけているのに介助者に返答する。商品陳列等で車いすでは取れない。届かない。入口に階段しかない。入り口の幅が狭すぎて車いすが通れない。赤ちゃん言葉で対応する。【50代】
- 障がい者として仕事探しをする中で、ハローワークで相談支援専門機関を紹介してもらい、わりにもすがる思いで登録しました。ですが、あらかじめ病名を伝えたにもかかわらず、相談支援専門員の方に病気や障がいを理解していただけていなくてとても悲しい思いをし、不安になり登録を消しました。【30代】
- 以前働いていたときに、することがないからと上司に言われた。母親に普通じゃない、かたわの

人間と言われた。【60代】

- 各行動と理解に時間がかかる。それによって相手を怒らせたり誹謗中傷を言われたりすることがある。【40代】
- 話しかけると、バカにしたような、子どもに話すような態度をされること。【40代】
- 「生きにくい社会だな」と状態が下がるたびに思う。【年齢不明】
- 小さいときに周りと同じことができない。【40代】
- できないことをやってみてくれと言われた。【40代】
- できるのにやらせてもらえず居づらくなった。【50代】
- 買物などに行ったとき、小さな子どもにジロジロ見られる。近所の人にはわかってきているから、差別はありません。【30代】
- 車いす用の駐車場に停めたとき、「ここは障がい者用ですよ」と、付き添いの人物だけを見て言ってくる人がいたり、連れて行きたくても、難しい場所があったりと、何かと大変です。【10代】
- 本人の存在を否定されるような発言。「お前がいないほうが、仕事が順調になる」等。【50代】
- 大人は精神障がいというものを理解しているでしょうが、小さい子ども～小学生くらいの子には、わが子が声を出すと、ジロジロ見られる。理解できない年齢なので仕方がないが、そのとき、一緒にいる親が気を使うべき。「おしゃべり上手にできないだけなんだよ」とか、子どもに教えてあげればいいのに、親子そろって「何？この子…」みたいな目つきで見られると、傷つきます。障がい者や、その家族の気持ちや大変さを、もっと世の中の人が、わかってくれるようになるといいな…と、いつも思います。【10代】
- 人の顔や動きを、じーっと見てしまう。そのことで、通行人に怒られ、はたかれそうになった。【20代】
- 視線を避けられる。【30代】
- 視線。【20代】
- 病院受診で、他の患者に「うるさい」とどなられたこと。本人にはどうしようもないことなのに。付き添い側としてはショックでした。病院受診にもかなり気を使っているのに、疲れます。病院側の方も少し配慮してほしいと思う。【10歳未満】
- バスの運転手に障がい者手帳を見せたとき、「何ですか？ただで乗る気ですか？」と言われたり、手帳を見せてるのに見てくれないで鼻で笑われたりしたこと。【30代】
- 医療的ケアがあるため、ショートステイを断られていくところがない。【30代】
- 自分の希望する生活ができない。【50代】
- 放課後等デイサービスでだけど、ある事業所では利用するほど重度ではないと言われ、ある事業所では重度の子を受け入れる設備もないし、職員の知識もないので受け入れられませんと言われた。【10代】

- 一般の病院で受診しているときに、本人が大きな声で叫んだり笑ったりすると変な目で見られる。【20代】
- 医療的ケアが必要だと、使える施設が限られている。【20代】
- 幼少期に多数あり。家族・兄弟も他者からの嫌な思いをしたことあり。【50代】
- 子どもの頃、隣家の同い年の子に石を投げられたり、にらまれたりした。【50代】
- 幼稚園のとき、先生から差別を受けたことがある。【10代】
- 一緒に買い物に出かけたときなど、じろじろ見られたり、お年寄りに「この子は頭がおかしいの？」と言われたりしたことがあります。本人は何を言われたかわかっていないので、話しかけられたことでニコニコしていましたが、とても不愉快でした。【10代】
- てんかん発作があるため、お店など他人の前で倒れたとき周囲から奇妙な目で見られてしまう。親切に声をかけてくださった方もいますが…。【20代】
- 声が出てしまうので、他の利用者が声を気にするとの理由で施設通所を断られた。【30代】
- 足が悪いのに、歩き方が変だと言われた。【年齢不明】
- 散歩中に「バカ、バカ」と言われる。【60代】
- てんかんのことを職場に話すと、「明日から来ないでください」と言われる。【50代】
- 何事もできないから。【40代】
- 親戚の人から「お前は何もできない。無能で社会のゴミだ」。祖父から「お前はバケモノだ」。【40代】
- 詐欺にあって警察に家に来てもらったときに、話を信用されなかった。【50代】
- 学校や職場で悪口を言われた。【40代】
- サービス業でパニックになったとき、お客さんに笑われた。(一部の)上司から聞こえるように陰口を言われた。【年齢不明】
- タクシー券など出したときに感じる。【60代】
- 手足にしびれあり。脊髄が悪いけどわかってくれないこと。【40代】
- 子どもが発達障がいなので、外出すると人から変な目で見られる。【50代】
- 書ききれないし、書いても解決しないです(医者やナースさんからくるのは)。【40代】
- 難しいです。【50代】
- 入浴施設で手帳を提出したら、他の客が見て「障がい者は汚いから入れないで」と言われた。「障がい者」の家だから孫を遊びにやらないほうがいいなどと、近所に新しく入居された家に伝え歩いている方がいて迷惑している。【40代】
- 職員に暴言を吐かれ、にらみつけられた。市の職員によくガン見された。【50代】
- ばかにされた。【40代】
- 見た目でわかる身体障がい者ばかり手を差し伸べてもらえる(サービスなど)。知的障がい、自閉症の場合は障がい者として見られず、個性とか育て方など「親のかかわり方でその人の人格がつくられてしまっている」と言われることが多い。サービスもあまりない。家族の負担が多くなっている。【20代】
- 中学校の頃いじめにあいました。【40代】
- トイレが近くてバカにされた。喉に痰が絡んで、痰を取るとき、「汚い」みたいなことを言われた。【50代】
- 職場でのイジメ。【30代】
- 言葉を話すことができず、文字も書けないため、自分の気持ちを相手に伝えることができないので、誤解を受ける。【30代】
- 母と市内を歩行中に、他人から白い目で見られた。【40代】
- 陰口、嫌がらせ、無視。【20代】
- 人に悪口を言われたこと。【30代】

- じろじろ見られる。【70代】
- パワハラ。【20代】
- 障がい分かってくれようとしんない。【20代】
- いじめられる。親の理解が難しい。【20代】
- 小学校入学時のときに、地域の学校に入れず、他町村の小学校に6年、中学校に3年間送り迎えて通学しました。当時の障がいの子は、養護学校にということで、入学時、すごく行政の言葉に傷つき、9年間は大変でした。【40代】
- 仕事に対して「どんくさい」とか言われる。【50代】
- 給料が他人と比べて、少なすぎる。生活していくことが困難。【50代】
- どもりをジロジロ見られたり、おかしいな…と思われたりする。こだわりのため、他の人と違った行動を取ると、同級生の女子から、コソコソ話をされたりする。【10歳未満】
- いじめ、仕事でのミス。【30代】
- 周りの子どもからできないこと、苦手なことを直接言われる【10歳未満】
- 支援学校が通にくい田舎に設置してあることは、差別だと思ひます。【10代】
- 話しかけても無視される。【40代】
- 答えたくない。【20代】
- 話したくない。【40代】
- 大型商業施設などでジロジロと見られる。(特に子供から)。【10代】
- バスに乗ってただけで笑われ、指をさされた。自宅の中にタバコの吸い殻を捨てられた。【40代】
- 間違った情報により、交番の警察官が事実確認もせず息子が疑われた。現場へ行って確認したら、通報者の息子さんが、「その人ではない」と証言したので疑いは晴れたが、健常者に対してだったら違う対応だったのではないかと腹が立った。不審者パトロールのパトカーが息子の後を追って家までついてきた。どこで何をしてたか聞かれて大変嫌な思ひをした。【40代】
- 学校でいじめにあった。母は祖母から何でこんな子を産んだと責められ、私と一緒に死のうと考へたこともあった。近所の人や親戚の人達からさんざん悪口を言われた。学校では妹にまで被害が及んだ。学校の先生からはとてもこんな子の面倒は見られないと言われた。【60代】
- 療育手帳を持っていただけで職場でいじめを受けたことがある。【50代】
- 気になる人にしつこく話しかけるため、姿を見つけれられるとそっと避けられてしまう。同じことを何度も聞いて嫌がられる。【70代】
- 学生の頃は、通常クラスの子とうまくコミュニケーションがとれていませんでした。【40代】
- 相手にされない。思ひを理解してくれようとしんないため、残念だったり哀しかったりする。【30代】
- からかい。【20代】
- 相談したところで何も進まない。そう考へてしまった。30数年たった。諦めしかない。とにかく収入を得る、自分ができる仕事を与えてほしい。作業所に行けば終わりだという行政の対応を変えてほしい。【30代】
- 出かけた先で冷たい目で見られて避けられた。【10歳未満】
- 外出先で、白い目で見られたり、陰口を言われたりする。【10歳未満】
- 学校でトイレをのぞかれる。きちがいがいると学校で言われた。汚い言葉を言われる。【10代】
- 他人の目が気になる。【50代】
- 学校の同学年の子や、地域の子ともうまく遊べない。SST (Social Skills Training : 社会生活技能訓練) などの訓練施設などがあれば、本人が地域でも過ごしやすくなると思ひ。【10代】
- 前の作業所にいたときに指導員からいじめにあっていた (言語的にできないことをやらされるなど)。【50代】
- 嫌なことを言われる。【30代】

- 叩かれたことがある。【10代】
- 中学校のときのいじめ。【70代】
- 文書で書くことはできません。【40代】
- 小学生のときからかわれたことはあったと思う。【20代】
- 仕事で何かあると私が疑われたり言われたりして嫌だった。【30代】
- 職場でいじめられた。【50代】
- 暴言や無視。【40代】
- 話がわかりにくい。話が理解できない。【40代】
- 障がいを理解してもらおうと、周囲にカミングアウトをしても、一歩引かれてしまい、孤独を感じるがあった。子どもが小さいうちから、知的、発達障がいに対する知識を、少しずつ身につけてほしいと思う。【10代】
- 見た目で「宇宙人」や、日本人じゃなく「外国人」とか言われる。【40代】
- 小学校時代、生徒のからかい等。【20代】
- 職場の先輩に能力以上のことをするように言われた。【30代】
- 本人はわからない。【40代】
- 店で支払いに時間がかかり、店の人に嫌な顔をされた。【20代】
- 中学の時にいじめを受けました。【30代】
- 近所の人に白い目で見られたりいじめられたりした。小学校のとき物がなくなり、よく探してもしないで担任からも保護者からもうちの子のせいにされた（他の子であった）。【30代】
- なるべく気にしないようにしてはいるが、コミュニケーションをとるとき等に、気まずい雰囲気になったり距離を取られたりする。【30代】
- 小さい頃、近所の人に白い目で見られたりバカにされたりした。【40代】
- 違う生物のように見られる。【40代】
- 嫌な目で見られてとてもイヤな気持ちになる。お前さえ来なければと思っているのが、とても不安です。【30代】
- 悪口、陰口、嫌がらせを受ける。【50代】
- いろいろ悪口を言われた。【30代】
- 外出した際、高齢の方達から「あの子ダウン症だよ」と、こそこそ言われたりじろじろ見られたりした。【20代】
- 息子が5歳の頃眼科を受信しました。多動で落ち着きのない息子に対して「あれ？ 5歳なのに、なんで座れないのかな？」とDr.から言われた。障がい児の医療受給者証も提示していたのだが、障がいの有無にかかわらず「5歳＝ちゃんとしている」という決めつけをされたような気がして悲しかったです。その後「障がい（発達障がい）があって」と伝えても心に届いている感じもなし…。理解があるところはものすごくあってありがたいのですが、まだまだ生きづらい…。世の中は変わらないと感じました。文がまとまらずすみません。【10歳未満】
- 10年前くらい、親をクレーマー扱いと疑わせる態度をした職員がいた。【10代】
- 会社で「障がいで来ている」など。【30代】
- 見た目は普通なので、言葉を話したとき、やり取りがうまくいかないのがわかると、子どもの親が違う目で見える。【50代】
- じろじろと見られることがある（小学生くらいの子どもに）。【40代】
- 小学校進学時、中学校進学時、希望に沿った仮決定が出ず、居住地域への進学を希望した際、冷たい態度を取られた。特別支援学校への進学を決めると、数年かけて居住地域への進学を希望して準備をしてきたのにそんなに簡単にあきらめてしまうのか？と言われた【10代】
- バスに乗車したときのこと、いつもは1人ですが、そのときは母も一緒に、そのときに運転手から1人で乗れるなら付き添いはいらんんじゃないのかと言われて、母が手帳を出したら見てもいいですかとも言わず運転手は開いて確認したことがありました。そのあとは母が市役所に電話を

してバス会社の方とバスを担当している市役所の方から謝罪をしていただきました。【30代】

- 出入りを断られた店がある。【40代】
- 保育園と小学校のときに、意地悪をされたことがある。【10代】
- 学校で。【10代】
- 小学校・中学校のとき、いじめにあっていた。【30代】
- 小学校時代、療育センターの名称に対してからかわれました。現在中学校の支援学級で一日活動していますが、行事で交流学級に交じるとき、わざと嫌なことを聞かれました。学校の先生で、支援学級に在籍する児童生徒に対する関わり方についての知識や技能的なものが不足されている方が散見されます。特に体育の授業では、パワハラなのではというような言動もあるようです。そうした類の研修等の頻度を多くしていただきたく思います。【10代】
- 有給取得の権利があるのに、意思疎通ができないため取得できない。制服もくたびれたボロボロの制服です。企業側に障がい者に対する配慮がほしいと思います。【20代】
- 学齢期他生徒からのいじめ。教師が適切に介入できない。【20代】
- いろいろとあった。障がい者と聞いて嫌な顔をされた。【20代】
- 障がいの特性上突飛な行動をしたときなど、「キャー」と言って逃げられたりする。差別、嫌な思いは毎日ある。【10代】
- 子育て支援の施設で突発的な動きを取ったり、奇声をあげたりして、にこにこしていても怖がられ、冷たい目で間を置かれた。しつけがない子なんだねという扱いもあり、必死で静かにさせなければと親子ともども追い込まれた。【10代】
- イベント会場で景品が当たり、言葉が遅かった息子（4才）が一礼してもらってきた。次の子は「ありがとう」と言ってもらってきて、司会の方が「しつけがいいですね！」と。嫌な思いはいっぱいありますが息子を守るため低姿勢でいます。【30代】
- 若い頃、バスで施設に通っているとき嫌がらせを受けたが、今は自宅まで施設のバスが来るのでいいです。【50代】
- 奇異の目で見られることがあります。【70代】
- バカにされたり、仲間外れにされたりすることがあった。【10代】
- 職場での冷遇や誤解等。【40代】
- 弟に「完璧に何でもしろ」と言われている。【50代】
- 私は市営住宅に住まわせてもらっています。家賃も払っています。市の職員から先日、「あなたは仕事をしているんですか?」と、言われました。ショックで夜、寝られませんでした。私はパートで働いています。なぜ、このような話をするのか、理解できません。【60代】
- 中学時代クラスメートや先輩に、いじめられた。【20代】
- 両親からの暴言。【40代】
- 障がい者だと思ってバカにされた。【40代】
- 人とのコミュニケーションがうまくいかず、また、見た目と自分の障がいの度合いが合ってなく、元気で普通の感じに見えるため、仕事をしているが、仕事をしていないなど、不真面目に見えるらしい。【40代】
- バカにされる。【50代】
- 仕事でミスが多い。家族にバカにされる。【50代】
- インターネットでの悪口。【40代】
- 親族による、不信・疑念。【30代】
- 私は統合失調症だけど、友人に「頭がおかしいんじゃないか」と言われた。【50代】
- 健常者には付けられない条件を付けられた。必要以上の「声かけ」で、気が休まらない。用もないのに近づいて来たるのが嫌でした。干渉し過ぎる。押し付けられると苦痛。【40代】
- 発作で倒れる（突然）ため、公共の場などのトイレは家族と入るが、車いすが利用できる所へ並んでいたとき、他人から嫌な顔をされたことがある。【40代】

- 就活のときに、私自身はオープン就労を望んだが、クローズ就労で採用となった。その際に「あなたは普通に見えるから」と、採用担当に言われた。【20代】
- 職場の上司に、「うつ病の人がいると面倒臭い。迷惑だ。他の人にも負担をかけているから、退職してほしい。療養休暇を取っているのは、図々しい」と言われた。【40代】
- 見た目ではわかりにくい精神障がいなので、体調の悪さを、周りの人に理解してもらえないことがある。【50代】
- 入院していて、家に帰れない。【60代】
- 生まれてからずっと、いじめられ続けていた。同級生も、仲間はずれですときた。【30代】
- 自分では、たいしたことじゃないことも、障がい者だからという目で見られる。【60代】
- 村八分。【50代】
- 悪口を言われた。【50代】
- 被害妄想のせいもあると思いますが、自分が変な目で見られるということがあります。私（母）自身も、町内の人から、直接には言われたことはないですが、障がい者と見ている人がいます。私は気にしていません。【40代】
- 働いていなくて、周りとは比べられたり、嫌なことを言われたりした。【20代】
- 昔、友人からからかわれた。入院するとレッテルを貼られる。【50代】
- 入院が続き、退院できない。【60代】
- 入社して障がい者ということがバレてクビになった。クローズで働いていて、後からわかってクビになった。【50代】
- 働いていない理由を、詳しく問われた。病状を説明したが、納得してもらえなかった。【40代】
- 嫌なことを言われる。【50代】
- 実の兄から差別発言。「だからうつになるんだよ」等、言い合いのとき。目上の人なので、言い返しづらく、飲み込むしかない。【20代】
- 賃金格差。【30代】
- 障がいを理由に仕事を断られることが多い。障がい者雇用で採用された際には、障がい者雇用で簡単に入れていいねと嫌味のようによく言われていた。【30代】

- 精神障がい、見た目ではわからないので、理解されない。自傷行為の痕を指さされ「あえて聞くけど」と、わかっていて聞かれた。親も理解できてないのかと思うことが多々あった。睡眠薬を飲んで寝て、眠れなくて仕事に行っていた頃、「夜遊びすぎて、寝てないから眠い」と言われて傷ついた。【40代】
- 医療機関での診察拒否など。【30代】
- 障がいを正しく理解されず、病人扱いされた。最初から「何もできない」と決めつけられ、いろいろなことにチャレンジできなかった。成人しているにも関わらず子ども扱いされた。【20代】
- 保育園児、小学生、中学生、高校生、短大生、社会人、いずれのときも大なり小なりいじめは受けてきました。【40代】
- 障がい者向けの合同面接において、気分障がい（うつ、双極性障がい等）であると明記しているにもかかわらず「統合失調症ということですか？」と聞かれた。アルバイト先で一緒に働く人たちから差別用語を用いられた。【80代】
- 一般就労の療養休暇中に発達障がいが見つかり、そのまま復帰できずに退職した。【20代】
- いろいろと。【50代】
- 自由診療の手術を受けた際、医療スタッフに障がいの詳細（手術とは関係がない）を聞かれた。【40代】
- 私が障がい者であることに、家族の理解がなかった。【50代】
- 姉とうまくいかない。【60代】
- 職場で、一部の人にののしられる（あなたは不潔で汚らしいなど）。兄には監視され、部屋を調べられたり、悪口、嫌味を言われたりし続けるので、自分の部屋からなるべく出ないか、あてもなく外出する。【40代】
- まだ、精神障がい者に対する偏見があると感じることがよくあります。【50代】
- 足の骨折で歩き方をじろじろ見られて悲しかった。ヘルプマークの利用で嫌な思いをした。症状をバカにされた。【20代】
- 親戚から罵声を受けている。【60代】
- 知らない人に外見についてからかわれたことがある。【40代】
- 職場で「変わり者」と人に言われた。小学、中学、高校はいつもいじめられていた。【50代】
- 就労していた際に普段より多くの仕事を任せられ、終わらなければ叱責。部署異動後、執拗に嫌がらせ（主に仕事ができないことに対して）。【20代】
- 具体的な障がいの程度を知らない相手に話しかけられて、日常生活での家事などについて聞かれた後、返答した「特に問題なくできている」旨の内容についていちいち過剰に褒められて、やや居心地の悪い思いをしたことはある。【30代】
- 窓口の対応などで、面倒くさいと感じられる態度をとられたことがあったり、上手く説明できないときに不快そうな対応をされたりすることがあった。【30代】
- 病気を理由に甘えていると言われた。【30代】
- 障がい者雇用で働いていたときにパワハラを受けた。「あなたは病気」「時給分働け」等上司から言われた。自分も悪いところがあったと思うが、落ち込んだ。【20代】
- いじめにあったことがある。【20代】
- 職場で気持ち悪いと言われたこと。【40代】
- 「わからない」「できない」ことだらけなので、少しでも言葉に詰まると白い目で見られる。「わかるでしょ？」と言われるのがつらい。【40代】

- 就労継続支援事業所への体験時、職員の障がい者への理解が乏しく、障がいをひとくくりで考えている。面談時、場を和ませるわけでもなく高圧的、威圧的な態度で意味のわかりにくい言葉足らずな質問を繰り返す。福祉事業は、公共とはいえ実際は利用者との契約で成り立つ事業。自己研鑽を怠り、利用者の実利（福祉）とは程遠いと思う。本人は確かに腰痛があり、多少作業にも影響があったかもしれませんが、体験は1週間のはずでした。もう少し様子見したいと、あと2週間体験を延ばし、最後の面談時「やはり腰が心配だ」と、不合格とは一切言わずこちらからやめると言うのを待つ態度。1週間でわからなかったのか…理解不能でした。今ではやめて正解だったと思います。【20代】
- 障がい者枠で仕事をしているが、周りの理解がない。いつでも障がいありに甘えていないで周りの人と同じくらい作業するようにと言われた。いつもスピードを求められている。【20代】
- 発達障がい、自分の行動や言葉にバカにされたりする。自分でも、なぜあたりまえのことができないのか、とても嫌になる。【40代】
- 障がいがあるとわかると態度や言い方が悪くなる。【40代】
- 一方通行に言われ、答えても「話聞けや」などのパワハラ、障がい者虐待的なこともある。仕事ができないから早く行くのに、それが職員の負担だと強く（暴言のように、怒る口調で）言われ、現在は仕事が間に合わないこともある。【40代】
- 人との関わり方が少し苦手なため、うまく仲良くできない。【30代】
- 障がい者雇用で働いていたとき、上司に精神病の理解がなく、パワハラを受けてお仕事を辞めた。【20代】
- ありすぎて書ききれない。【50代】
- 親戚から敬遠される。【50代】
- 一生懸命取り組んだとき、時間が足りなくて、「そんなに頑張らなくていい」と言われた。【30代】
- インターネットで、差別的な書き込みをよく見かける。【20代】
- 小学生の頃、下級生に鳥の巣を、頭の上に寄せられた。【20代】
- 高校生のとき、先生に、具合が悪そうに見えないと言われた。【20代】
- 「障がいを言い訳にするな」と、強く言われた。【40代】
- 体調が悪く、仕事を休ませていただくとしたら、許可が出ず、職場の上司が家にまで来たことがありました。【40代】
- 親やパートナー、職場の上司等の会話で、問題を指摘される際に、障がいのことを持ち出されることがあるが、障がいの原因であると立証されている場合はともかく、何でもそのせいにされると、つらいし納得できないことがある。【30代】
- 新人の頃に、3人位でやる仕事を全部押し付けられ、すぐに終わらなかったため、押し付けてきた上司から「あーとかうーしか喋れねえほどの障がい者じゃねえくせに、こんなのもできねえのかよ、バカが」と怒鳴られた。【20代】
- デジタル障害者手帳ミライロIDを使って、バスを利用した際に、運転手から「その画面は違う」と言われ、手帳を提示させられた。手帳に記載されていることはすべて登録し、すべての画面を見せたにもかかわらず。【50代】
- 被害妄想かもしれませんが、自分が浮いているように思う。【50代】
- 面接を受けに行った際、うつ病だと言ったら、うつ病だということだけを理由にその場で落とされました。大泣きしながら家に帰りました。【40代】
- 避けられたり。【40代】
- 学生の頃は仲間はずれにされたり、こそこそ話をされたりした。仕事で失敗してみんなの前で怒られた。親戚で障がいに理解がない人がいて、「恥ずかしいから手帳もらってるとか言わないでくれ」と言われた。【40代】

- 兄に精神異常者扱いされている。一緒に住んでいた頃は、兄夫婦にいじめられていた。家族に理解されていない(母)。【50代】
- コミュニケーション等であからさまにイライラされたり、バカにされたりする。親に障がいを理解されず、手を上げられたりした。【20代】
- 会社をクビにされた。【40代】
- 会社での降格処分。【50代】
- 自分の障がいが嫌。【10代】
- 学生友達に障がい者扱いされるのがつらい。【10代】
- 障がい者扱い。言われなくてもこそこそ言われている。【20代】
- まじめに働いているのに「サボっている」と言われたことがある。陰口であり、私に面と向かって言うておらず、当人の偏見であると思う。【30代】
- 呼び捨てにされたことが何回もある。パワハラ防止を守っていない人がいる。自分が言ってることが、相手からしたらわからないことがある。終始他人のペースに追いつけない。自分で行った行為が悪い方向へ向かっていく。自覚はあるのに自分で直そうと思わない。【20代】
- 家族から「ニート」「食っちゃ寝、食っちゃ寝している」と言われる。知人たちから障がいや病気について理解してもらえず、働けないことを理解してもらえない。【40代】
- 会社で一部の人間から無視や仲間外れなどを受けた。【30代】
- いじめ。【20代】
- 学校の勉強についていけなかった。【20代】
- 他者と意思疎通ができない。話ができない。会話が成立しない。他者の話を理解できない。【30代】
- 小・中学校(支援学校ではなく支援学級に在籍中)の頃いじめにあった。【10代】
- 会話にならない。主観的にはおかしいことを言っているつもりはなく、質問に答え、話を脇道にそらしているつもりもなかったが、実際に録音して、言ったことを文章に起こしてみると、話していたときの感覚とはひどくずれていた。このため、真剣に話をしてくれている人ほど怒らせていた。【30代】
- 学校の先生の理解がなく、ひどい言葉を言われたり、冷たい対応をされたりした。学校でのいじめ。【20代】
- 「障がいがあることを理由に」かどうかわかりませんが、就労移行支援で紹介された仕事が2回続けてトイレ掃除を含む掃除の求人だけでした。週に5日、1日4時間、毎日トイレ掃除をしないといけない。その仕事だけの求人というのは何となく「みんながやりたくない仕事を障がい者に押し付けている」のではないかと嫌な気持ちになりました。【40代】
- 統合失調症になり、仕事の休憩時間に薬を飲んだところ、幻聴は錯覚だと言われた。薬の服用で体重が著しく増えたとき、「太ったね」と言われた。また、ときどき時短勤務になったとき、時短では会社が困ると言われた。【20代】
- 仕事の面接で「障がいがある」と話すと採用されない。障がいがあることを話すと、人間関係が続かなくなる。【40代】
- うつ病を再発し、仕事が休みがちになったので会社をクビになった。そのときは契約社員だった。【40代】
- 対応が目に見えて悪かった。【年齢不明】
- 就活で、精神障がいだったために落とされた。日中突然具合が悪くなるかもしれないことが原因。仕方ないとは思っています。【20代】

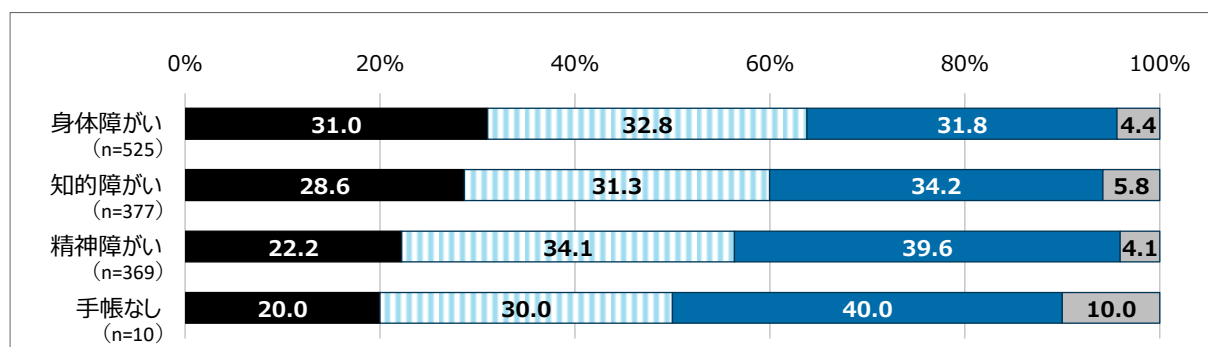
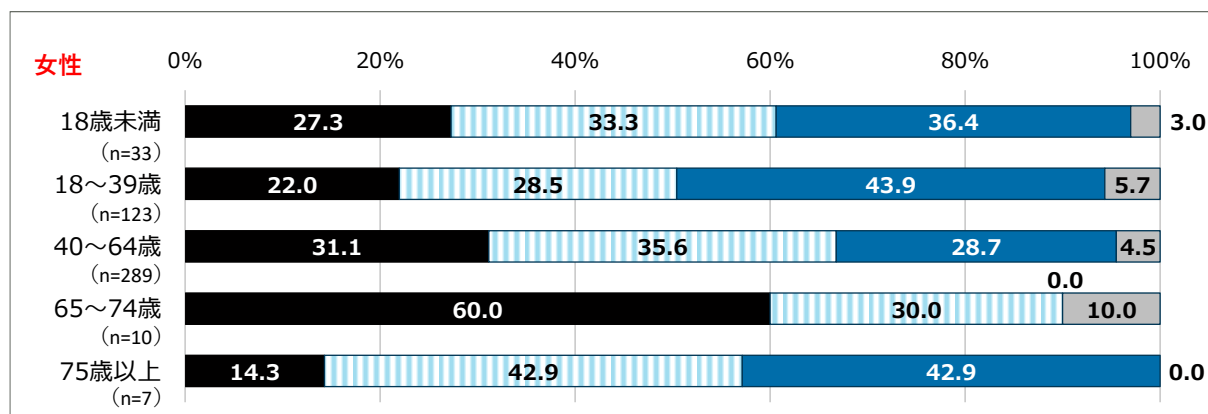
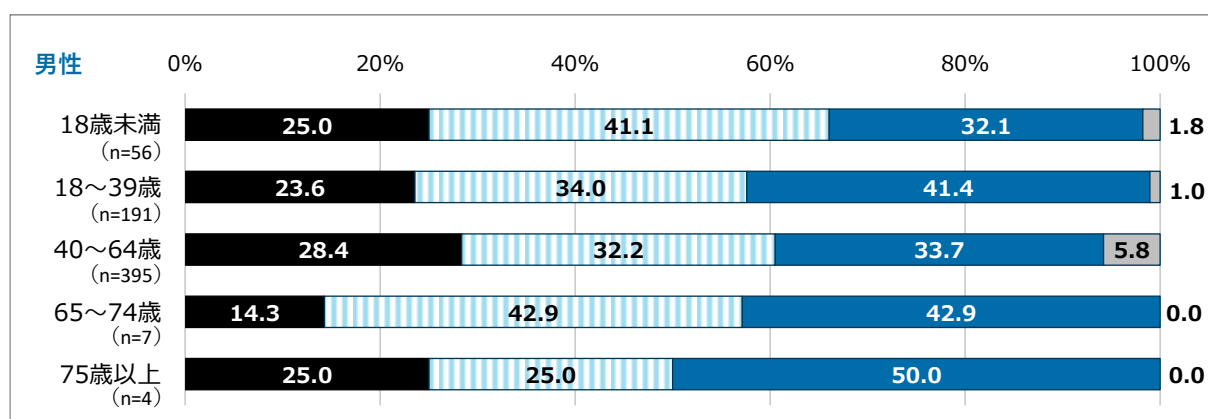
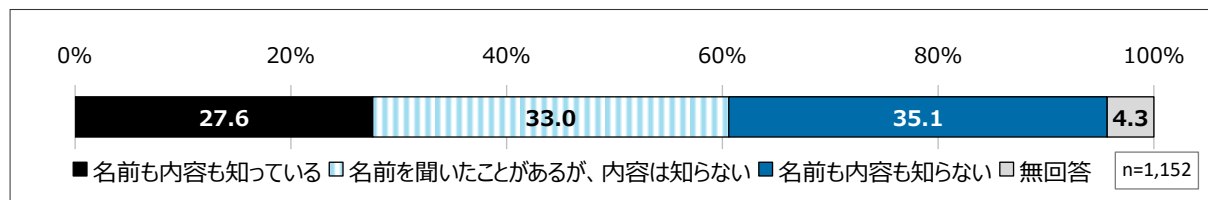
- 就学相談で、あらかじめ医師の診断書を提出し、障がいの程度は知らせていたが、就学時検診の際、検査方法等に何の配慮もなく、言葉の理解に困難があったため視力・聴力検査が受けられなかった。実際は「検査不能」であったが、「異常あり」と通知が来た。検査不能と異常ありでは意味合いがまったく違う。【10歳未満】
- バカにされる。【40代】
- 目線が違う。【40代】
- モラルハラスメント。陰口。【年齢不明】
- 無視されたり、陰口を聞いたり（今はない）。【40代】
- 家族に障がいがある人がいる人と比べられた（重いか軽いか）。自分のところといいか悪いか。【60代】

問 39 成年後見制度の認知度

成年後見制度についてご存じですか

「名前も内容も知っている」は 27.6%で、「名前も内容も知らない」は 35.1%となっています。性別、年齢別にみると、男性のほうが「名前も内容も知らない」割合が高く、年齢が上がるほど「名前も内容も知らない」割合が高くなる傾向がみられます。

障がいの種別にみると、身体障がいでは「名前も内容も知っている」割合が高くなっています。

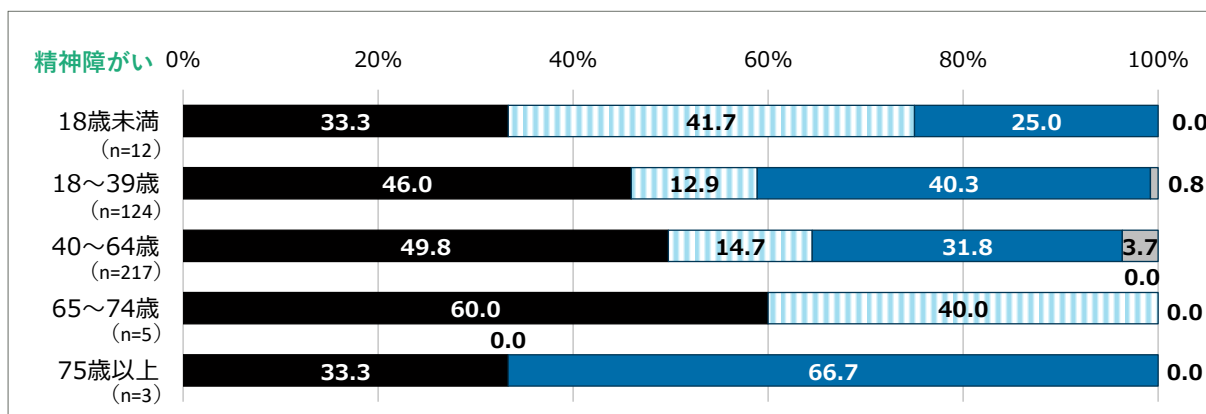
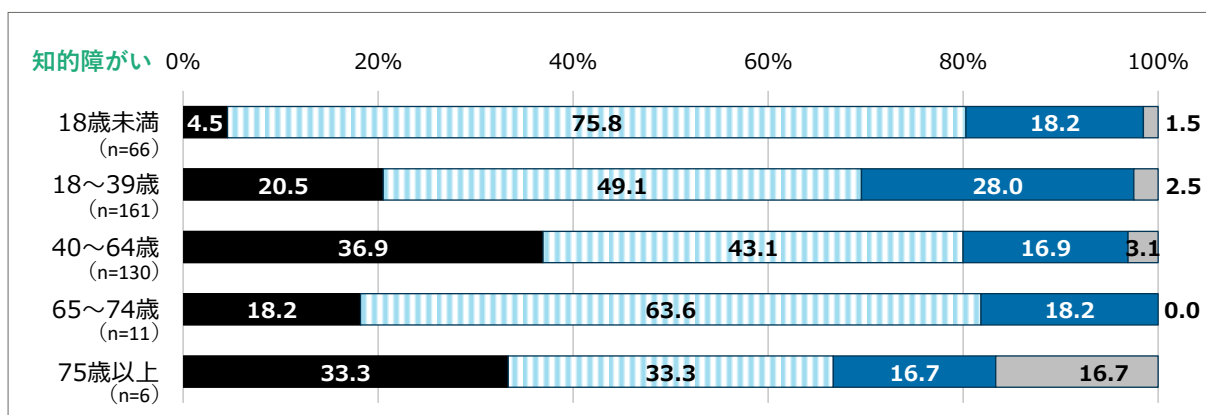
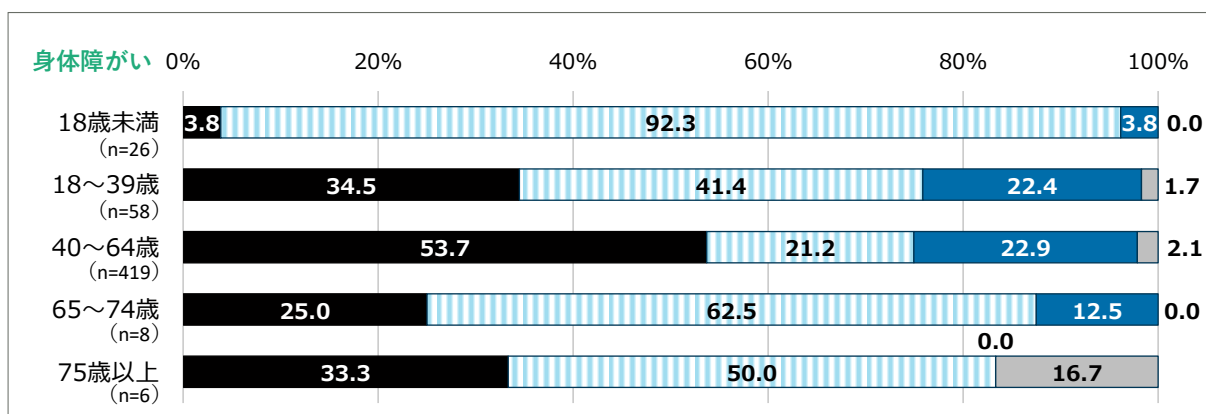
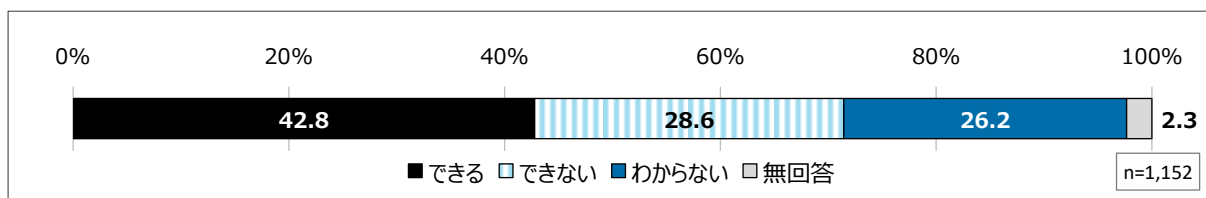


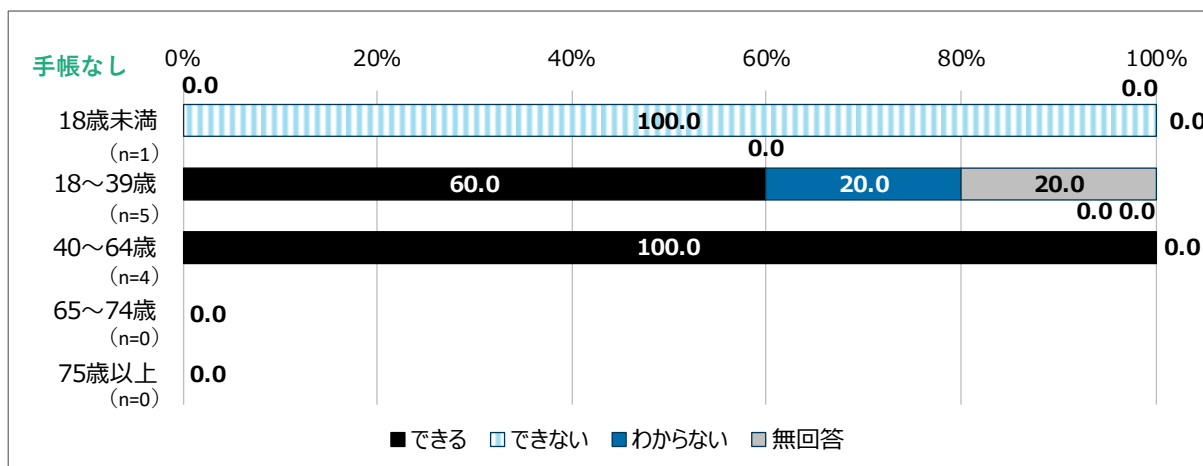
■ 災害時の避難

問 40 災害時の避難

あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか

「できる」が42.8%、「できない」が28.6%となっています。

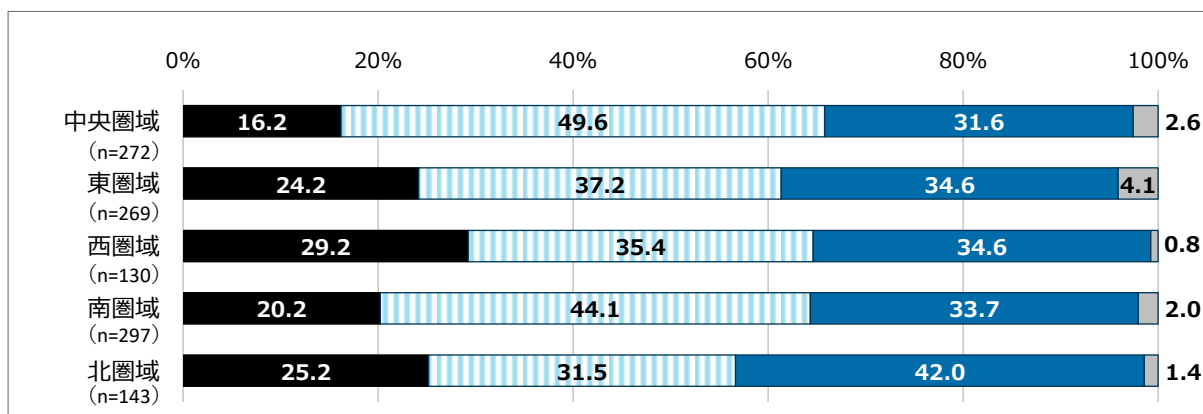
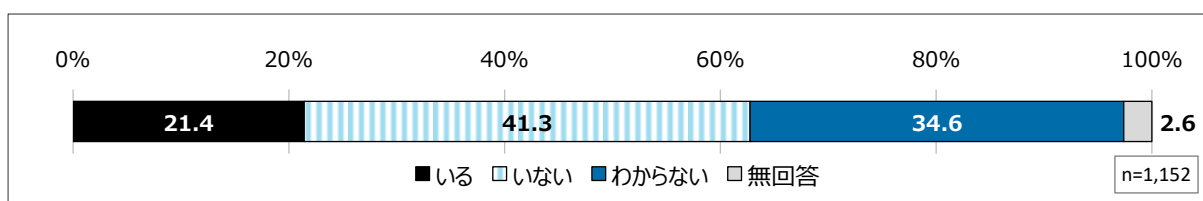




問 41 近所で助けてくれる人

家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか

「いる」が21.4%、「いない」が41.3%で、「わからない」が34.6%となっています。
 居住圏域別にみると、西圏域で「いる」の割合が最も高くなっています。「いない」の割合が最も高いのは中央圏域となっています。

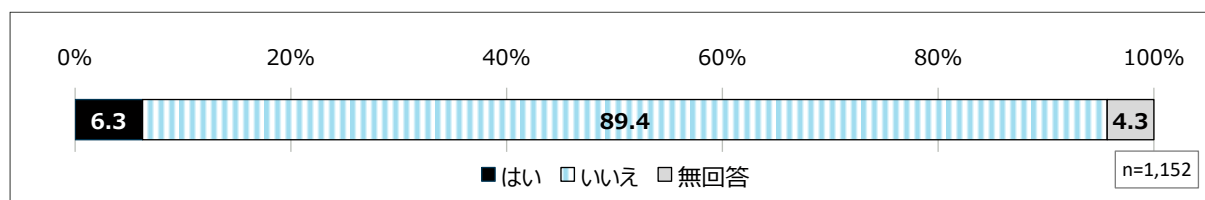


問 42 個別避難計画

個別避難計画やマイ・タイムラインを立てていますか

- ◆ 個別避難計画とは、災害時の避難支援等を実効性のあるものとするため、高齢者や障がいのある方など、自ら避難することが困難な避難行動要支援者ごとに作成する計画であり、避難行動要支援者を「誰が支援するか」「どこに避難させるか」「避難するときどのような配慮が必要か」などをあらかじめ記載した計画です。個別避難計画は、避難行動要支援者と日頃から繋がりのある地域の支援者や自主防災組織の人などと一緒に、福祉事業所などにお手伝いいただきながら作成していきます。作成した計画書は、対象者ご本人の同意を得たうえで、支援者と平時から共有し、災害時の円滑な避難の実現に繋げていきます。
- ◆ マイ・タイムラインは、台風や大雨など、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせ、「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画のことです。

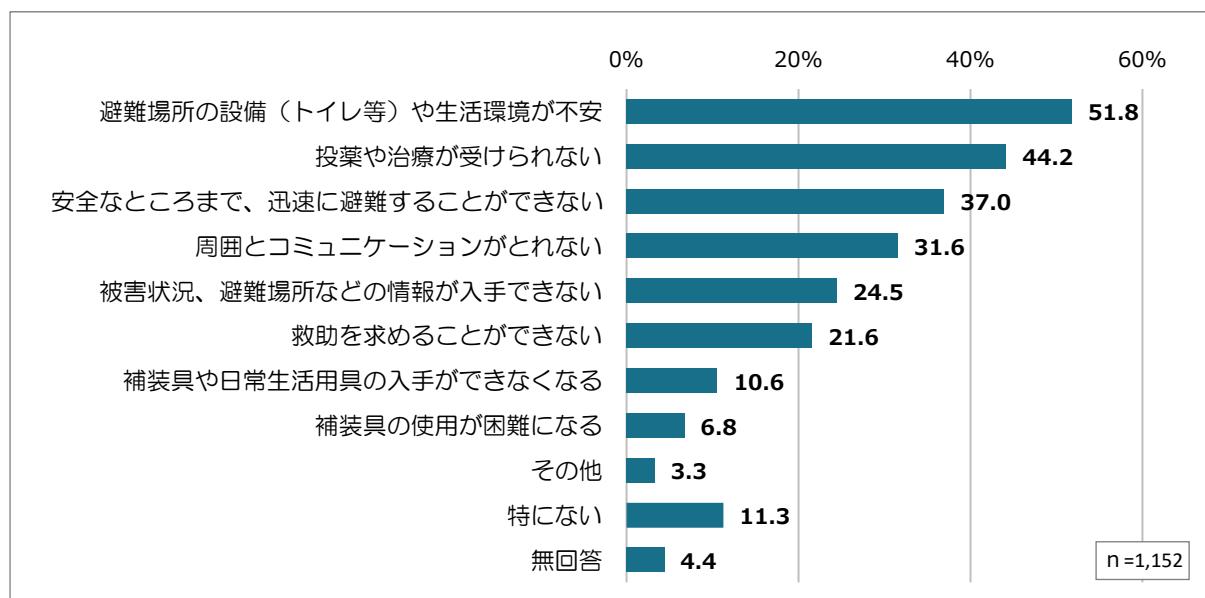
「はい」が6.3%、「いいえ」が89.4%となっています。



問 43 災害時に困ること

火事や地震等の災害時に困ることは何ですか（複数回答）

「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が51.8%と最も高く、次いで「投薬や治療が受けられない」が44.2%となっています。

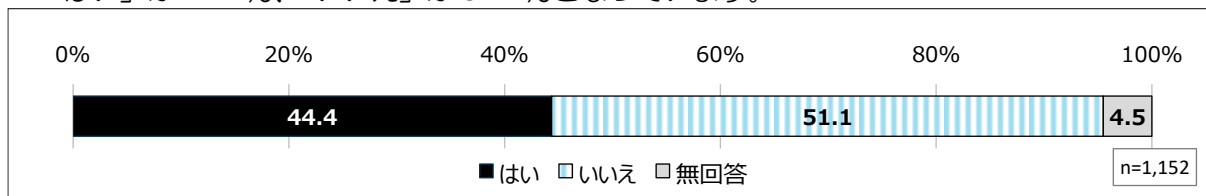


■ スポーツ活動について

問 44 身体を動かすことについて

スポーツや体を動かすことが好きですか

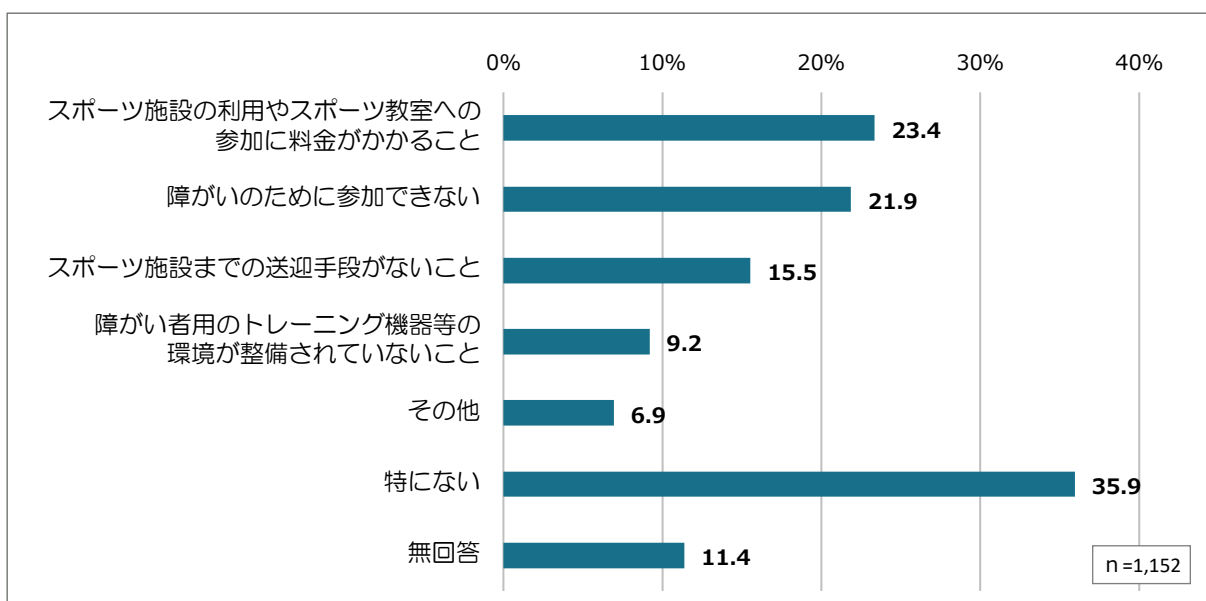
「はい」が44.4%、「いいえ」が51.1%となっています。



問 45 スポーツ活動時に不便なこと

スポーツ活動を行うにあたり、不便に感じるものは何ですか（複数回答）

「スポーツ施設の利用やスポーツ教室への参加に料金がかかること」が23.4%と最も高く、次いで「障がいのために参加できない」が21.9%となっています。「特にない」は35.9%となっています。



問 46 やってみたいスポーツ

興味のある、やってみたいスポーツについて具体的にお書きください（自由記載）

具体的なスポーツ名を記載していたのは 288 人でした（複数回答含む）。回答者数の多かったものは以下のとおりです。

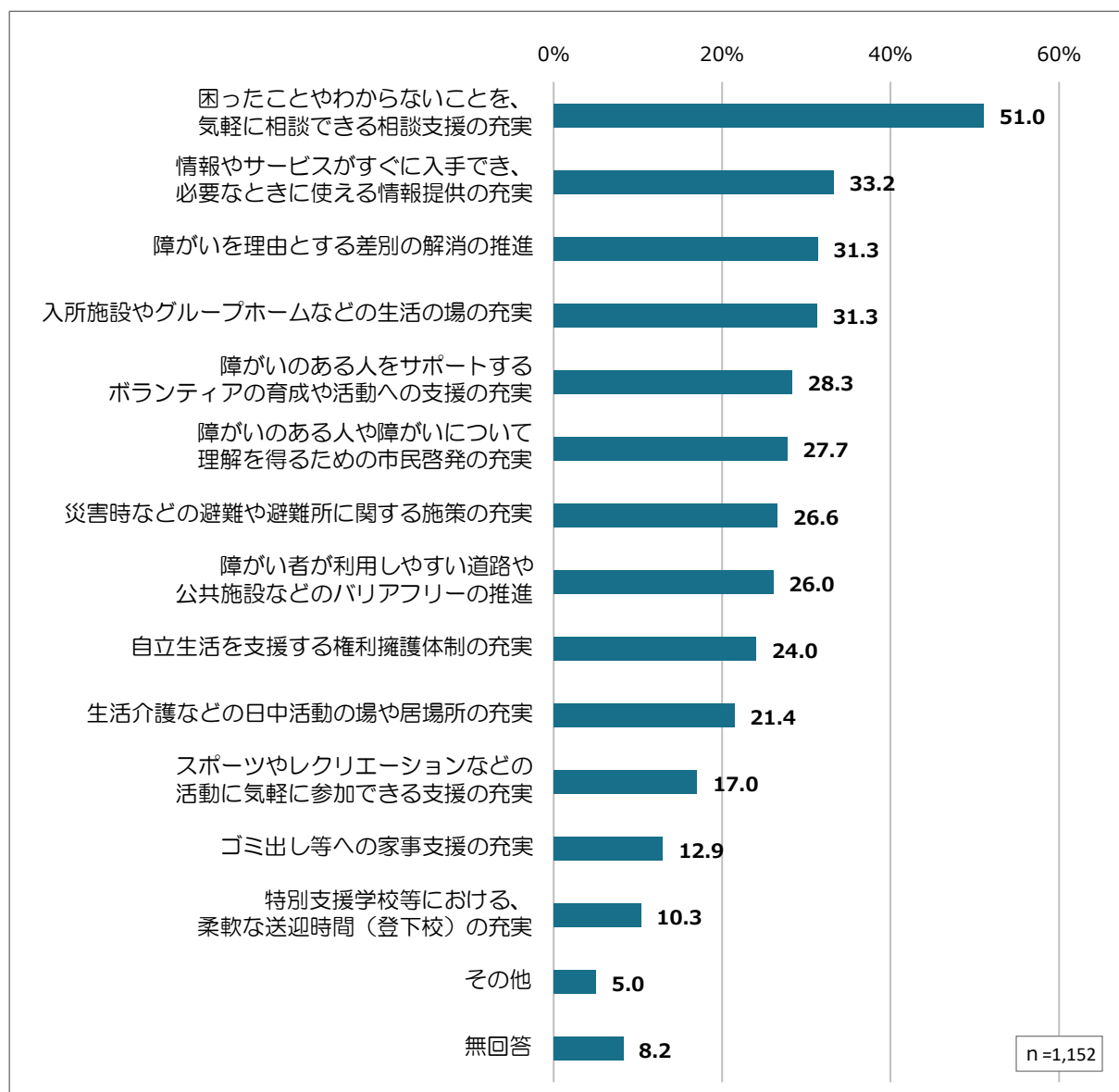
水泳	39 人
バスケットボール（車いすバスケットを含む）	38 人
バドミントン	36 人
卓球	31 人
野球・ソフトボール	22 人
サッカー・フットサル	19 人
テニス・ソフトテニス	19 人
ジム・トレーニング	18 人
バレーボール	16 人
ヨガ・ピラティス	15 人
ダンス（よさこいやフラダンスなどを含む）	15 人

■ 障がい福祉施策について

問 47 新発田市の障がい福祉施策について

新発田市の障がい福祉施策について、今後、特に力を入れてほしいことは何ですか
(複数回答)

「困ったことやわからないことを、気軽に相談できる相談支援の充実」が 51.0%と最も高くなっています。



問 48 障がい福祉サービス等の利用状況と利用意向

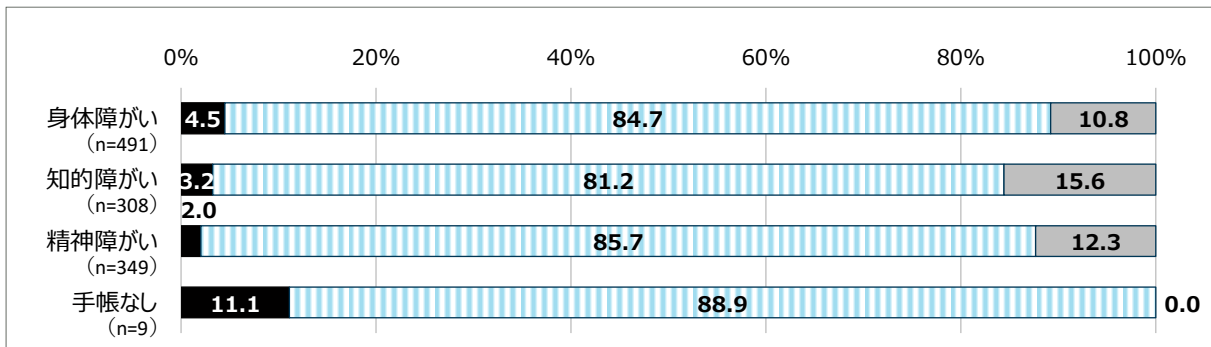
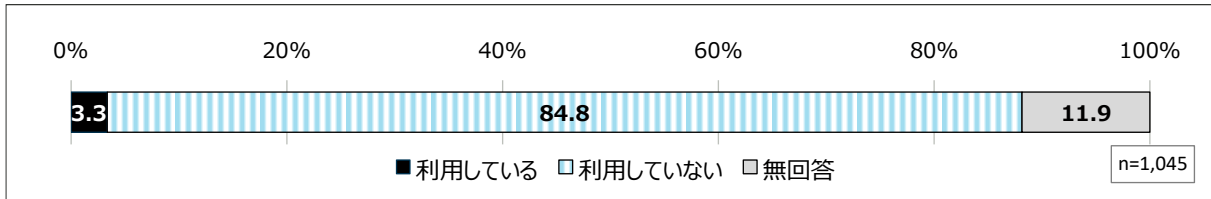
18歳以上の方のみ

以下の福祉サービスを利用したことがありますか。また、今後3年以内に利用したいと思いますか

① 居宅介護（ホームヘルプ）

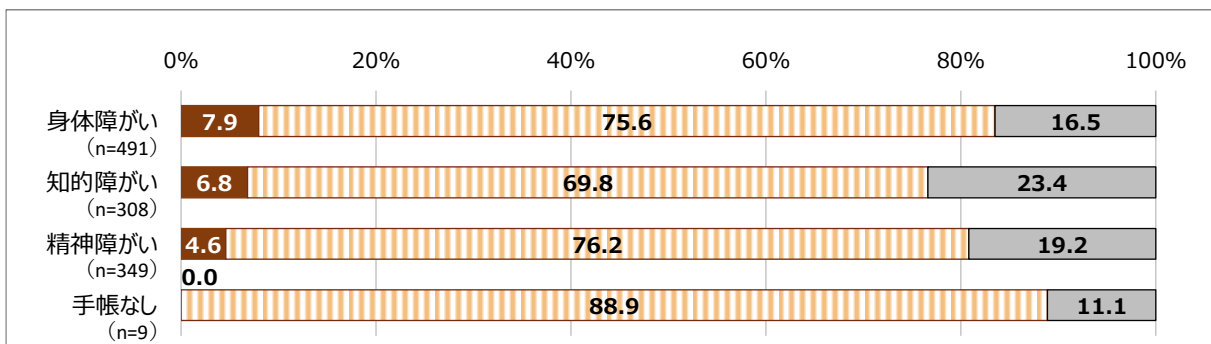
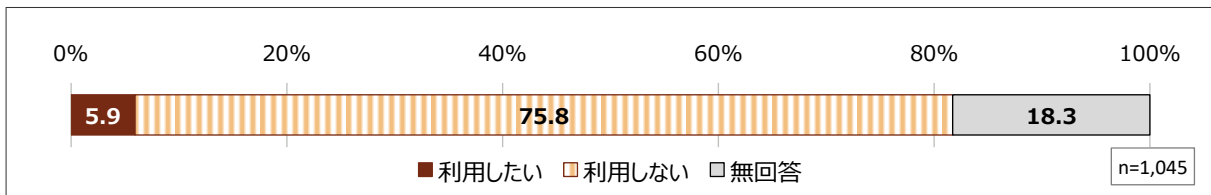
現在の利用

サービス利用者は3.3%となっています。



今後3年以内の利用希望

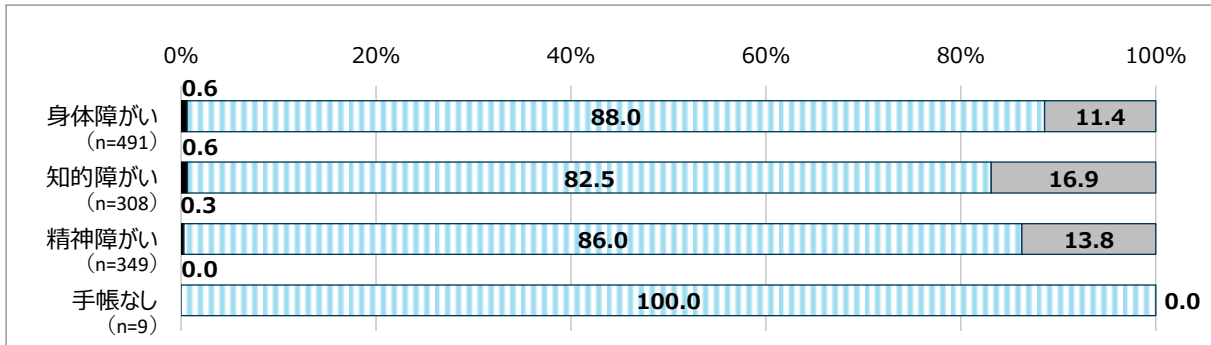
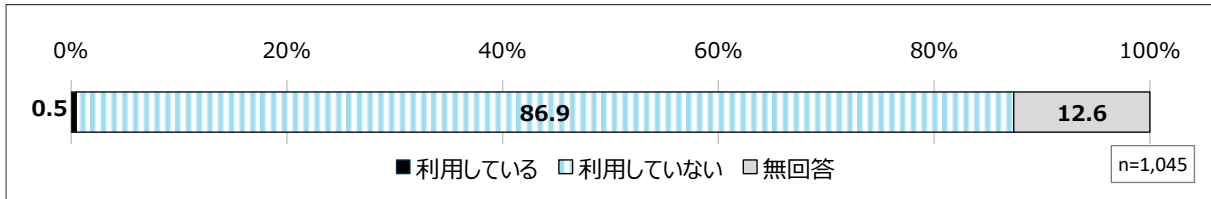
「利用したい」は5.9%となっています。



② 重度訪問介護

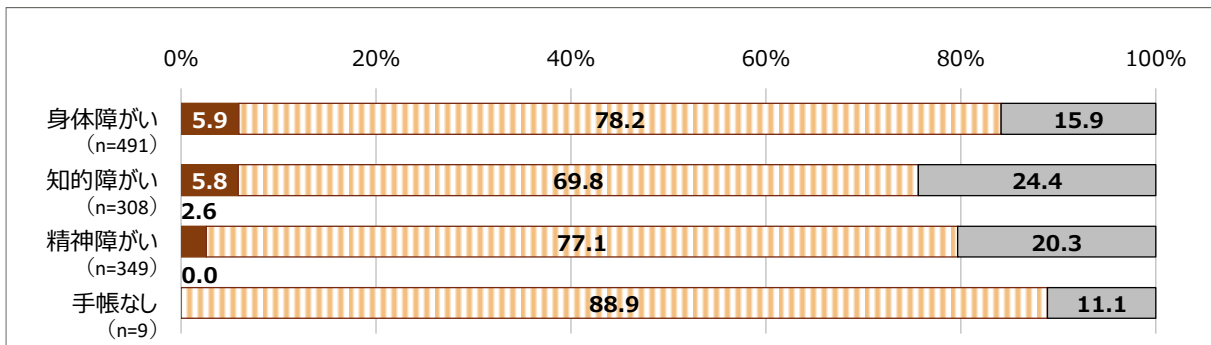
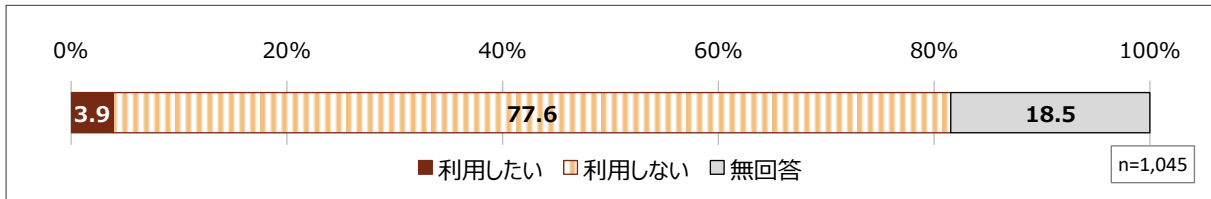
現在の利用

サービス利用者は 0.5% となっています。



今後 3 年以内の利用希望

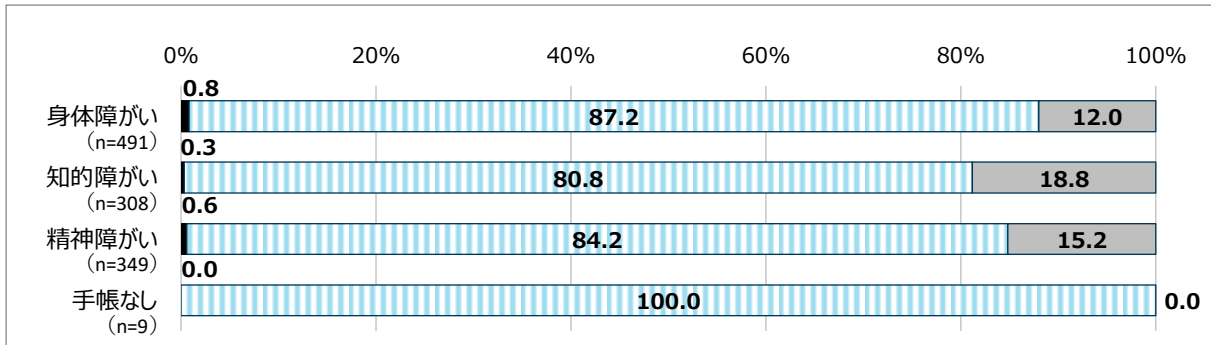
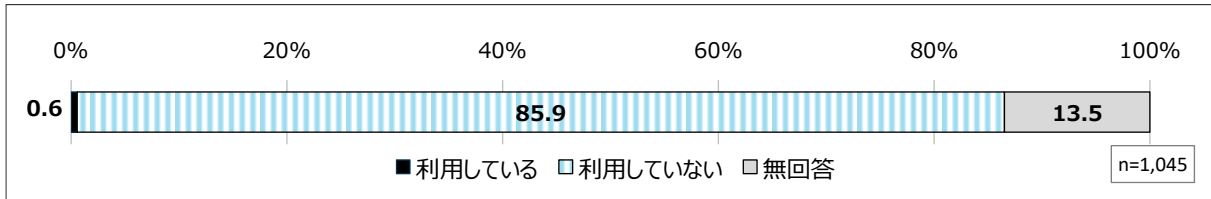
「利用したい」は 3.9% となっています。



③ 同行援護

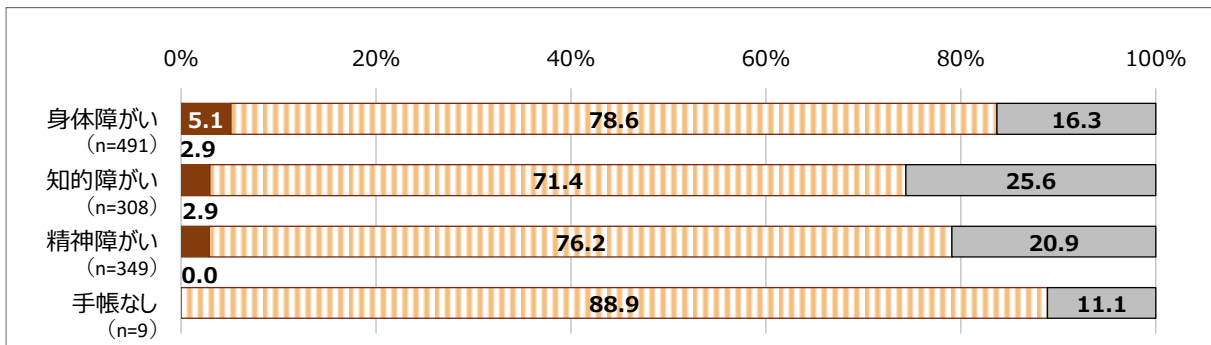
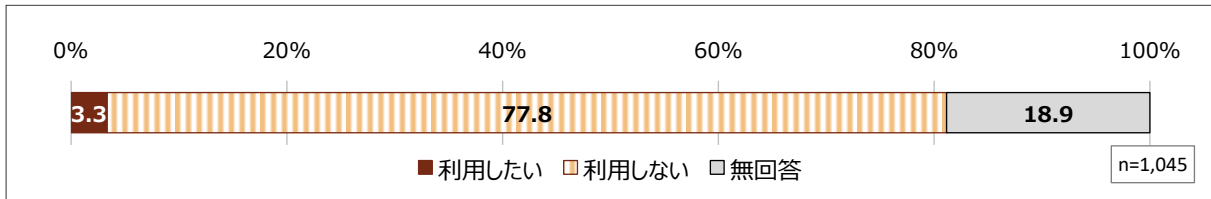
現在の利用

サービス利用者は 0.6%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

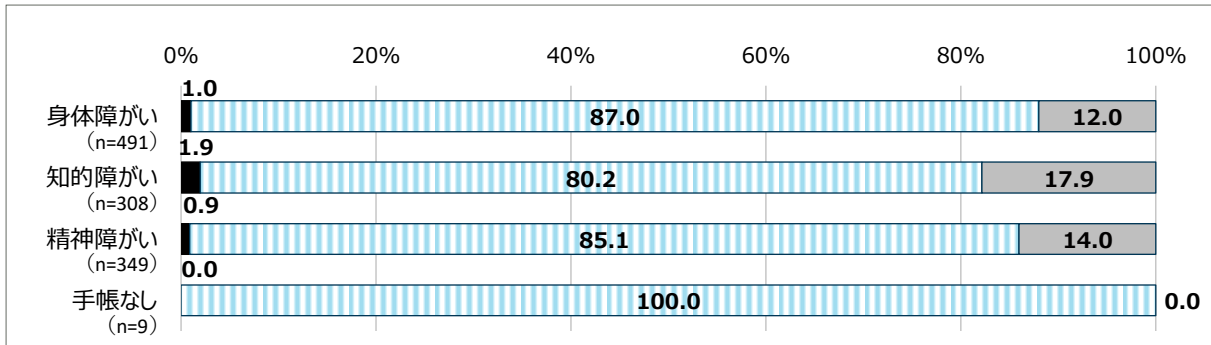
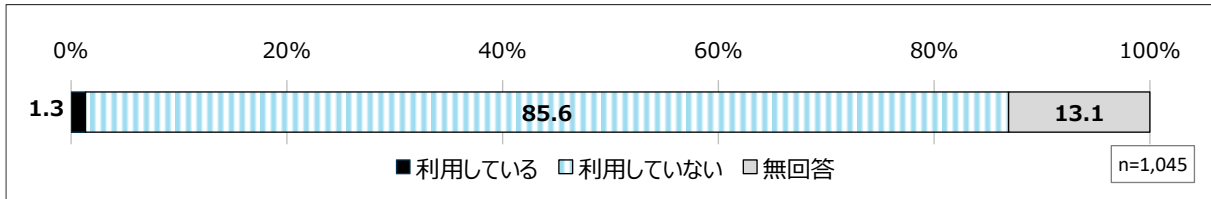
「利用したい」は 3.3%となっています。



④ 行動援護

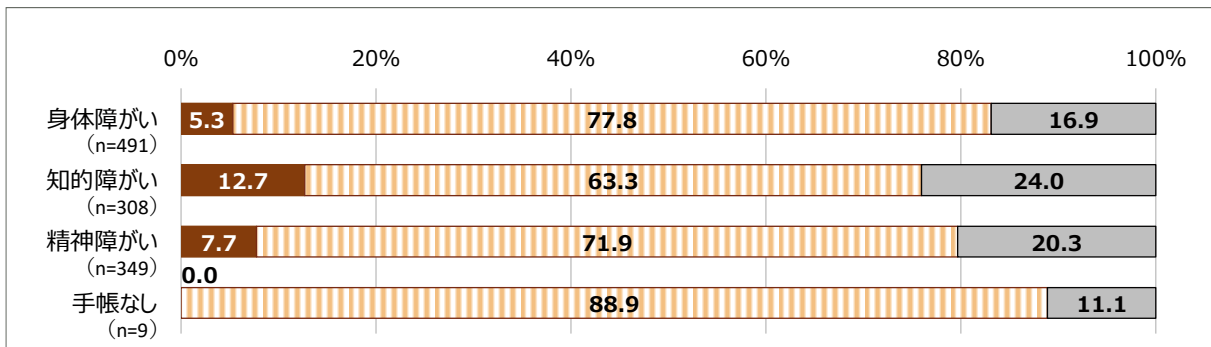
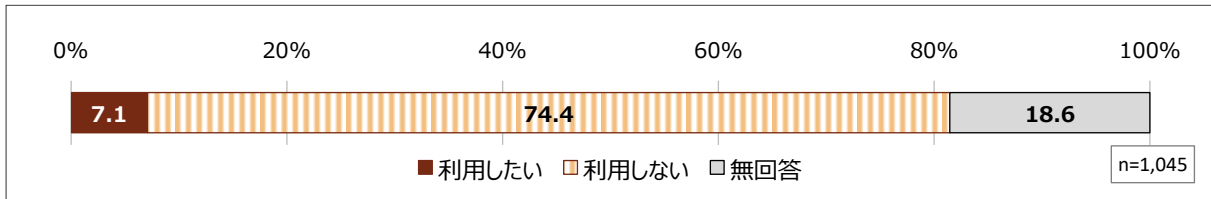
現在の利用

サービス利用者は 1.3%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

「利用したい」は 7.1%となっています。



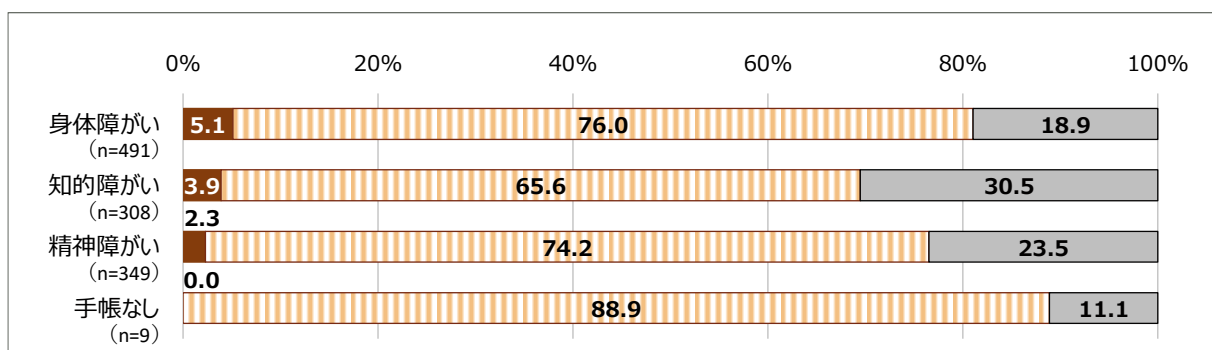
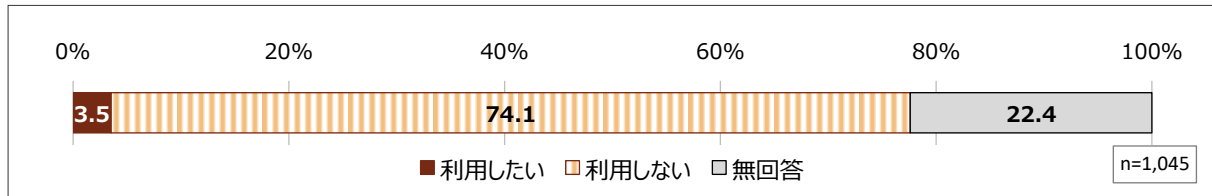
⑤ 重度障害者等包括支援

現在の利用

事業者がないため未実施です。

今後3年以内の利用希望

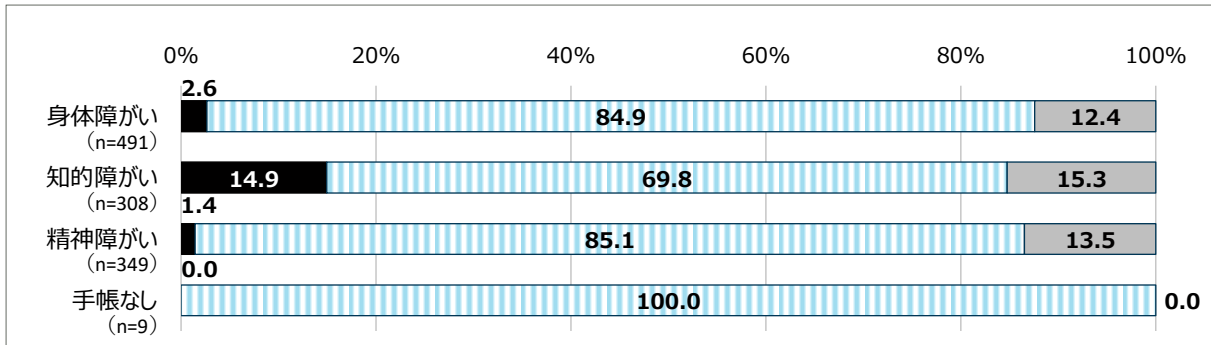
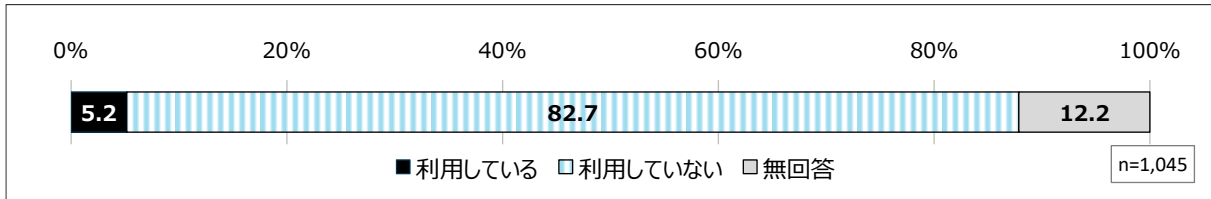
「利用したい」は3.5%となっています。



⑥ 施設入所支援

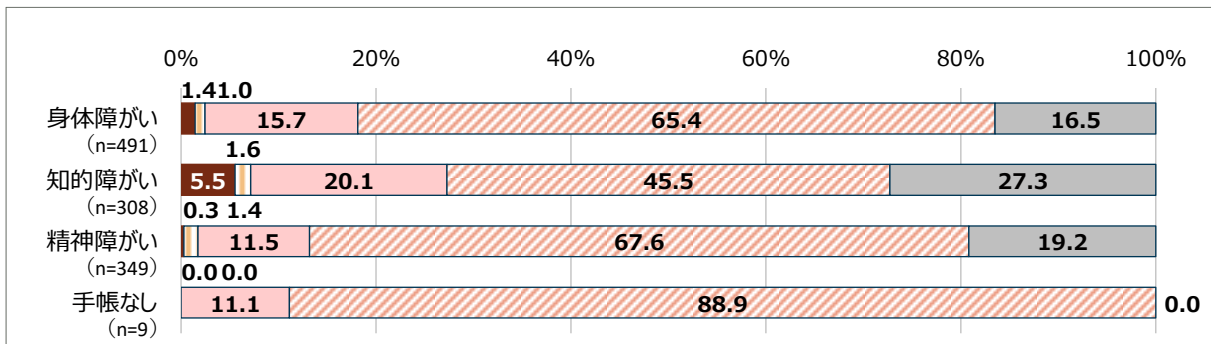
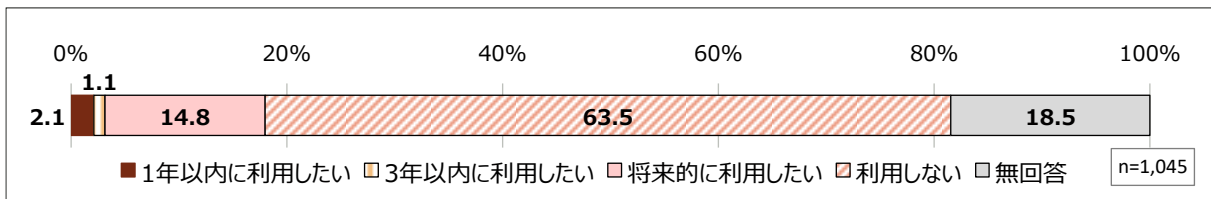
現在の利用

サービス利用者は 5.2%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

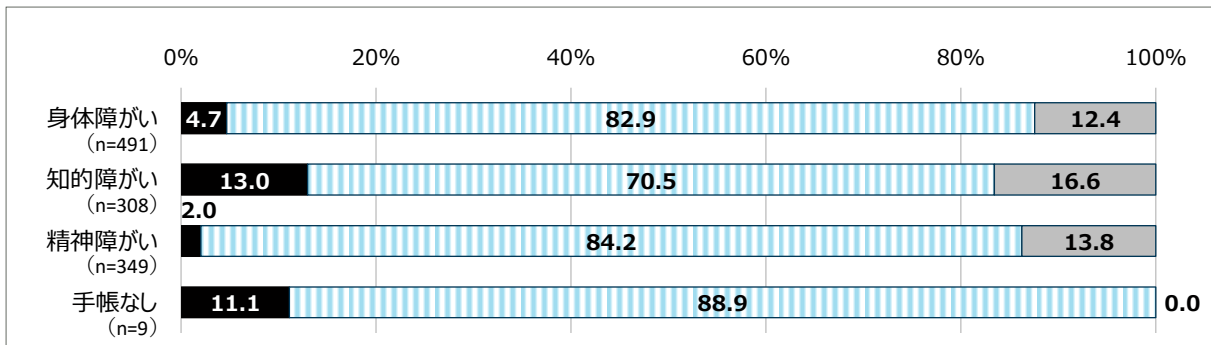
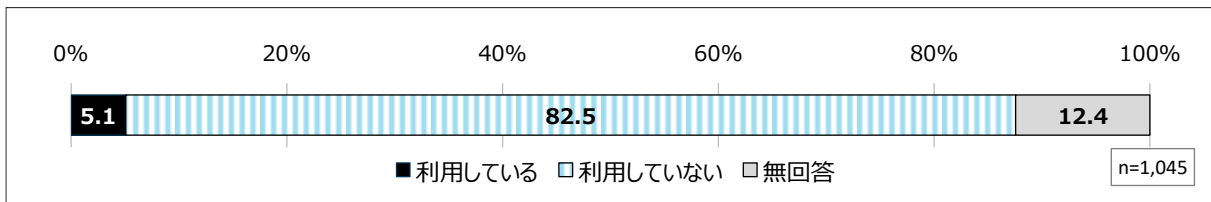
利用したい割合は 18.0%となっています。そのうち「1年以内に利用したい」は 2.1%、「3年以内に利用したい」は 1.1%となっています。



⑦ 短期入所（ショートステイ）

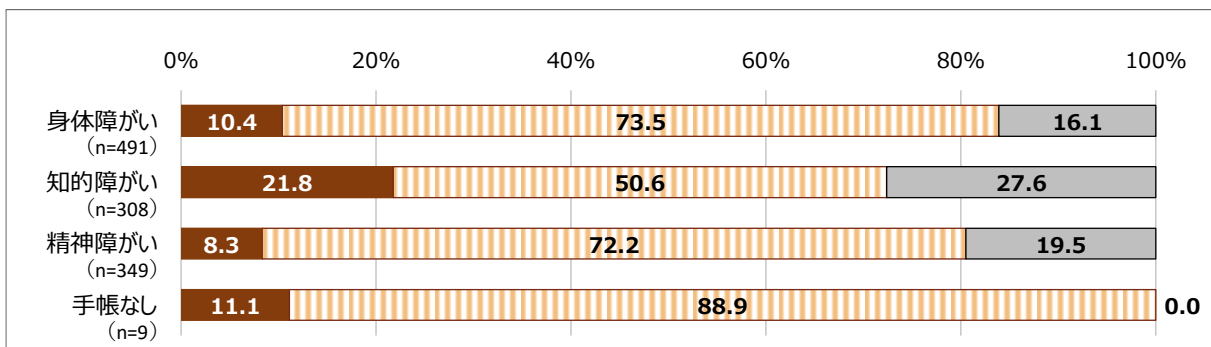
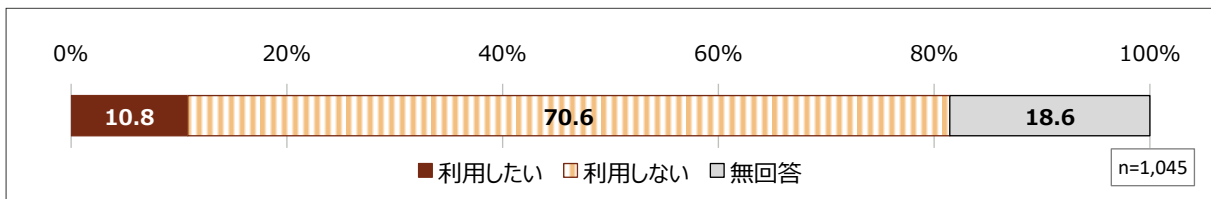
現在の利用

サービス利用者は 5.1%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

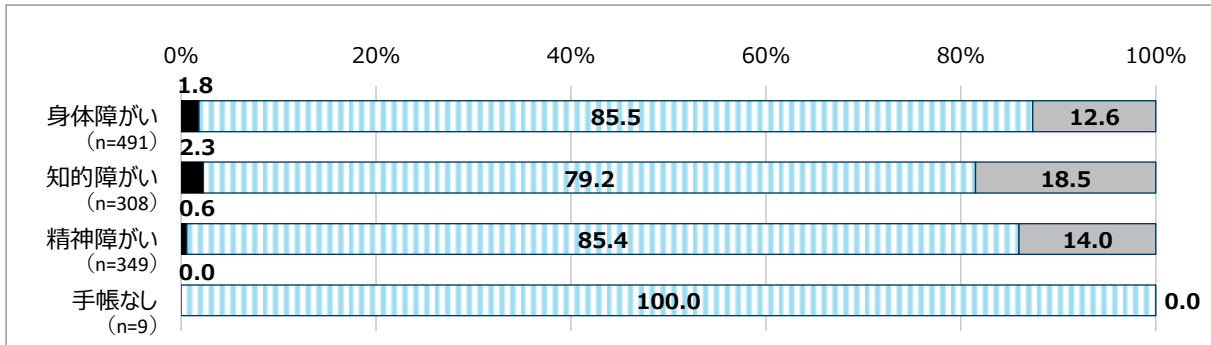
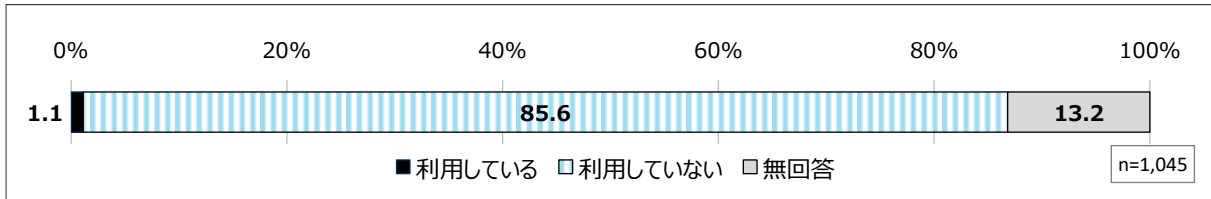
「利用したい」は 10.8%となっています。



⑧ 療養介護

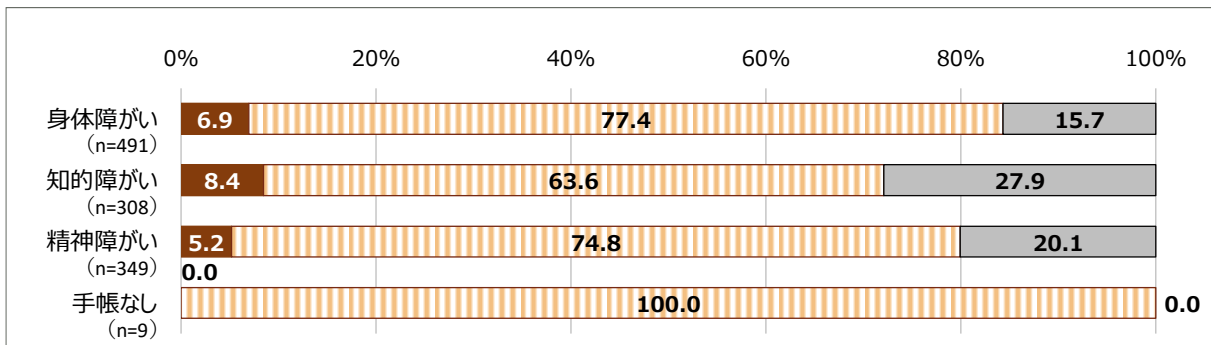
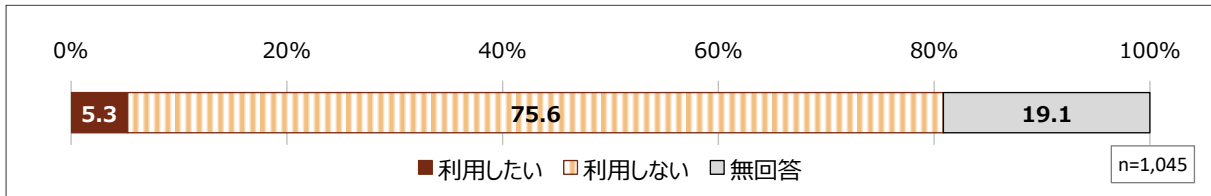
現在の利用

サービス利用者は 1.1%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

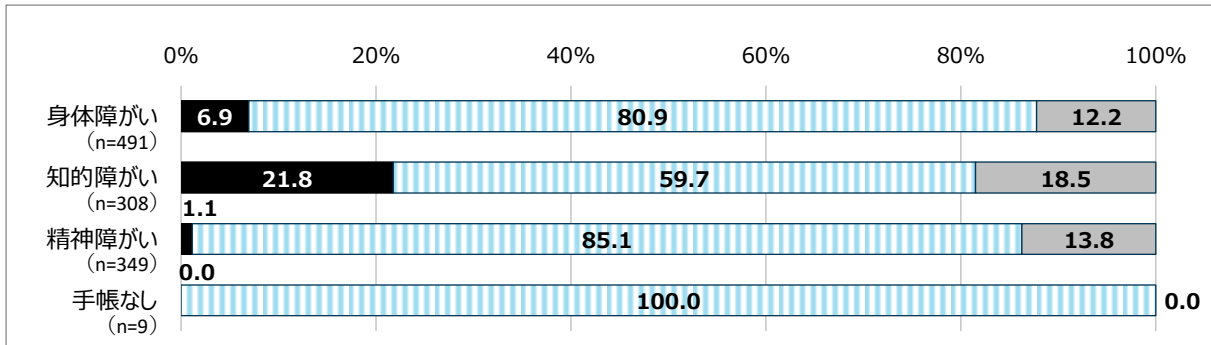
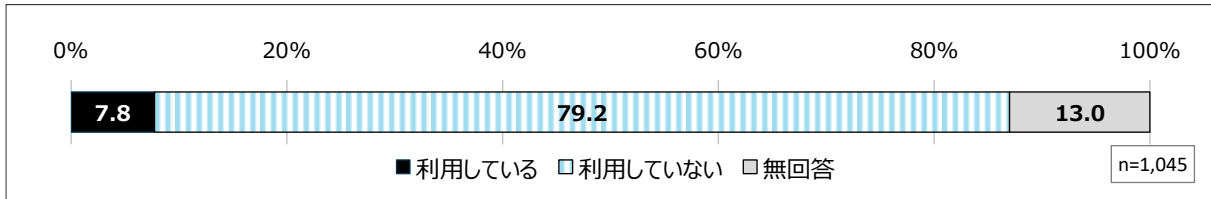
「利用したい」は 5.3%となっています。



⑨ 生活介護

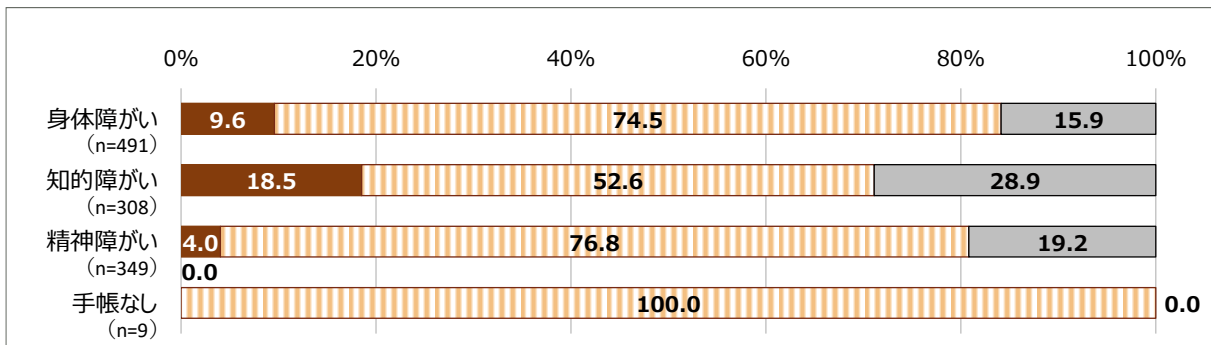
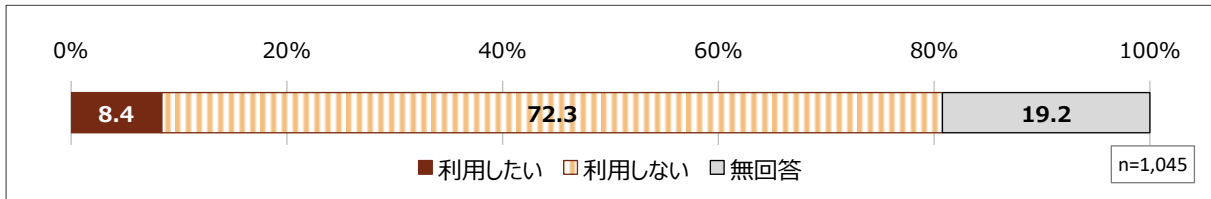
現在の利用

サービス利用者は7.8%となっています。



今後3年以内の利用希望

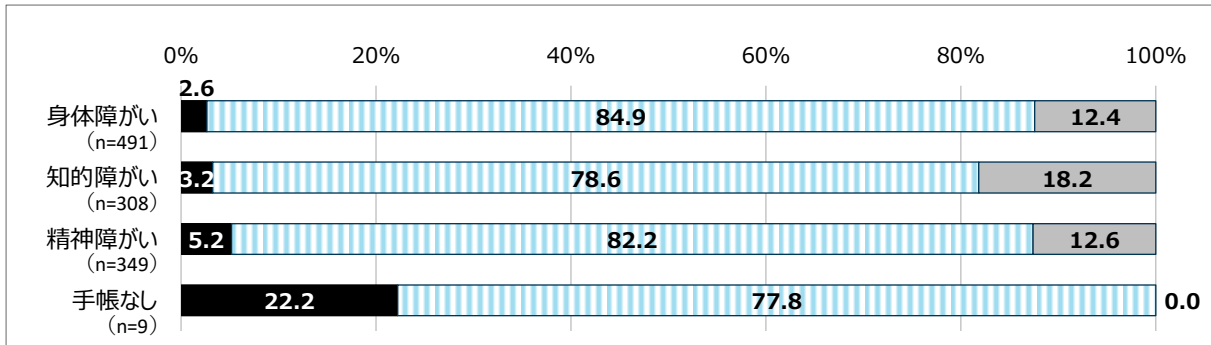
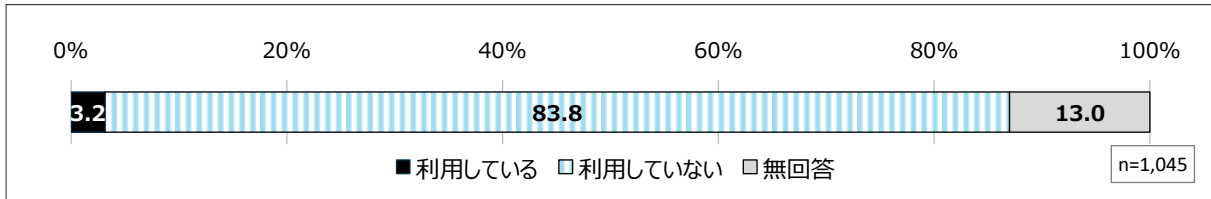
「利用したい」は8.4%となっています。



⑩ 自立生活援助

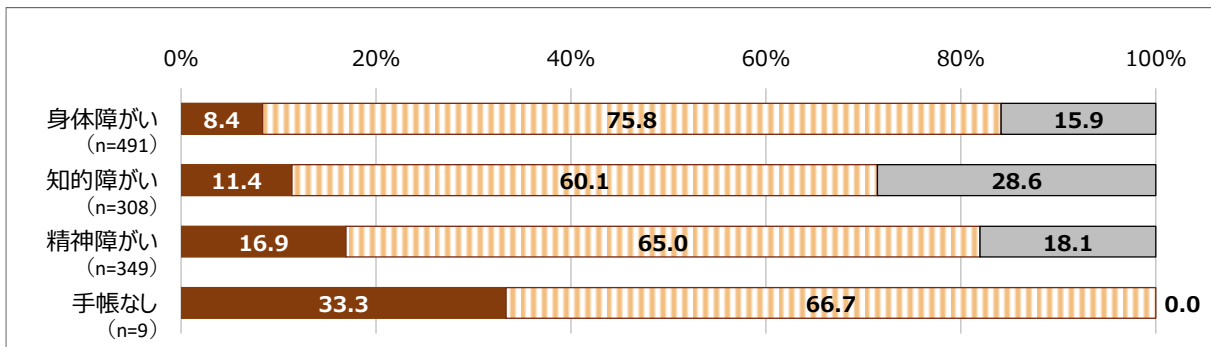
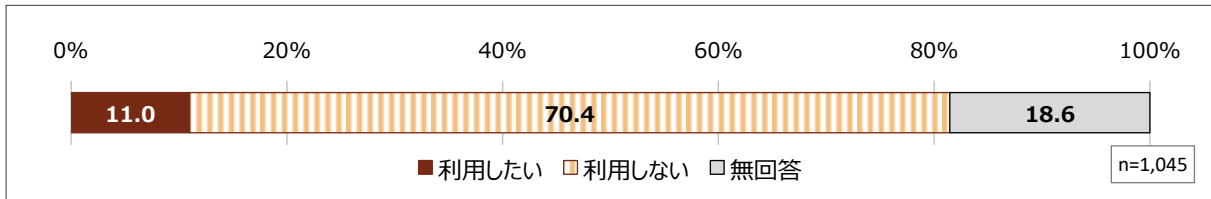
現在の利用

サービス利用者は 3.2%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

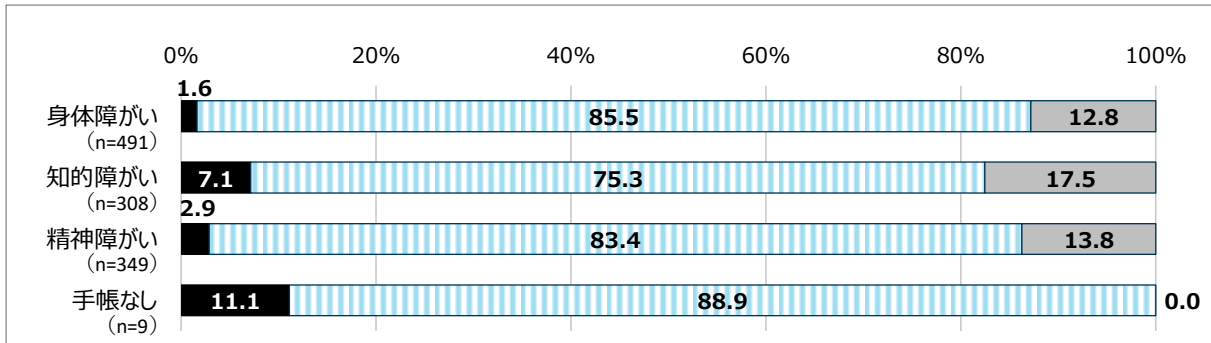
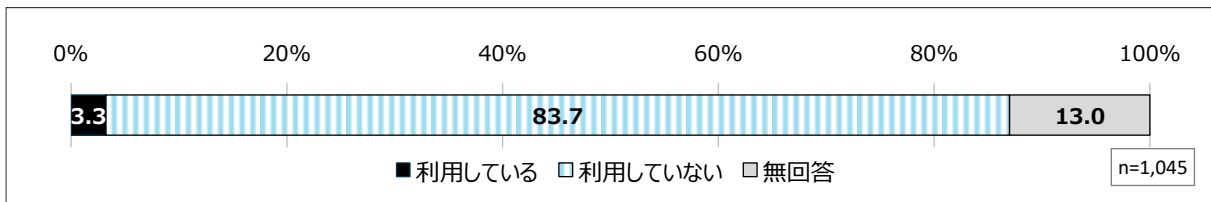
「利用したい」は 11.0%となっています。



⑪ 共同生活援助（グループホーム）

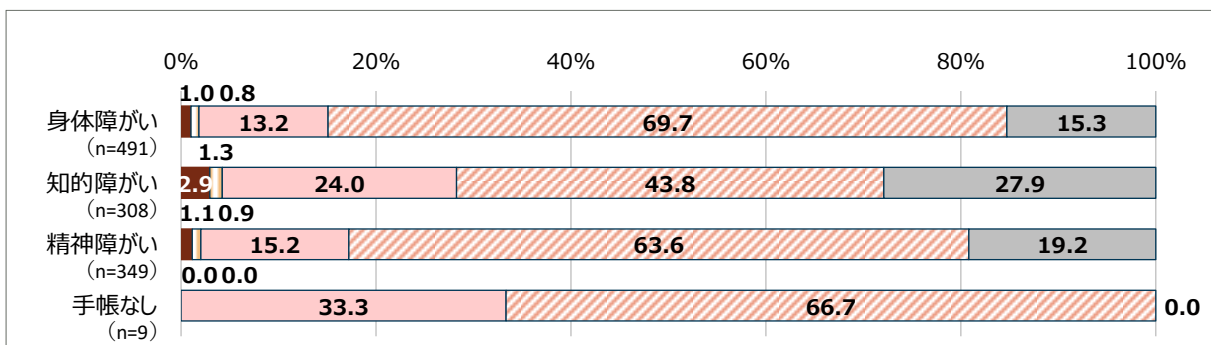
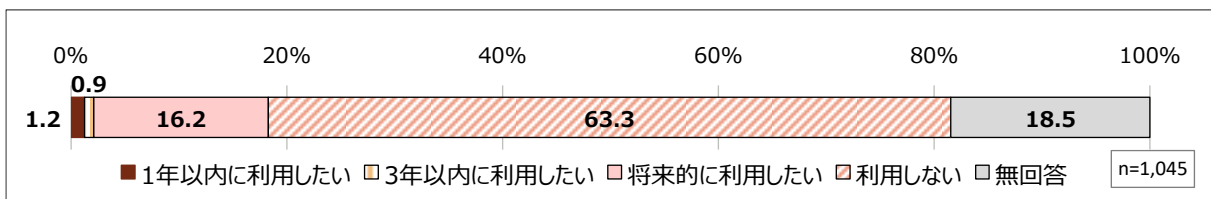
現在の利用

サービス利用者は 3.3% となっています。



今後 3 年以内の利用希望

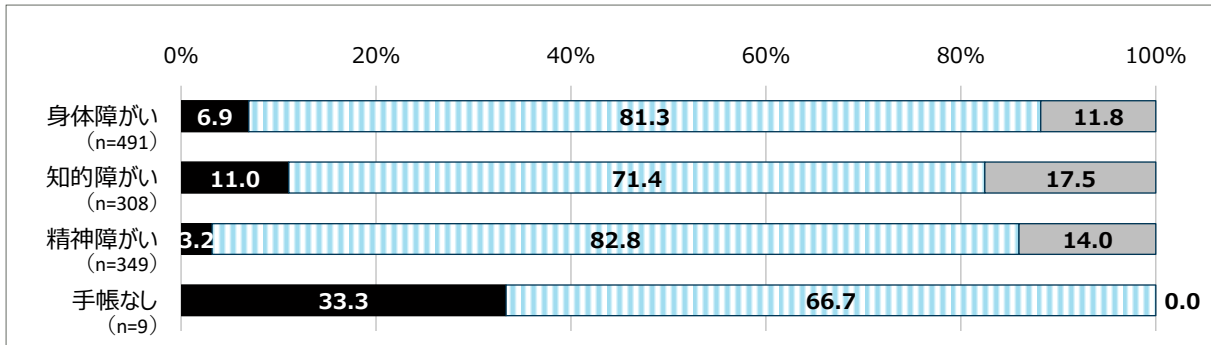
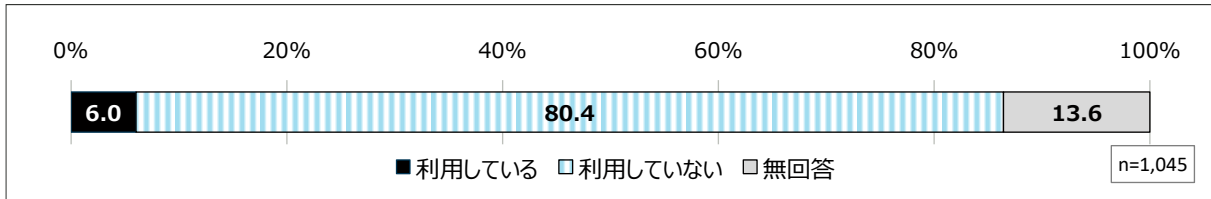
利用したい割合は 18.3% となっています。そのうち「1 年以内に利用したい」は 1.2%、「3 年以内に利用したい」は 0.9% となっています。



⑫ 自立訓練（機能訓練・生活訓練）

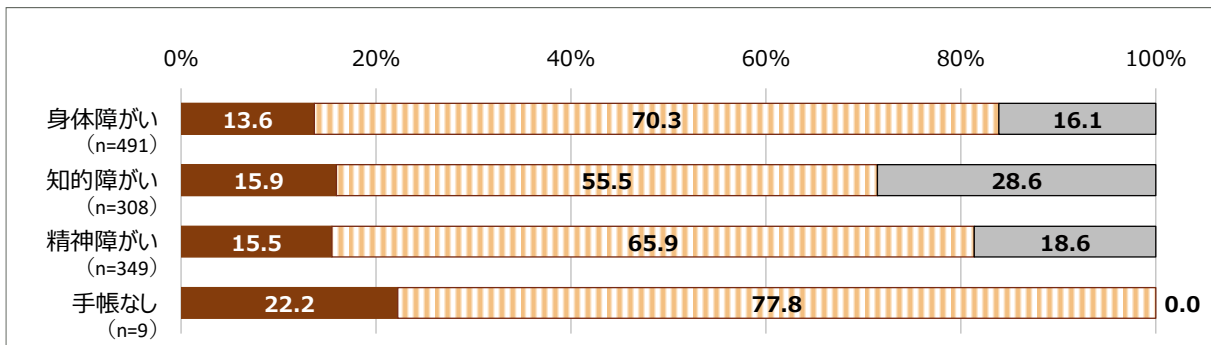
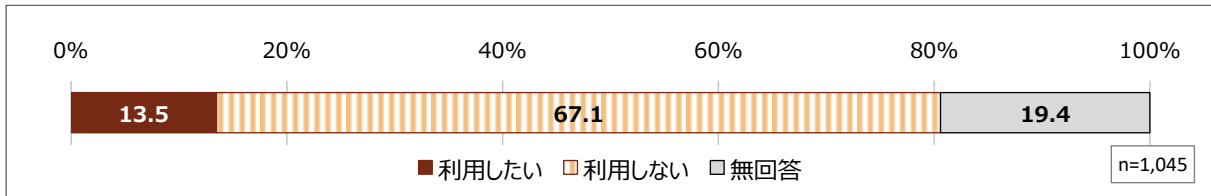
現在の利用

サービス利用者は6.0%となっています。



今後3年以内の利用希望

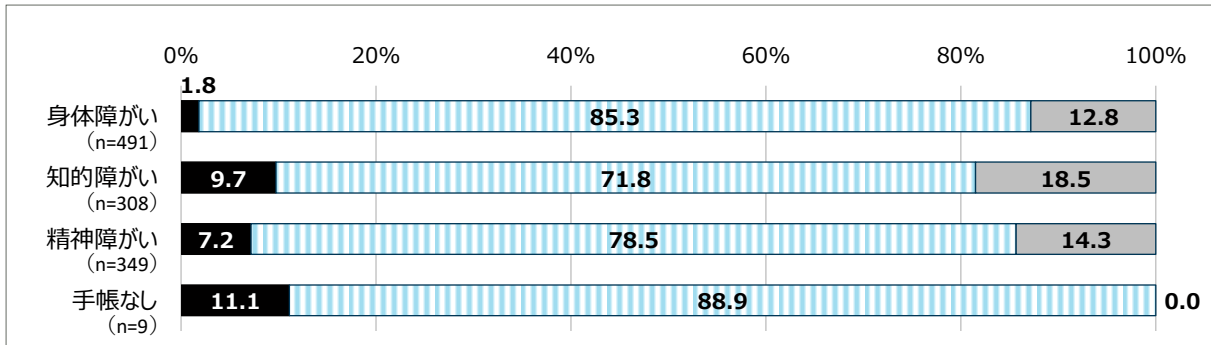
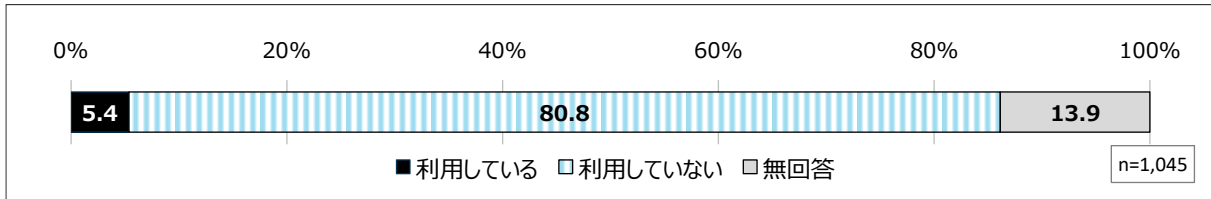
「利用したい」は13.5%となっています。



⑬ 就労移行支援

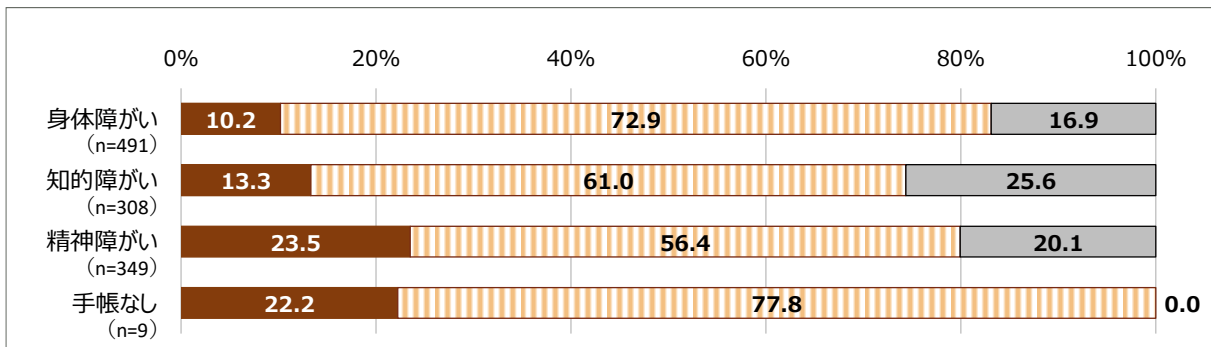
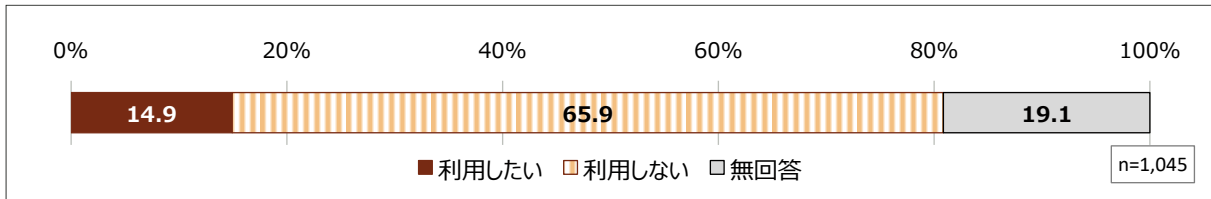
現在の利用

サービス利用者は 5.4%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

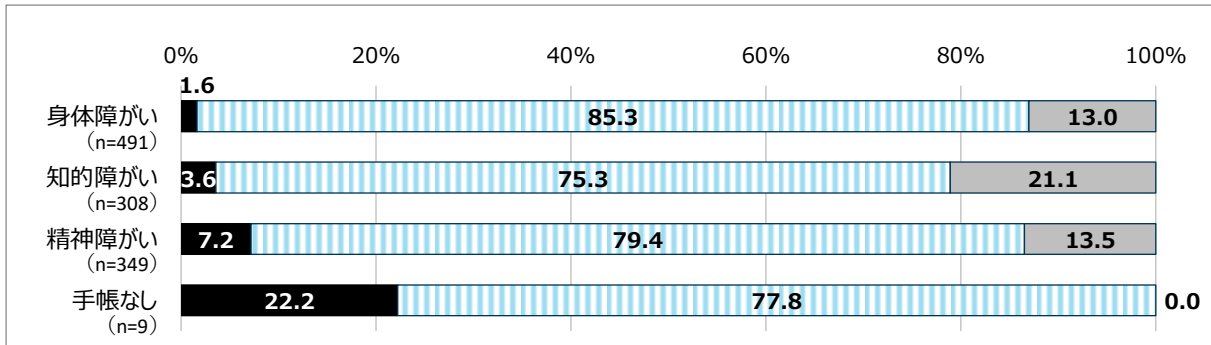
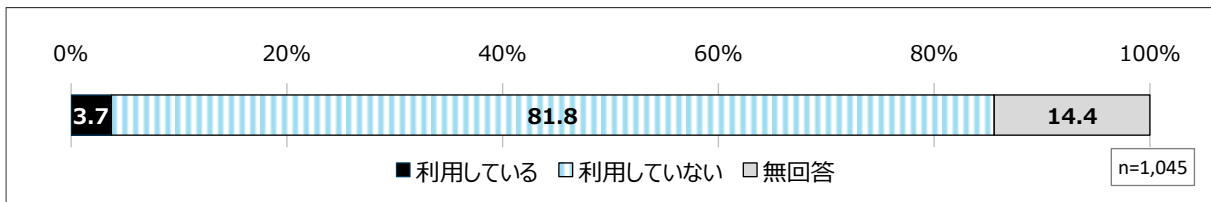
「利用したい」は 14.9%となっています。



⑭ 就労継続支援 A 型

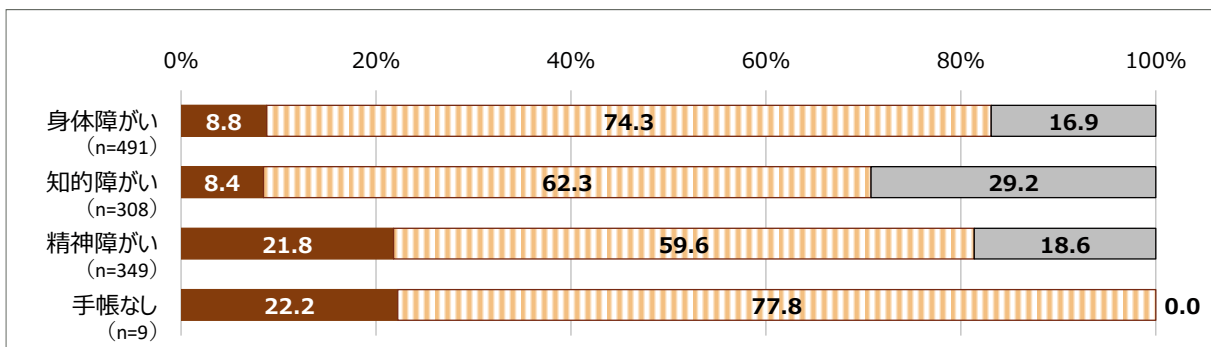
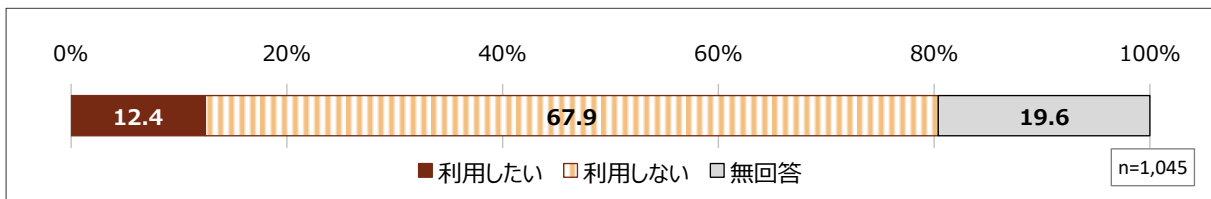
現在の利用

サービス利用者は 3.7%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

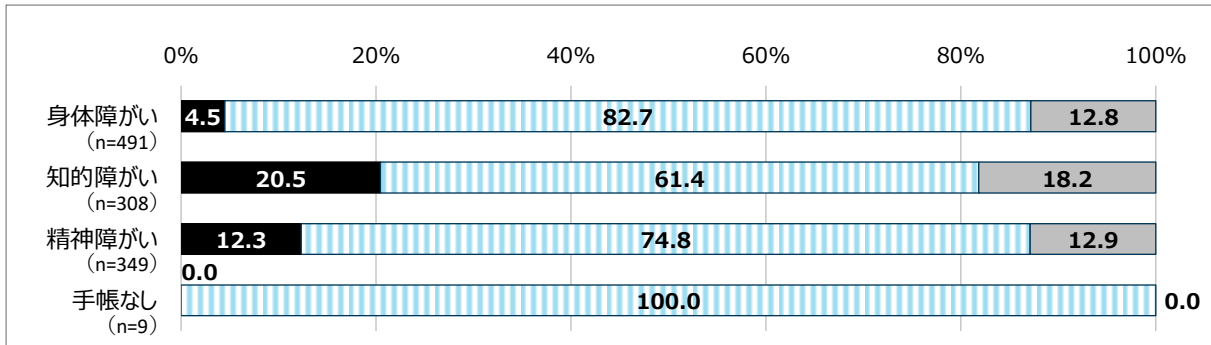
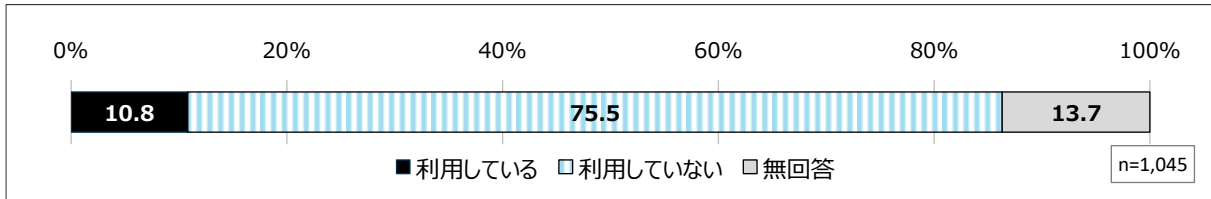
「利用したい」は 12.4%となっています。



⑮ 就労継続支援 B 型

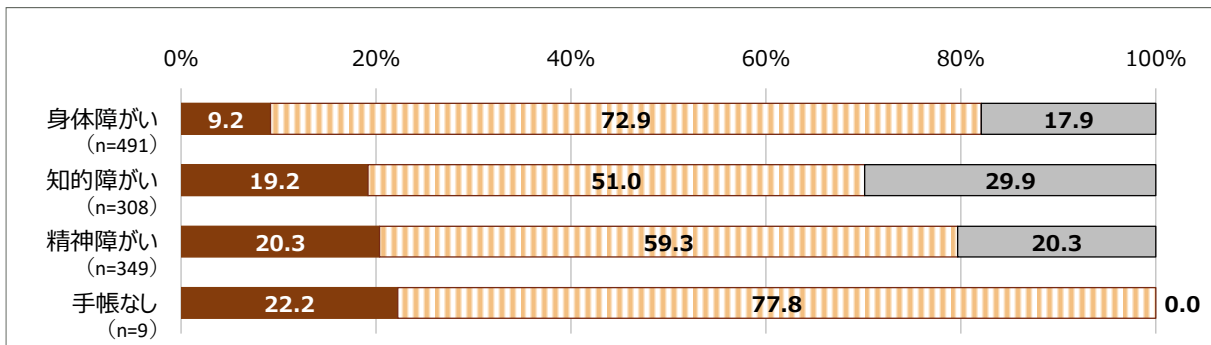
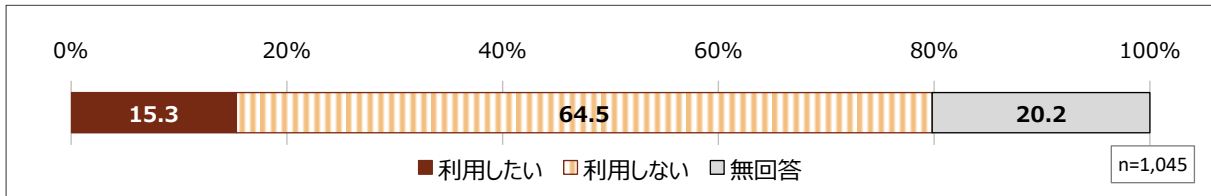
現在の利用

サービス利用者は 10.8%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

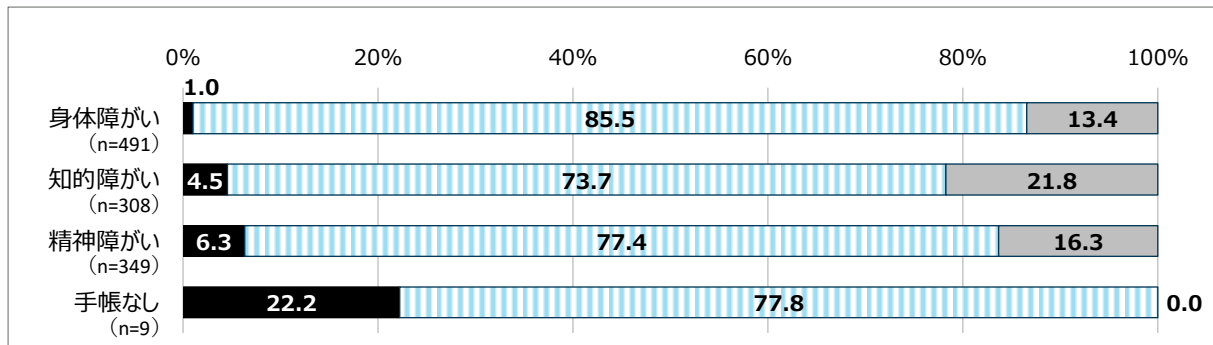
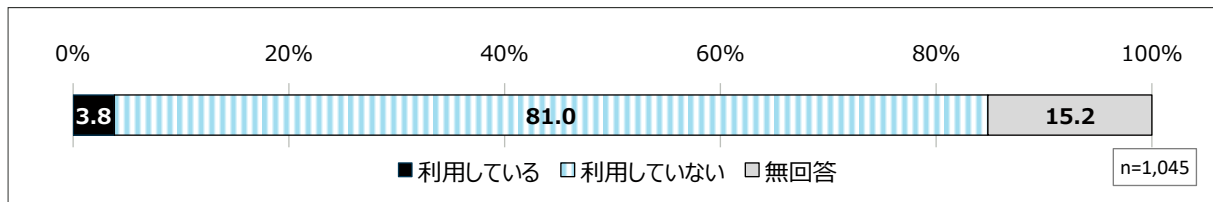
「利用したい」は 15.3%となっています。



⑯ 就労定着支援

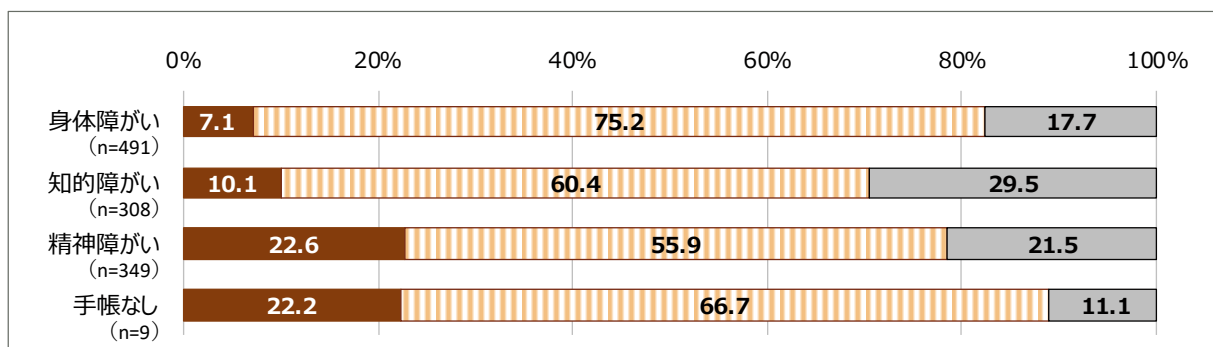
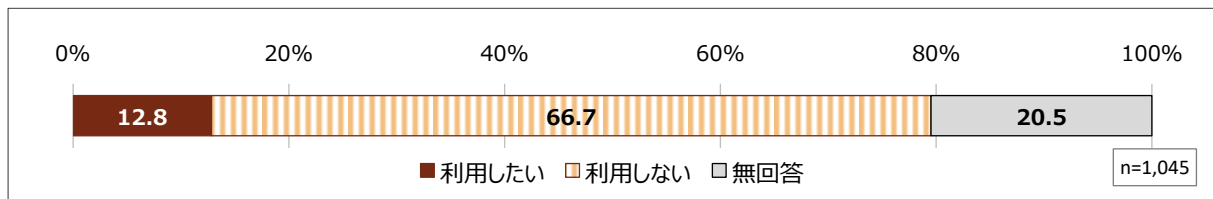
現在の利用

サービス利用者は 3.8%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

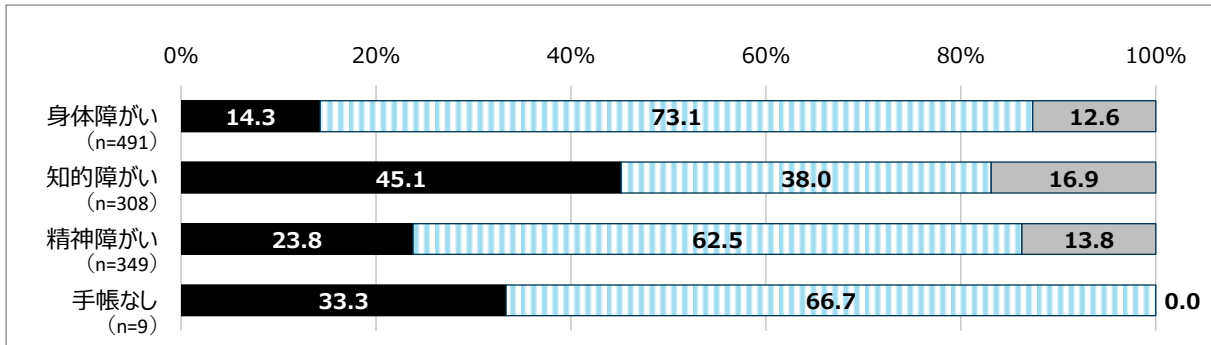
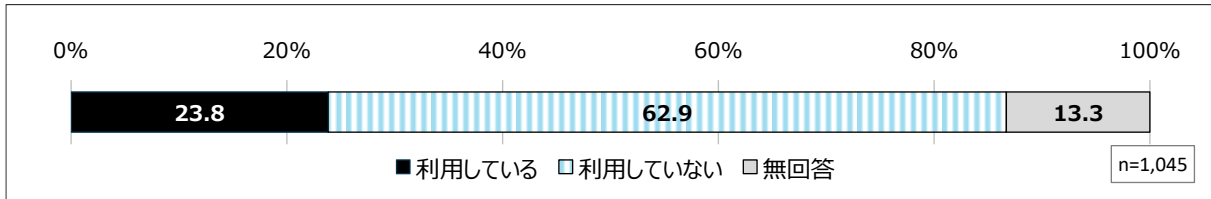
「利用したい」は 12.8%となっています。



⑰ 計画相談支援

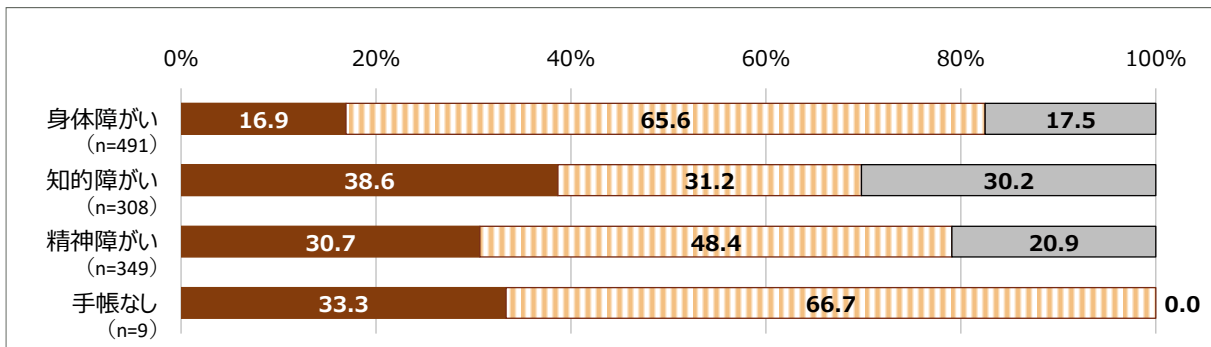
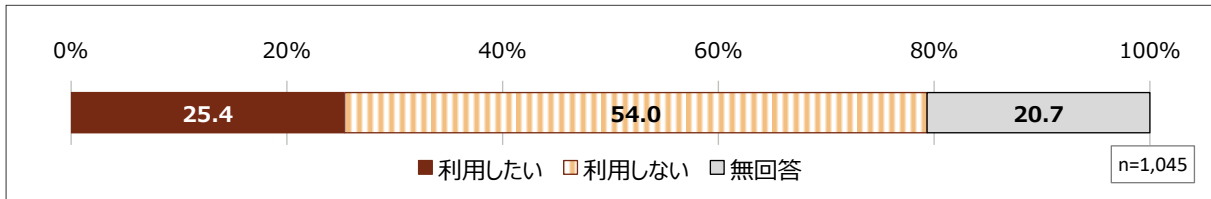
現在の利用

サービス利用者は 23.8%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

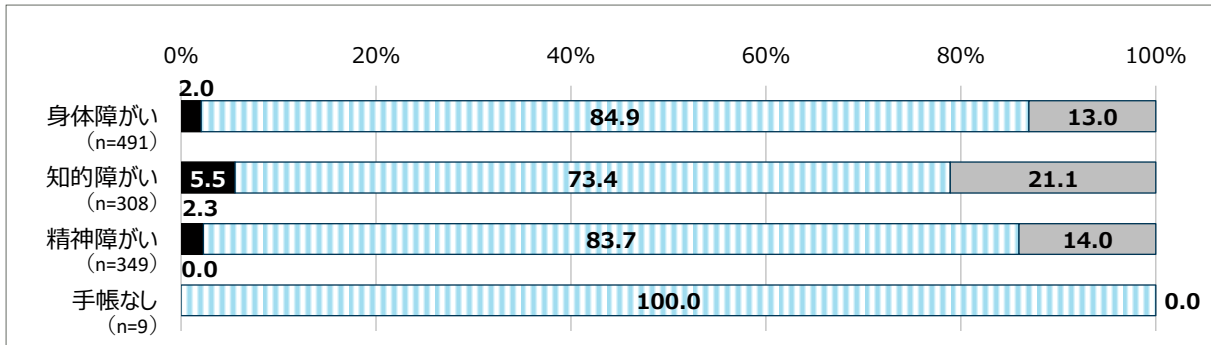
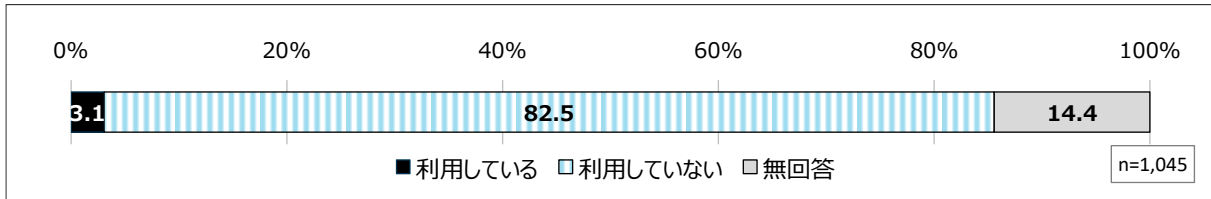
「利用したい」は 25.4%となっています。



⑱ 地域移行支援

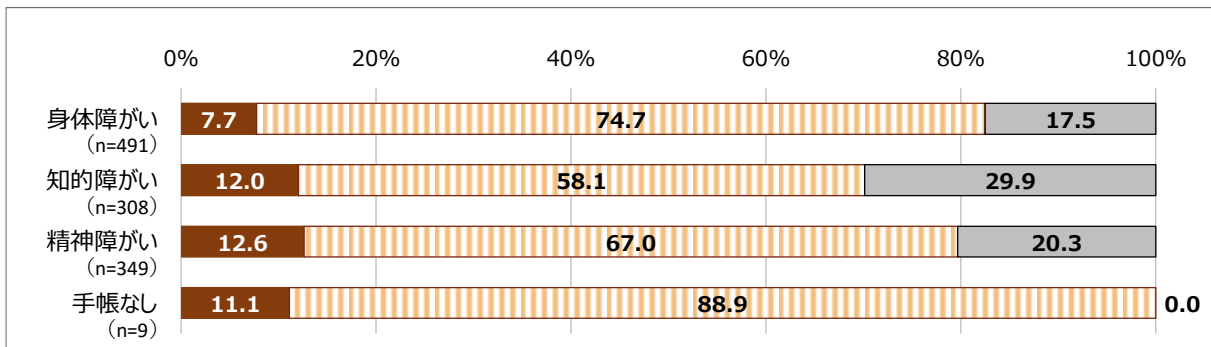
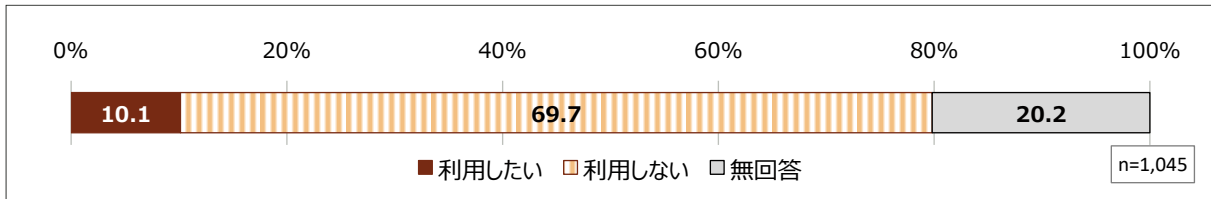
現在の利用

サービス利用者は 3.1%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

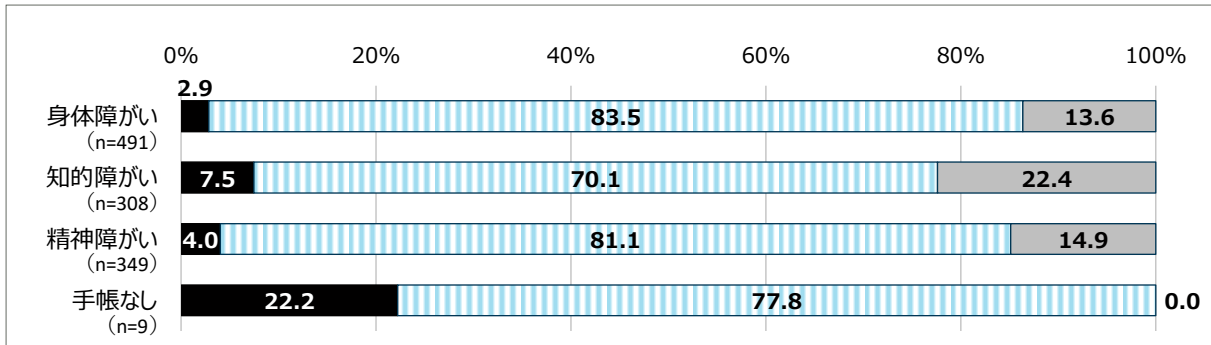
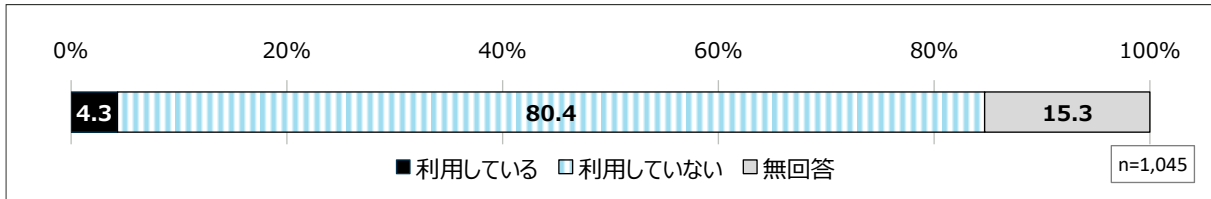
「利用したい」は 10.1%となっています。



⑱ 地域定着支援

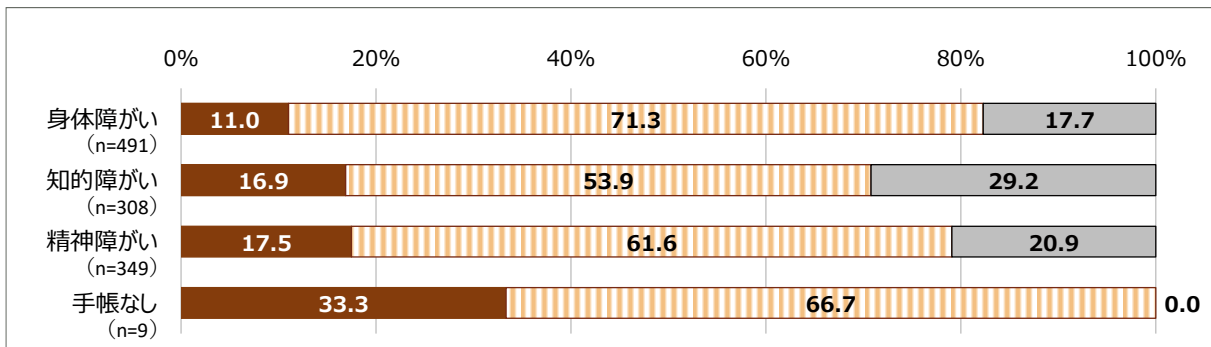
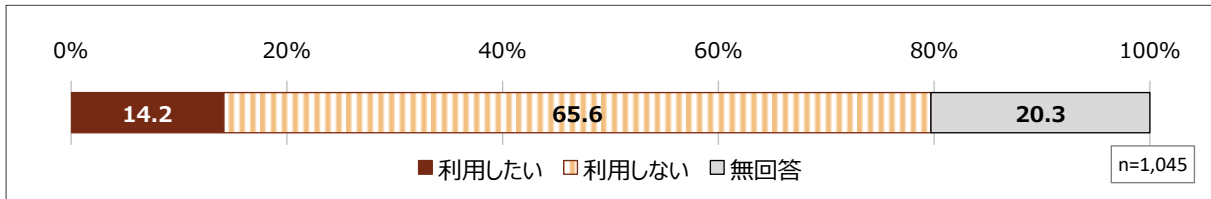
現在の利用

サービス利用者は 4.3%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

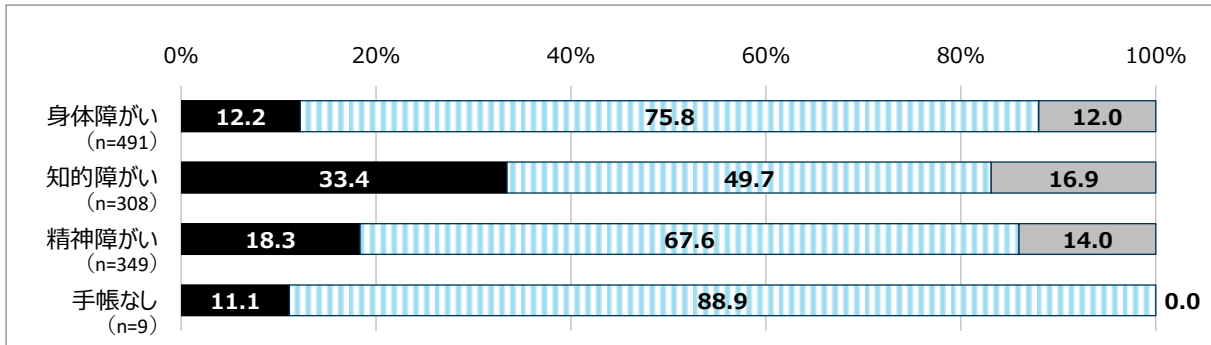
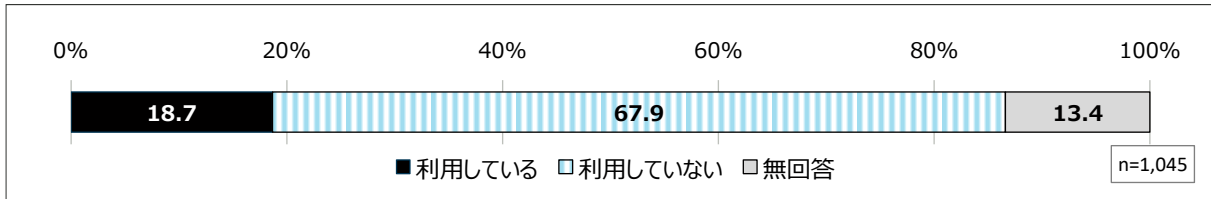
「利用したい」は 14.2%となっています。



⑩ 相談支援事業

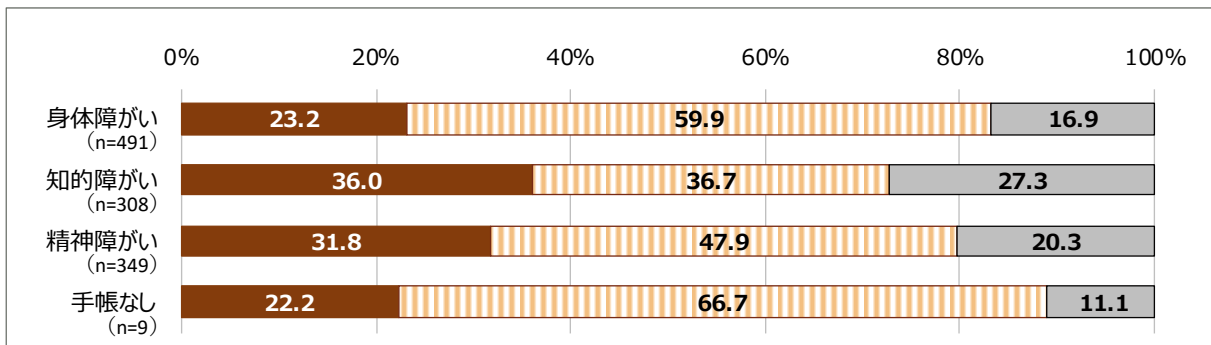
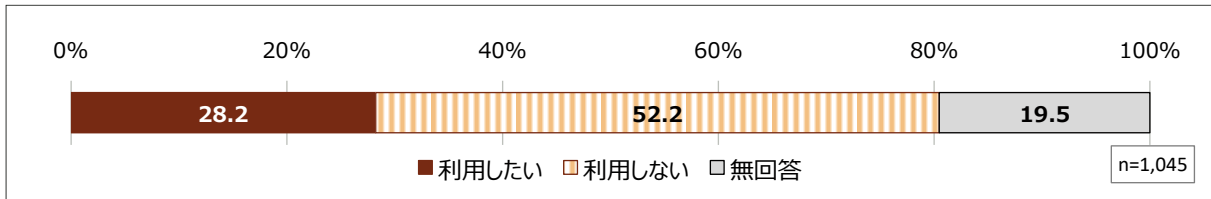
現在の利用

サービス利用者は 18.7%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

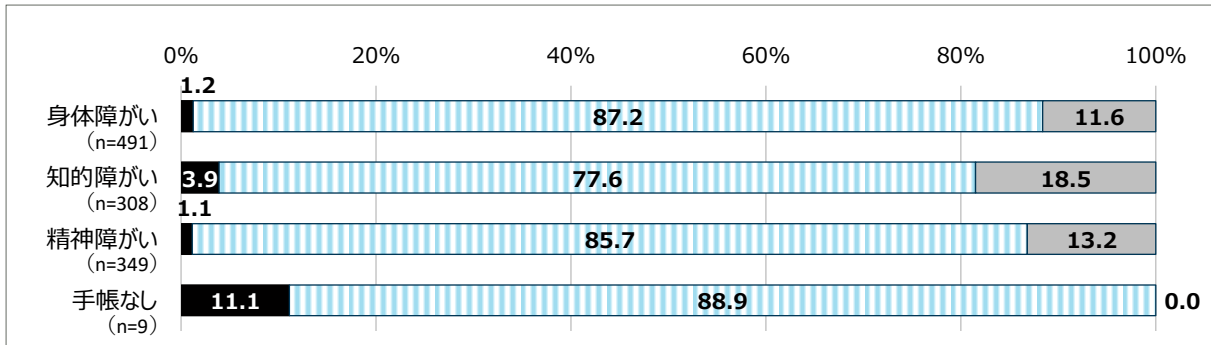
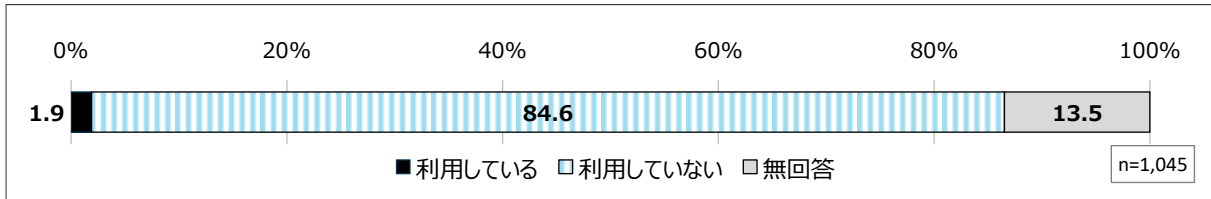
「利用したい」は 28.2%となっています。



② 成年後見制度利用支援事業

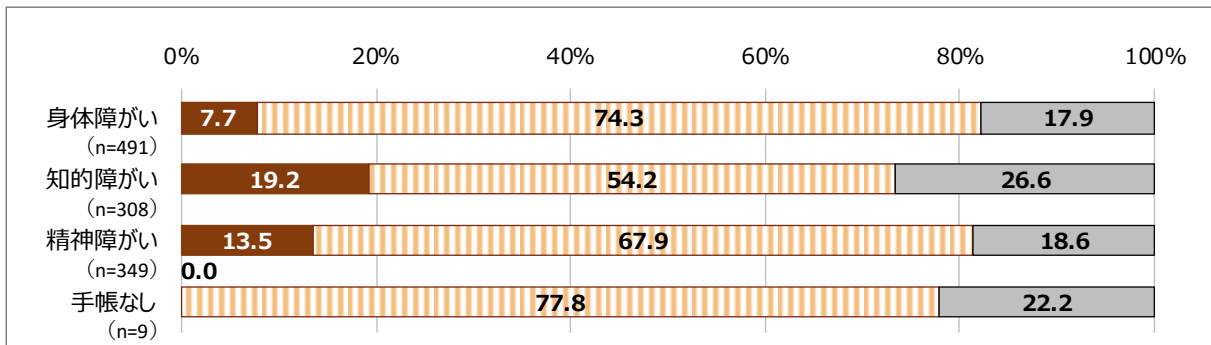
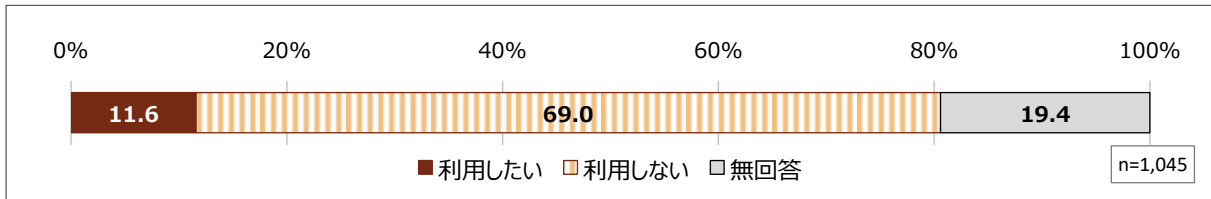
現在の利用

サービス利用者は 1.9%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

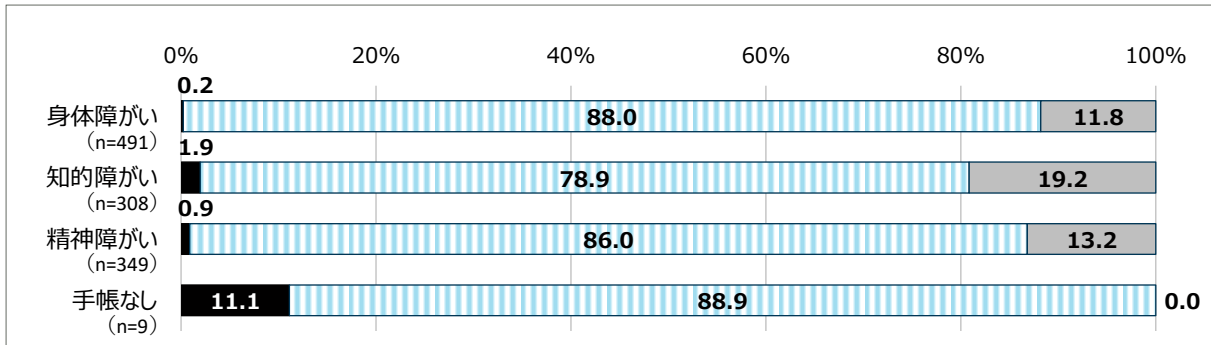
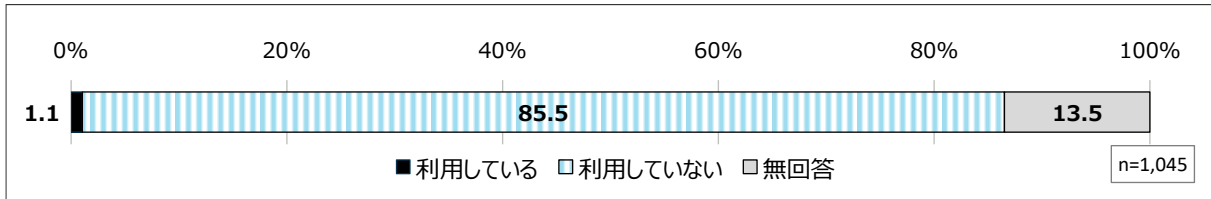
「利用したい」は 11.6%となっています。



② 成年後見制度法人後見支援事業

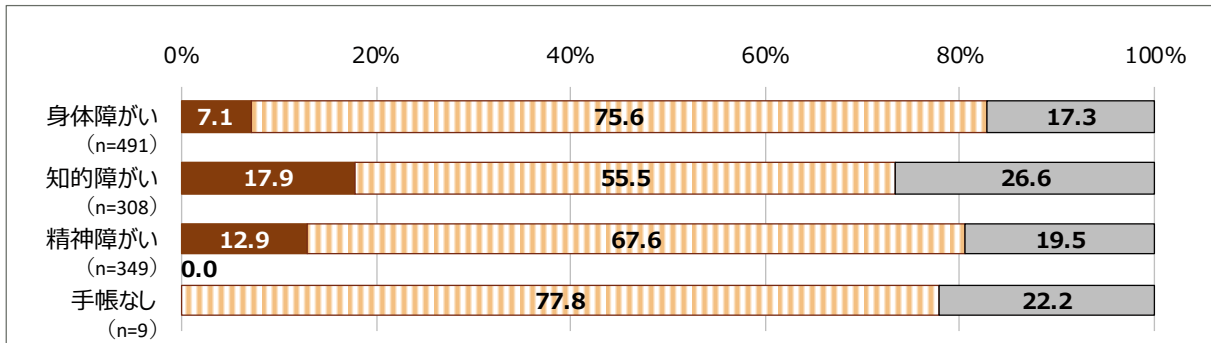
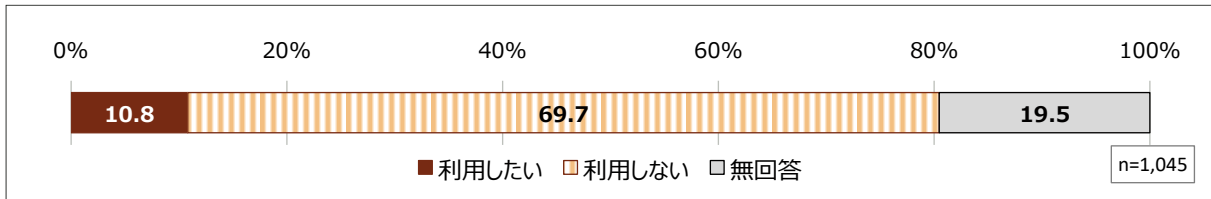
現在の利用

サービス利用者は 1.1%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

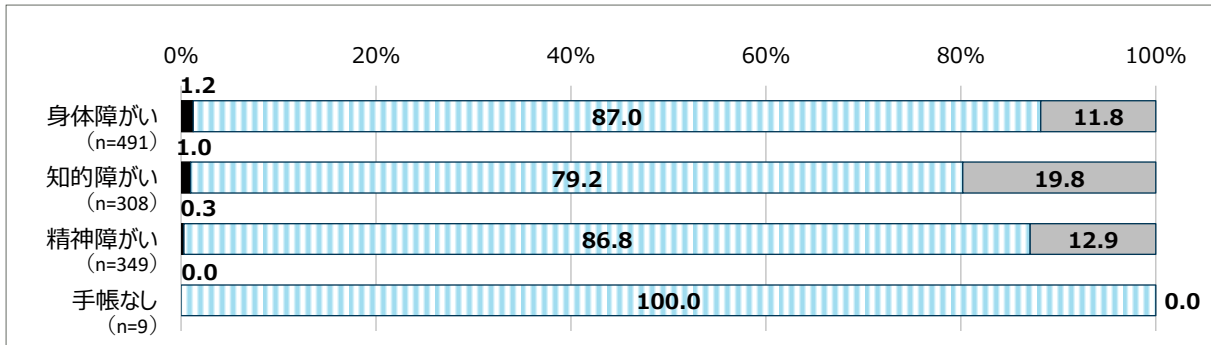
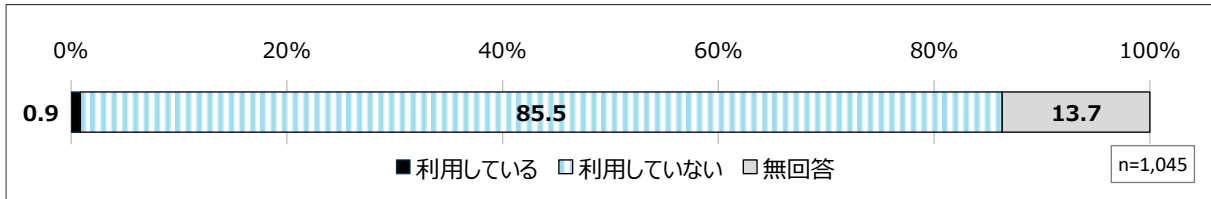
「利用したい」は 10.8%となっています。



㊸ 意思疎通支援事業

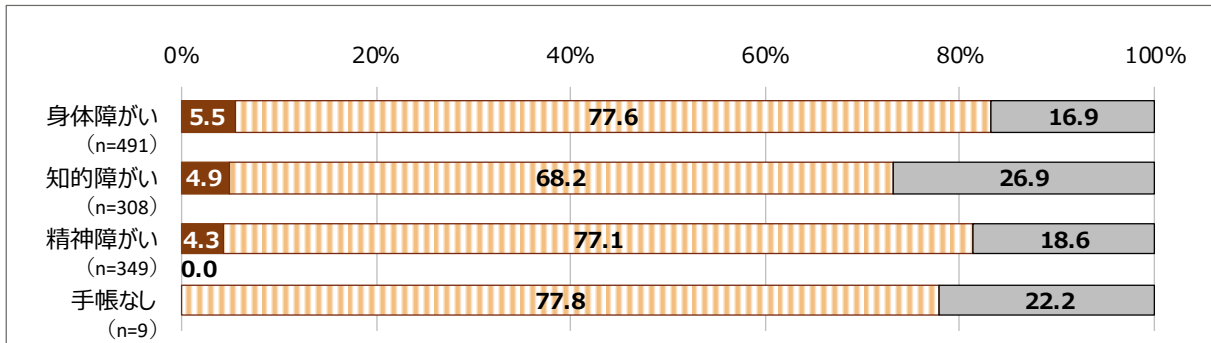
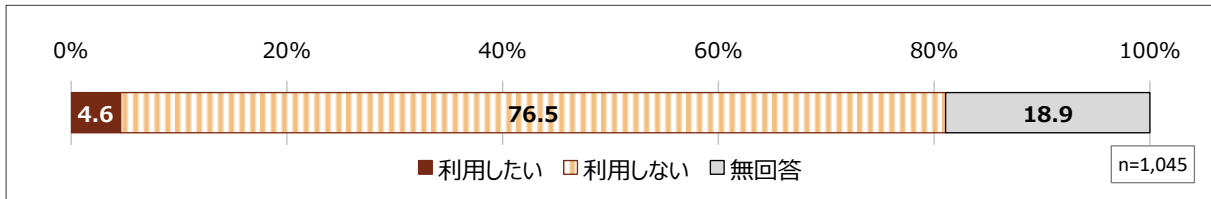
現在の利用

サービス利用者は 0.9%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

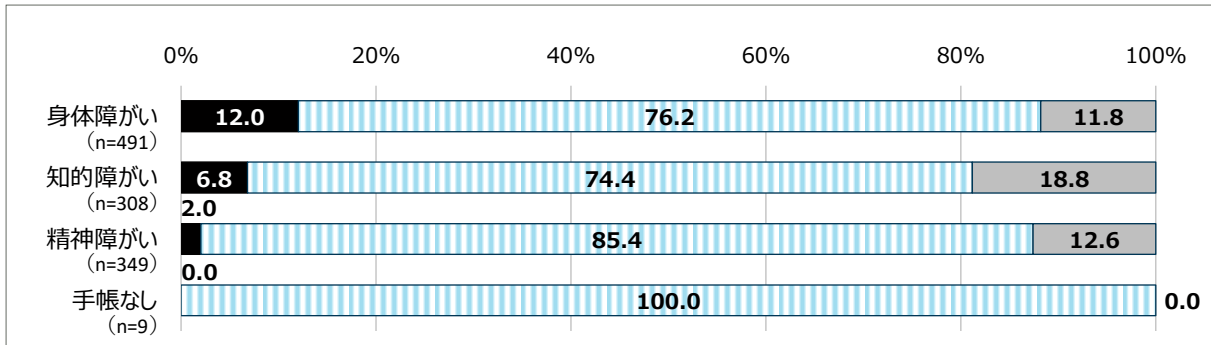
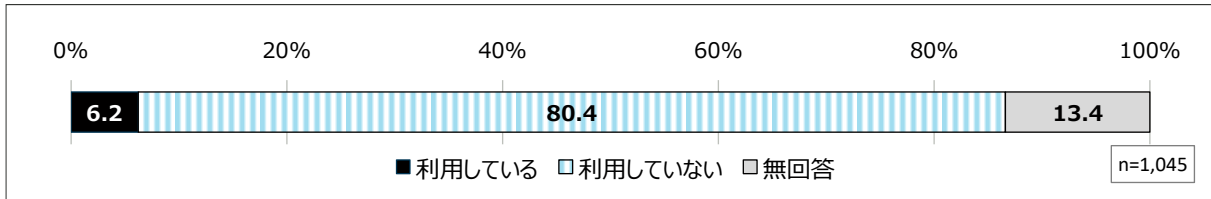
「利用したい」は 4.6%となっています。



㊤ 日常生活用具給付等事業

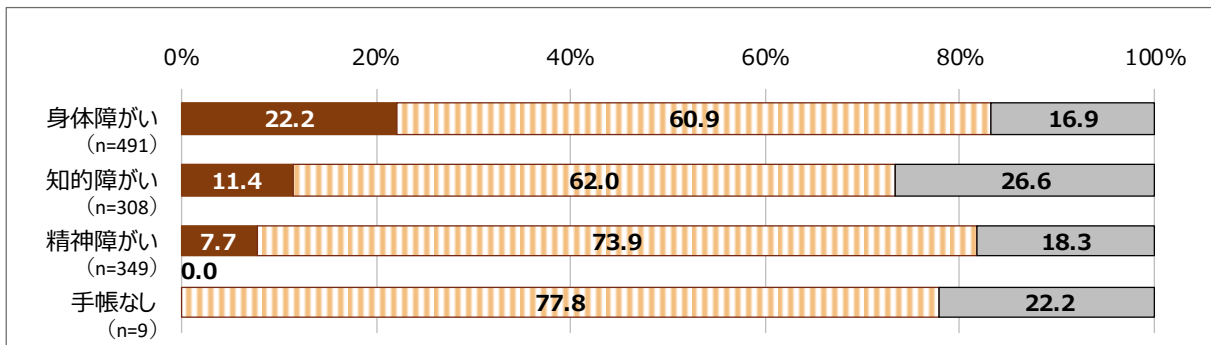
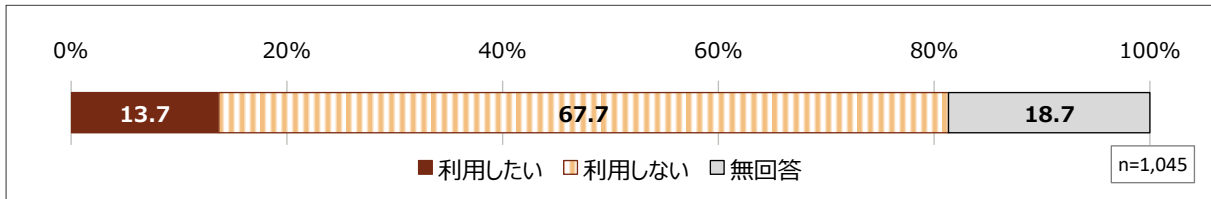
現在の利用

サービス利用者は6.2%となっています。



今後3年以内の利用希望

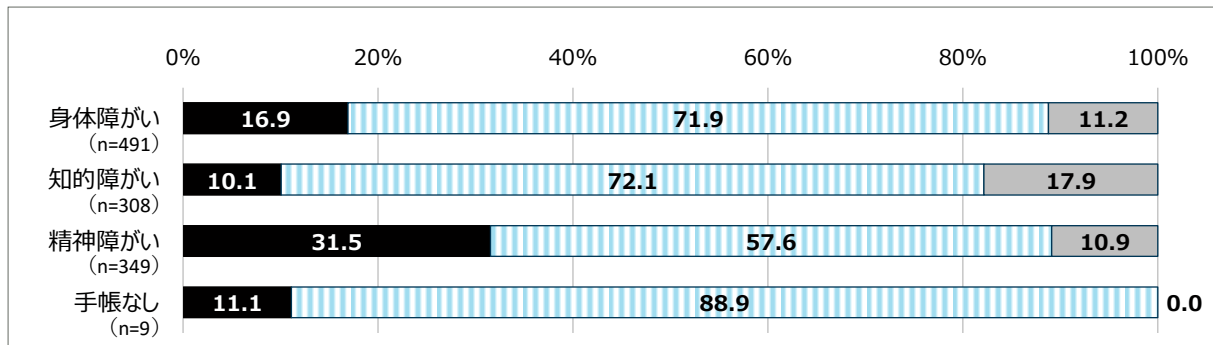
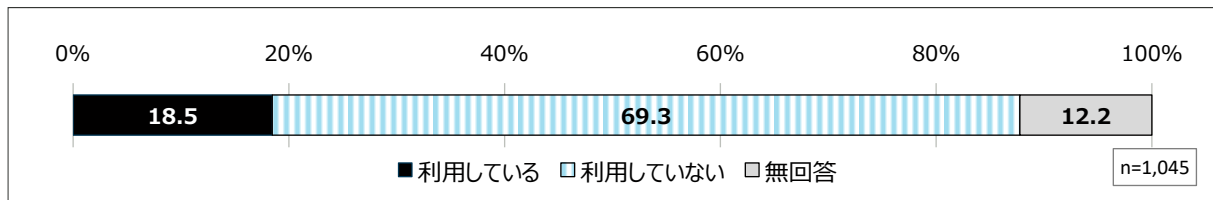
「利用したい」は13.7%となっています。



㊦ 福祉タクシー券助成事業

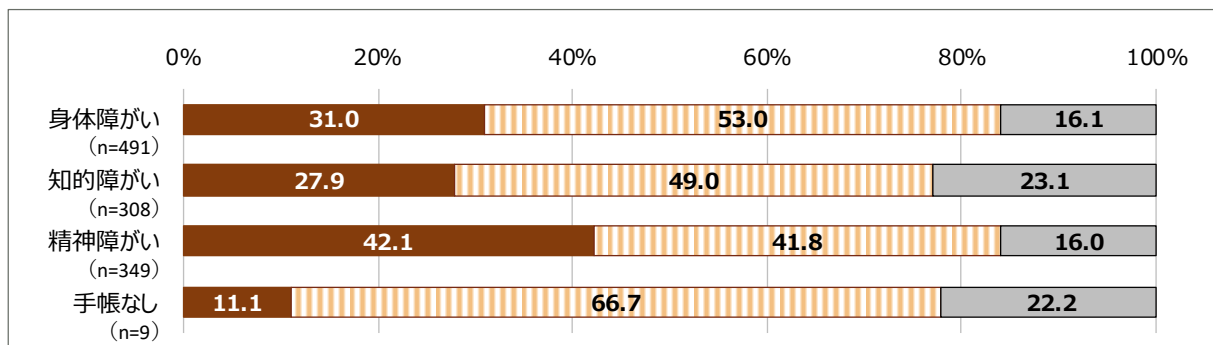
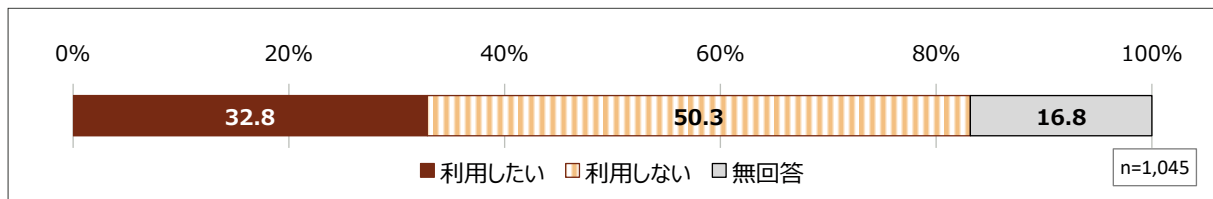
現在の利用

サービス利用者は 18.5%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

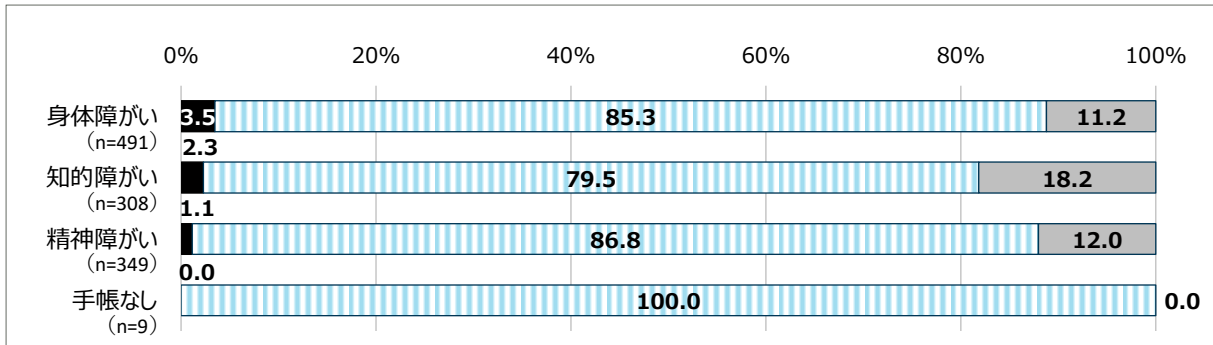
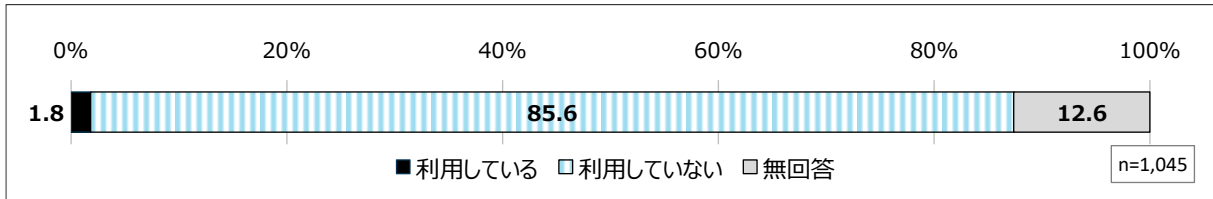
「利用したい」は 32.8%となっています。



㊦ リフト付きタクシー券助成事業

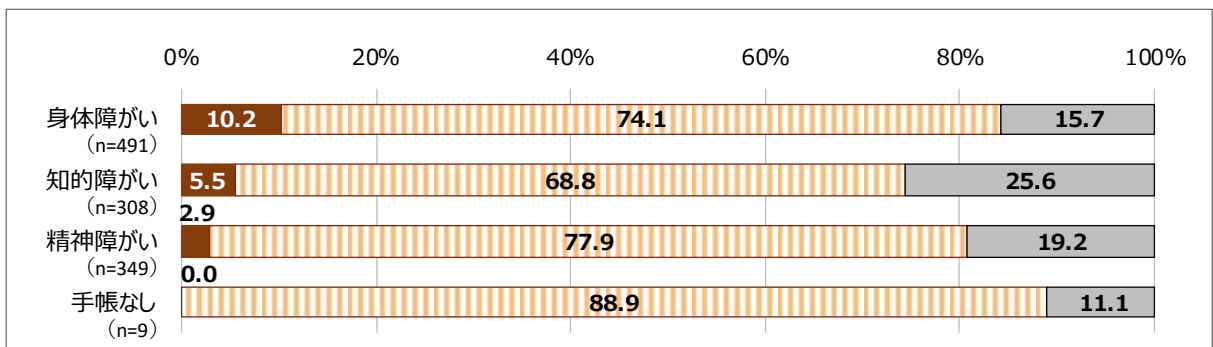
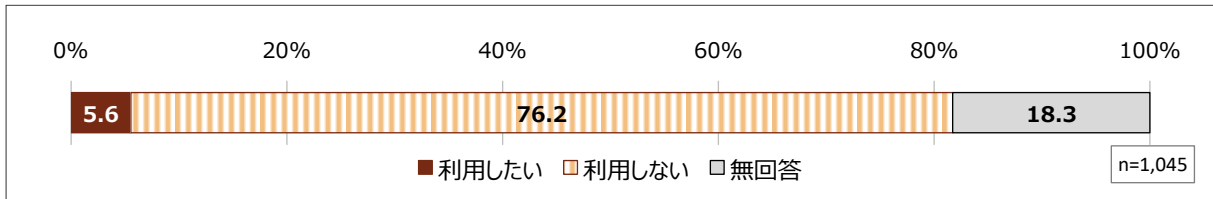
現在の利用

サービス利用者は 1.8%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

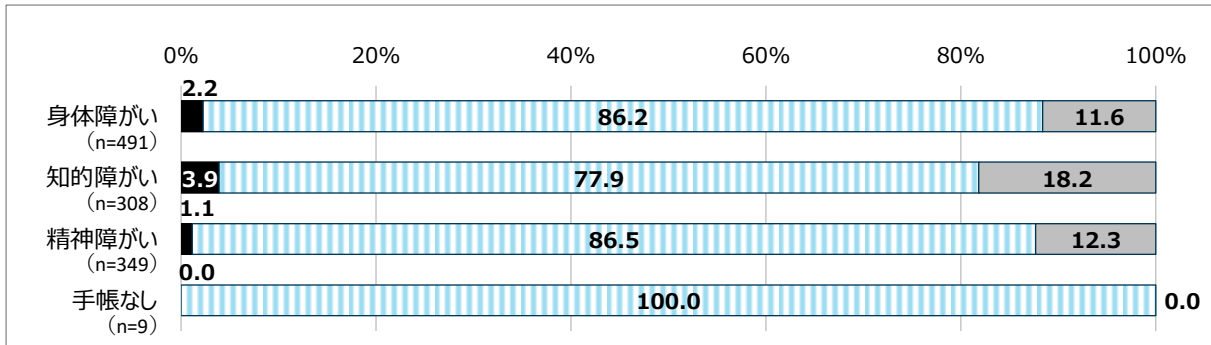
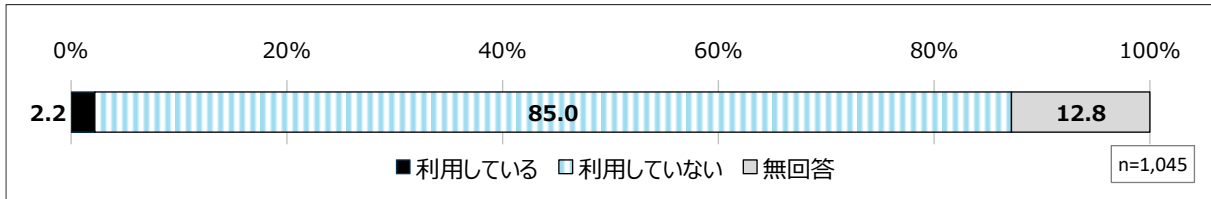
「利用したい」は 5.6%となっています。



㉗ 移動支援事業

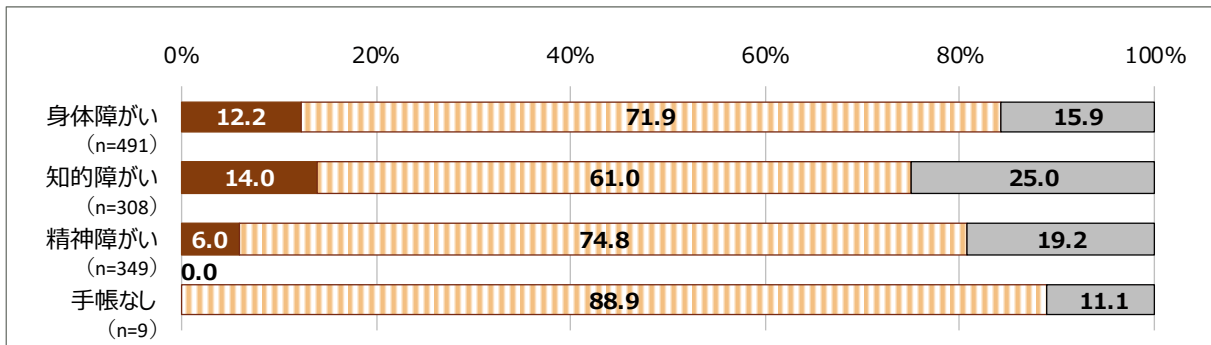
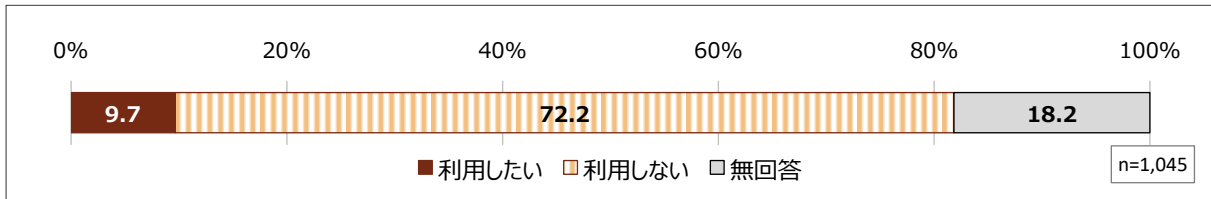
現在の利用

サービス利用者は 2.2%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

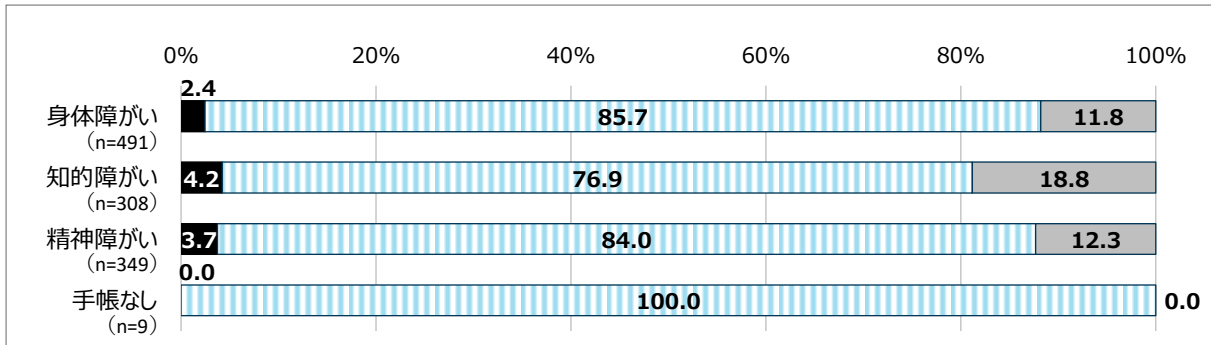
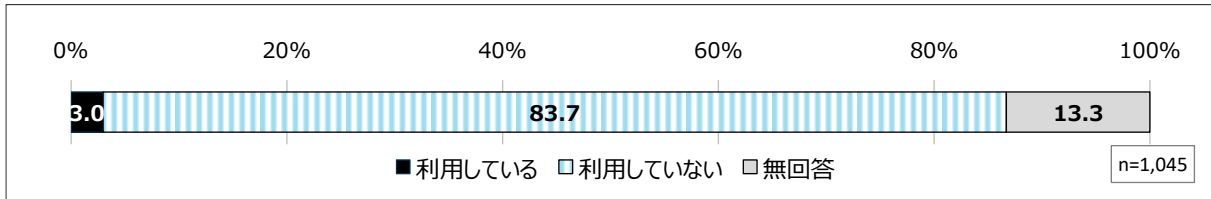
「利用したい」は 9.7%となっています。



㊸ 地域活動支援センター事業

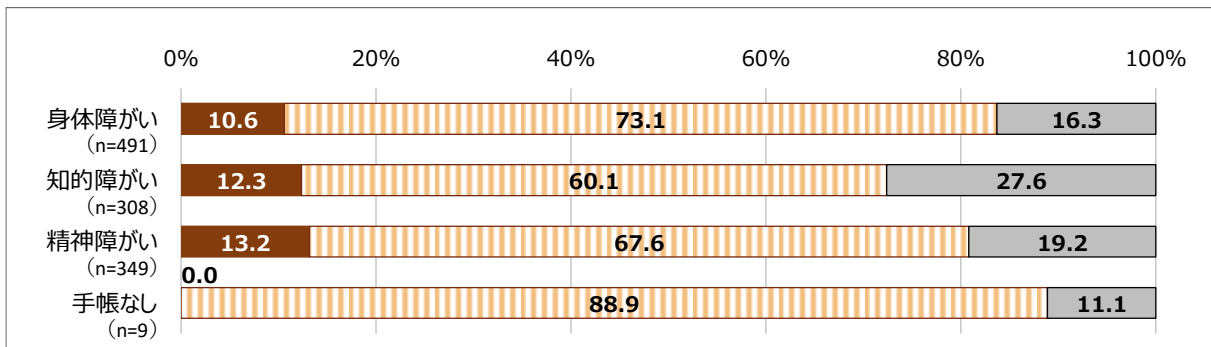
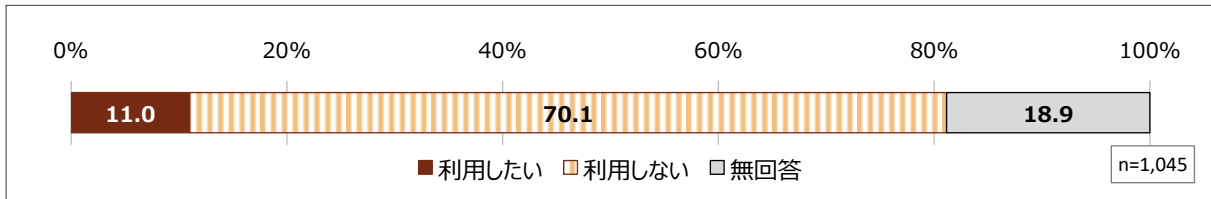
現在の利用

サービス利用者は 3.0%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

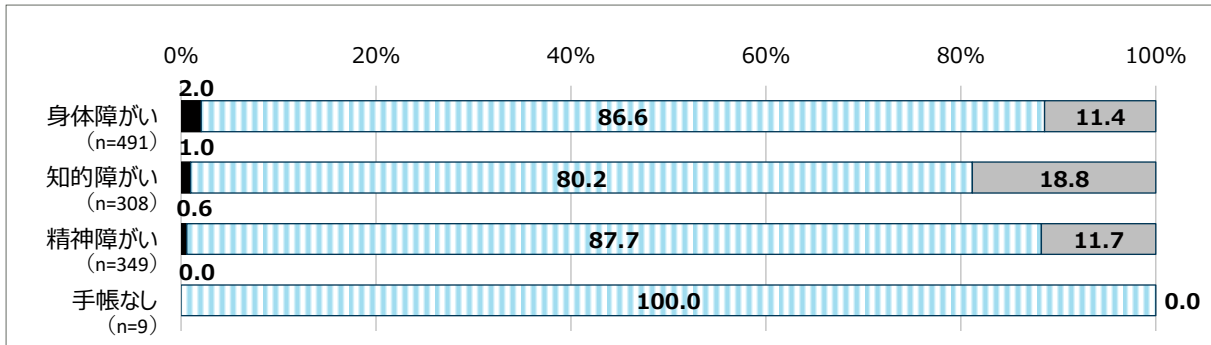
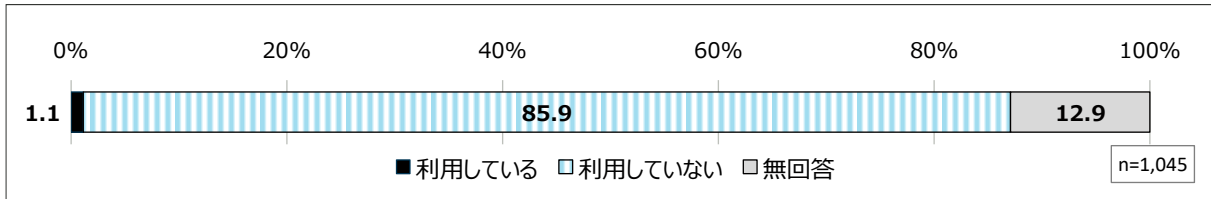
「利用したい」は 11.0%となっています。



㊹ 訪問入浴サービス事業

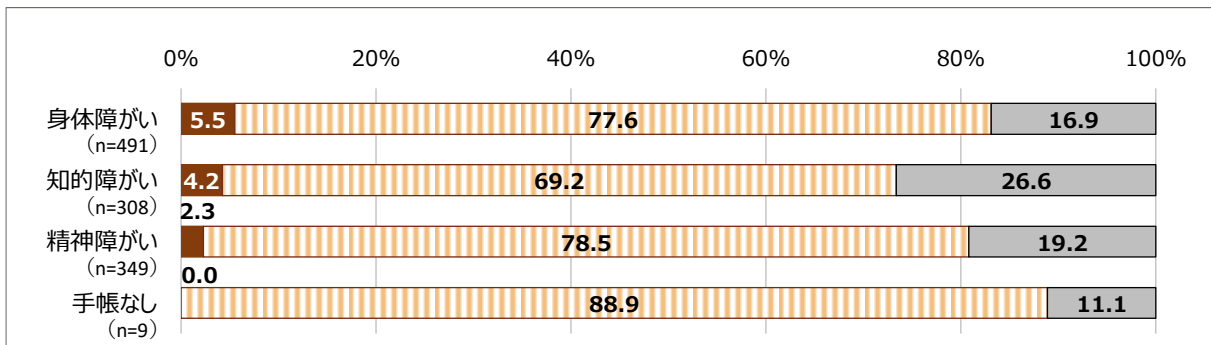
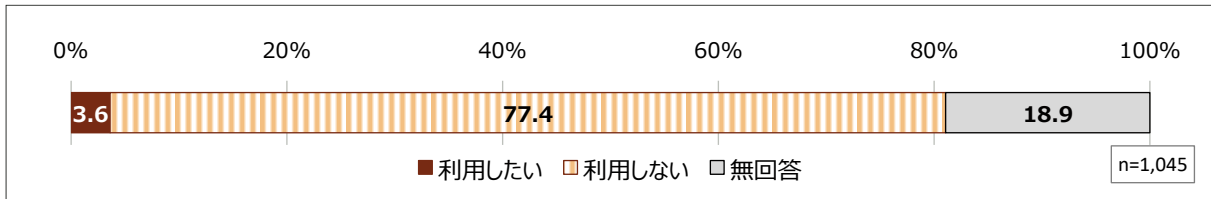
現在の利用

サービス利用者は 1.1%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

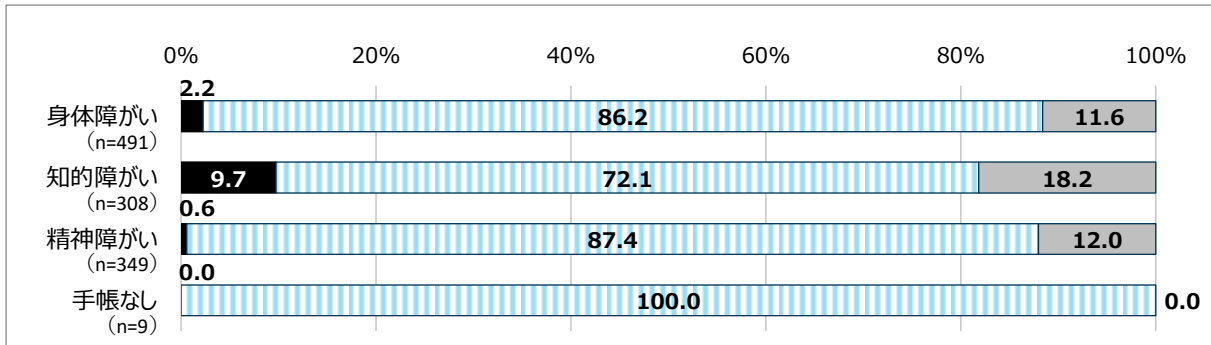
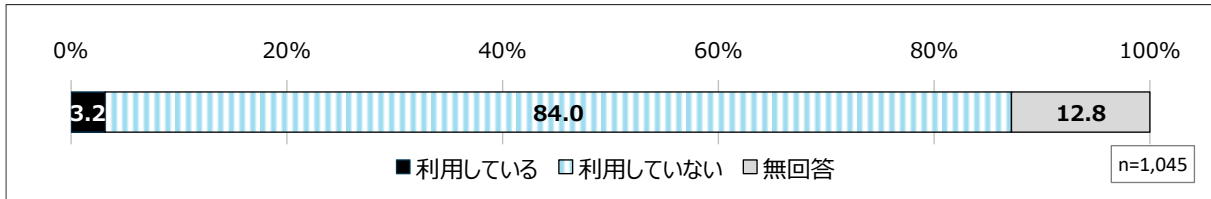
「利用したい」は 3.6%となっています。



⑩ 日中一時支援事業

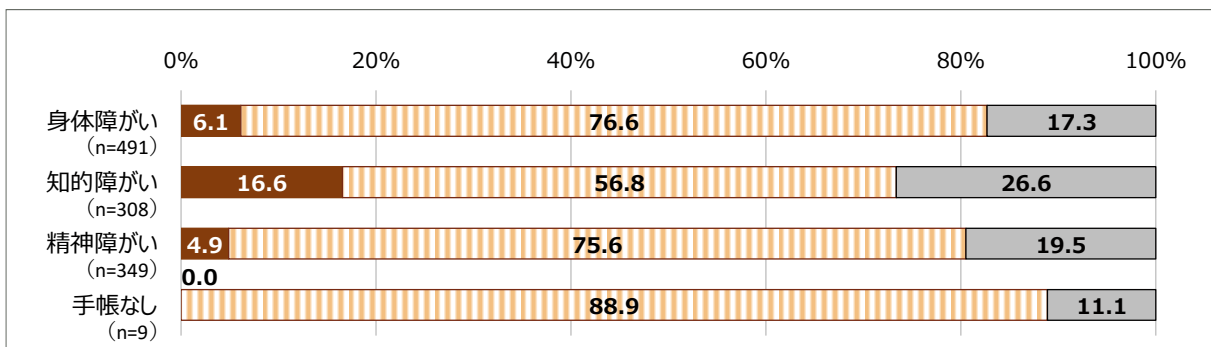
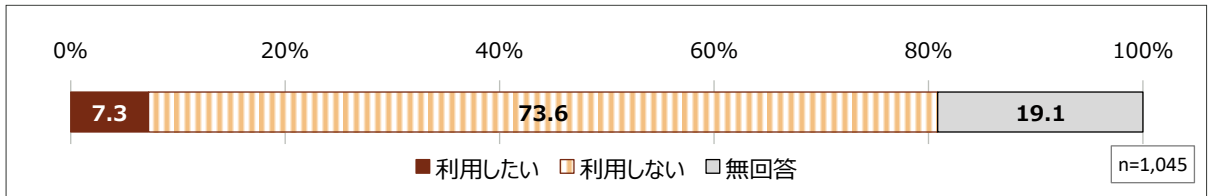
現在の利用

サービス利用者は 3.2%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

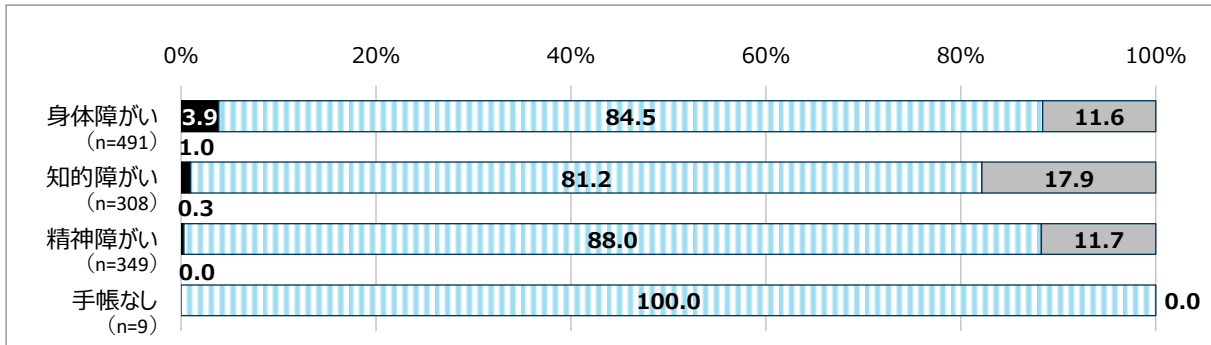
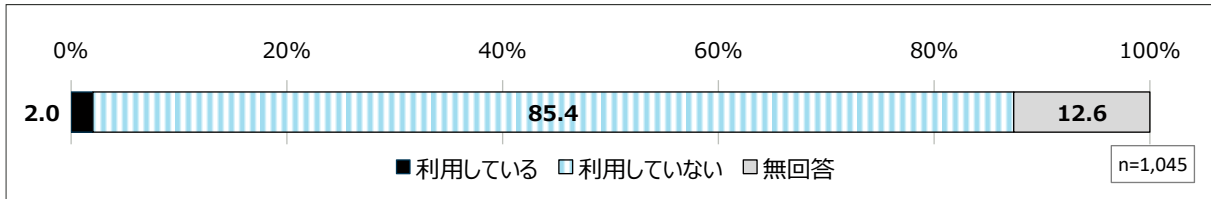
「利用したい」は 7.3%となっています。



③ 自動車運転免許取得・自動車改造等助成事業

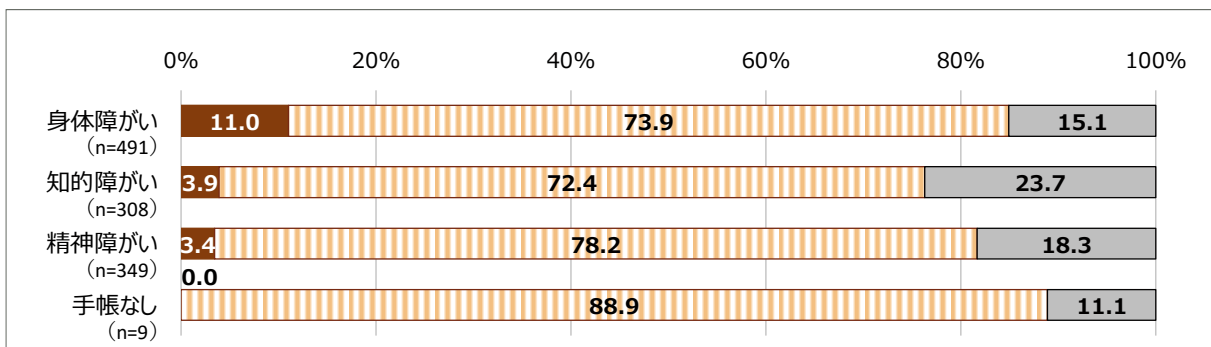
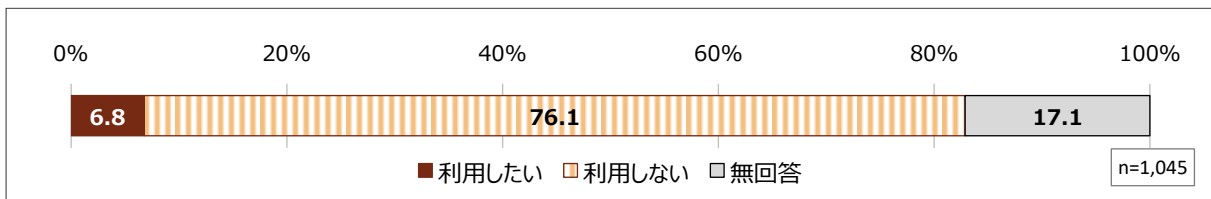
現在の利用

サービス利用者は 2.0%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

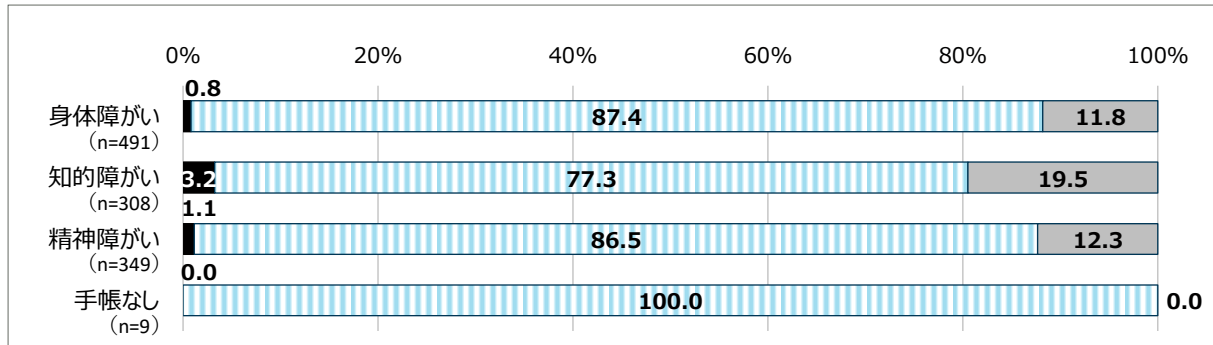
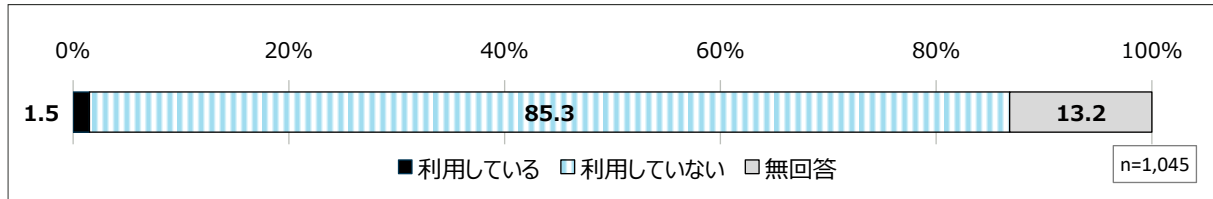
「利用したい」は 6.8%となっています。



③ 更生訓練費給付事業

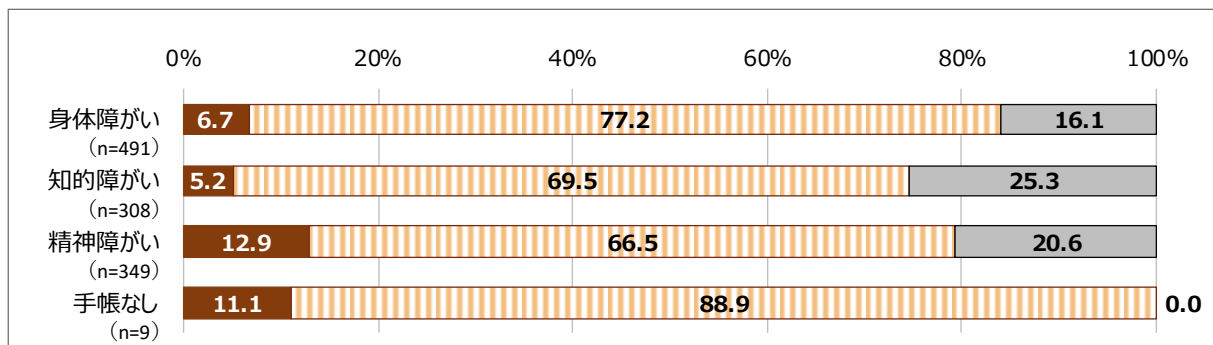
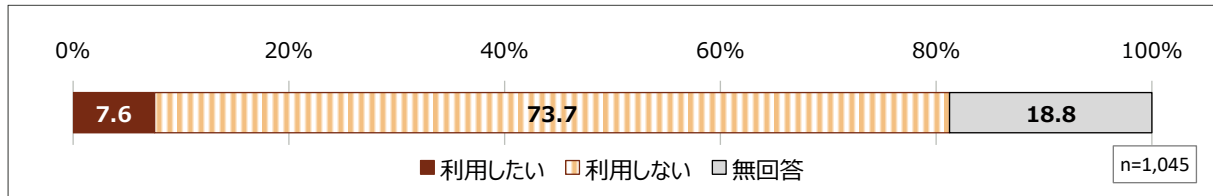
現在の利用

サービス利用者は 1.5%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

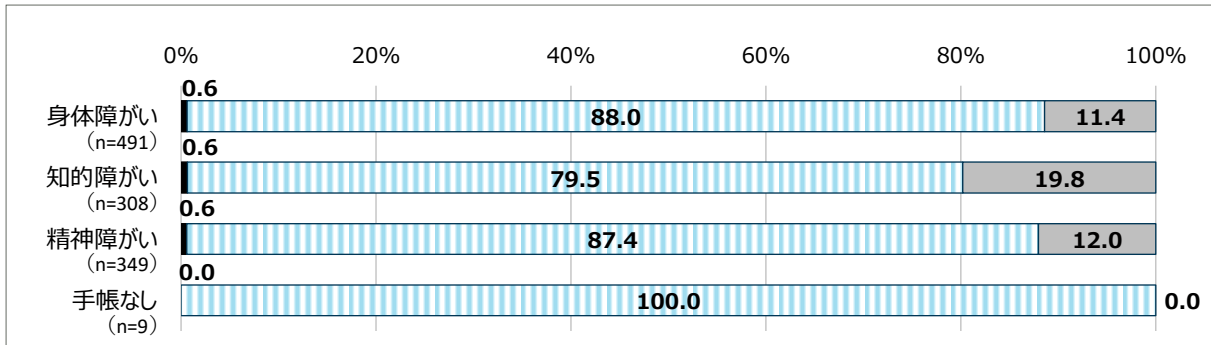
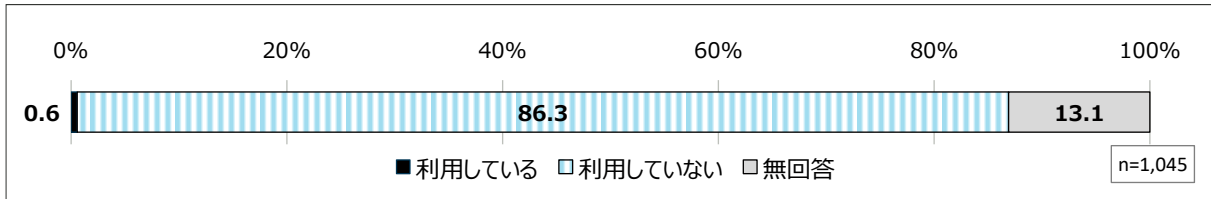
「利用したい」は 7.6%となっています。



③ 声の広報発行事業

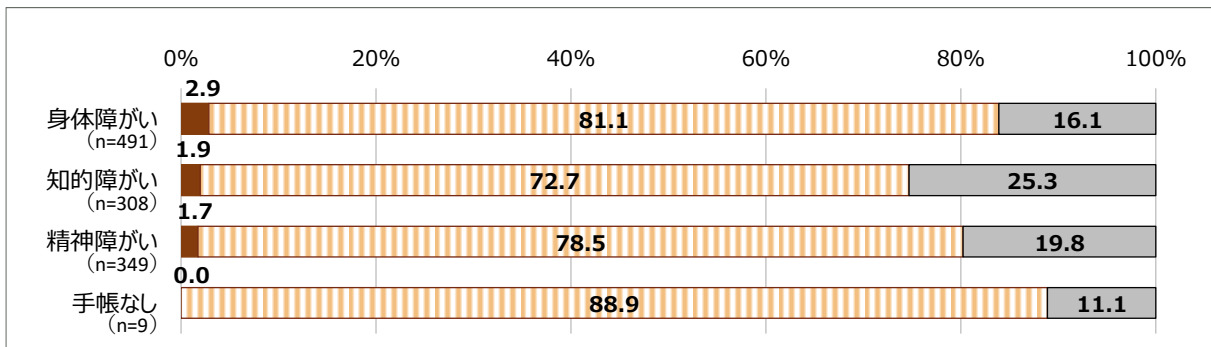
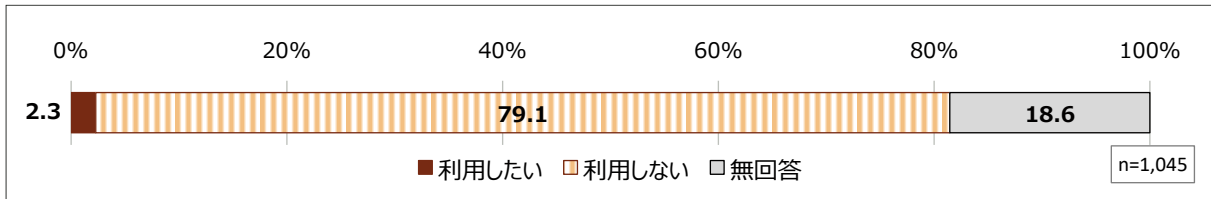
現在の利用

サービス利用者は 0.6%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

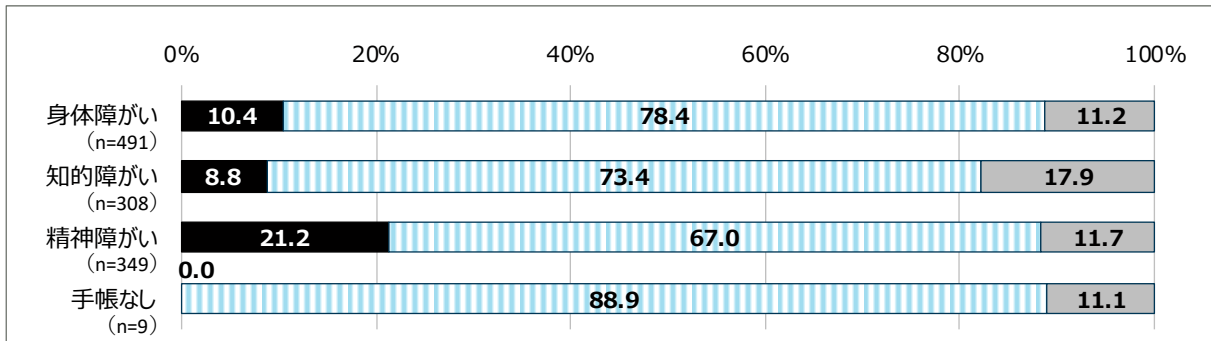
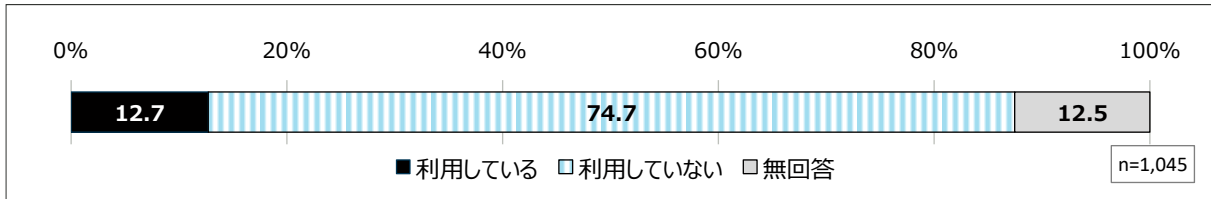
「利用したい」は 2.3%となっています。



③④ ヘルプカード交付事業

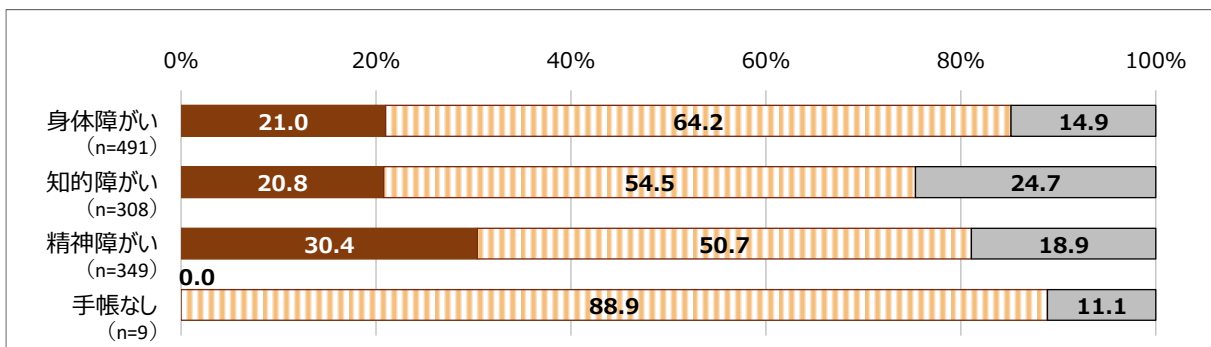
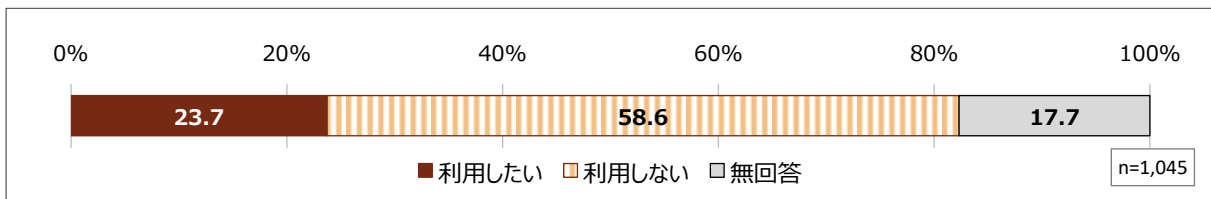
現在の利用

サービス利用者は 12.7%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

「利用したい」は 23.7%となっています。

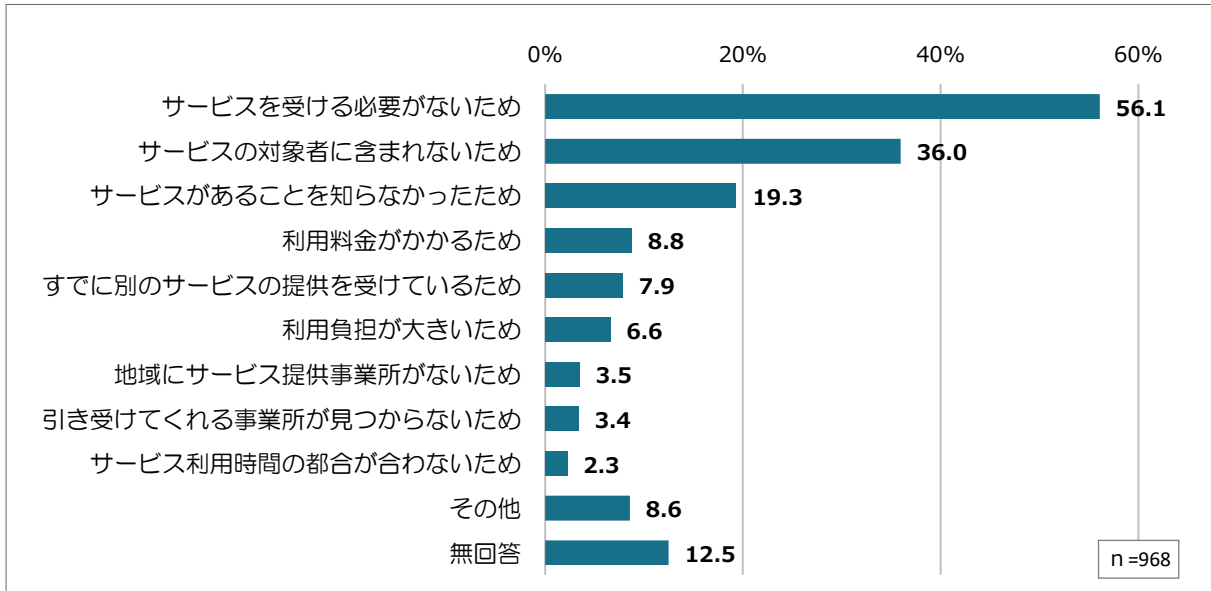


問 49 障がい福祉サービスを利用しない理由

問 48 のいずれかで「利用していない」または「利用したくない」と回答した方のみ

問 48 の①～⑭の事業について利用していない理由、または利用を希望しない理由をお答えください（複数回答）

「サービスを受ける必要がないため」が 56.1%となっています。



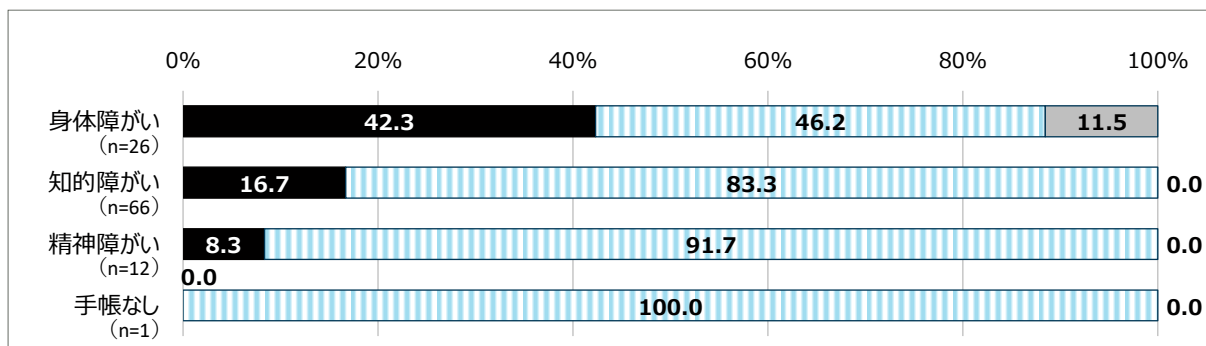
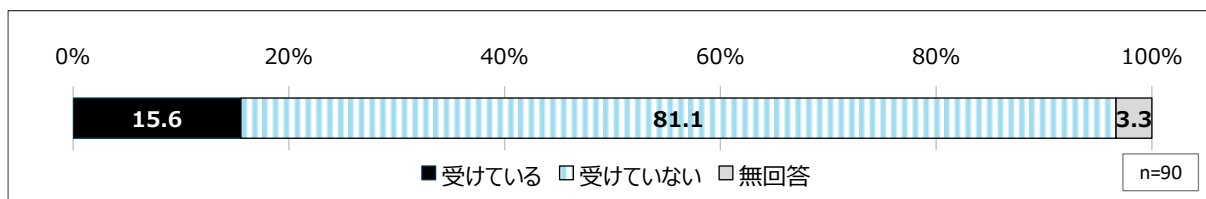
■ 障がい児支援について

問 50 重症心身障がい児認定

18歳未満の方のみ

あなたは重症心身障がいの認定を受けていますか

「受けている」が15.6%、「受けていない」が81.1%となっています。
障がいの種別に見ると、身体障がいでは「受けている」割合が高く、42.3%となっています。

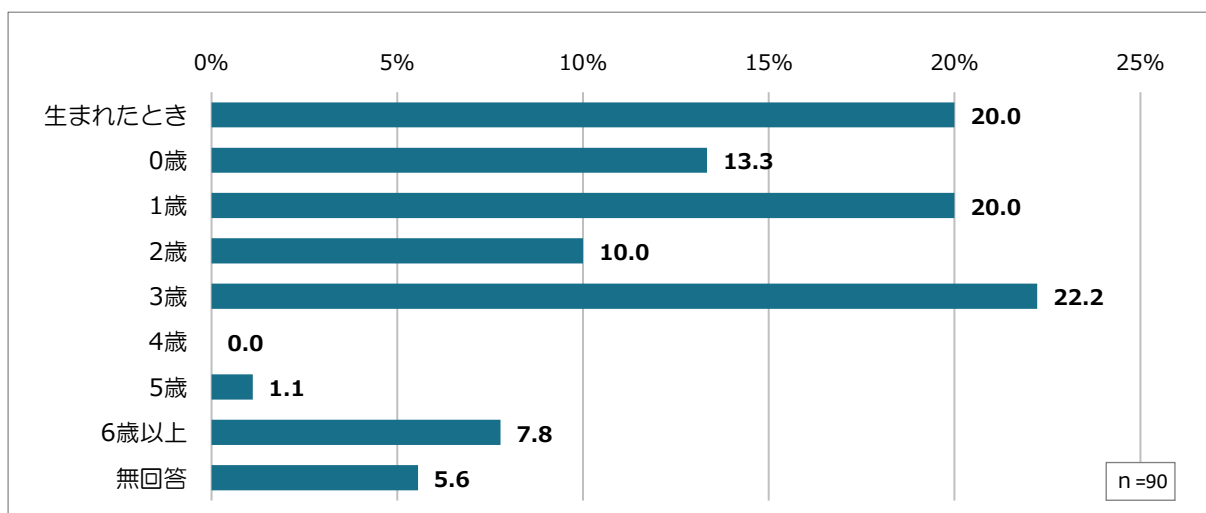


問 51 障がいに気づいた年齢

18歳未満の方の保護者のみ

障がいに気づいた、または発達が心配になったときのご本人の年齢は何歳でしたか

「3歳」が22.2%と最も高くなっています。

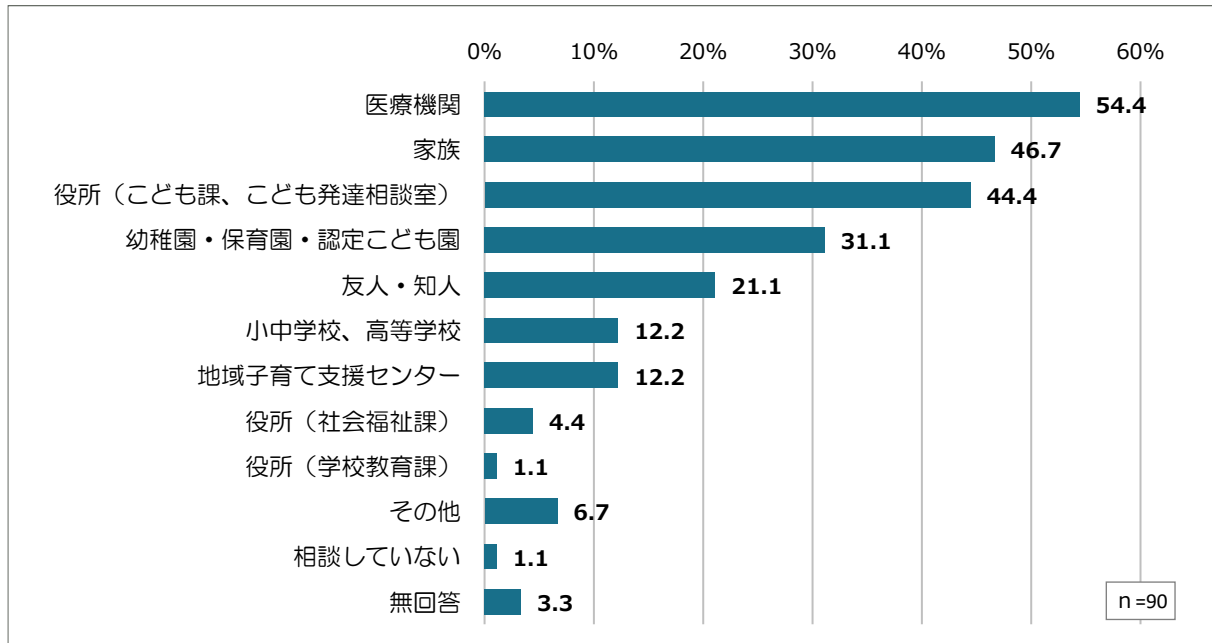


問 52 障がいに気づいたときの相談先

18歳未満の方の保護者のみ

障がいに気づいた、または発達が心配になったとき、誰に相談しましたか（複数回答）

「医療機関」が54.4%と最も高くなっています。

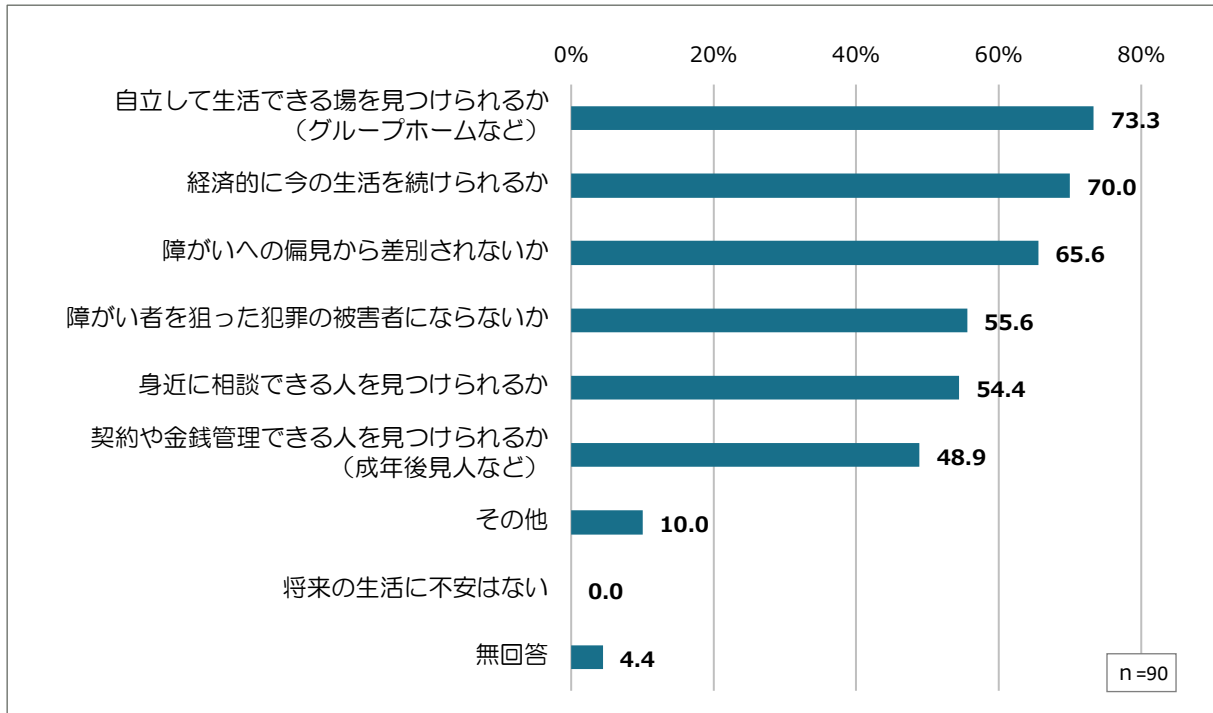


問 53 将来の不安

18歳未満の方の保護者のみ

お子さんの将来の生活において、どのような不安がありますか（複数回答）

「自立して生活できる場を見つけられるか（グループホームなど）」が 73.3%と最も高く、次いで「経済的に今の生活を続けられるか」が 70.0%となっています。「将来の生活に不安はない」は 0.0%となっています。

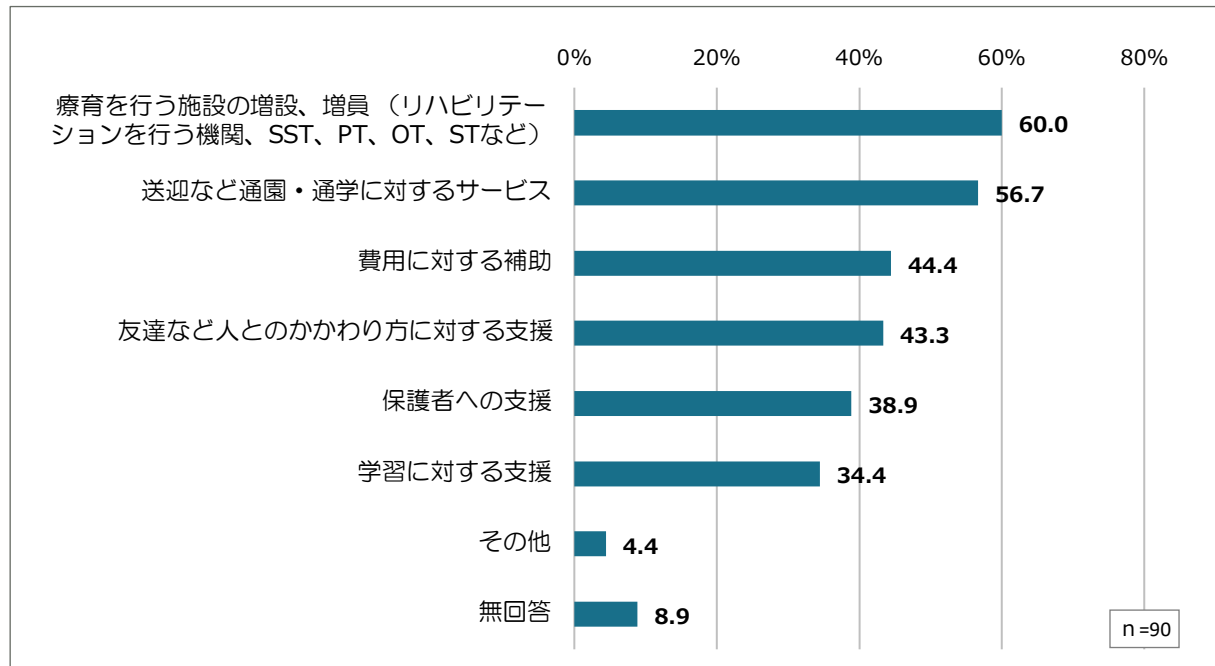


問 54 充実させるべき支援

18歳未満の方の保護者のみ

お子さんが受けている療育や支援について、さらに充実させるべきだと思うことはありますか（複数回答）

「療育を行う施設の増設、増員（リハビリテーションを行う機関、SST、PT、OT、ST など）が 60.0%と最も高く、次いで「送迎など通園・通学に対するサービス」が 56.7%となっています。



- **SST（Social Skills Training：社会生活技能訓練）**

社会生活を行うのに必要な対人関係や服薬管理、金銭管理などを身につける訓練です。

- **PT（Physical Therapist：理学療法士）**

立つ、座る、歩くなどの基本的な動作能力の回復や改善を目標とした運動機能回復のリハビリテーションを行う専門職です。

- **OT（Occupational Therapist：作業療法士）**

日常の作業や家事動作などの指導や援助をし、応用的動作のリハビリテーションや精神的ケアを行う専門職です。

- **ST（Speech Therapist：言語聴覚療法士）**

聞く、話す、食べるなどのコミュニケーションに障がいのある方に、機能の評価に基づいて社会生活上必要とされるリハビリテーションを行う専門職です。

■ 障がい児福祉サービスの利用状況

問 55 障がい児福祉サービス等の利用状況と利用意向

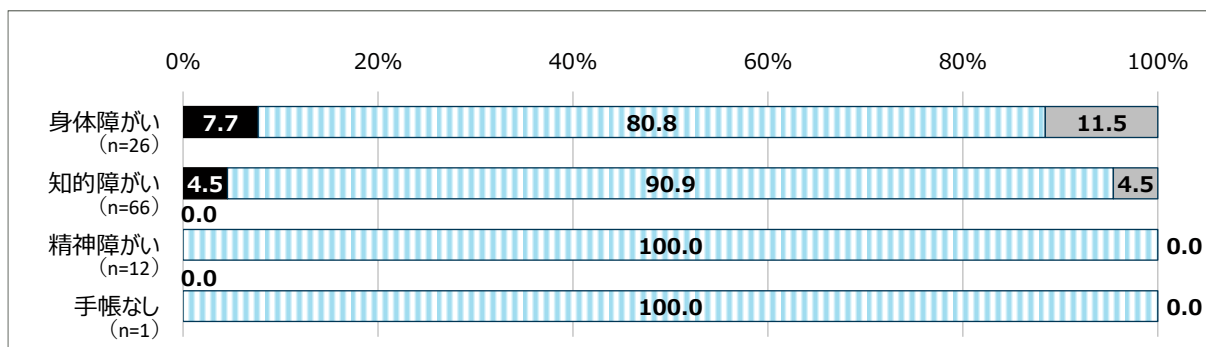
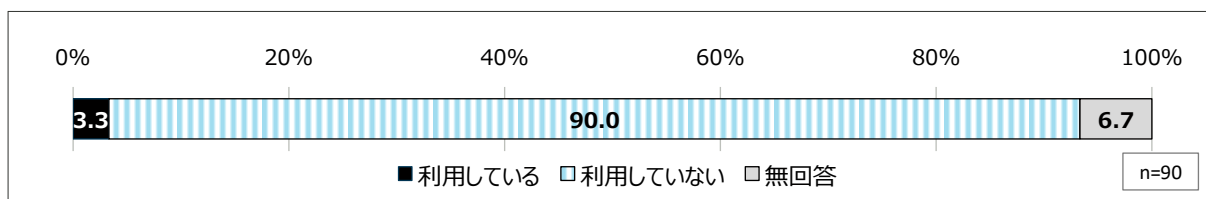
18歳未満の方のみ

以下の障がい児向けサービスを利用したことがありますか。また、今後3年以内に利用したいと思いませんか

① 居宅介護（ホームヘルプ）

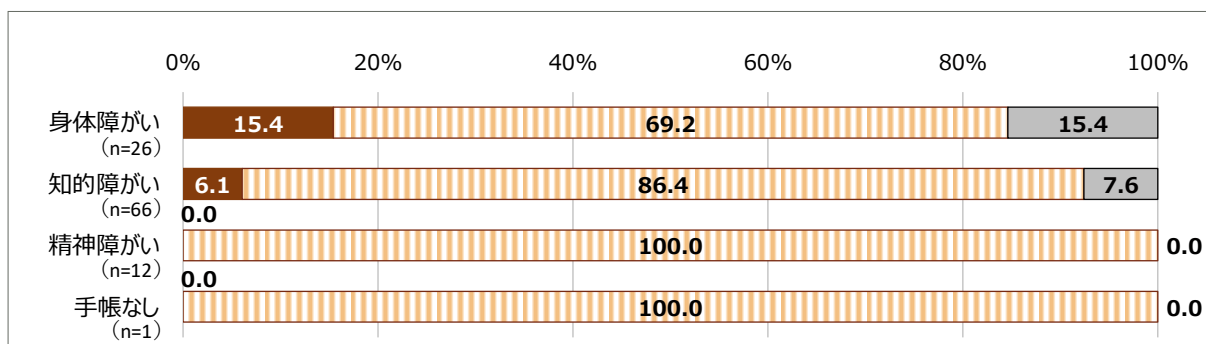
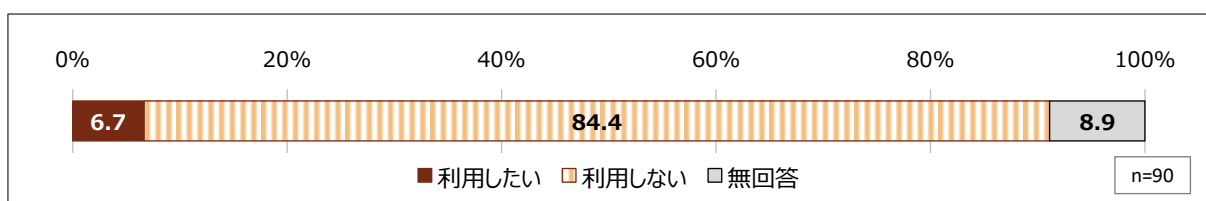
現在の利用

サービス利用者は3.3%となっています。



今後3年以内の利用希望

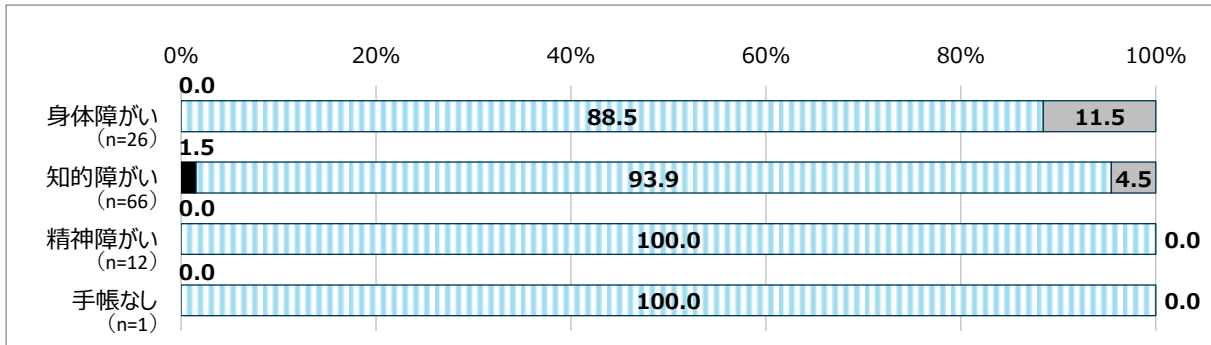
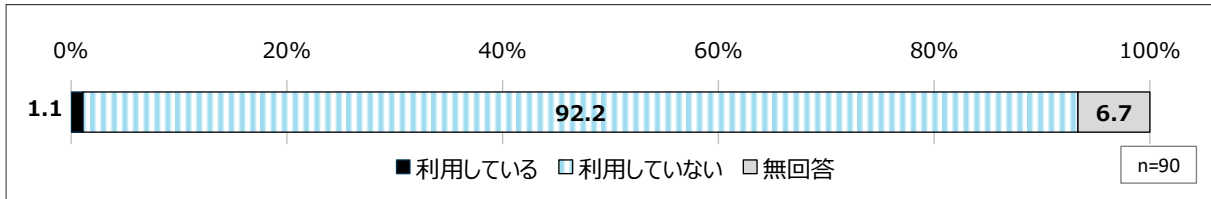
「利用したい」は6.7%となっています。



② 同行援護

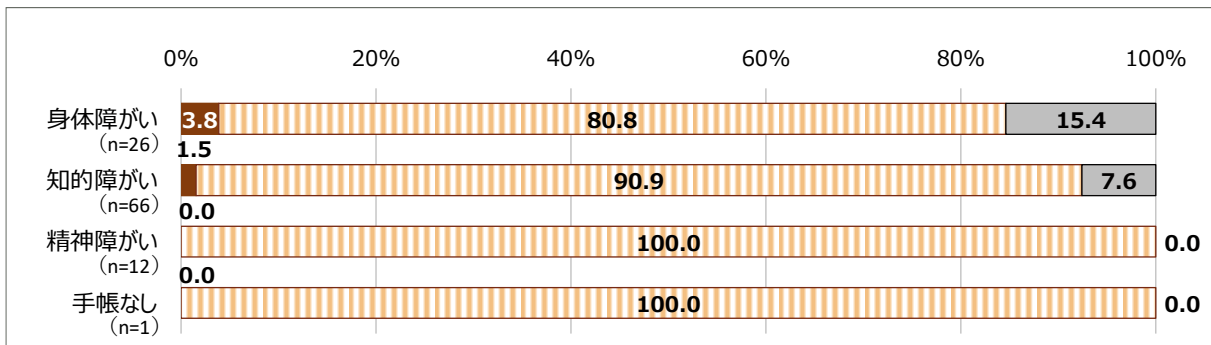
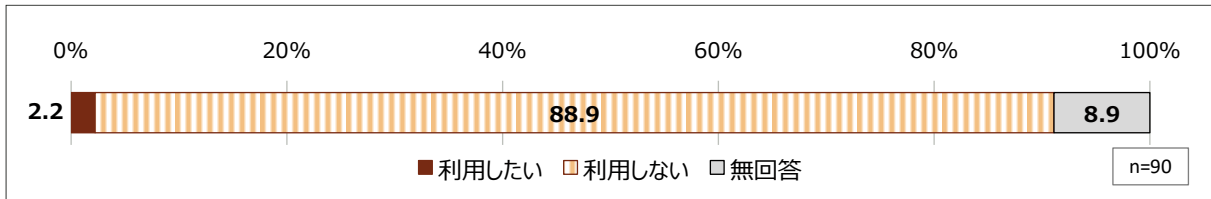
現在の利用

サービス利用者は 1.1%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

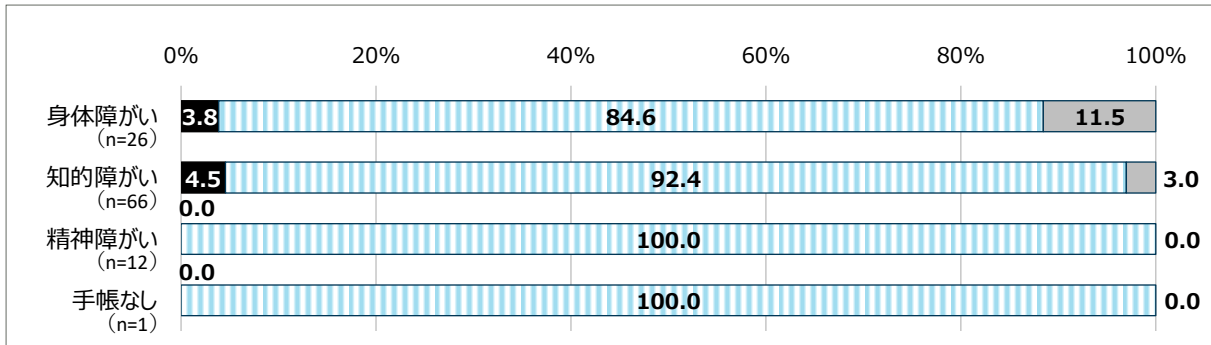
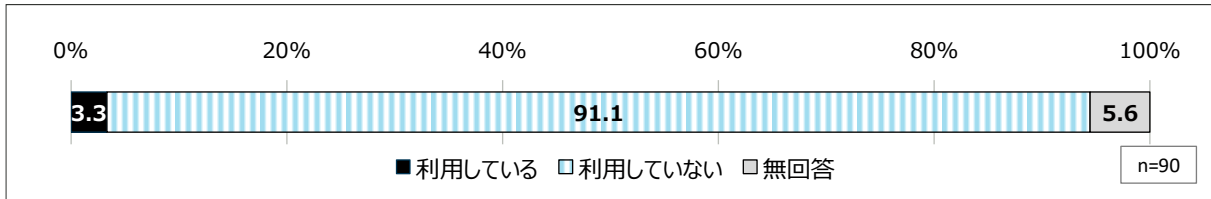
「利用したい」は 2.2%となっています。



③ 行動援護

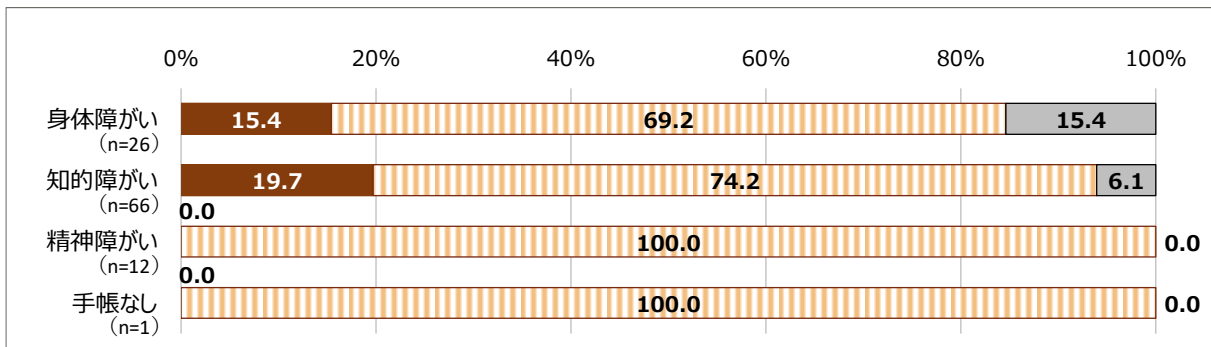
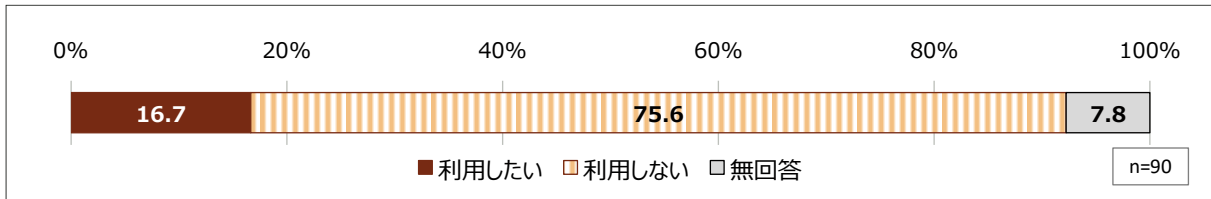
現在の利用

サービス利用者は 3.3%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

「利用したい」は 16.7%となっています。



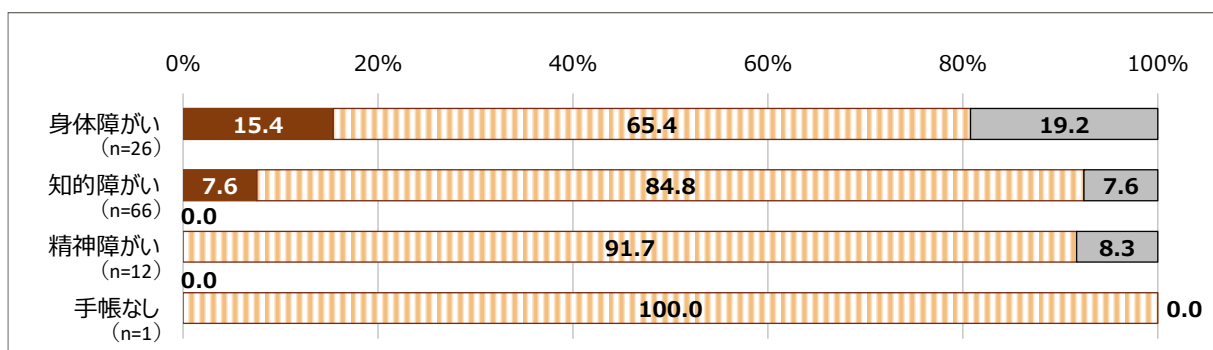
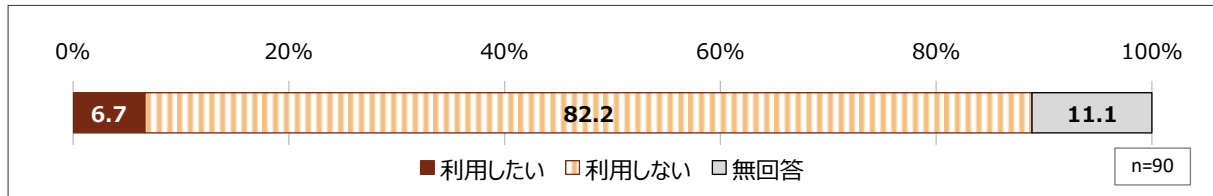
④ 重度障害者等包括支援

現在の利用

事業者がないため未実施です。

今後 3 年以内の利用希望

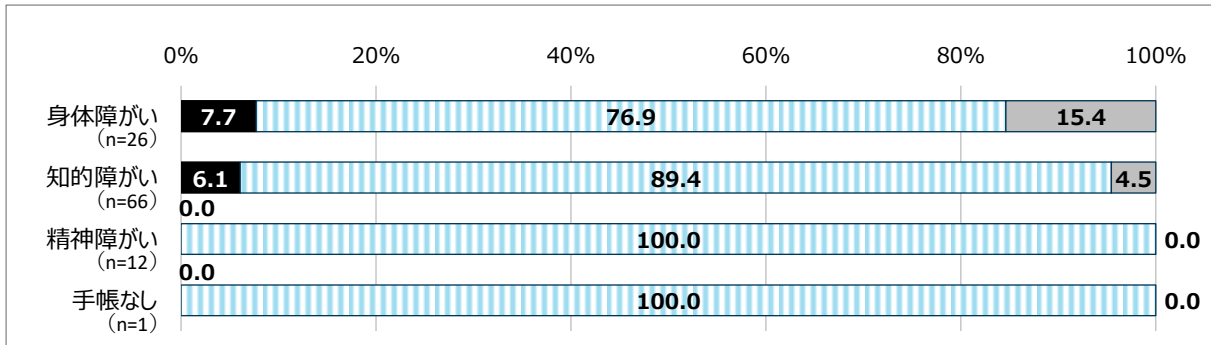
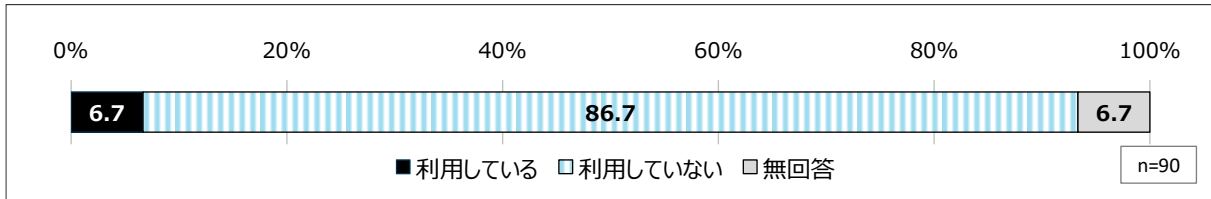
「利用したい」は 6.7%となっています。



⑤ 短期入所（ショートステイ）

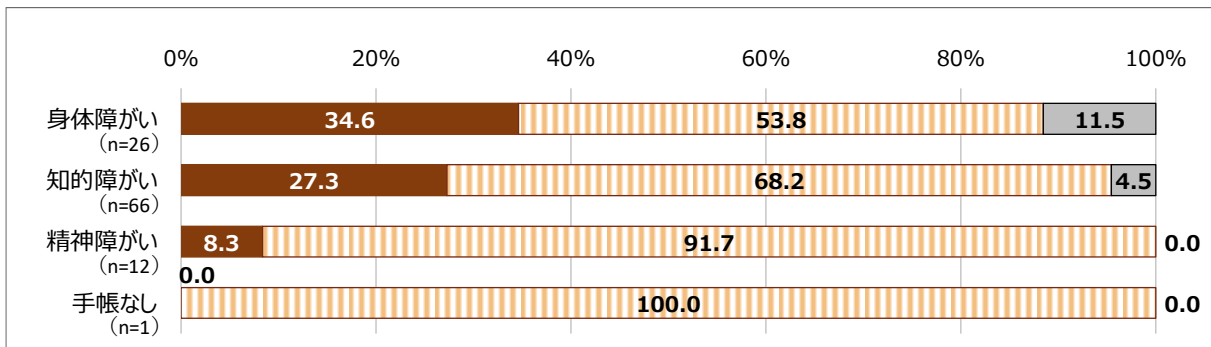
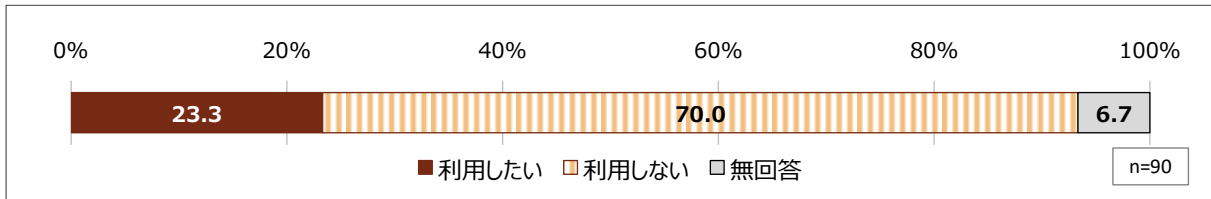
現在の利用

サービス利用者は 6.7%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

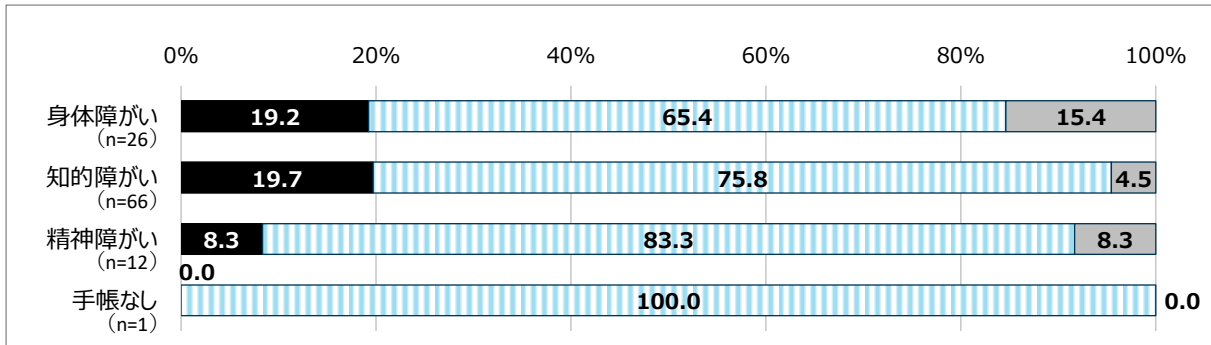
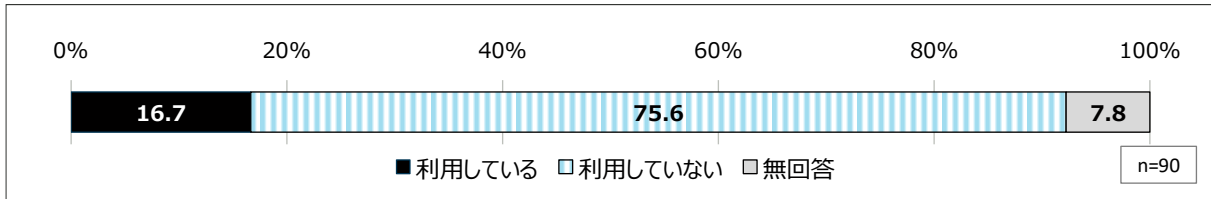
「利用したい」は 23.3%となっています。



⑥ 児童発達支援

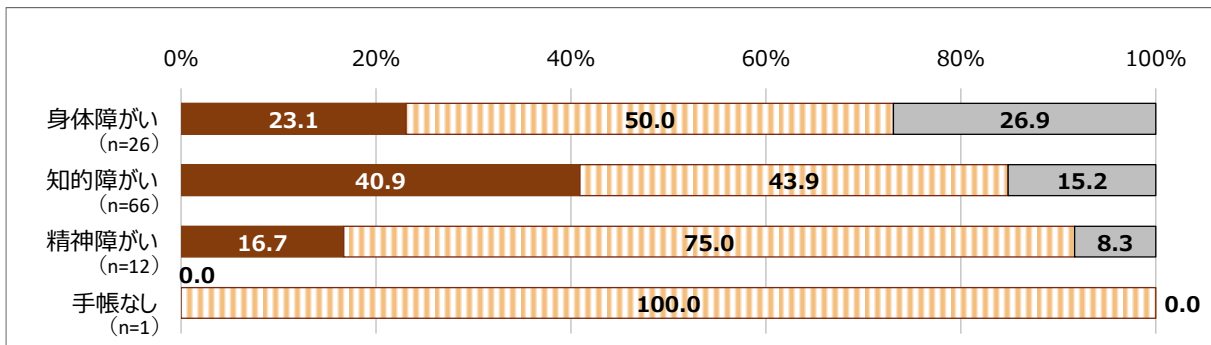
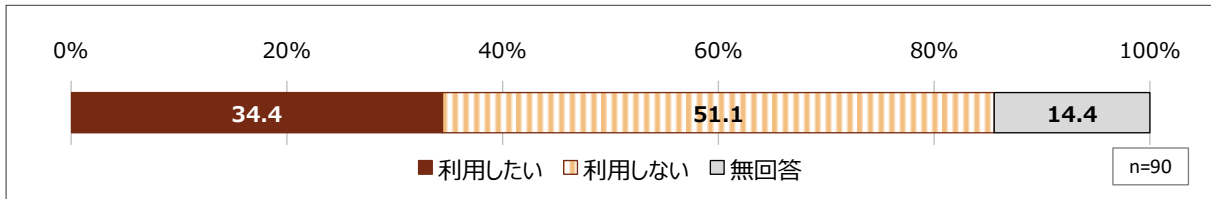
現在の利用

サービス利用者は 16.7%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

「利用したい」は 34.4%となっています。



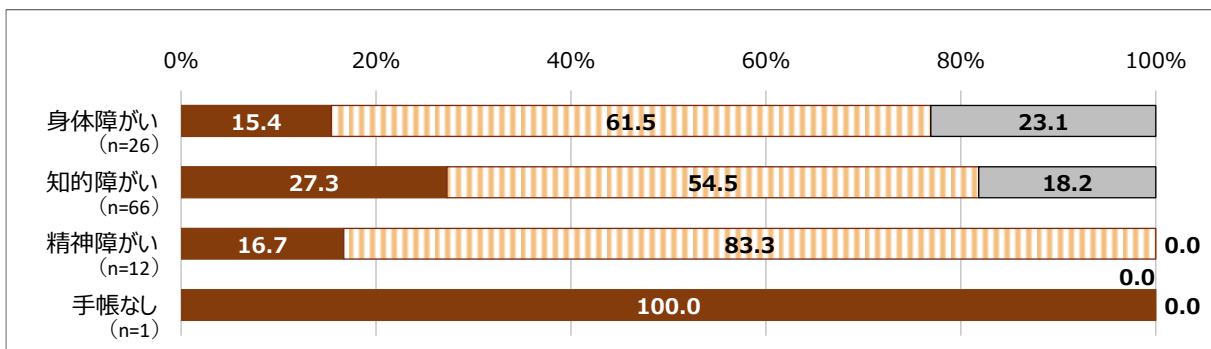
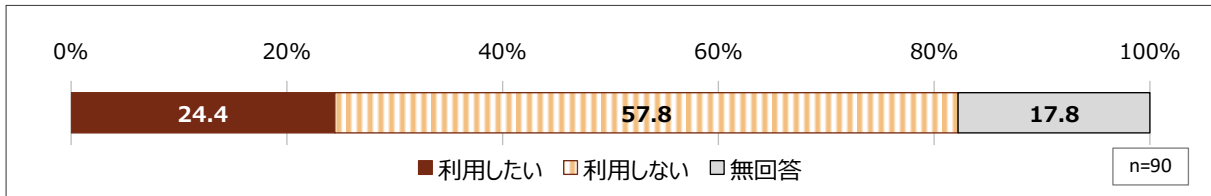
⑦ 医療型児童発達支援

現在の利用

事業者がないため未実施です。

今後3年以内の利用希望

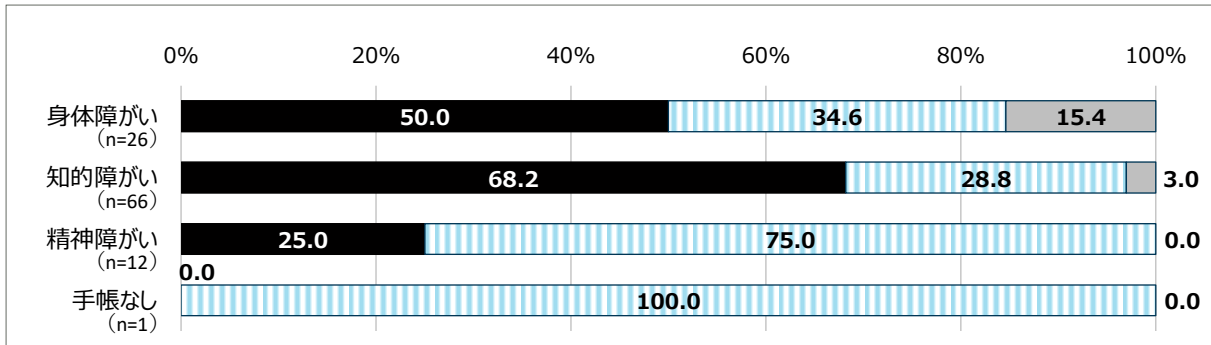
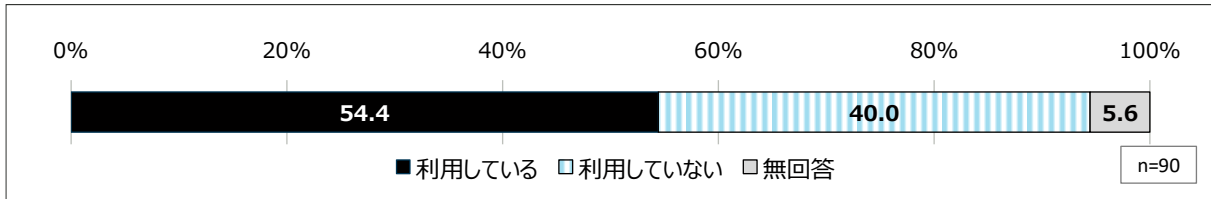
「利用したい」は24.4%となっています。



⑧ 放課後等デイサービス

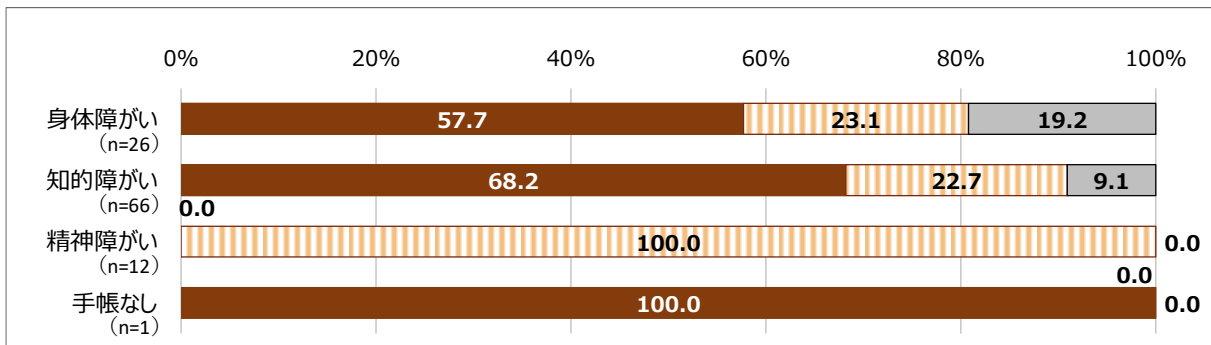
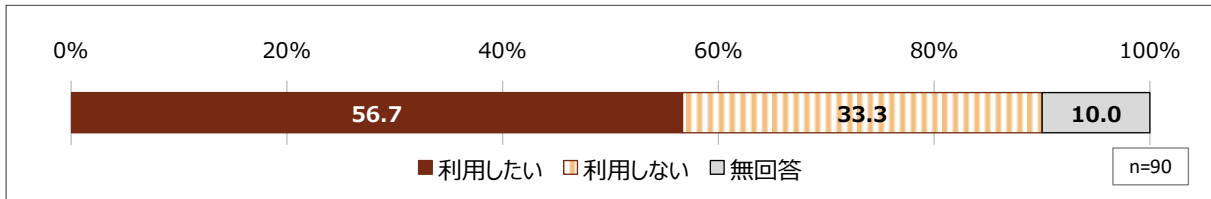
現在の利用

サービス利用者は 54.4%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

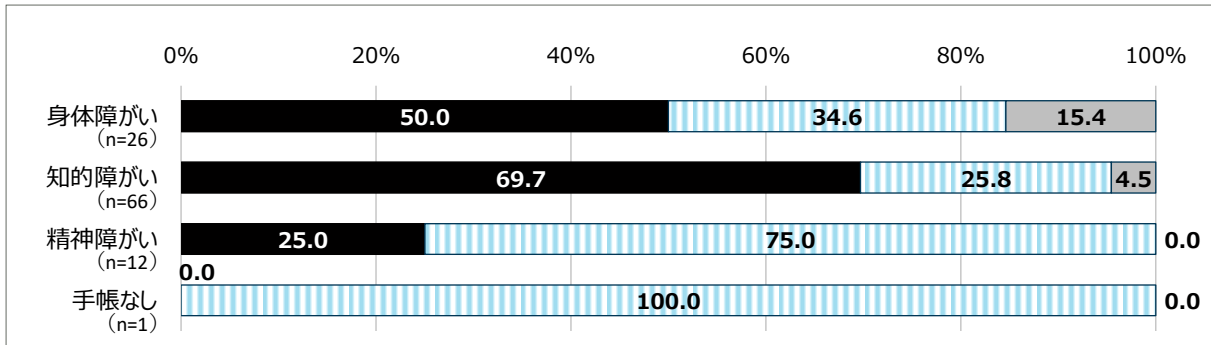
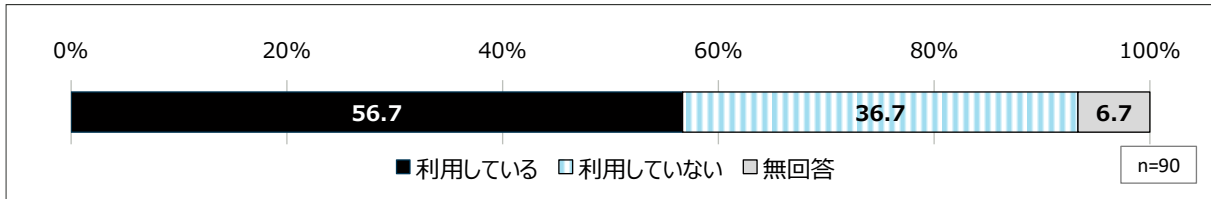
「利用したい」は 56.7%となっています。



⑨ 障害児相談支援

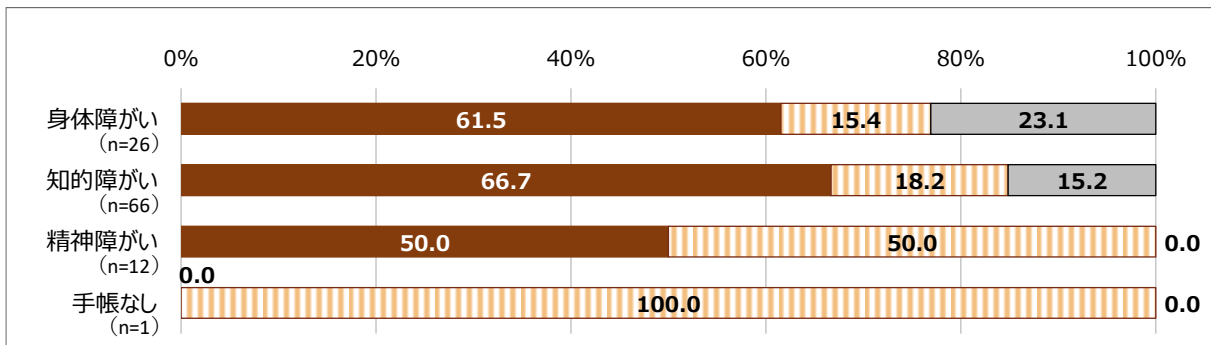
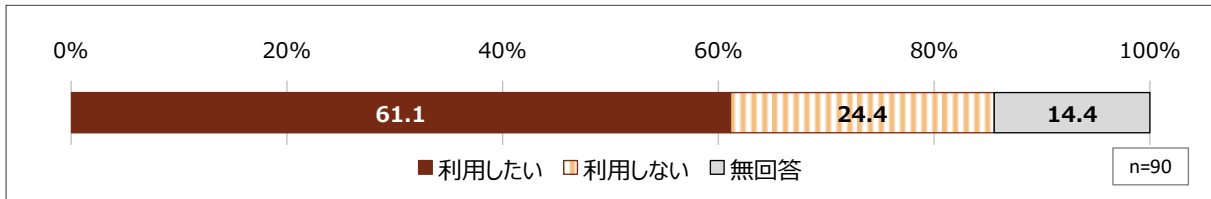
現在の利用

サービス利用者は 56.7%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

「利用したい」は 61.1%となっています。



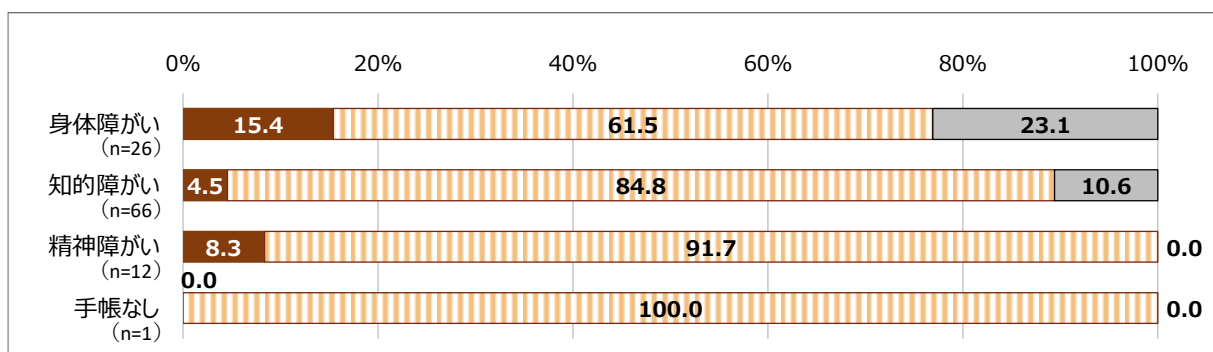
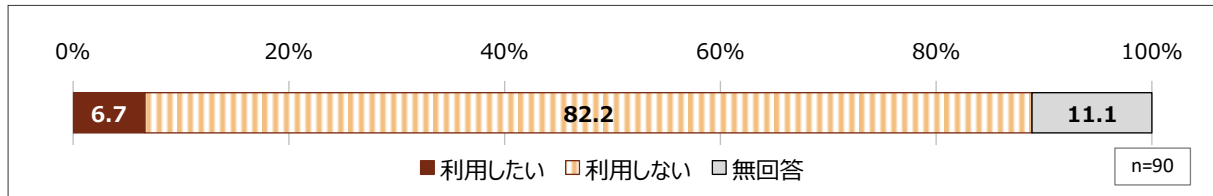
⑩ 居宅訪問型児童発達支援

現在の利用

市内には、サービス提供事業者はありません。

今後3年以内の利用希望

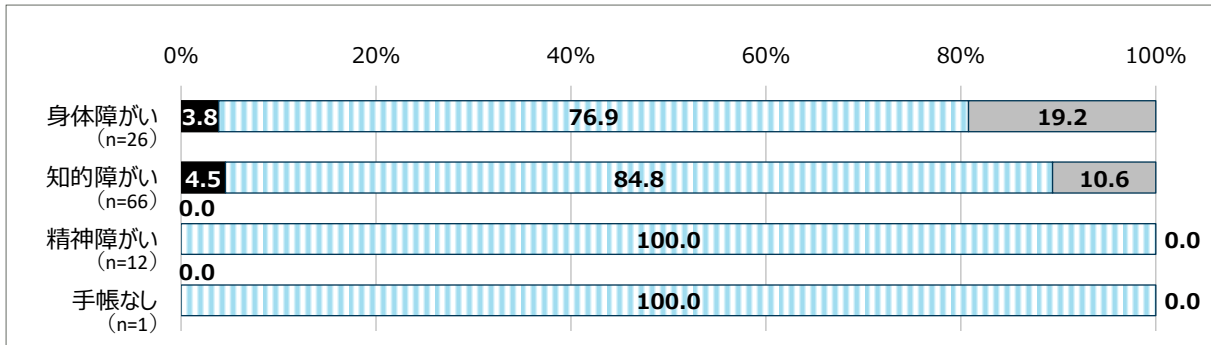
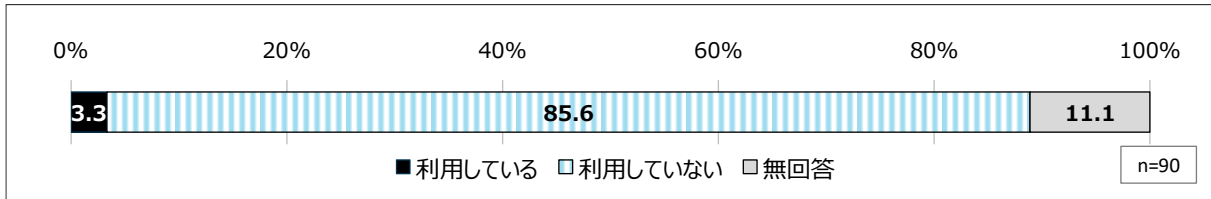
「利用したい」は6.7%となっています。



⑪ 保育所等訪問支援

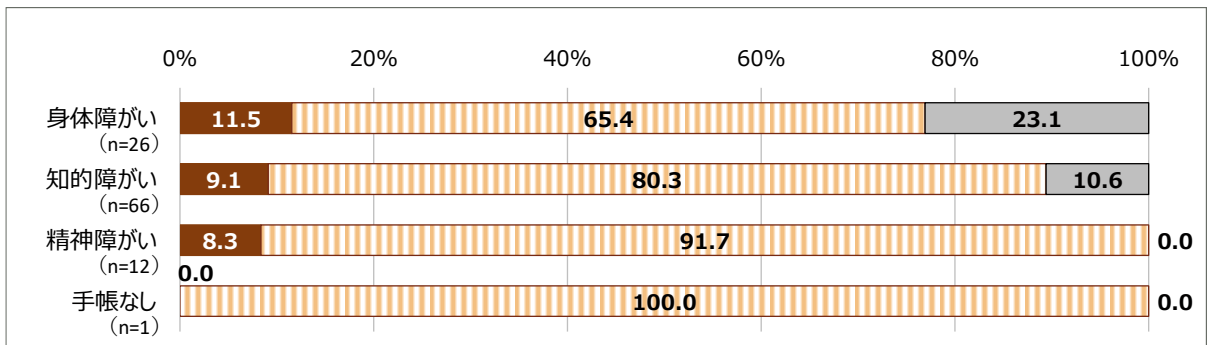
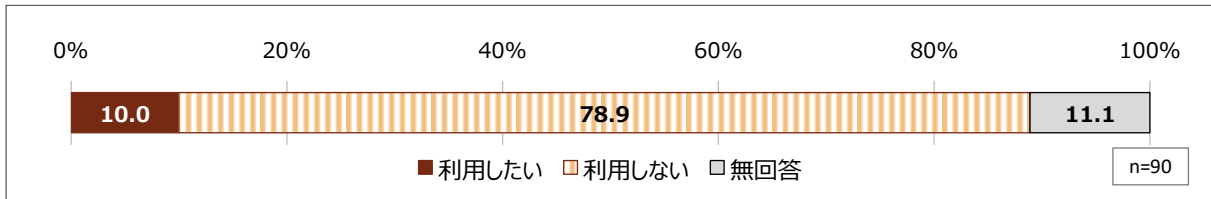
現在の利用

サービス利用者は 3.3%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

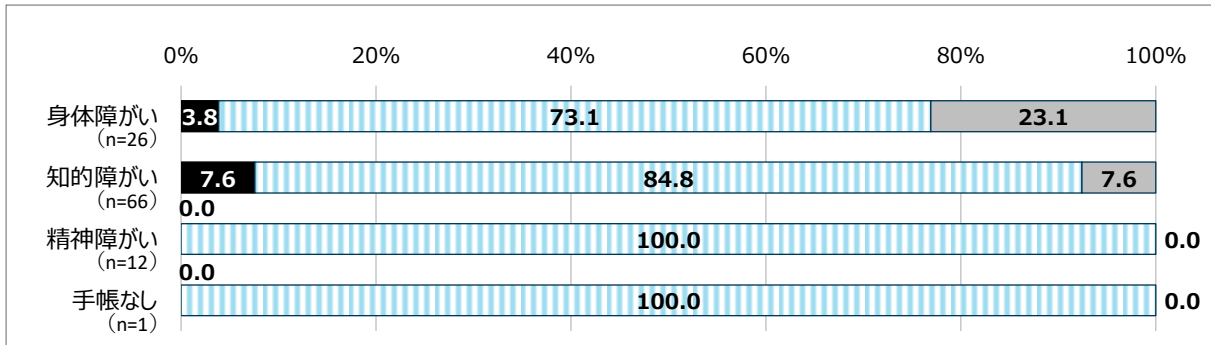
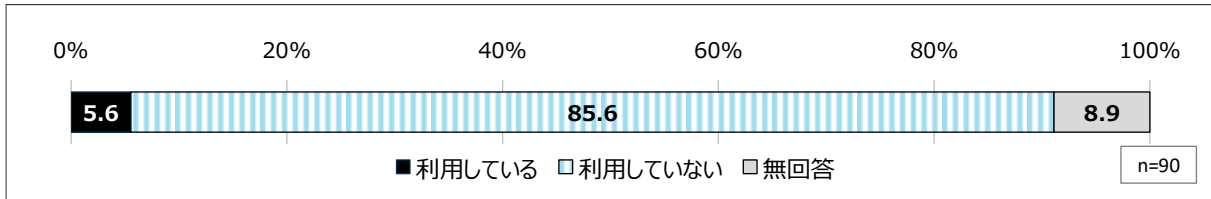
「利用したい」は 10.0%となっています。



⑫ 福祉型障がい児入所施設

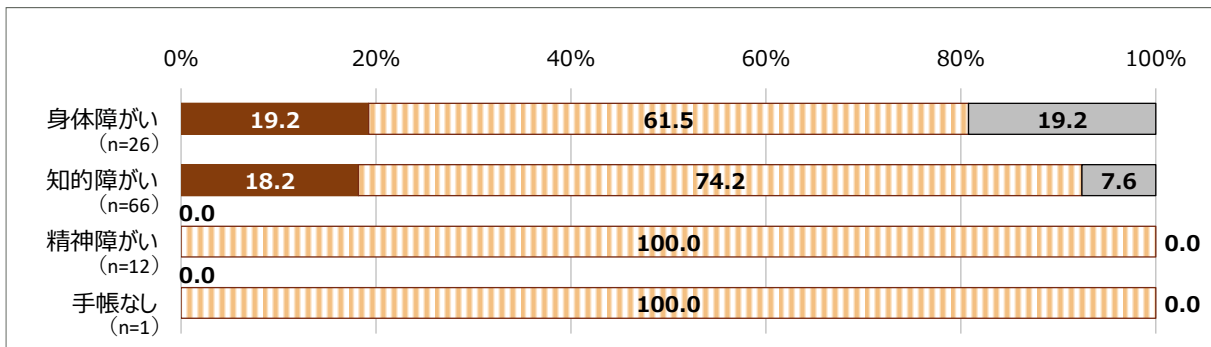
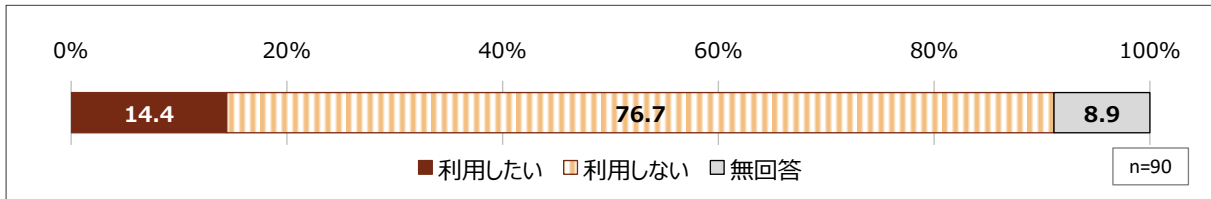
現在の利用

サービス利用者は 5.6%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

「利用したい」は 14.4%となっています。



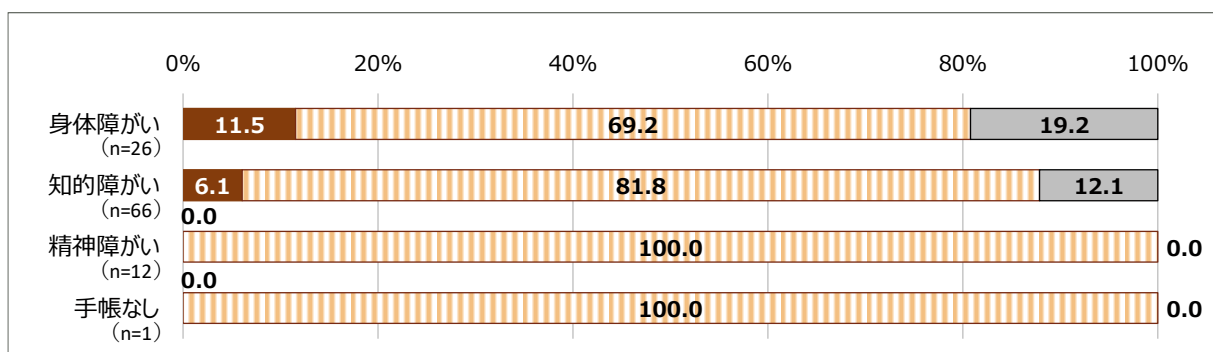
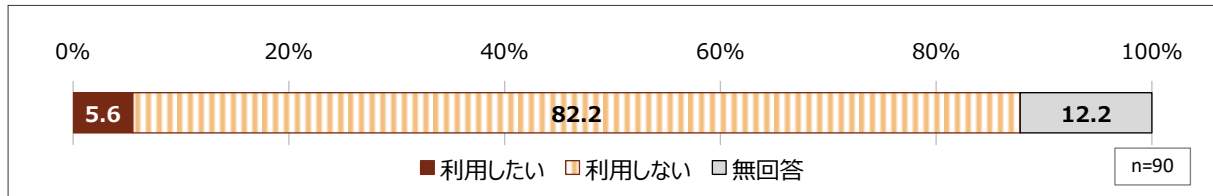
⑬ 医療型障害児入所施設

現在の利用

事業者がないため未実施です。

今後3年以内の利用希望

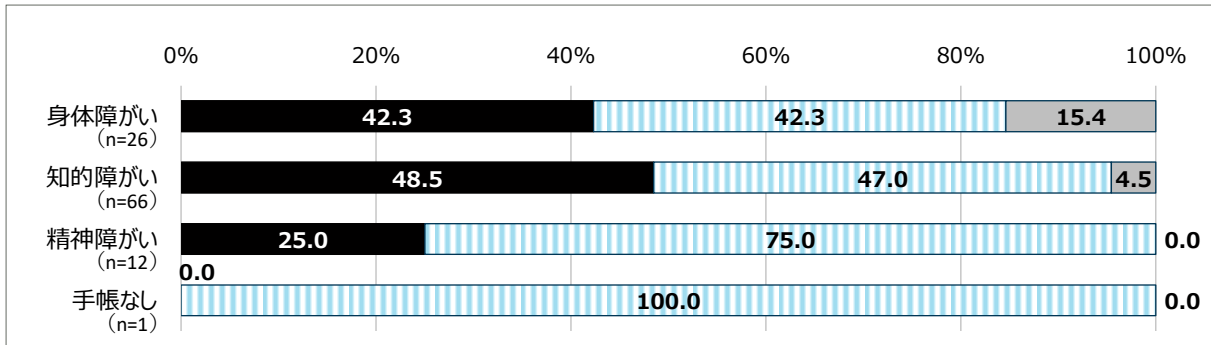
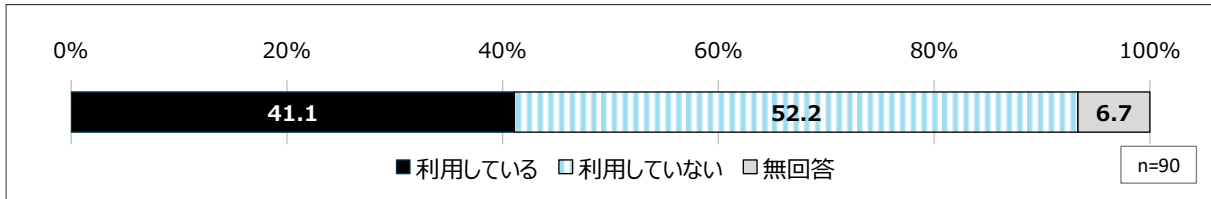
「利用したい」は5.6%となっています。



⑭ 相談支援事業

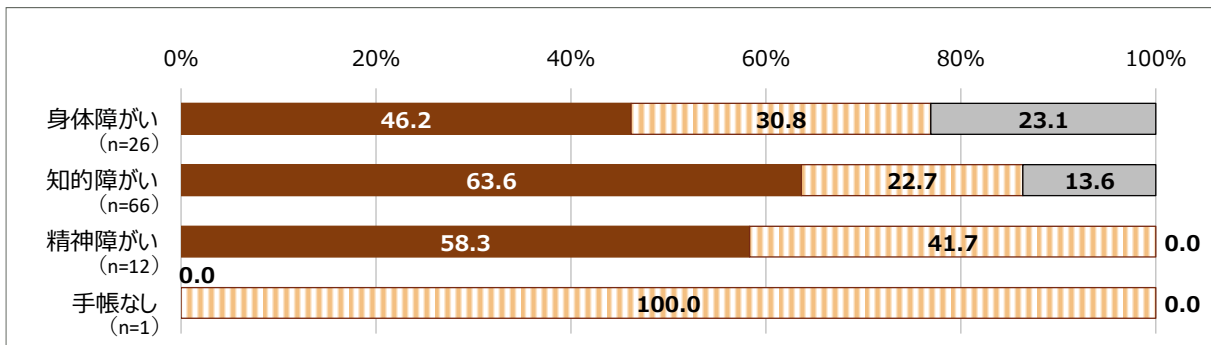
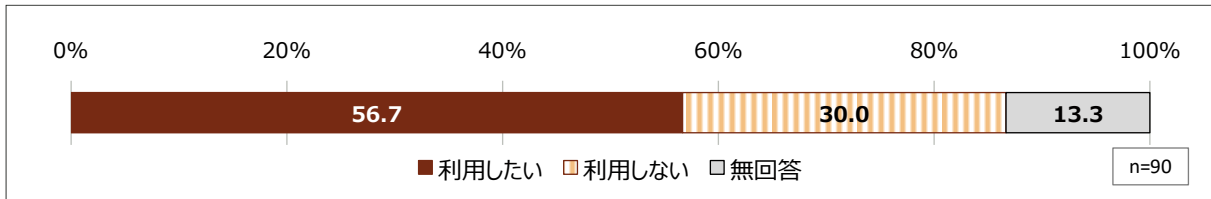
現在の利用

サービス利用者は 41.1%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

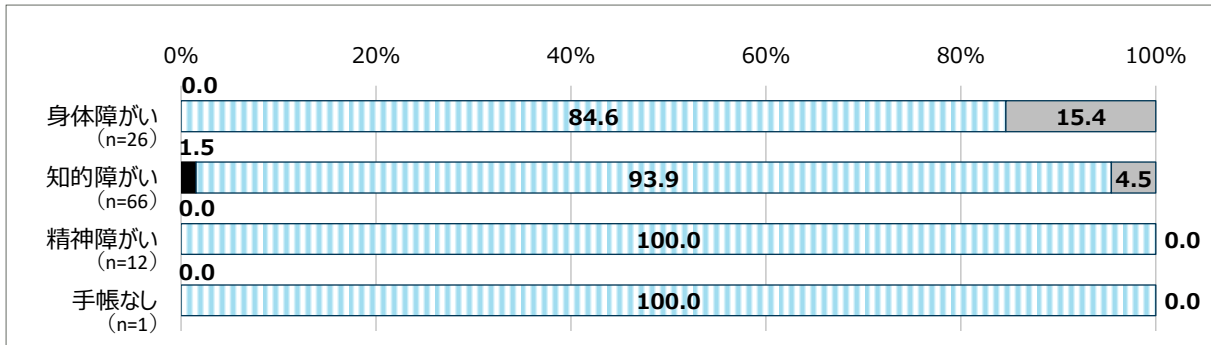
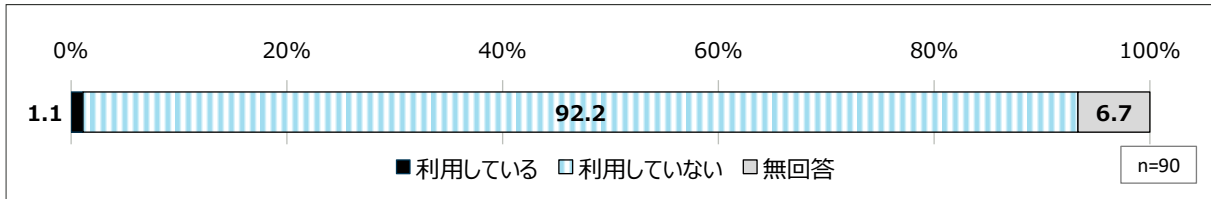
「利用したい」は 56.7%となっています。



⑮ 成年後見制度利用支援事業

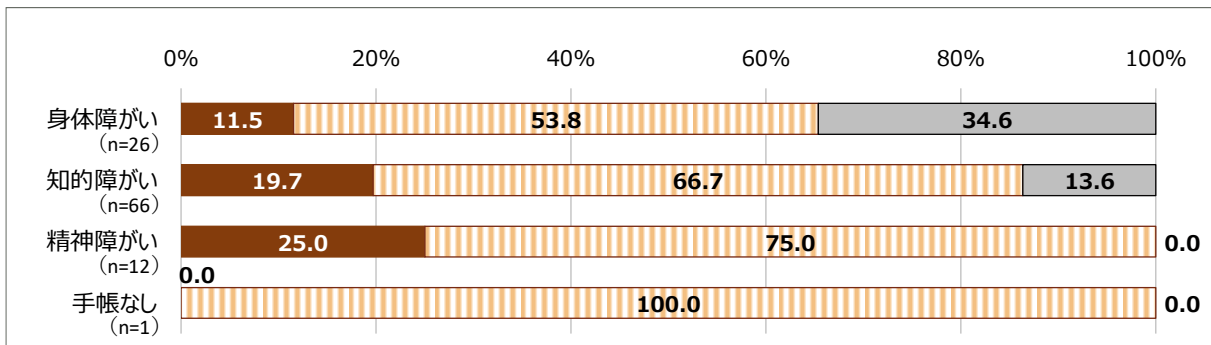
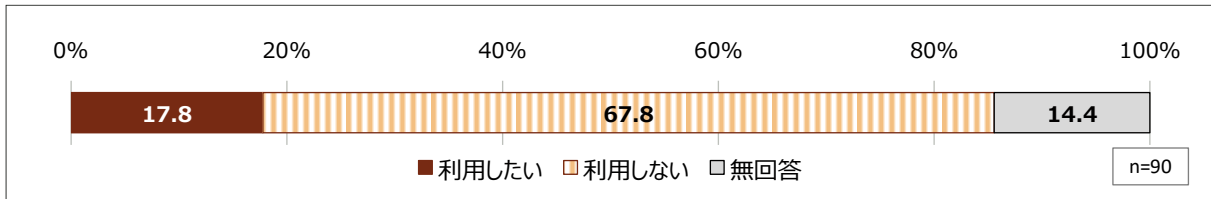
現在の利用

サービス利用者は 1.1%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

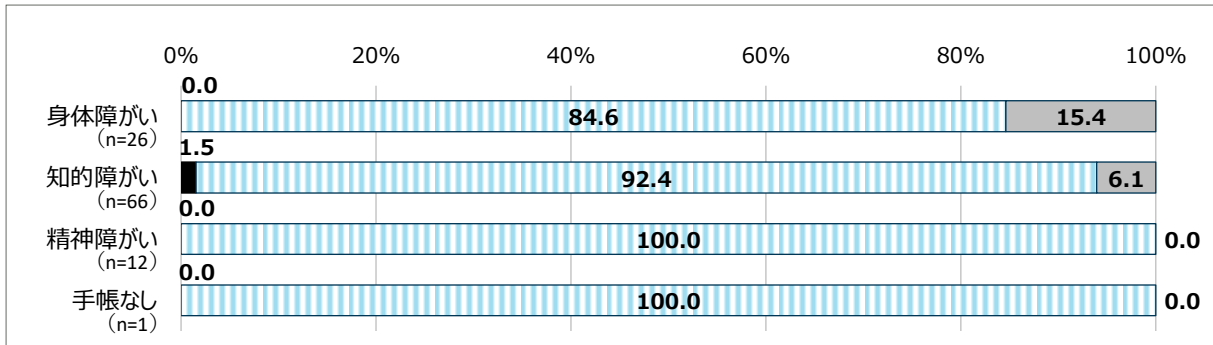
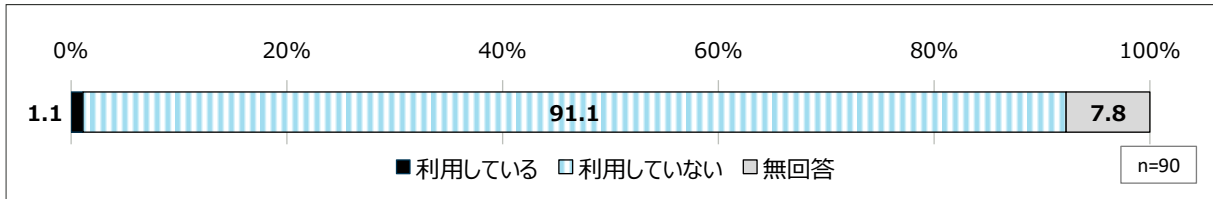
「利用したい」は 17.8%となっています。



⑯ 成年後見制度法人後見支援事業

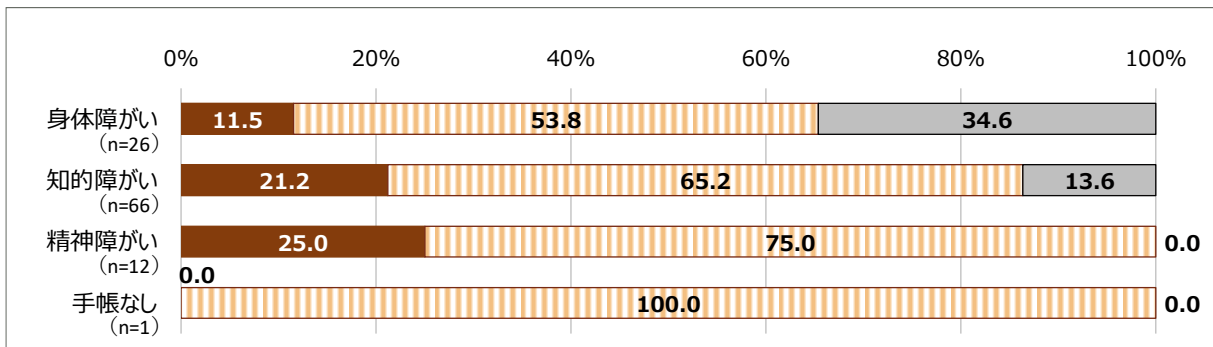
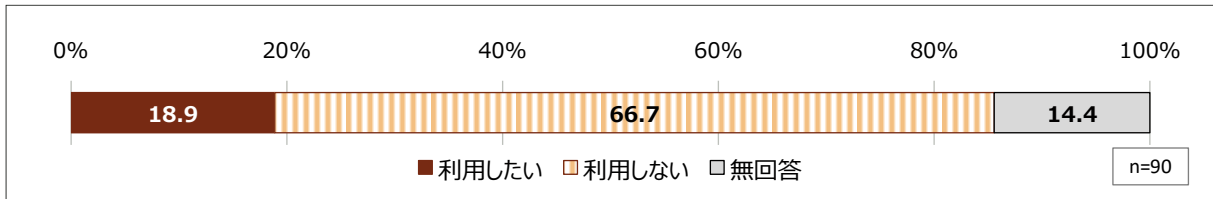
現在の利用

サービス利用者は 1.1%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

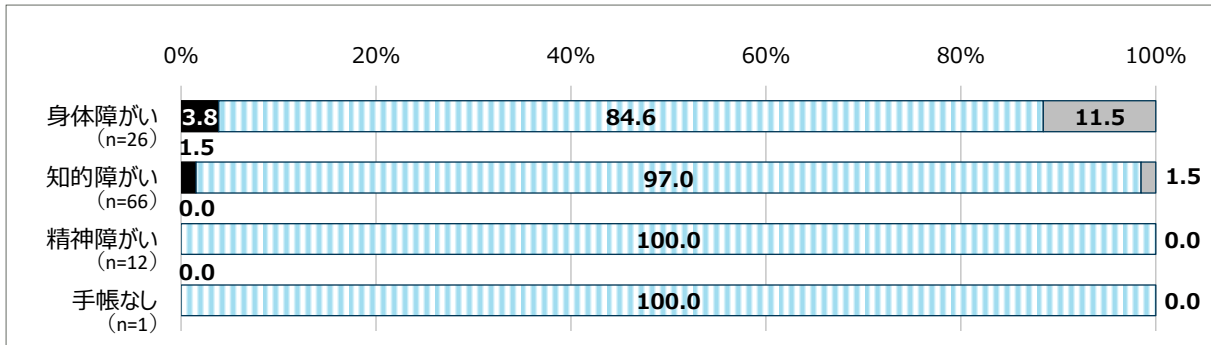
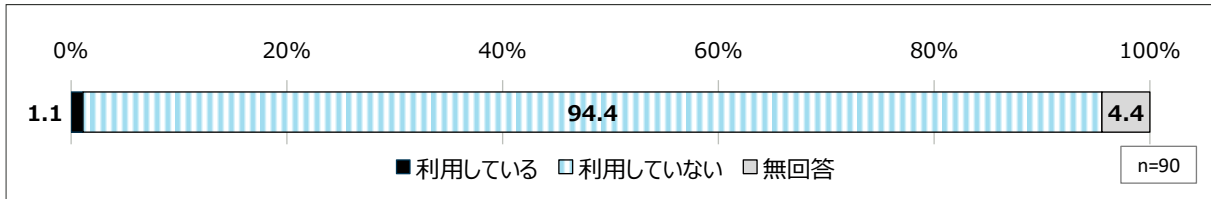
「利用したい」は 18.9%となっています。



⑰ 意思疎通支援事業

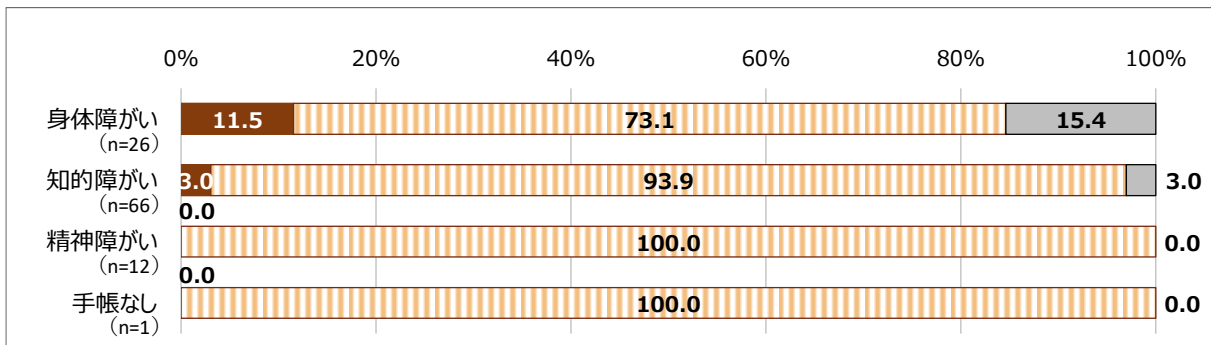
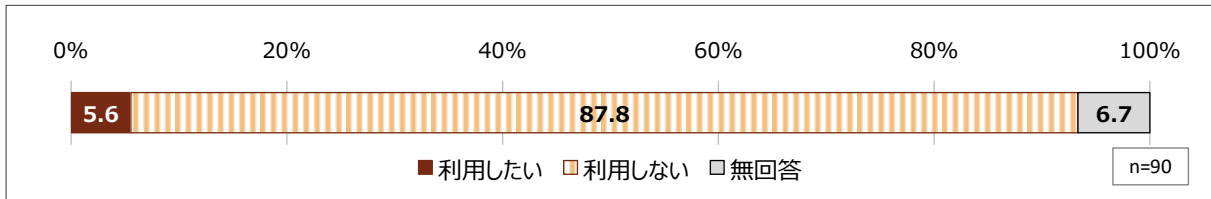
現在の利用

サービス利用者は 1.1%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

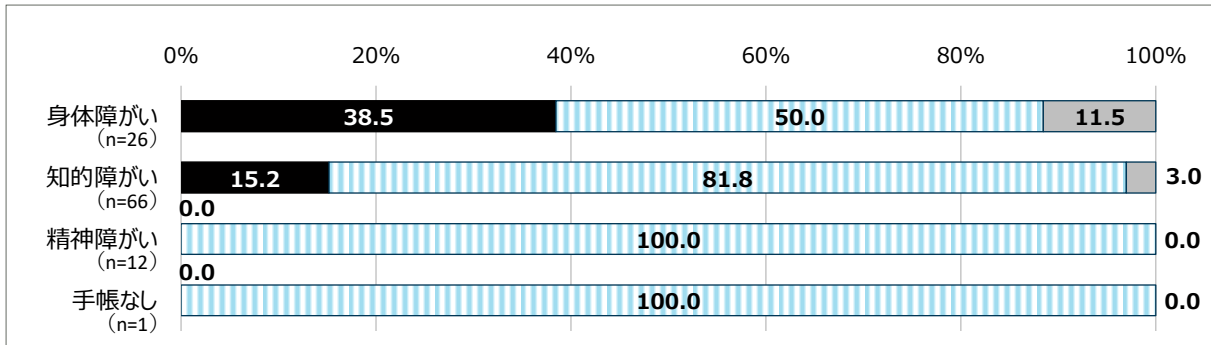
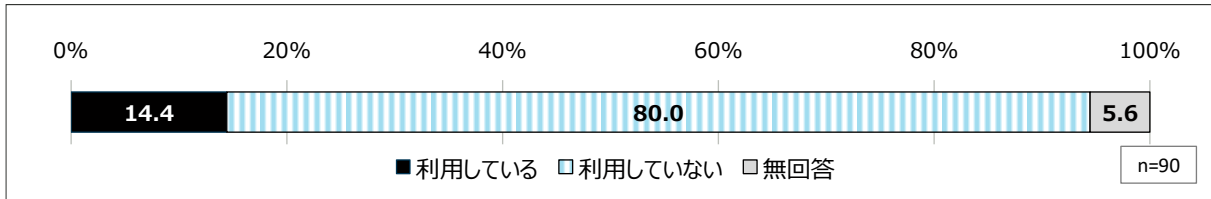
「利用したい」は 5.6%となっています。



⑱ 日常生活用具給付等事業

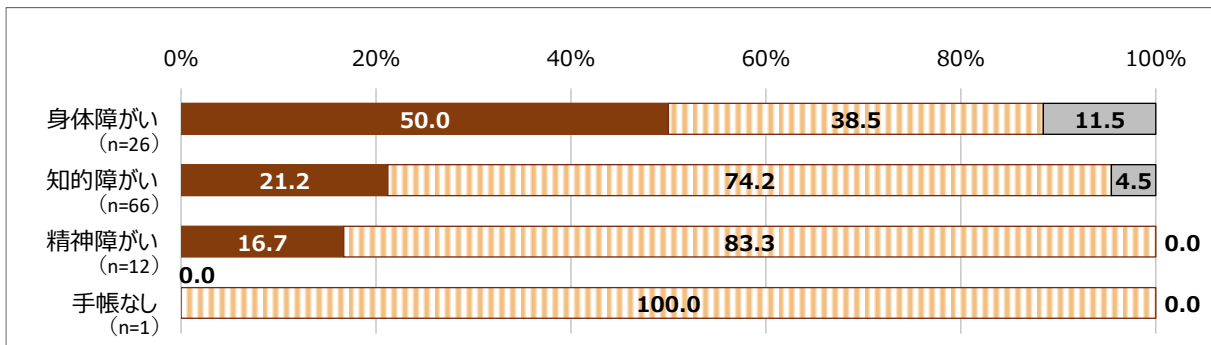
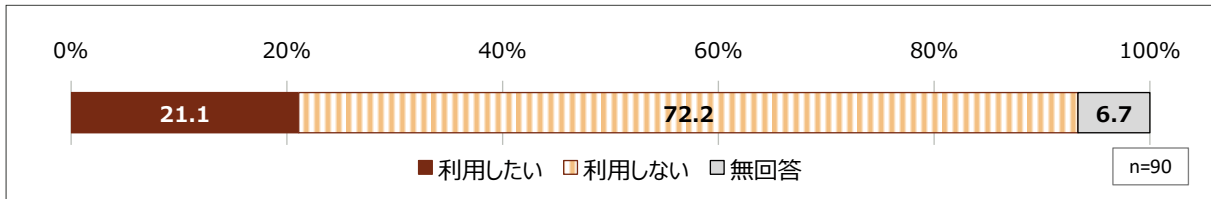
現在の利用

サービス利用者は 14.4%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

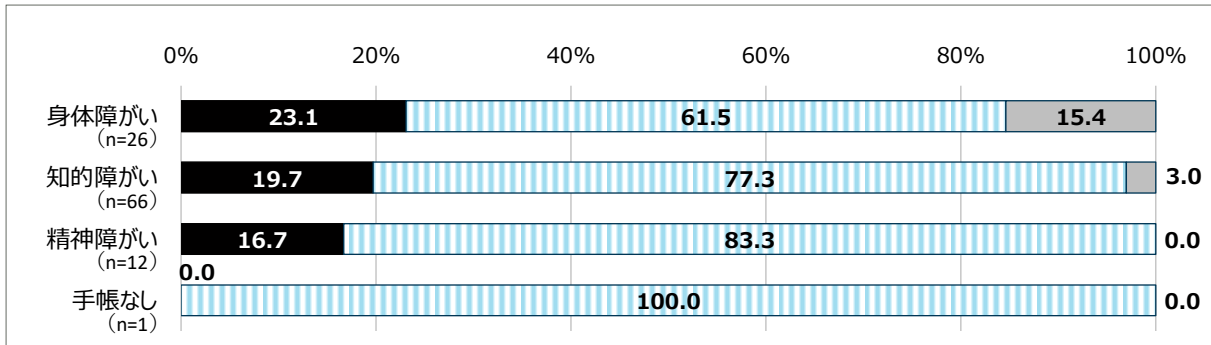
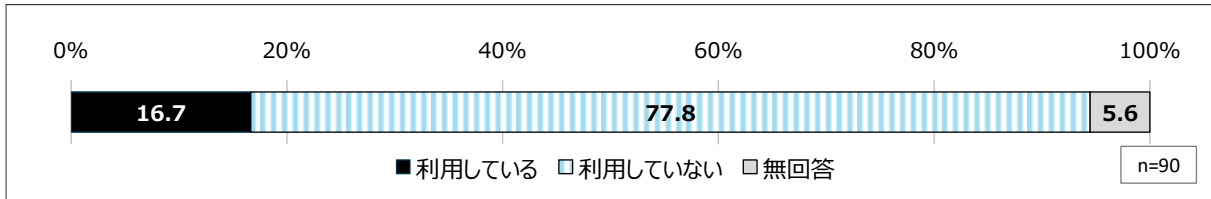
「利用したい」は 21.1%となっています。



⑱ 福祉タクシー券助成事業

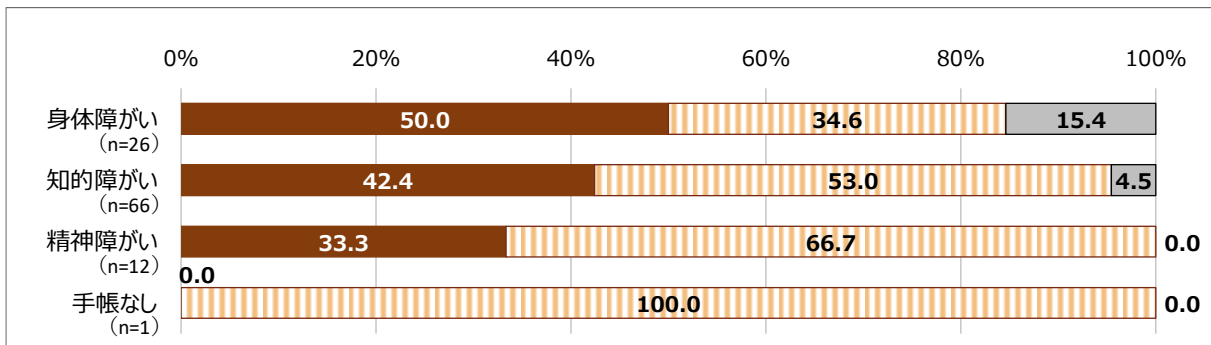
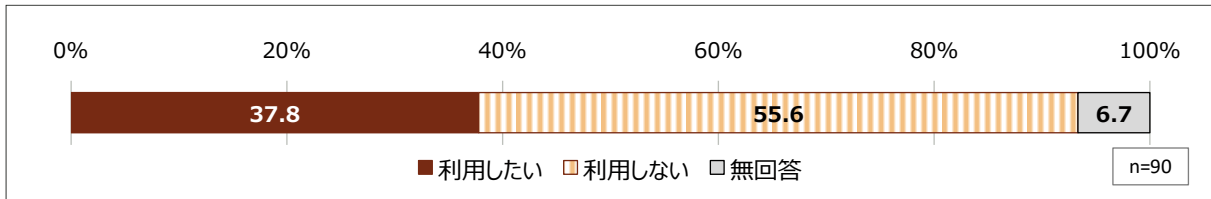
現在の利用

サービス利用者は 16.7%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

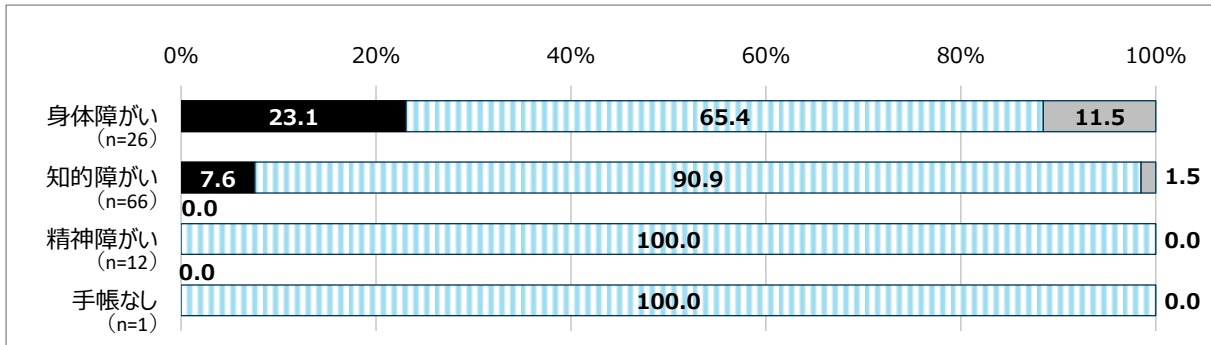
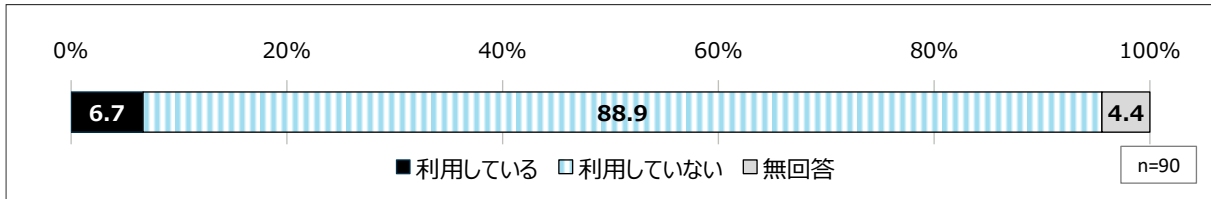
「利用したい」は 37.8%となっています。



⑳ リフト付きタクシー券助成事業

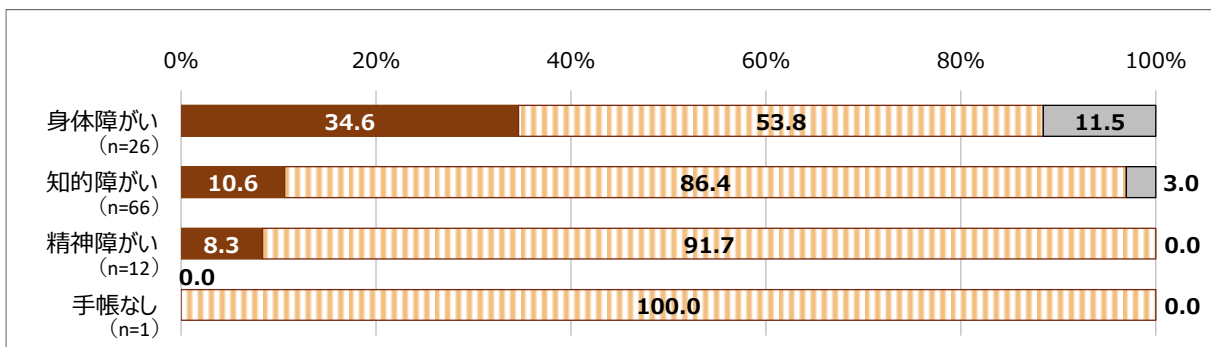
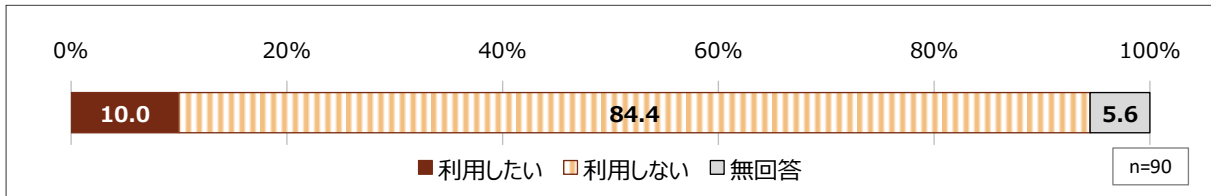
現在の利用

サービス利用者は6.7%となっています。



今後3年以内の利用希望

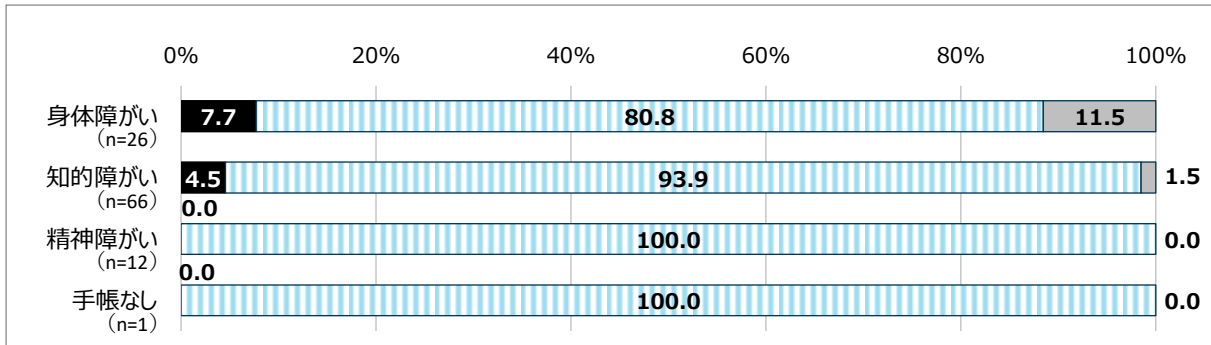
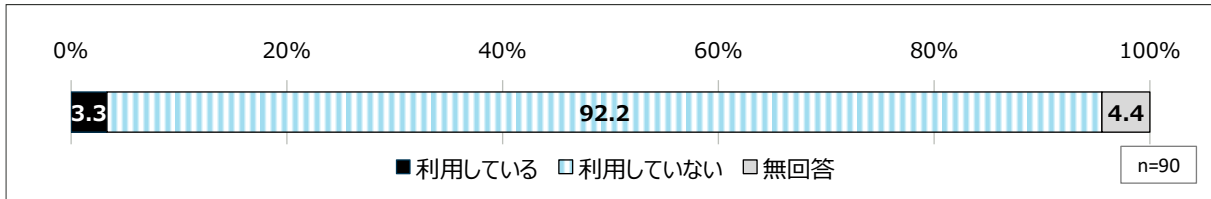
「利用したい」は10.0%となっています。



㊦ 移動支援事業

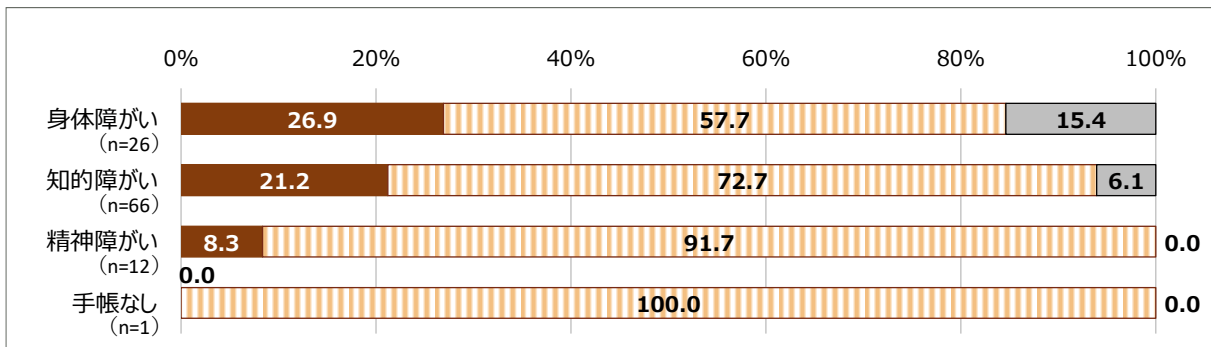
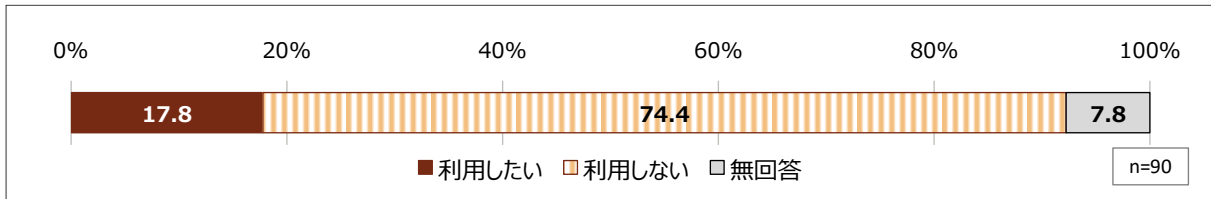
現在の利用

サービス利用者は 3.3%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

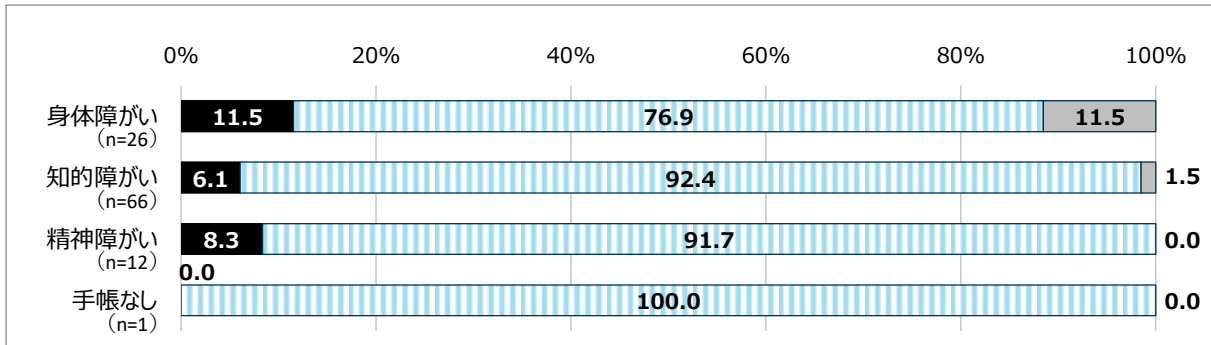
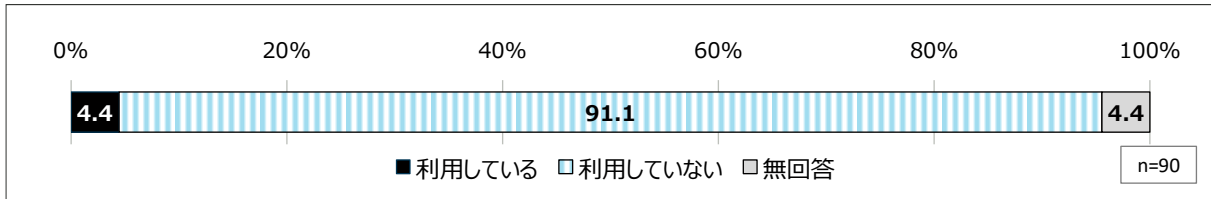
「利用したい」は 17.8%となっています。



② 地域活動支援センター事業

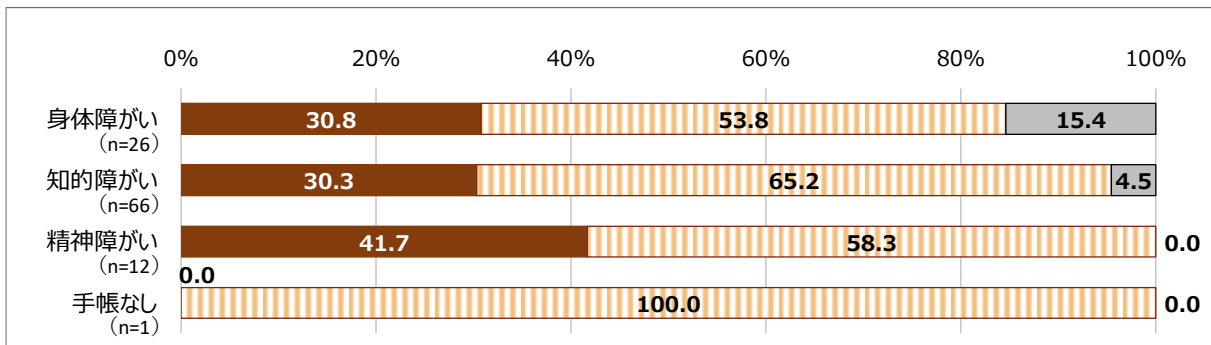
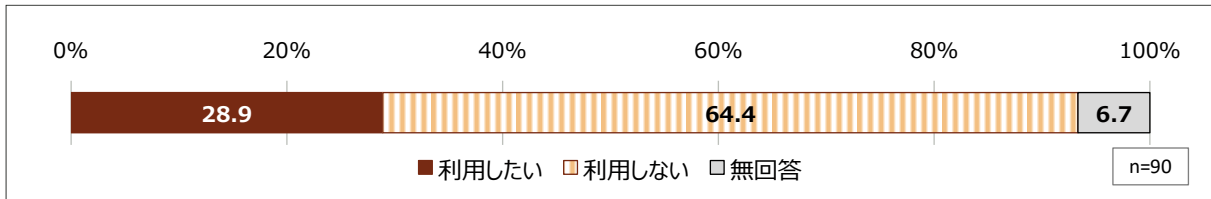
現在の利用

サービス利用者は 4.4%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

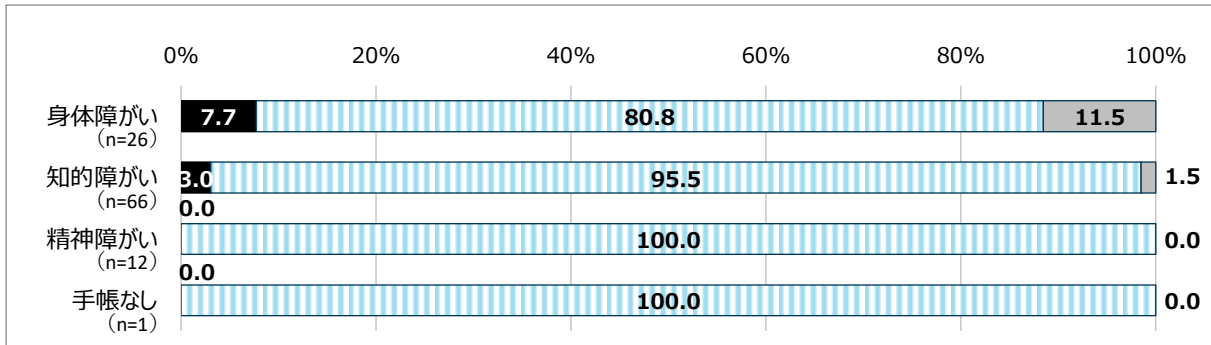
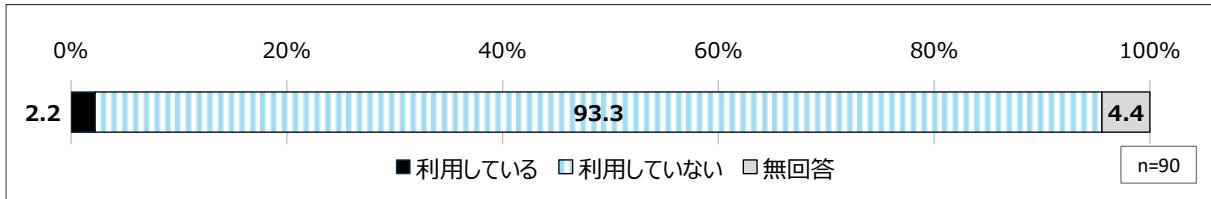
「利用したい」は 28.9%となっています。



㊸ 訪問入浴サービス事業

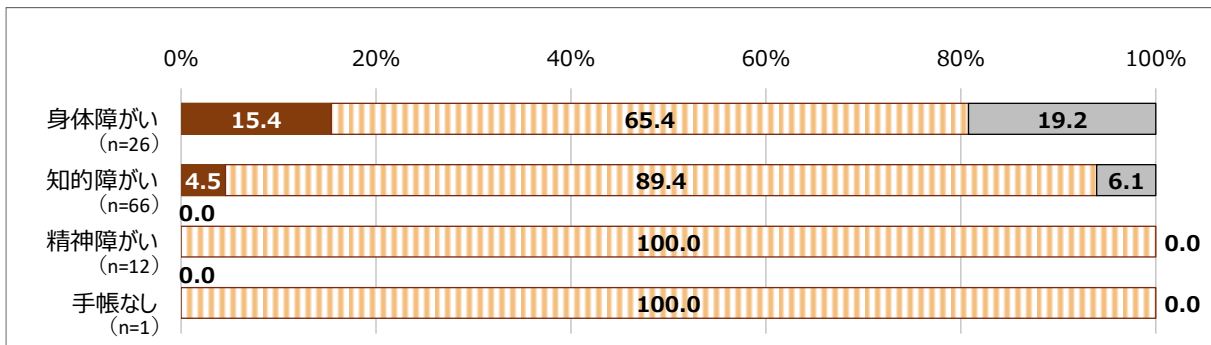
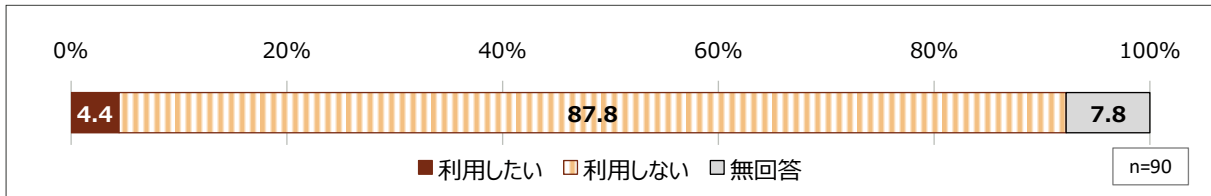
現在の利用

サービス利用者は 2.2%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

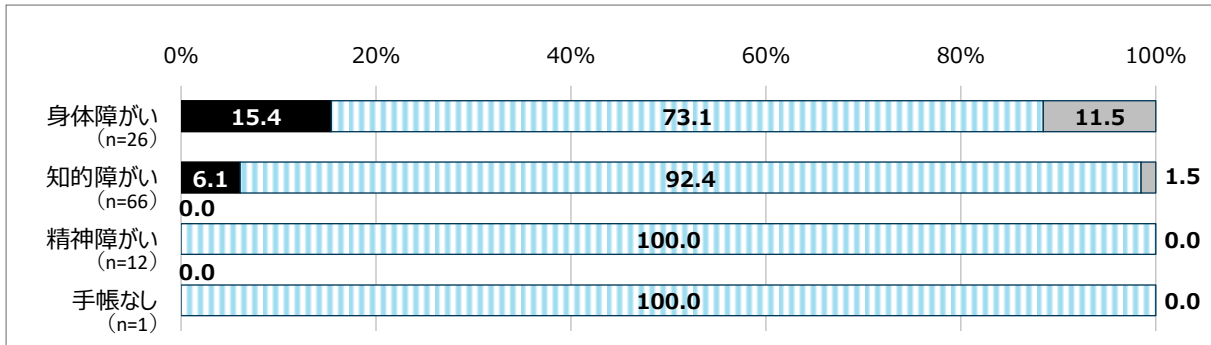
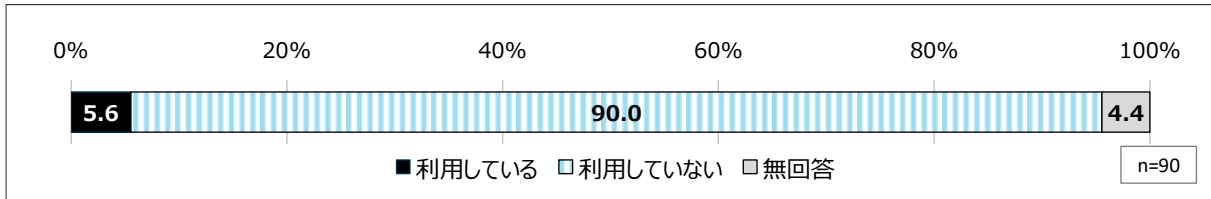
「利用したい」は 4.4%となっています。



㊤ 日中一時支援事業

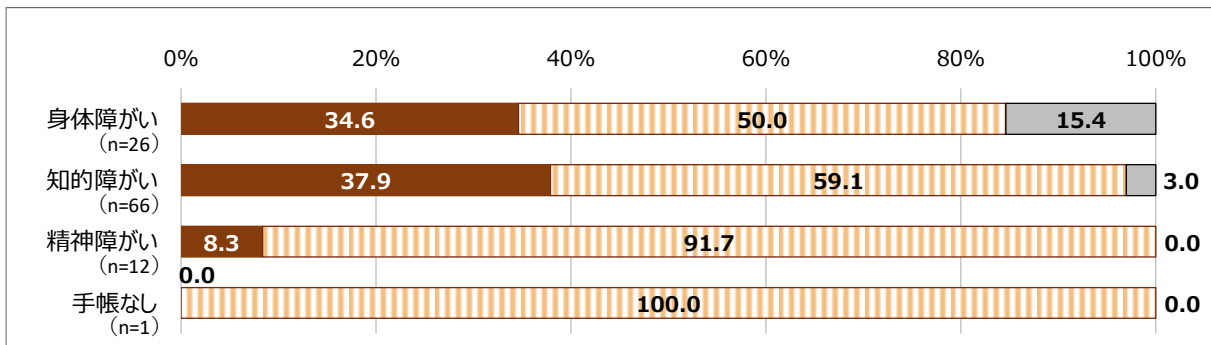
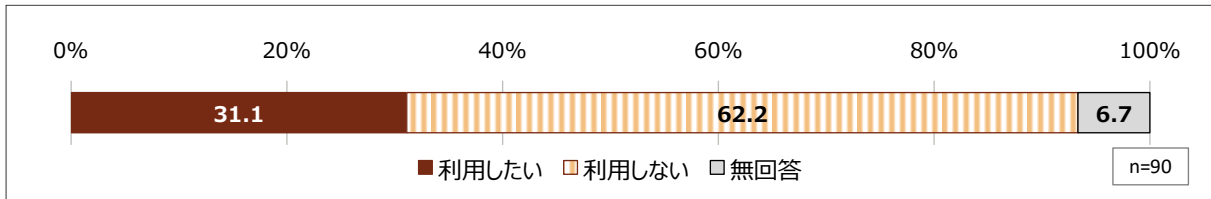
現在の利用

サービス利用者は 5.6%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

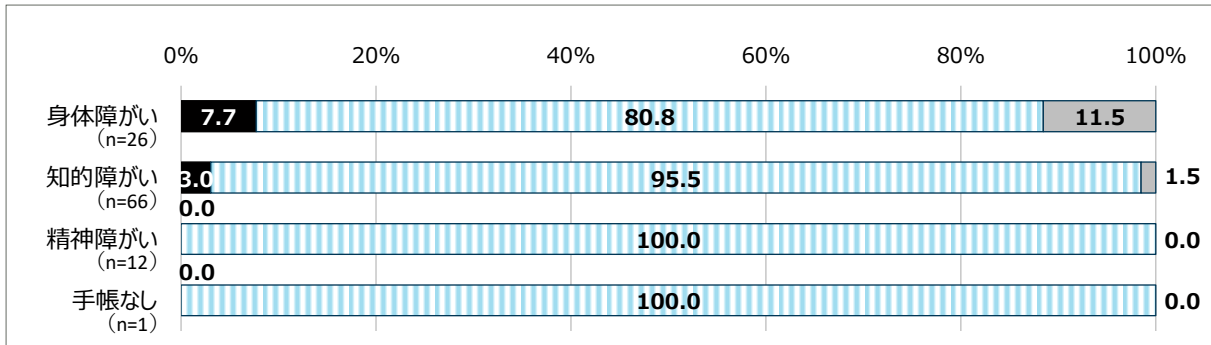
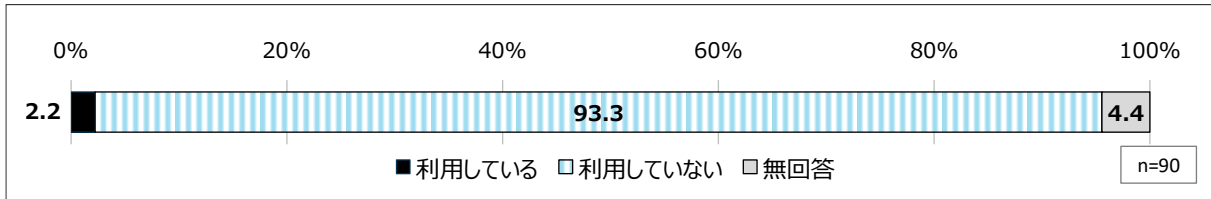
「利用したい」は 31.1%となっています。



㊦ 自動車運転免許取得・自動車改造等助成事業

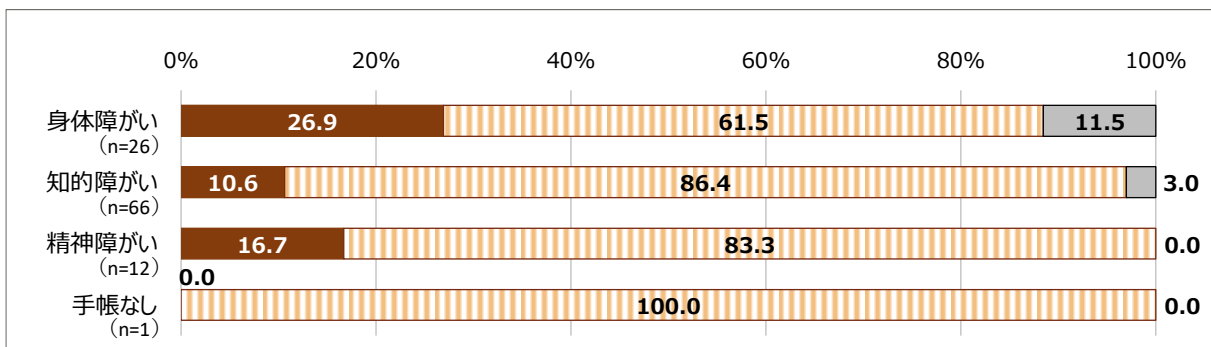
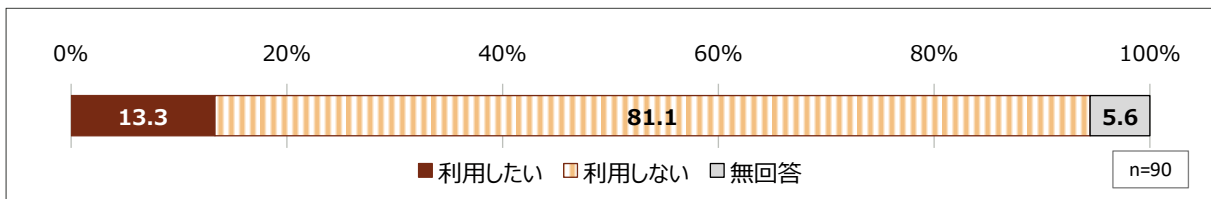
現在の利用

サービス利用者は 2.2%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

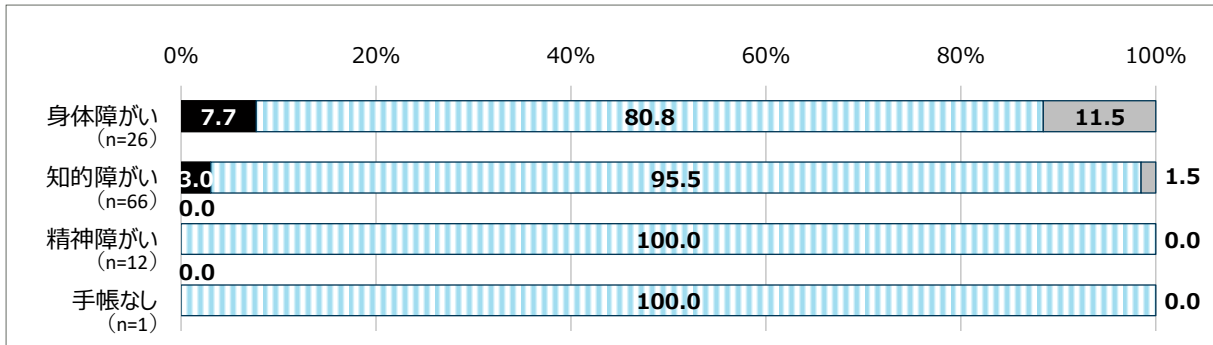
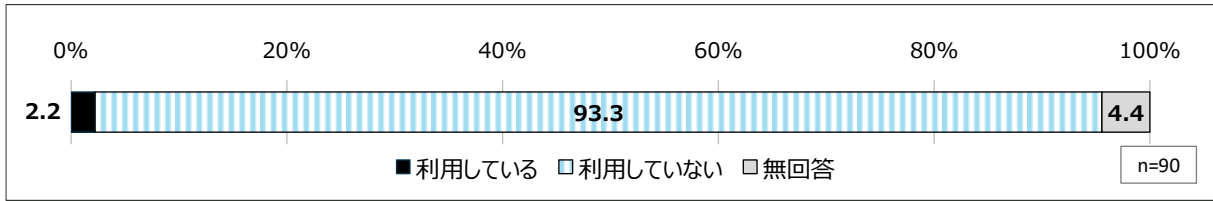
「利用したい」は 13.3%となっています。



②⑥ 更生訓練費給付事業

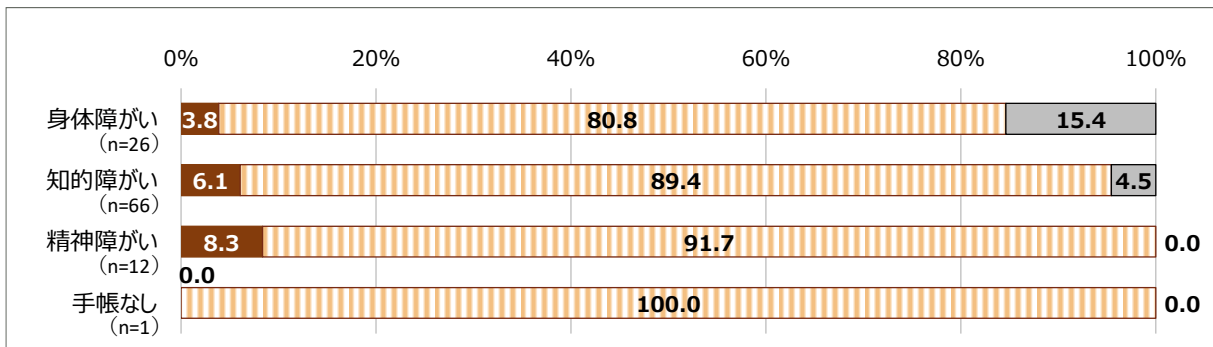
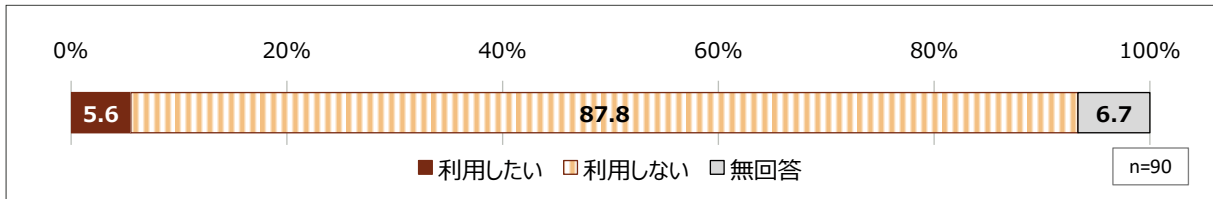
現在の利用

サービス利用者は 2.2%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

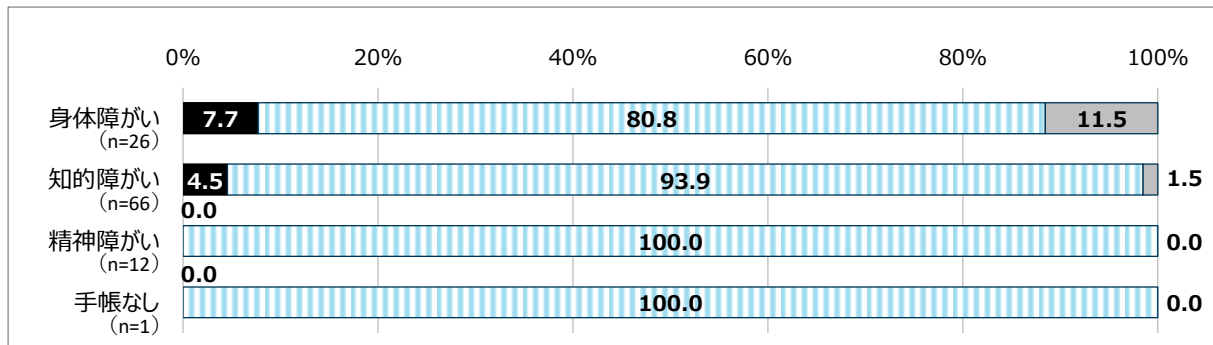
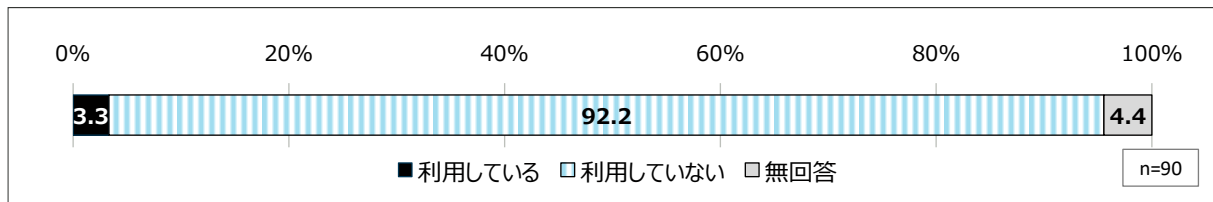
「利用したい」は 5.6%となっています。



㉗ 声の広報発行事業

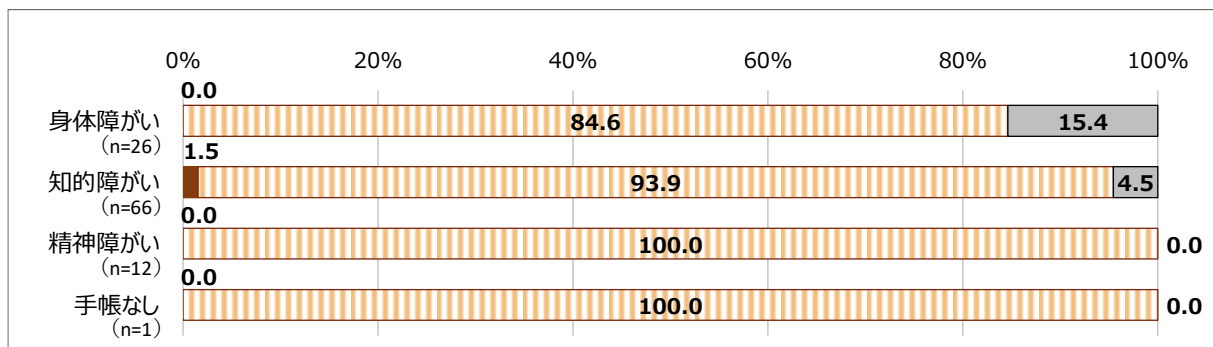
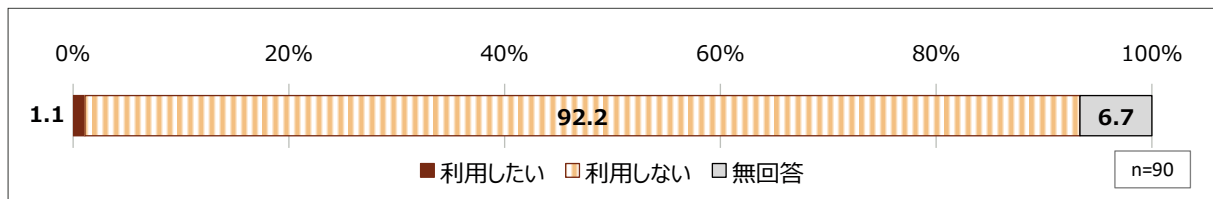
現在の利用

サービス利用者は 3.3%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

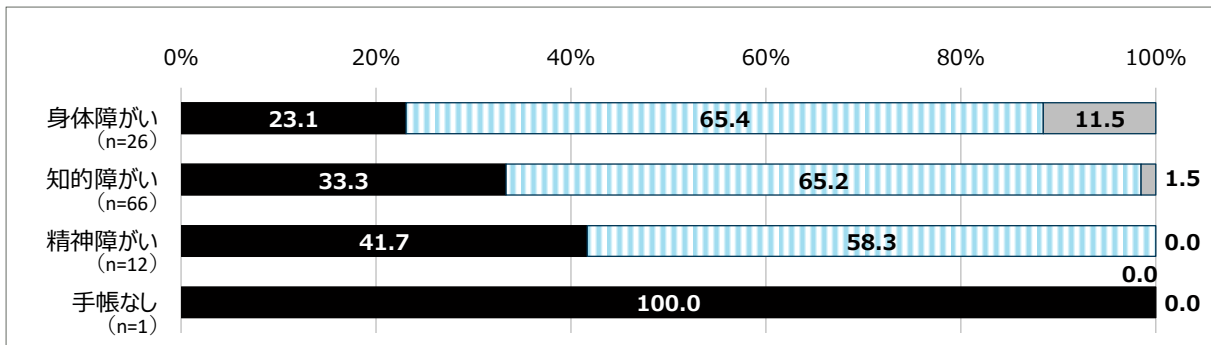
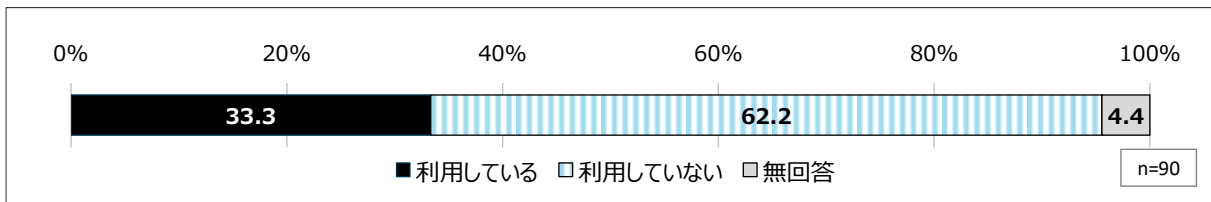
「利用したい」は 1.1%となっています。



㊸ ヘルプカード交付事業

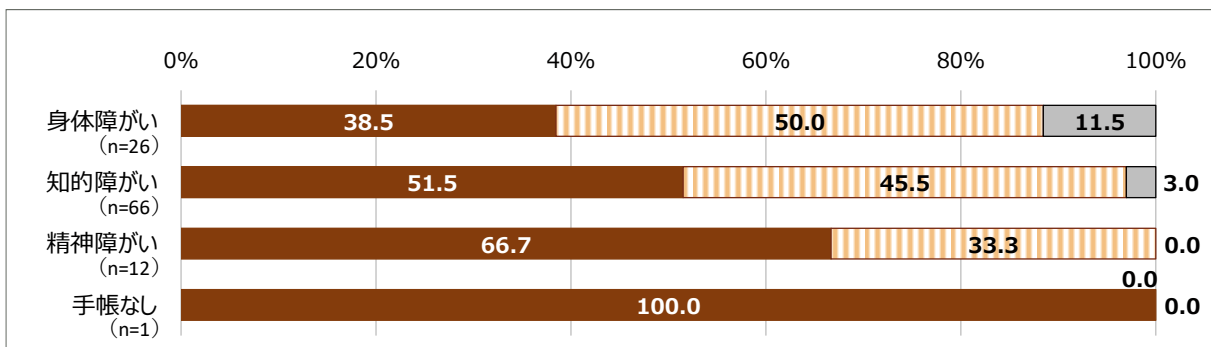
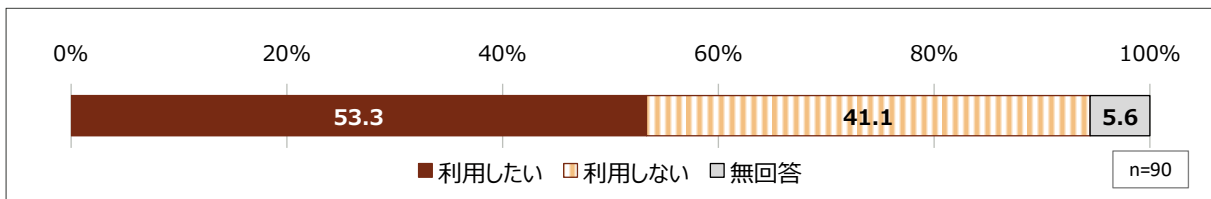
現在の利用

サービス利用者は 33.3%となっています。



今後 3 年以内の利用希望

「利用したい」は 53.3%となっています。

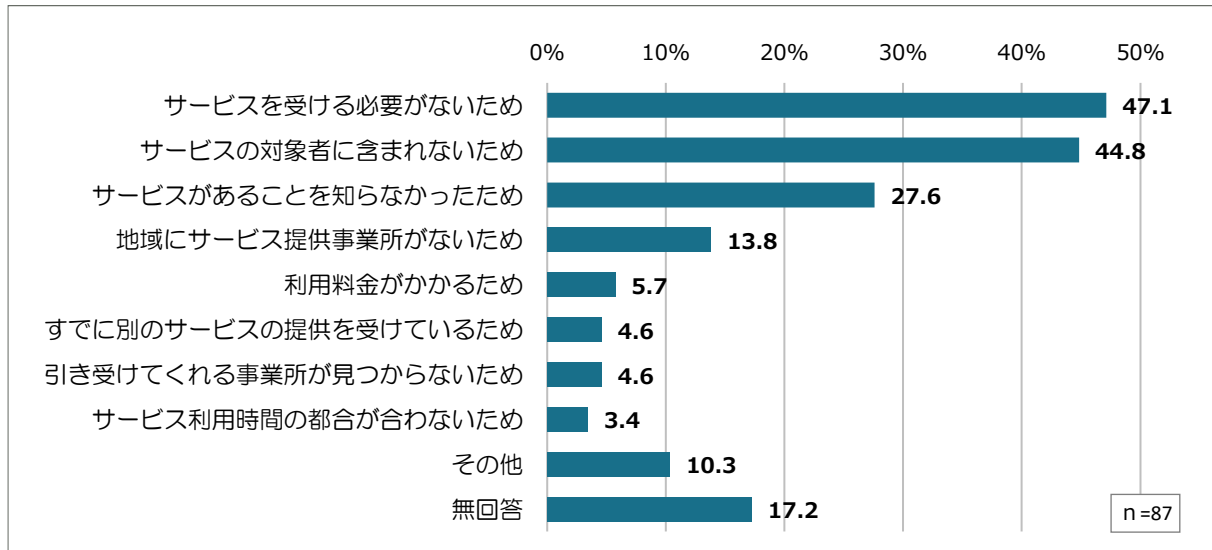


問 56 障がい児福祉サービスを利用しない理由

問 55 のいずれかで「利用していない」または「利用したくない」と回答した方のみ

問 55 の①～⑳の事業について利用していない理由、または利用希望がない理由をお答えください（複数回答）

「サービスを受ける必要がないため」が 47.1%と最も高くなっています。



■ 自由意見

新発田市の障がい福祉施策の中で、
改善やもっと充実してほしいと思うことがあればお書きください

いただいた自由意見を主な内容別にまとめました（順不同）。意見の後の【 】内は、ご本人の年齢です。

福祉サービス等について

- タクシー券の使い勝手が悪い。少ない。【50代】
- グループホームの数の充実。【40代】
- 高等部卒業後の進路、生活介護（医療的ケアや重度心身障がいの子ども）の行き場を、充実してほしい。医療的ケア児や重度心身障がい児でもショートステイを使えるようにしてほしい。病院と連携した施設をつくってほしい。緊急時やレスパイトなど、医療的ケア児でも、利用できるサービスがないと困ります。【30代】
- 両親とも高齢者で、大病して病院通いしている現在、入所福祉施設に希望出しているが、順番待ちです。40歳過ぎの子どもと、毎日生活は大変です。早く、入所施設に入所できればと思います。【70代】
- 精神障がい者であり、支援者でもあります。新発田市内に、デイケアがなくなりました。居場所的なデイケアは、地域活動支援センターや福祉に流れていくのでしょうか、うつのリワーク支援が、医療の現場でできるといいと思います。【50代】
- 障がいに係る手帳を持っている人に配るタクシー券ですが、タクシー券以外の選択を、増やしてほしいです。どうしても、具合が悪いときに1回使ったのですが、身体障がいは、障がいがわかりやすいかもしれませんが、私は精神障がいなので、タクシーの方に申し訳なく、それ以来使用していません。タクシー券以外、たとえば何かの割引券等から、選べるようにしてほしいです。タクシーの方にも、そういった精神障がいの人なんだと、思われたりするのを感じられて辛いです。本当にこれは、お願いしたいです。【20代】
- タクシー券、使えない、使いたくないです。精神障害者保健福祉手帳を見せ、記入し、運転手さんに、そういう目で見られる。一度使用したとき、家までお願いしたのですが、「家賃いくらですか？」とか、突っ込んで聞いてこられて、すごく嫌な思いをしました。家の前なので、怖かったです。タクシー券は、精神障がいの方は、特に使用しにくいと思います。他のものを、選べるようにしてください。使用時に、手帳を見せないといけなく、すごく嫌です。仕事以外で、障がいがあることを知られるのが、とても苦痛です。【40代】
- 放課後等デイサービスを利用していますが、月23日だと足りません。最重度でとても大変な子を育てています。軽度で、ただ単に友達と遊ぶために利用している子もいます。その親御さんは「別に必要ないけど利用している」などと言っています。こちらは本当に大変だから利用しているのに…最重度や重度の子と、軽度の子が同じ日数なのも不思議です。重度は月26日で軽度は月20日とか、変化をつけてほしい。新潟市は月30日でしたっけ？【10代】
- 24時間、母親が介護しているため、一人になったとき、24時間介護してくれる施設の充実。【40代】
- もっとグループホーム施設を増やしてほしい。障がい者の差別をなくしてほしい。【40代】
- 訪問看護師さんの仕事を、延ばしてほしい。【50代】

- うちの子のような重度の障がい者でも入れるグループホームがあればと思います。または、親が死んだ後でも自宅で暮らせれば一番いいです。【20代】
- 一人暮らしに特化したグループホームをつくってほしい。当事者同士が活動できる場を設けてほしい。【20代】
- 親亡き後の（病気、事故等含む）生活の場の確保に不安が大きいです。施設の拡張、拡充を望みます。施設職員、看護師、保育士、社会福祉士の充実が障がい者にとって生きる上で必要（絶対的に）です。困難なことも多いと思いますが、ぜひとも充実を願います。「福祉の町 新発田市」となることを希望します。【30代】
- レストパイトケアについて考えてほしい。（せめて本人の状態が悪いときは）レスパイトを受けてほしい。【20代】
- 親の代わりに病院等へ連れて行ってくれるサービス。訪問入浴サービスの充実。親が介護できないときの預かり場所の充実。市内に病院と連携している障がい者入所施設の充実。【20代】
- 障がいがあっても自宅で生活できるように、ヘルパー等の支援の充実。通所リハビリの充実。移動支援の充実（タクシー以外）。タクシー券が使えるタクシー会社が増えるといい。【50代】
- 医療ケアが必要な人が短期入所できる施設。【20代】
- 放課後等デイサービスについて、1年目は利用できたのに、管理者が変わったら、うちの子はスタッフの手が1人取られることから他のデイサービスを勧められました。「～はできませんよね」とできないレッテルをはられ、すごく不愉快でそのデイサービスを利用することを辞めました。契約をしたときは「大丈夫です」と言ってくれたのに、管理者でデイサービスは変わるんですね。利用するのにも気を使い疲れます。【10歳未満】
- 医療ケアが必要な赤ちゃん（娘）は、肢体不自由の診断がまだできないため、リフト付きタクシー券助成を受けることができません。しかし通院にあたって、酸素ボンベ、加湿器（水も）、バイタルの機器等さまざまな道具があり、それらすべてをベビーカーに積んで車に乗せています。赤ちゃん本人はチャイルドシートに乗せます。ワンボックスカーを最大限工夫してやっと移動をしています。その負担は大きく、リフト付きタクシーが利用できると通院の際の本人や家族の負担がとても軽減できます。すべての赤ちゃんではなく、その状態から必要と判断できるなら、リフト付きタクシー券助成が受けられるようにしてほしい。バリアフリーのリフォーム等についても同様です。どうかお願い申し上げます。【30代】
- グループホームが少なく、自立支援への移行とか、利用者にとっての地域への移行の選択肢がほかの市に比べると少ない。作業所も増やしてほしい。【40代】
- 障がい者用の福祉施設を増やしてほしい。今のグループホームに入所する際にも空きがないと言われ、2年も待たされた。【60代】
- ガイドヘルパーの人数の増加。日常生活用品の支援を他市町村と同等にしてほしい。【60代】
- 障がい児を受け入れてくれる（手話ができる）放課後デイサービスを充実させてほしい。【10歳未満】
- 夜間も人がいて対応してくれるグループホームが少なく、あっても障害年金では入れない。先のことを考えると苦しいことばかりです。区分が実態に合わないこともあり、受けられるサービスが合わない。【20代】
- グループホームなどの生活の場が増えるといいです。【40代】
- 保育園や児童クラブのように、療育園や放課後デイサービスでも19時くらいまで児童を預かってくれると、仕事ができるので助かります。療育園や支援学校だと、朝の始業時間も通常の学校や保育園より遅いため、正社員として働けず収入がギリギリになってしまうため。人材確保が大変だと思いますが、ご検討いただけますと幸いです。おむつ券をいただいております。大変助かっています。た

だ 1 か月¥2,500 だとサイズが大きくなるにつれて枚数が少ない、でも 1 日で使用する枚数は減らないので金額内では収まりません。もう少し援助していただけるとありがたいです。【10 歳未満】

- タクシー券が大きくぺらぺらで持ち運びにくい。胎内市のタクシー券のように台紙があると使いやすいです。【20 代】
- 放課後等デイサービスにおいて、障がいのレベルがあまりにも違う児童たちを預かるのは、子ども達同士のケンカやお互いのストレスになるのでやめてほしい。パソコンで学習する体制がほしい【10 代】
- 新潟市の放課後等デイサービスと比較すると、新発田市は療育機能が不十分だと思う。SST や作業療法を学校やデイサービスで取り入れるのは、どのような子どもにとっても有効だと思う。そのためには福祉に携わる人の確保が大切だと思うので、新発田市も力を入れて人材を増やしてもらいたい。親が健在でも、親と離れて暮らせるグループホームなどを増やしてもらいたい。【10 代】
- 生活介護の受け入れ人数を増やすか、施設を増やしてほしい。校舎がボロいので、新しくしてほしい。選択の幅を広げてほしい。子どもでも宿泊で預かってもらえる施設を増やしてほしい。「ショートステイ受け入れ可」となっている、実際申し込みをしてみると、いろいろ理由をつけて断られてしまう。【10 代】
- 若い人達の、精神障がい者のグループホームを多くつくってほしい。【30 代】
- 短期入所、生涯生活できる施設が新発田市は充実していないように思われます。規模的に大きめの施設が複数あると、障がい者を持っている家族は安心できると思います。また地方ではなくて交通手段が便利な場所を希望します。【50 代】
- 本人は重度の重複障がい者です。話すこともできないため、自分の要求を他人に伝えることができません。親もだんだんと高齢となり、これからは親亡き後、また介護者が病気等で介護ができなくなったらと不安や悩みがあります。入所施設といっても、医療行為が必要な障がい者となると入所できる施設がなかなかなく、また、入所できたとしてもベッド上での生活となります。希望としては医療施設と連携している施設、日中はそれぞれの障がい者にあった施設に通所できる入所施設があればと思っています。新発田には知的障がい者が利用できる施設はありますが、身体障がい、重複障がい者も安心して入所できる施設をつくっていただければ幸いです。【30 代】
- 18 歳以上になった場合、親がどうしても用事があるときなど、もう少し気軽に利用できるデイサービスがあってほしいです。就労支援 B 型でも帰りが 16 時頃と早いので、その後数時間でも預かってくれる施設があれば大変ありがたいです。将来的に一人で生きていくことが難しいです。親も子も元気なうちにグループホーム施設で生活できるようにしないといけないと思っています。離れつつも、同じ市内で身近に行き来できるようなグループホームや、相談しやすい環境があればいいなと思います。【10 代】
- 「福祉のしおり」に、新発田市外の事業者であっても、利用できる福祉サービス事業者はすべて記載してほしい。生活介護事業所、訪問介護事業所、療育手帳 B の人もタクシー券を利用できるようにしてほしい。重度身体障がい者が利用できる入所施設、重度身体障がい者が利用できるグループホーム、重度身体障がい者が利用できるショートステイサービス事業などの充実。【50 代】
- 医療機関への交通手段がなくて福祉タクシー利用券を利用していますが、24 回では足りないため、交通費の負担が大きいです。利用券を増やしてほしいです。【50 代】
- 緊急時、すぐに利用できる日中一時支援。【20 代】
- スタッフの対応。【20 代】
- 障がいに合ったそれぞれの施設が充実すると思っています。【60 代】
- 車いすで生活する子ども達の放課後デイサービスや、春夏冬休み等の預かり施設を増やしてほしいです。高校卒業後の生活介護施設。今現在通っている方々で定員いっぱい、次々と卒業しても入

れる施設がないし、市内ではほとんど毎日は無理なため、市外に行かなくてはいけない。親として不便です。歩けるお子さんの施設ばかり増えて、歩けない子ども達の施設が少ない。ない!!【10代】

- ストーマ装具が足りず自分でお金支払ったこともある。2箱、4箱以上使用することもある。働いていなければそんなにはいらなと思うけど。人工肛門で糖尿病です。県立病院に通っています。【50代】
- 生活介護、日中活動の場所の充実。自立生活を支援する権利擁護体制の充実など。【20代】
- 入所施設やグループホームを増やしてほしいです。【30代】
- オムツ券の給付枚数を増やしていただけるとありがたいと思う。障がい福祉サービスを利用したくても選択肢がなさすぎる。もっとたくさんの法人を誘致して、法人ごとの特色があるといいと思う。重度の知的障がいの人達の受け皿がない。家庭的なグループホームなどの数を増やしてほしい。【30代】
- グループホームや日中の就労場所の確保について、仕事内容や雇用体制を充実させていただけるように、企業や事業所さんと連携して力を入れて取り組んでいただきたい。【40代】
- 自宅からの通所が困難なとき（親が入院、支援する人がいない）、希望するショートステイが市内になかった。理由は持病があるため。いろいろと心配していただき、市外のショートステイにお世話になりました。（薬の管理は本人ができるのにと伝えても）市内でも、持病があっても通所できるショートステイがあったほうがいいと思います。コロナ前（7年前）は市内にあり、お世話になりました。【40代】
- 新発田市では入所できずに、自宅待機にされたり、遠くに入所されたりしている方を何人も知っています。近い地元で入所し、親族とときどき会えるようになれるよう希望いたします。入所定員の数が少ないと思います。【70代】
- 入所施設やグループホームを増やしてほしい。【40代】
- この先、わが子もグループホームなどの自立した生活を希望するかもしれませんが、現在は施設が少ないため入所待ちされている方が多くいらっしゃるかと…。多種多様なグループホームなどを増やしていただけたらいいなあと思います。以上、今後ともお世話になります。よろしくお願いいたします。【20代】
- 入所施設や作業所を増やしてください。大変でしょうがよろしくお願いいたします。【30代】
- タクシーの利用券をもっと増やすべき。新潟市を見習うべき。【年齢不明】
- 福祉施設を増やしてほしい。【50代】
- ストーマ装具使用者ですが、補助金では足りないため、毎月物価上昇にもかかわらず、持出金があります。その辺の充実をお願いしたい。【40代】
- 放課後等デイサービスを利用したことがあるが、所得制限があるのでキツかった。手帳のある子どもには、所得制限を設けないでほしい。【10歳未満】
- 毎年おむつ券をいただいています。大変助かるのですが、正直言うと、1か月に2,500円分というのは、まったく足りない状況です。おむつ・パットを1か月分（学校用、家用、デイサービス用）買うと、10,000～20,000円かかります。おむつ料金は、以前よりだいぶ高くなってきています。毎月おむつ券が、¥5,000～¥10,000だと、本当は助かります…。病院通い、おむつ代、デイサービス代…全部合わせると、なかなかの額になります。手当てはいただいているのですが、それは親としては将来のために（施設利用など）貯めておきたいものなので、一番身近なおむつ券の金額を見直して頂けるとありがたいです。【10代】
- おむつ券の増額。OTやST、診察のできる病院や施設の増設。【10歳未満】
- 障がい者の自宅補修費用金額の増額。【60代】

- 新発田市は広いので、タクシー券 24 枚では足りません。駅から自宅まで約 4,000 円/回かかるので、負担が多いのです。距離に見合ったタクシー券がほしいです。【40 代】
- タクシー券が少ない（不足）。【60 代】
- 精神病院へ通院に付き添ってくれるようなサービスがほしい。【20 代】
- タクシー券があると助かります。【40 代】
- 数年前に短期入所施設が家の近くに移転してきました。そこは家から近く、花粉症の息子にはいい環境だと思い「短期入所の申し込みをしたい」と相談員さんにお話しました。最初は準備が整わないから、次はコロナだから、そして今年になると子どもさんの施設だから利用できないと言われました。相談員さんからはご自分の勤めている関連の施設を、住所、名称、どのような施設なのかも告げられないまま見学を進められました。その住所を伺うと胎内市だということでした。親も高齢になり、慣れないところへの車の運転も心配になってきたので、近いところでないと困ります。短期入所希望者募集の看板が出ていた施設に、相談員さんにそこに申し込みをしたいとお話をしました。そのあと相談員さんからは、人手が不足していて、申し込みを中止しているというお話がありました。看板を出すからには準備を整えば申し込みを受け付けするのではないのでしょうか。施設に希望している人がいることをお話しし、そのときに連絡を頂けるよう手配していただけないのでしょうか。親も年々あちこち悪いところが出てきて通院しています。病気やケガでみられなくなったとき、お願いするところが決まっていないのは不安です。【40 代】

経済的支援

- 障がいを持った人が、市の施設や民間の施設のスポーツや運動できる場所を利用するとき、利用料の補助があると嬉しい。【50 代】
- 金銭。【30 代】
- 補聴器を使っていますが、補助が出るのが耳かけタイプだけなので、耳穴タイプも対象にしてください。耳かけだと、空気が抜けて聞こえにくかったり、雑音が入りやすかったりしますが、耳穴タイプだと密着してよく聞こえます。ぜひ、よろしくお願いします。【60 代】
- 金銭的な補助。【30 代】
- 11 月～3 月はスクールバス利用、その他は自家用車という家に対しても、手帳のある子どもには、自家用車負担分を助成してほしい。【10 歳未満】
- 働けない人、働く時間が短く金銭的余裕のない人へのサポートがほしいです。障がい者が、障がい以外の病気での通院にサポートがあれば、うれしいです。【40 代】

- 補助金や生活保護等、今困っているのに前年の収入で判断されて認定されない。申請すらできない。そんなに金を使いたくないなら、施策も担当部署も解体し、老人は早く死ぬといったほうが優しいと思う。安楽死させてあげてほしい。本人がかわいそう。家族も経済的負担が大きすぎて耐えられない。【60代】
- 経済的な支援。物価高で料理ができないときに困る。【30代】
- 難しいかもしれませんが、働けない人の生活保護をお願いします。【20代】
- 障がい者に対する助成金を増やしてほしい。無料で使用できる施設等。【50代】
- 金銭的援助が受けられるほどの重い障がいではないのですが、病院に行くために仕事を休んだり、家でもその日の体調によって家事ができたりできなかったり、お金がかかることも多く、等級に関係なくお金の援助が少しでもあれば精神的に少し楽なのになと思うことはあります。【40代】
- 障害年金が出ず、パートしか仕事がなく、低賃金のため生活がきつい。【30代】
- 金くれ！【60代】
- 精神障がい者への入院費の補助が少ない。精神障がい者への手助けや補助が、新潟市や聖籠町と比べると何も無い。【60代】
- 障害年金を上げてもらわないと食べていけない。【50代】
- 人工内耳装用者（児）に対する補装具の助成をお願いしたいです。軽、中等度難聴の補聴器装用者には助成がありますが、重度難聴の人工内耳装用者の助成がないのはなぜですか？ 柏崎市や新潟市で人工内耳の電池の助成が始まりました。一生必要になっていくものなので、助成をお願いいたします。【10歳未満】
- お金の面で保障してほしい。【30代】
- 障がい者が車に乗っている場合、どのような等級でも税金を免除してほしい。【40代】
- 年金の不支給の通知がきました。本当に必要な人に支給されないのは悲しいし、これからが不安です。障がい者を理解し、理由とともに教えてほしいです。【20代】
- お金がなくなったら、最終的には自殺してしまうような気がします。【年齢不明】
- 精神通院などのために、電車代を助成してほしい。実際的な物資の支援をお願いしたい。たとえば、トイレットペーパー、ボックスティッシュ、手洗いせっけんなどの生活必需品、手消毒、光熱費などの助成。とにかく助けてください。【40代】
- 物価が上がり生活が苦しいなか、住宅補助や生活資金の補助など支援が何も無い。住民税など払うだけで誰も何も守ってくれないし、助けてもらえない。働く場所もなくどうやって暮らしたらいいのかわからない。将来の不安も大きい。障がい者が一人でも暮らせる地域づくりをしてほしい。将来の不安が大きいので高齢になる前に早く死にたい。【50代】
- 公共施設の料金を、障がい者本人だけでなく付き添い人も無料にしてほしい（1級だけではなく）。【30代】
- 通院費の補助を自立支援以外にもほしいです。阿賀野市でも自立支援以外の補助があります。ほかの自治体（たしか愛知県）では、医療費が無料と聞いたことがあります。障がい者雇用では賃金が少ないうえ、働き口も少なく金銭的に余裕がありません。補助があると助かります。【20代】
- 何をしても診断書が必要なことが多い。その都度診断書にお金がかかる。その補助をしてくれる制度が必要である。どうしても健常者ではかからないお金が必要になる。【40代】
- 人工内耳の充電電池の助成。現在、新潟市、長岡市、柏崎市、南魚沼市、三条市、加茂市、聖籠町等で、電池代や用具の補助、助成が行われていますが、新発田市では残念ながら実施されていません。新発田市で人工内耳装具児は増えてきていて、多くの子ども達とその保護者にとって、消耗品の維持、管理の負担が大きく大変困っています。【10歳未満】

- 人工内耳の充電電池の助成をお願いしたいです。充電電池 1 つ買うのに 1 万円以上し、一生人工内耳を使い続けなければいけない娘にとって、とても負担が大きいです。新潟市等ではすでに助成が始まっています。新発田市でもぜひ検討いただければと思います。【10 歳未満】
- 金銭面でも決して余裕のある生活は送れてはいない。子どもに合わせた働き方をしなければいけないので、一般家庭に比べるとかなり制限させられる。最近では介護する側の身体も悲鳴を上げてる状態。物価高騰の中、どの世帯も苦しいのはわかるが障がいを持つ家庭としては前述の観点からもう少し金銭面での援助を拡大してほしいと願う。【10 代】
- 助成金制度。仕事ができないときは税金を免除するなど、以前の収入にこだわらず状況に合った援助金など。【50 代】
- スポーツができる場所で、利用料が免除される場があるといいです。【40 代】
- 放課後デイサービスの負担金額が上限 4,600 円の次が 37,200 円では、一気に高くなりすぎる。上限が 37,200 円になったことで家計を圧迫している。せめて、20,000 円くらいの上限に改善されるとありがたい。兄弟でデイサービスを利用すると、毎月 4 万円以上の支払いが生じる。1 年 3 か月たっているが、上限を超えた額の調整も 1 度しかなく、他の家庭より福祉を受けられていないと感じる。親の年齢が上がれば所得が増えることは当然であるが、定年を考えると働ける年数が少なくなっている。今後も解除・支援が必ず必要で、子育てから介護（障がい者）へ移行していく家庭である。育てる苦労は同じなのだから、受けられるサービスは所得によって差をつけないでほしい。所得制限で特別児童扶養手当もカットになりました。児童手当は一律支給になったのに、こちらは変わらないのか。【10 歳未満】
- 金銭的生活支援をやってほしい。【40 代】
- もっと全面的に補助金がほしい。【20 代】
- 補助金をもっと増やしてほしい。【40 代】
- 精神科以外の診療の補助。【40 代】
- 新潟市と補助の内容等で差がある。【10 代】
- ガソリン代の補助券。以前某施設の会議で提案したことがあったがだめだった。新潟市では補助があります。【60 代】
- スポーツ施設を利用する場合、障害者手帳を持っている人は無料か半額程度にしてほしい。特にサンビレッジのトレーニングルームやランニングコースは障がい者に対する割引がない。他の市町村では割引などの配慮があり、活用しやすい。隣の市町に行って利用している。新発田市も取り入れてほしい。スポーツ教室やスポーツイベントに参加するときは障害者手帳を持っている人は割引か無料にしてほしい。【60 代】
- 仕事がドクターストップでお金に本当に困っています。障害年金だけでは全然足りません。資金援助をお願いします。診断書は、免許センター、自立支援申請、障害年金で必要だが、診断書 1 枚で 3 つ全部できるようにしてほしい。診断書だけで 2 万円も取られて生活が苦しいです。【40 代】
- 透析患者は貧困者が多いため、インフルエンザワクチン、コロナワクチン接種に助成していただくとともに、生活給付金や固定資産税、所得税等の減免措置が必要です。【50 代】
- 金銭面で支援してほしい。【40 代】

相談支援、情報提供について

- 心と体の相談は、話が年に 1 回しかできない。もっと話がしたい。新発田市は困ったことがあったときの弁護士相談が、市民は年に 1 回の相談だけ。新潟市は、年に 5 回も相談ができる。どうしても、弁護士に相談したくてもできない。話をする場が少ない。相談内容によっては断られた。自身

で相談するだけで、多額の金額がかかった。【50代】

- 障がいの程度は低い方だと思いますが、そうすると、利用できる団体が少ないようで、相談や話をする相手が少ない。【40代】
- 今は障がい者雇用していますが、将来はとても不安です。親が亡くなった後、どう暮らしていけばよいか等、不安はつきません。発達障がいなので、見た目ではわからず、辛いことがたくさんあります。コミュニケーションが苦手なため、相談もおっくうになりがちです。しかし、自分からSOSを発信しないと、誰も気づいてくれない。でも、発信できないのが障がいなのです。このような悩みをどう解決すればよいか、そのようなことを、新発田市で考えてくれると助かります。【30代】
- すべてわかりづらい。何ができて、どこまでやれるのか、人によって話も違うし、本人がとても困る。お世話になっている作業所でも、職員からショートステイの話を聞かされて、本人は「行かなきゃいけない」と思って混乱してしまい、大変だったときもある。何も期待してない。【20代】
- 市役所の窓口での職員との会話に困難を感じる人が多いので、通訳アプリがあるような機器を置いていただくと助かります。また、メモに手書きでも対応してくれたら嬉しいです。それぞれの障がい者に対する情報、福祉に関する情報を、「あんしんメール」のような連絡方法があるといい。救急車 NET119 アプリを登録したが、いざ、自分が倒れたとき、スマホを触ることができなかった。2回ほど倒れたが、絶対無理です（他人が倒れた場合は便利かも）。気軽に相談できる相談支援の充実するために、いつでもメール対応があればいいと思う。【60代】
- 私自身 ADHD がありますが、薬でお金がかかったときに1割にできることを後から知ったので、これからお薬を必要とする人たちのためにやはり伝えた方がいいと思う。もちろん、受け入れられない人もいるとは思いますが、ADHDがあると生命保険も普通の人より高くなるので、私はそう思います。【30代】
- 聞かなければ教えてくれない制度なんてやめればいいと思う。【60代】
- 今現在は自宅で両親と暮らしていますが、親がいなくなった場合、自分1人で生活していけるかが心配で、それについて相談に乗って支援してくれる制度をつくってほしいです。【40代】
- 家族を孤立させるのではなく相談機関は独立してほしい。家族だけが担うことのないように寄り添ってほしい。【20代】
- あまりよくわかっていないので、どう利用したらよいか、受け身ではなく発信してほしい。【40代】
- もっと相談を気軽にできる場所がほしい。あるかもしれませんが、その情報がなかなか伝わらない。障がいを持つ子どもの親の悩みを聞いてくれるところがほしい。児童相談所はちょっと電話するのに勇気がいる。【40代】
- 相談員に対して教育、指導等を定期的に行ってはいかがでしょう。【60代】
- 障がい者が受けられる福祉支援の情報を教えてほしい。年に1回以上、手帳を持っている対象者にしおりのようなものを配布してほしい。【60代】
- 障がい者が利用できるサービスをまとめた冊子を作成して全戸配布してほしい。明確に医学的診断名がついてはいないが、明らかに発達障がいなどの症状があって困っている人に対して、「このような症状がある人は、病院に行ったら診断を受ければ障害者手帳を取得できて、このような支援を受けることができますよ」等の手引を作成してほしい。指定難病の一覧表や特定疾患の一覧表をつくって窓口においてほしい。【20代】
- サービスをわかるようにしてほしい。【50代】
- 365日何でも相談できる場の提供（行けない人のために電話で自宅に来てもらえることも）。【60代】

- 相談できるところがもっとたくさんあればと思います。【20代】
- みんな「あたりまえ」に使ってる「スマホ」ですが、私は使えません。情報がありません。なので働くことができません。障がい者でも「気楽」に情報が得られるようにしてほしいと思っています。
【40代】
- どんなことでも気軽に相談できるような窓口。わかりやすさ。【20代】
- 障害年金受給を申し込むタイミングがわからず、受給できていないことが不満。【40代】
- もっと相談のできる場をつくってほしい。【20代】
- もう少し詳しく、優しく何かあったときに対応してほしい。【30代】
- 福祉サービスや障害者年金などについて、病院のケースワーカーや相談員、会社（A型）の同僚やインターネットでしかサービスがわからないので、自分ももっとどのようなサービスを受けたら自立できるのか、生活が豊かになるのかわからない。精神的に弱っているときにどこに一番相談したらいいかわからない（特にプライベートのことや家族のこと）。【20代】
- 精神障がいを持っています。心なので、いろいろわかりにくいことがあり、その場所までも行けないことがあります。今の時代なのでオンライン相談もできるとありがたいです。【20代】
- 市と「わたし」とのつながりが不足していると感じる。ホームドクターならぬホームアドバイザーが市職員の中に入れてくれるとありがたい。【20代】
- たくさんの福祉サービスがあるが、実際にどのサービスが利用できるのか、家族はよくわかっていないと思います。家族向け（理解できる場合は本人でもいいと思いますが…）の説明会や勉強会が定期的であれば参加したいです。福祉関係の新しい事業所がたくさんできてきていると聞いていますが、家族向けの見学会があったら参加したいです。なかなか個人で見学に行くことは難しいですし、どこがどのような施設なのかという情報がないので、どこを見学したらよいのかもわかりません。グループホーム等（入所施設も含め）も見せていただけると、将来の選択肢になると思います。相談員さんに個人的な対応でお願いすればよいかもしれませんが、その前段階の情報がほしいです。
【20代】
- 困ったことや不安なことを気軽に相談できる支援の方々の補充。連絡を取ってもなかなかつながらなく、折り返しの連絡もなく、訪問時にも時間を気にされて途中で帰られることがあります。お忙しいのはわかりますが…。自立生活を支援する権利擁護体制の充実など。【20代】
- ワンストップの相談窓口体制を築いてほしい。幼児から高齢者まで、すべての世代の障がい者相談。
【30代】
- サービス利用の流れや、障がいの区分や認定の流れ、プランの作成から利用等について、障がいの種類や程度に応じて一覧できる冊子（新発田市の出している高齢者向けの冊子は非常にわかりやすい）を配布していただけるとありがたいです。大まかで簡易なものでも結構ですので、作成していただければ適切な相談の助けになると思います。市の社会福祉課、障がい者基幹相談センター、サービス事業所、地域との連携が必要で、本人や家族にとって情報一括共有がされていないと、相談や支援に至るまでに不必要な労力がかかることがあります。特に障がい者と支援する家族が一緒に居住していない場合はなおさら困難を伴うので、計画策定において配慮をお願いしたい。【40代】
- 高等部卒業後に受けれる支援がまったくわからない。福祉サービスは利用したい人が聞くまで教えてもらえないのも不便。わかりにくい。障がいがある本人は自分が困ることもわかっていない。その本人を困らう家族が大変なことを知ってほしい。【10代】
- まだ福祉のほうに相談に行ったことがないので何もわかりません。本人は毎日テレビを見るのが仕事みたいにしてます。少し外に出て人とお話でもするようなこともないし、運動する気もないし、自分の好きなテレビを見て楽しんでいるようです。親としても市の福祉のほうにと思っていたところです。本人の希望もあると思いますので、一度相談に行きたいと思っています。【60代】

- 新発田市の障がい福祉施策をよく知らないなので、多くの市民の人に施策を知ってもらおうようにしてほしいです。【40代】
- 相談支援。【40代】
- 日頃窓口での対応に、丁寧でわかりやすい説明ありがとうございます。いずれ相談することがあると思います。そのときはよろしくお願いします。期待しています。【50代】
- 障がいがあるとわかった時点で、障がいがある子の選べる(進む可能性のある)ライフプランをざっくりでいいのでわかるようにしてほしい。【10代】
- 相談事業所の相談員確保。【40代】
- 精神障がい者支援を知らないため、市の活動を知りたいです。【60代】
- 気軽に話を聞いてもらえる相談員などの配置。【10歳未満】

教育・学校について

- 特別支援学校の登校時間を一般の学校のようにしてほしい。【10代】
- 特別支援学校を、通学に便利な場所に移動してほしい。送迎のために保護者は自分の生活やキャリアを犠牲にしています。また、生徒が就労のために実習活動を行います。街中にある支援学校は実習先の選択肢も多くなるし、体験活動も多様な活動ができます。街の中にある支援学校を実現してください。【10代】
- 特別支援学校の学習時間が短い。もっと学ぶ時間を増やしてほしい。午前上りが多過ぎる。【30代】
- 支援学校の登校時間が遅いため、保護者は働きたくても難しい。【10歳未満】
- 新発田竹俣特別支援学校といじみの分校に朝の送迎バスを出してもらいたいです。知的障がいだけの児童は20人弱と増えてきています。肢体不自由もある生徒さんの中にはファミリー・サポート・センターや事業所送迎を利用してる方もいらっしゃいます。子どもを送った後に勤められる仕事を皆さん探していますが、仕事は限られますし、正社員の方はサービスを利用しないと生活できません。いじみの分校は新発田市が「善意で」給食をつくってくれているので、なるべく経費を抑えるために、長期休み前などは1週間ほど午前放課になります。弁当やお昼代を持たせて放課後等デイサービスに通う児童がほとんどだと思います。このシステムには本当に驚いています。【10代】
- 地域の学校の特別支援教育の環境が最悪。高い専門知識を求めて地域の学校の支援学級を選択したが、教員免許しか持っていない無知識・無資格の教師ばかりで話にならない。地域の学校では質の高い特別支援教育が受けられず、詐欺にあったような気分だ。新発田市教育委員会は市内の介助員の数が近隣の市町村より多いことに満足しているようだが、現場で、教育を行うのは教師であり、介助員を増やしたところで特別支援教育の充実にはつながらない。市内には県立の特別支援学校があることは知っているが、送迎がネックで転校させたくてもできない。新発田市で特別支援学校利用者を対象としたスクールバスを出していただけると、保護者の送迎の負担軽減や子ども本人の学校選択の幅が広がると感じる。ぜひ検討していただきたい。【10歳未満】
- 高等部に通っていますが、そもそも学校が少ない。母子家庭でもあるので、面談等で仕事を休まなければならない、経済的に不安がある(入学時は出費が多くかなり不安)。情報が少ないこと。就労するための移動手段がない。【10代】
- 支援学校の送迎バスがあるといい。仕事をしているので、送迎時間により仕事時間に支障が出る→移動支援を利用できるようになれば働く親も働きやすくなるので、ぜひお願いしたいです。支援学校の場所が遠いので、市内の交通便のいい場所にあると送迎の心配も軽減されるのではないかな、と思います。【10歳未満】
- 新発田竹俣特別支援学校へ行く手段が少ない。通学時間に間に合うバスは1本しかない。また混み

あうため、高校生と一緒にになるといたずらを受けることがある（写真を撮られたり、リュックにゴミを入れられたり、キーホルダーを壊されているようだ）。それらのことを考えると専用バスを走らせたほうが安全のように感じるが、市としてはどう考えているのか？ 検討してほしい。聖籠町では専用のバスを出していると聞きます。今後の障がい者に対する市政に期待しています。【10代】

- 特別支援学校へ登校するのに、送迎してほしい。【10代】
- 肢体不自由児の進学先の選択肢を増やしてほしい。【10歳未満】
- 学校内での支援学級に対する理解を子どもたちに広めてほしい。下の子ども支援学級に所属していましたが、小学4,5年の頃、支援学級に対してよくないイメージを持つ子どもたちがいることを知った担任の先生が、「個々に苦手なことが違う子達が、それぞれに合うやり方で勉強している」といった説明を、学級のみんにしてくださいました。それ以降、下の子はいきいきと学校に通うことができましたが、上の子は同級生や学校での過去の出来事が払拭できず、トラウマとなっているようです。下の子は先生のおかげで自尊心を失うことなく生活できていますが、上の子はそのあたりが心配です。そのような支援が一個人の先生の手腕に委ねられているのはどうかと思います。子ども達が小さいうちに「支援学級ってこんなところだよ」といった説明をしてもらえると、交流もしやすくなると思います。【10代】
- 特別支援学級は中学校までしかなく、中学校卒業後の進路は支援学校か通常学級かの2択から選ばねばならない。どちらを選んでも、本人にとっては辛い3年間になることも多い。普通の高校にも支援学級があれば、理解してくれる先生がもっとたくさんいれば、と何度も思った。支援が途切れないようにしてほしい。【20代】
- 息子がいじみの分校に通っていますが、登校時間が8:50~9:15と遅めの時間なので、もう少し早く預けられるようなサービス等があると助かります。【10歳未満】

就労支援、障がい者雇用について

- 就労継続支援A型事業所を充実して、低時給でない事業所を増やしてほしい。【50代】
- 障がい者求人が本当に少ないので、増やす方向にお願いします。働きたい気持ちを持っていて、こういう状況で、渋ってる人は多いと思うので。【20代】
- 高齢者の就労の充実。【60代】
- A型事業所が少なすぎる。就職につなげられるA型事業所をもっと増やして下さい。【40代】
- 障がい者雇用を増やしてほしいです。周囲の視線や環境に疲れやすいため、在宅勤務ができるようになるといいです。【30代】
- 働こうと思い、障がい者募集していた企業で、仕事内容を知るために1日（4~5時間）だけ働きましたが、とても重労働でその日を終えるのがやっとでした。私は内部障がいですが、一般の人でもキツイ仕事内容で障がい者を募集していることに疑問を抱きましたし、差別ではないかと感じました。一言で障がいといっても程度がありますし、それぞれ違います。それを小さくくりで“障がい者”として扱うのはどうなのでしょう。もっと身体障がい者のことを細部まで調べていただき、どのような疾患なのか、また程度に合わせて不可、可を本人含め話し合う必要があると思います。【40代】
- 障がい者枠での採用を検討している企業への、障がい者についての啓発を早急に充実させてほしい。雇用する側の障がいに対する理解を深めることが、適切な人材の採用と、その後の定着支援のために必須であると思われる。【30代】
- 作業所の時給を上げてほしい。【30代】
- A型作業所を増やしてほしいです。【20代】

- 障がい者雇用推進の一層の充実。障がいのある職員の職場環境、良好な人間関係づくりの援助。【60代】
- 仕事斡旋。個々に合わせて。一般の仕事ができる人はいるので、細かく見て考えて斡旋してほしい。【30代】
- 障がい者雇用で勤務しているが、電車通勤の費用が自己負担なので、稼いだお金が結局なくなってしまふ。他にも薬代なども支払わなければならないため、1割負担といえどもなかなか厳しい。陰口がひどかったため、職場を変えようとしたが、そもそも求人が少なく、交通手段も不便なところしかなかったため、ずっと同じ職業にしている。【年齢不明】
- 民間企業にも、障がい者の存在を知ってほしいです。【40代】
- 在宅ワークのハードルが高い。1日の仕事量にノルマがあり、その量を時間内に終わらせるので、もっと低くしてほしい（例：パソコン操作なし）。【30代】
- 将来働くうえで必要になる、運転免許を取得するための支援の充実（経済的支援も含む）。就職活動に対する企業の理解と支援枠の充実など。【10代】
- 障がい者雇用、一般での職場、就労支援事業所（A型）を増やしてほしい。【40代】
- 給料をもっと上げてほしい。【50代】
- 障がい者雇用で働いていても、精神病で見た目で見えないため、周りの理解や配慮が得られない。障がい者雇用で働いていたときも、普通の雇用と同じ扱いを受けて、障がい者雇用で働いている意味がわからなかったり、障がい者雇用の人に仕事を押し付けたり、断ると怒られたりしたのを改善してほしい。【20代】
- 今のままでは働ける職場が少なく、新潟市まで行かなくてはいけない。もっといろいろな職場と提携して障がいのある人でも働きやすい市にしてほしい。【10代】
- 高校卒業後も選択肢は少ない。一般企業の障がい者枠で働くか、福祉施設で作業するか。前者は周りの人の理解がない場合が多く、続かないことが多いと聞く。【20代】
- 就労支援。【40代】
- 職場の確保。訓練する場所が少ない。【10代】
- 障がい者の就労場所の充実と拡大を切に望みます。【20代】
- 働き方支援はサラリーマンに限定しないでほしい。サラリーマンに向いていない精神障がい者がいるので、1人で仕事することも選択肢の1つにしてほしい。【40代】
- 職場の拡大。【20代】

障がいに配慮したまちづくり

- 体が不自由になって初めて気づいたが、歩道や道路含め、平らな道が少ない。デコボコしていて歩きづらいことに気づきました。障がい者用のトイレの充実。【40代】
- 市の施設でも、バリアフリーでない所がたくさんある。名所旧跡が多いから仕方ないのかもしれないが、観光に力を入れていく気があるなら、散策しやすい歩道の整備や、エレベーターの設置も考えてほしい。【50代】
- バリアフリー。店や施設などでは、だいぶバリアフリーの見える化はされてきたが、道路や歩道の整備（点字ブロックはあるが）。歩道が突然、急な坂道になったりする場所が多く、転倒しそうになることが多い。【40代】
- 歩道から歩道への段差がひどい。車いす使用者は車道を通ればよいのか。【40代】

- 新発田市役所 1 階廊下を、車いすでも 1 人で登れるようにしてほしい。身体障がい者が 1 階受付にすぐ行けるように、駐車場を近くに設置してほしい。【60 代】
- 駅のバリアフリー化（市内）。【50 代】
- 冬に点字ブロックが除雪されていなかった。「配慮」や「尊重」が低い。【30 代】
- 新発田駅内に電子掲示板を増やしてほしい。【60 代】
- 新発田市内のトイレを充実させてほしい。バス停脇に椅子があると助かります。【60 代】
- バリアフリー化。歩道を車いすでも通りやすくしてほしい。多目的トイレがあると安心。【10 代】
- 五十公野山を下肢のために裸足で歩いています。脳の後遺症で不自由な方も、ご夫婦で歩いている姿を見かけます。入口の砂利のところから途中まででこぼこです。障がいのある方も歩きやすいように土にしてほしいです。公園とかにも裸足で歩ける道をつくっていただきたいです。サイクリングロードにしてほしいです。よろしく願います。障がい者もそうでない方も元気で長生きできるように心から願います。【50 代】
- 障がい者用無料駐車場の充実・障がい者用トイレの充実。【50 代】
- トイレについて。新しい施設には”だれでもトイレ”があり、車いすの子どもと一緒に利用するのに便利になったと思います。ただ、赤ちゃん用のおむつ替えシート（ベッド）はあっても、障がい児（者）のおむつを替えるためのユニバーサルベッドが設置されているところがほとんどありません。芸能人の不祥事があった影響かわかりませんが、改修工事後にユニバーサルベッドが撤去されたところが何か所もあり、外出時不便な思いをしています。また”だれでもトイレ”が 1 か所しかない場合、障がい児（者）は用を足すのに時間がかかるため、他にトイレを探すのも難しく、利用者がお互いに嫌な気持ちになることもあります。出たときに、待っていた車いすの人に舌打ちされたことがあり、悲しい気持ちになりました。ユニバーサルベッドの設置とトイレの数を増やしていただきたいです。【10 歳未満】
- 知らないだけかもしれないのですが、市の健康診断場所で、バリアフリーな会場があると助かります。【30 代】
- 新発田駅前の横断歩道について、特に斜め横断するとき、もう少し青信号長くしてもらえたら嬉しいです。青信号の時間が短くて、斜めだと渡り切れないので、縦横 2 回に分けて渡ったりしています。ボタンがあるけど押しにくい（周りに人がいると押せない。押していいのかわからない）。冬、歩道と道路の間に雪の段差があると先に進めなくなってしまう。【40 代】
- 多目的トイレを「車いす専用」「オストメイト専用」「子ども連れ」で別々にしてほしい。現在一緒になっていると待ち時間が長いため、一般のトイレに入れないうちに「車いす時」に困ってしまう（漏らしてしまう可能性大）。【40 代】
- 生活道路の舗装の改善をしてもらいたい。現在砂利道です。この先不安です。【60 代】
- 市民プール利用時、介助者が本人（本人 1 人で着替え行動、移動ができない）と同姓でなければ支援ができず、利用したくてもできない。紫雲の郷では、多目的トイレのような更衣室がある。数少ない楽しみなので利用したいです。聴覚過敏なので室内プールは利用できません。重度障がい、知的障がい、自閉症スペクトラム症、強度行動障がい者は、いつもの介護者がいない（父母の急病や土日の用事）と、居場所がないので、安心して利用できる所がほしいです。【10 代】
- 市の施設のバリアフリー化の促進。スロープやエレベーター、障がい者トイレを増やして利用しなくなる環境整備を進めてほしい。【年齢不明】

障がいについての理解促進

- 地域の理解をもっと得るために、障がいがあっても社会参加できる行事を、もっと増やしてほしい。

【30代】

- 幼児期や学童期から障がいを発見できるような取り組み。また、学生時代にさまざまな障がいについて学ぶ機会をつくって自己発見の手助けや障がいへの理解、偏見、いじめ等の防止の促進。【20代】
- 障がいのことをもう少し理解してほしい。障がい者だからといって文句を言ったり傷つけたりしてほしくない。【40代】
- 障がい者優先の駐車場に誰でも止めている。【60代】
- 障がい者のことをもっと理解してほしい。国も理解してもっと住みやすくしてほしい。【30代】
- 市役所の方はよくやっているほうだと思いますが、社会福祉法人やボランティアの人々の中には発達障がいについて、偏見や思い込みを持っているとしか考えられない人が多いので、そういった思い込みは捨てていただきたいです。【50代】
- 警察官にも障がい者に対する理解がほしい。少し勉強してください。【40代】
- 障がいについて、家族や周囲から理解が得られず、暴言や暴力に苦しめられる。死にたいと思う毎日だけど、死ぬ勇気もない。助けてほしい。周囲から理解を得られるような施策をお願いしたい。【40代】
- 障がい者は努力し、一般の方が嫌がる仕事もしている。障がい者が努力し、がんばっていることを理解してほしい。【50代】
- 選挙会場の玄関に手すりがあるのですが、その下に物が置いてあり、階段の上り下りに困る。【50代】
- 障がい者への偏見をなくすため、子ども達への道徳教育を充実させてください。障がい者に対してだけでなく、一般的にモラルが以前よりかなり悪いように見受けられます。ごみのポイ捨てやスーパーなどの障がい者優先の駐車スペースへの一般の人達の駐車等々…このようなことは今すぐに直るわけではないので、子どものときから学校や公共の場、また家庭でちゃんと身につくようにしてほしいです。本当に基本的なことが守られないので、障がい者への配慮も欠けることが多くなってきていると思います。【40代】
- 人権宣言都市、同和問題等、新発田市では取り組んでいます、いじめの問題等が多いと思います。ちょっとしたことで話しやすい雰囲気づくりが必要だと思います。障がい者について理解を促進するようにしてほしい。【40代】
- 発達障がいなどの、ぱっと見ただけではわからない人達のことを、もっと世間の人たちに知ってもらいたい。発達障がいのある子は、生まれてからずっとずっとがんばっています。まずは知ってもらうことです。そして、車いすの人に手を貸すように、発達障がいの人にも手を貸していただける社会になってほしいです。知らないとどう手を貸したらいいのかわかりません。ヘルプカードも持っていますが、ヘルプカード自体を知らない人がほとんどだと思います。見せてもわからないと意味がありません。【20代】
- 障がいを理由とする差別。自分の場合は言語障がい。今もあるので、人とのコミュニケーションが苦手です。障がいのある人や障がいについて理解を得るための市民啓発の充実をお願いします。【40代】

移動手段や交通機関について

- 新発田市役所、支所への交通手段がない。土日祝日の休みなので、送ってもらっていくこともできない。【50代】
- 将来的にはありますが、居住区域から市内中心区（駅、市役所、病院）への、公共交通機関の充

実をご検討いただきたいです。【60代】

- 川東地区のコミュニティバスは休日など運行しない日があるため、休日の活動に利用できない。現在はすべて親の車で送迎してもらっている。親が運転できなくなればほとんど参加できなくなるため、移動手段の確保が必要です。【30代】
- 交通手段の充実をお願いしたいです。【40代】
- バスを増やしてほしいです。西宮内から新発田市の中心地へ行く手段が限られており、車の運転ができない私は仕事探しも難しい状況です。自転車や徒歩だと、天候が悪い日でも通える範囲が狭く、就労したくても前に進めない状況です。【20代】
- 障がい者から自家用車を取り上げると、ゴミ出しさえできなくなります。もちろん通院や買い物、入浴も。好んで障がい者になったわけではないのです。冬に30センチも雪が積もれば外出不可能ですから、就労せよというのも困難です。行政が応援してくれて、医療にはたらきかけ、もっと元気になるといいのですが。なかなかお医者さんは希望をかなえてくれません。【50代】
- コミュニティバスなど、バスの本数を減らさないでほしいです（障がい者だけでなく、高齢者のためにも）。【50代】
- あやめバス等の本数が少なく、結局タクシーを使ったりでタクシー券がすぐなくなっていく…。バスをもっと増やしてほしい。時間をせめてあと1時間遅くまでやってほしい。【40代】
- 市で利用できる交通機関の充実。【20代】
- 免許がないのでバス、タクシーの充実。冬場が不安。【20代】
- 通勤時の移動支援の充実（必要なときにすぐ使える支援。特に雨や雪の場合）。ぜひお願いします。【30代】
- 障害者手帳を持っている人も、駅東口（豊町方面）にもあやめバスを巡回していただき、利用できるようにしてほしい。【60代】
- 特別支援学校のバスなどで送迎してほしい。公共のバスに乗ることはできないけど、送迎バスなどで1人でバスに乗る練習をさせてほしい。【40代】

行政・施策について

- 健常者も含めて、体の状態の段階に応じた口コモ対策のような、開かれた場所があれば。障がい者として困ってしまうのではなく、体力の低下を少しでも遅くできるような、相談にも乗ってくれる、各自のメニューをつくってくれる専門員がいる、その場で体を動かせる場所があれば。そちらに行くことができない人には、訪問してくれたらなおいいです。難しいとは思いますが。【60代】
- 家族の負担が大き過ぎるので、地域で支えられる体制を整えてほしい。預かってもらえる場所がなく、困っている。【30代】
- 申請・手続きで伺う市役所福祉課職員の方々の対応は、丁寧で感謝・満足しています。【60代】
- 災害時に、尿道カテーテル、消毒がなくなることが、1番不安です。親が高齢になったら、誰か洗腸を代わりにしてほしいですが、代わりが見つかるか不安です。一口に障がいといっても、さまざまな障がいがあります。細かな対応・対策が必要だと思います。マニュアルを作成し、いざというときに役立てて、本人や家族の不安を軽減してほしいと願います。【10代】
- 大型商業施設と地元と市役所が連携して、「手帳を見せると10%引き」や、「ソーシャルスキルトレーニングを受けられる所」を設ける等、あればうれしく思います。言語のトレーニングができる先生に、小学校に来ていただきたい。【10歳未満】
- 月1,2回家に帰って来ますが、土日のためマイナンバーカードをつくる機会がありません。入所施

設に入っている人には出張して施設でカードをつくれるようにするか、施設職員に市役所へ連れて行ってもらうか、カード取得の方法を考えてほしいです。【30代】

- 障がい者確認手続きの簡素化（毎年、市役所に足を運ぶ必要性？）。【50代】
- 自立支援制度の更新を2年に1回にしてほしい。【40代】
- 透析患者は高齢者や通院困難者が多いため、デマンドタクシーや介護タクシーの拡充を図り、通院困難者の減少に寄与していただきたい。私は8歳の時に不慮の事故により、外傷性腎炎を発症し、48歳で透析導入となりましたが、透析患者の7割は糖尿病由来の患者です。透析にならない指導やケアが必要です。現在全国で35万人の透析患者がいます。50万人にならないためにも、社会保障費を破綻させないためにも、これ以上透析患者を増やさない施策が必要です。【50代】
- 障がいのある子でも参加できる習い事。スポーツを教えてくれる介助員やサポートの方、水泳や体操などマンツーマンでお願いできる制度等あれば、習い事として利用したい。【10歳未満】
- 生活に必要な家電の故障時支援。【30代】
- 障がい者がスポーツや体を動かす場が、NPO法人とらい夢しかわかりません。新潟市にはたくさんありますが、通うのに大変ですので、新発田市でも障がい者のサッカーチーム、野球、ポッチャでも極められるところがあるといいです。【40代】
- 医療費受給者証が届くのももう少し余裕がほしいと思います。【60代】
- 知的・自閉症の障がい者のサービス充実。職員の数増員。職員の障がい者への知識、対応の仕方。【20代】
- 冬除雪してくれる人を探しています。車が出せるように。ものすごく困っています。【50代】
- 雪道のゴミ出し、家の周りの雪のけ。周りに雪のけをしてくれるボランティアさんがいない。有料の雪かきは手が出ない。道路から玄関先まで何とかしてほしい。何とか前向きに検討してください。【60代】
- 新発田市役所で10回くらい呼んだのに無視された。・福祉のレベルが低い。外が暑く、避難場所が少ない。【30代】
- 障がい者は社会とのつながりが薄いため、どうしても孤立しがちになる。私自身プライベートで友人がいません。そういう障がい者は新発田市内でも多いと思います。確かに日中活動や居場所づくりの施策は行われていると思いますが、いろいろな理由によりこぼれてしまう。何から何まで行政に求めるのは無理があると思いますが、その辺の施策を積極的にお願いします。【40代】
- 親が高齢になったとき、病気になったとき、亡くなった後、本人が安心して暮らせるような支援をお願いしたいです。生まれてからずっと、就学時も福祉施設に通うようになって、親がすべて支えてきました。経済的にも精神的にも家族で支援してきました。親亡き後、1人の人間として人生を楽しみ充実した生活を送れるだろうか、とてもとても心配です。【20代】
- いろいろな手続きで市役所に行くが、いつも窓口に来てくれるのは早いですが、その後「奥の担当に聞いてくる」と言ってなかなか戻ってこない。すぐに対応できる職員を置いてほしい。役に立たない無駄な職員は税金の無駄である。【40代】
- 働けない人の居場所がない。【60代】
- 新発田市の職員に思いやりがあるとうれしいです。【40代】
- きょうだい児の支援について検討していただきたいと思います。【30代】
- 「ヘルプカード」だけでなく、「ヘルプマーク」を出してほしい。【40代】
- 将来的に、市を中心として1年に1度くらいの割合でピアスタッフ研修を開催し、研修を受講した当事者の受け皿となる事業所、施設、病院等の充実を図ってほしいです。あやめの湯は障害者手帳を提示すると、入湯税のみで入館できるため、よく利用していますが、紫雲の郷についても同様

の対応があるとありがたいです。また、五十公野のトレーニング施設や市民プール等の使用料無料化も考えていただけるとありがたいです。成年後見制度に関する説明会等が開催されるとありがたいです。障がい者基幹相談支援センターの存在は、知らない人も多いと思うので、もっと広く周知させ、障がい者にとって気軽に訪問しやすい場所となってほしいです。【50代】

- 私は統合失調症の精神障害 2 級で 1 人暮らしをしています。災害が起こったとき、避難所で周りの声にイライラする状態（幻聴など）があった場合（薬がない場合）とか混乱すると思うのです。そのようなとき、1 人で避難するのが不安です。夜中に災害が起こっても睡眠薬を飲んでいて、外に出るとケガをするくらい意識が眠たさで鈍っていて、避難したくてもできません。そのようなときの解決の手助けをしてくれる人がいればいいと思います。【50代】
- 周囲に、精神疾患に罹っているにもかかわらず適切な医療を受けられないでいる人がかなりいます。障がいの枠にとらわれることなく、早期療養につけるように市役所内に精神福祉等の配置をお願いします。そのような人達が、適切に医療を継続して受けることができるように支援していただきたいと思います。【60代】
- 自立支援医療などの申請を簡単にしてほしい（以前申請中に体調が悪化したため）。【40代】
- 本人が 1 人になったとき、ヘルパーさんや支援者が月に 1~2 回ぐらい来ていただきたいと思いません。【50代】
- 健康な人と一緒に運動したり、歌ったりする場を 1 年に何度か持ってほしい。障がい者の「害」を使わないでほしい。【50代】
- 自立支援医療の更新などの書類でわかりにくい説明があったり、窓口での対応で誤りがあったりなど、基本的に、わかりやすくかつスムーズに手続きが済むということがあまりなかったように思う。もう少し、障がいがあって理解力が低下している人にとっても優しい説明、対応をされるようお願いしたい。【30代】
- 市内中心部の空き店舗などを使って、障がい者の機能回復を目指すスポーツジム（J-Workout など）や、パラスポーツなどを体験できる場所や人材を誘致または提供して、障がい者が目標を持ったり楽しんだりできるようになるとよいと思います。街の活性化にもつながるのではないのでしょうか。【50代】
- 新発田市に、発達障がい専門にみる医療機関を増やしてほしい。新潟まで行かなくてはいけない。発達障がいの子に勉強を教えてくれる所がほしい。19 歳で数字（計算）、漢字などが苦手。普通の塾だと相手に障がいに対しての知識がないためうまくいかない。【40代】
- 障害年金の手続きのとき、バカにしたように説明する人がいるので、税金の無駄だなと思う。【40代】
- 補装具の判定をもっと迅速にやってほしい。【20代】
- 税金も保険もサービスも、障がい者はとにかく窓口を 1 つにしてほしい。【50代】
- 施設入所しています。施設内での限られたサービスを受けていることによって、他のサービス支援が受けられない不便さを感じることがあります（例：外出時の行動支援、タクシー券助成制度）。【30代】
- 他県に学ぶ姿勢。【40代】
- 市役所に来所しての書類の手続きを郵送、もしくは電話に変更してほしい。マイナンバーを利用すれば添付書類も不要では？ 短期入院以外は在宅看護で、訪問看護師さんが来てくれる時間しか使えないため外出が難しい。短期入院（最長で連続 7 日）の間も送迎、用事でいっぱい休憩にならないことも多い。自分自身の通院もそこにしか予約できず、突発的な対応でキャンセルすることも多く、通院が思い通りにいかずストレス。6 か月も空いたこともあった。【40代】
- カウンセリングや集まれる場所、集まりたくなるような場所。【20代】

- 下越地区には難病に特化した病院がない。また、リハビリ施設もない。重度の難病のわが子は0歳のときから新潟の病院へ毎月通院している。私達親が年を取るにつれ冬場の通院には怖さを感じることも多々あり、子どもが吸引が必要になると途中で車を止めて、吸引する場所もないので病院が遠いと何かと不便が多い。今現在、放課後デイを利用しているが、医療的ケアが必要なため受け入れてくれる事業所も少ないのと、新規の人は断られる。子どもが高校卒業して生活介護に切り替わった場合、利用できる事業所があるかどうか不安である。子どもが小さいときから新潟のかかりつけの病院でレスパイトを利用している。病院でのレスパイトなので多少のことで呼び出されることはない。最近では市内の施設が新聞にもとりざたされていたが、うまく機能するのか？「親の負担を軽減するために」とうたってはいるが、利用者（家族）対応さえもきちんとできるのか…。できれば医師に常駐してほしいが…。今のところ看護師のみらしいので不安ではある。【10代】
- 現在の新発田市の障がい福祉サービスにおおむね満足していますが、現状家族に対しての理解がまだ不十分だと感じます。たとえば、支援学校の登校時間（受け入れ時間）が遅いために保護者の仕事に支障があり、正社員で働きたいのに働けません。送迎してもらえる福祉サービスやファミサポを使うという方法もありますが、うまくマッチングできなかったり、障がい児の面倒をみってくれるファミサポの方がいらっしやらなかったりなど、現状とても厳しいです。あと、日曜日の預け先がないのもネックです。どうか1日でも早い改善を期待いたします。よろしくお願いいたします。【10歳未満】
- 医療的ケアのある人のショートステイや入所施設が新発田市にほしいです。親も高齢になってきたので、行き場がないことが不安です。【30代】
- 発達支援の病院、クリニックが皆無のため充実してほしい。新潟県はまぐみ小児療育センターや発達クリニックばすてる新潟市のようなリハビリもできて発達も診てくれるようなクリニック（新発田市の障がい福祉施策とは少し違うと思いますが、切実に思っています）。発達障がいがあると、公共の施設（公園、遊ぶところなど）が利用しづらいので、日付や時間で区切って、特性のある子達でも公園や遊び場で遊べる機会があればうれしい。【10歳未満】
- 健常者が障がい者（障がい）を知る機会やコミュニティーの場をもっとつってほしい。堅苦しい感じではなく、自然に関われる場など。障がい児を持つ親同士のサークルなど、同じ悩みを持つ者同士の場がほしい。ペアレントメンターの養成講座などを開いてほしい。今、障がい児を育てていて、その経験を後に生かしたい。【10歳未満】
- 市役所職員の、制度に関する知識の不足を解消してほしい（自立支援、福祉手帳の更新等）。【30代】
- 書類を渡すとき、よく確認してほしい。子どもの手続きで2回ミスがあって、二度手間になりました。【10歳未満】
- 正しい情報を、全員に共有してもらいたい。【20代】
- 行政が生活の悩みや相談事の聞き取りを行ってほしい。作業所の職員の利用者に対する接し方などの聞き取り調査を行ってほしい。作業所の職員同席の聞き取りでは本当のことは言えないので、行政の職員と家族、利用者個別で直接聞き取り調査を行って、虐待行為があるかないかを調査してほしい。【40代】
- 各地域にマップがあると散策しやすい。スポーツをしたくてもできない方や、（家から出られないなど）困っている方への支援。年寄りが多くなってきている中での、住まいの確保や老人ホームなどの料金を改善し、制度としても安く入れるようなシステムの推進。駐車場はあるがうまく機能していないので、それを变えることで利用増になる。福祉とよくいうが、行政がどこまで本人にかかわっていいのか、確立できていない。障がい者に対して、まだ偏見があり、健常者が見たら嫌な顔をし対応が悪くなる。空き住宅を家族間トラブルやストーカー対策での一時避難的に活用するといいい（それをうまく見極めてほしい）。福祉サービスが1つあると他サービスが受けられないなどのことがないようにしてもらいたい。福祉事業所をやっと見つけた人が、切なくわらをもつかむ思い

をしているのに利用料の発生はおかしい。【40代】

- 障がい者本人の社会的自立のための訓練をより充実させてほしい。親が高齢になってからもつきっきりでいる方が多いように思う。兄弟に障がい者がいるために、家族から均等に愛情を受けられずがまんを強いられている「きょうだい児」の居場所づくりをしてほしいです。当事者の陰に隠れて葛藤している存在にも気づいていただきたいです。メンタルサポートが何より大切です。学校等とも連携してそのような子どもがいたら気にかけてあげてください。【20代】
- 日々の業務、お疲れ様です。また、障がい福祉に関わる日常のさまざまな支援、大変感謝しております。しかしながら、地方における障がい者を取り巻く環境は、都市部の環境とは異なり、特に公共交通機関をはじめとする移動手段の面に大きな格差を感じずにはられません。「福祉タクシー券助成事業」を大変ありがたく利用させていただきましたが、1年間に利用できる金額が、おおむね新発田市から新潟駅まで1度、片道移動できる程度のものでした。そのようであれば同程度の助成額で、ガソリンや軽油代の助成を選択できるよう、検討していただければ幸いです。障がいの程度や生活環境は人それぞれなので一律の支援というのも難しいこととは思いますが、地域の生活実態を鑑みるに、自らの運転のみならず家族による送迎も含め、自家用車での移動がやはり多いように感じます。このように意見を述べる環境の提供および文章に目を通していただきありがとうございます。【40代】
- 市が障害福祉についてどのようなことを行っているのかまったくわからない。目に見えるような形で支援してほしい。災害があったらどのように行動したらよいかわからない。【40代】
- 今後の行政サービスと税負担を少しでも抑えるために、「コンパクト・シティ」について本気で具体的な調査をしてほしい。もしも10万人が中心部周辺に生活することができたら、現状よりもどれだけ行政サービスを充実できるのか、税負担を抑制できるのか？具体的な数字で示すことができれば「正しい議論」ができると思う。集落をきちんと終了させることができれば、より多くの市民に充実した行政サービスが行えると思う。たとえば、支援の必要な方が「本人の希望がある場合」優先的に便利な立地で生活できれば、支援の負担も結果として減らせる可能性がありそう。今お金をかけても説得力のあるデータを提示できる調査を始めてほしいと思う。感情で議論しないで、いいようにしてほしいと思っています。【50代】
- 児童に対してのショートステイやデイサービスなどが新発田市内にあってほしい。【10歳未満】
- 一番の心配事は親が年老いた後のことですが、親同士で協力し合うシステムとかがあればお互い安心できるような気がします。親と障がいを持った子が一緒に入れる施設や住居（グループホーム的な）があれば理想です。【10代】
- 相談員、事業所、役所は、本人や家族と同じ気持ちになってサポートするべき。【10代】
- 若い人たちの集まる居場所を多くつくってほしい。事故で膀胱直腸障がいのためトイレが大変なので、1時間でも短い時間の居場所があると助かります。【30代】
- 定期的に家庭訪問（1人暮らし）みたいなことをして生活状況などを見てほしい。働いていても見てほしい。【40代】
- 冬場の施設の仕事を確保してほしい。スーパーまでヘルパーを使うとお金がかかるので、食料配達サービスを使えるようにしてほしい。障がい者就労継続支援ではどのようなことが禁止されてるのか明確に示してほしいし、文書か冊子で配布してほしい。施設の中には男性職員が少なく困るところもある。自分も施設に通っているが、会社での仕事内容を教えてくれないことに腹を立てて暴れたり、急にキレて職員に突っかかっていったりするので職員数を増やしてほしい。【30代】
- 市役所の窓口や病院、支援の人としかかわっていませんが、いつもよくしてもらっています。順序をつけてもれなく手続きを指示してもらえて助かってます。（日付管理など）知りたいと思ったときにどこを見ればよいかわかりません。障がい当事者向けの、家事や余暇の過ごし方などについて、これだけは知っておけば助かるといったような、教科書のように基本から教えるサービスや本

が欲しいです。【30代】

- 1人で生活できるようにならなければならないが、人が苦手なので入所施設やグループホーム等は厳しい。無理。1人で住める住居と、そこで安全安心に生活できる支援の充実を早急にお願いします。人が苦手なのでそういう人向けの作業所。または家でできる作業を提供してほしい（持ってきてくれたり、回収も含めて）。【30代】
- 町中の点字ブロックの上に自転車等ないようにしてほしい。【40代】
- 施設入所すると、職員が車に乗せてくれないと外出もできず、一生を施設内で過ごすことになりま。入所者も日中を別の施設で過ごせるように、生活の場と日中過ごす場を分離することができるというと思っています。入所施設は中の様子がわかりづらく、相談員も施設のグループ内をお願いすることになります。市役所の職員の方が定期的に施設への訪問調査していただけたらと思います。施設入所者の自宅への送迎手段。家族が送迎できなくなると、自宅へ帰ることもできなくなります。知らない人・慣れていない車には乗らないので、タクシー、社協さんの福祉有償も利用できませんでした。家族が車の運転ができなくなった後も、自宅に戻れる手段として、施設の職員が送迎してくれることを望みます。【20代】
- 難病患者の窓口は保健所（県）であるため、県と個人情報の共有を行い、障害者手帳を持たない難病患者の把握にも力を入れてもらいたい。新発田市には難病の知識がある職員が少ないと思った。公費助成対象の338疾患すべてでなくていいので、市民に対象がいる疾患については勉強してほしい。難病や精神疾患の場合は保健師とも連携することが重要だと思うが、地区担当の保健師が誰なのかわからない。そもそも事務職員との見分けがつかないので、市役所に行ってもどこに保健師がいるのかわからない。福祉と医療の両方にまたがった相談は、社会福祉課と健康推進課どちらに行えばいいのか不明。【30代】
- 生きていくことに充実した人生の質（健康感、満足感、自己表現）が高まるような環境を整備していただきたい。社会適応に意識が行くとは思いますが、個性を生かす方法があるのであればありがたいです。【50代】
- 障がい児（者）が気軽にスポーツを楽しめる場をつくるための支援をお願いしたいです。【10代】
- 成人が気軽に参加できる集まり・活動等、余暇を楽しく過ごせる場があればいいなと思います。サービスの利用の手続きなど、もう少し簡単になれば幸いです。【20代】
- 阿賀野市役所ではAI機能を使ったサービスがあり、うらやましいなと思う。新発田市の未来を考えると、導入していく必要があると思う。各支所にも周知していく必要がある（災害など障がい者に理解しているだろうか?）。【50代】

- 新発田市内でも小学校に通いながらリハビリ（ST・OT・PT 等）を受けることができる施設ができてほしいです。【10 歳未満】
- はまぐみ、ばすてる、かがやきのような小児のリハビリ支援施設を新発田市にもつくってほしい。【10 代】
- 低年齢からの早期療養機関の充実。専門知識のある職員の確保、障がいのある（特に小児）が気兼ねなく参加できる、体を動かせる施設やイベントの充実。【10 歳未満】
- 障がい者を持つ親の支援。【10 代】
- 現在、私は支障なく日常生活を送っているので問題はないが、今後悪化した場合、私の介護者へのアプローチ、声を聞く方策の検討やストレスチェックなどを行い、介助者以上に支援を行う方策を検討してほしい。【50 代】
- 予算が少ないので、期待はあまりしていない。【60 代】

その他

- NPO 団体をなくしてほしい。通院しながら高度な教育を受けたい。通院しながら職業訓練を受けたい。【40 代】
- マイナンバーカード保険証で、いつものクリニック以外でも、薬が受け取れるようになると助かる。クリニックが遠いので、メインの家人が具合悪いとき、クリニックに薬を取りに行けない。【10 歳未満】
- 障害年金の制度を改めていただきたいです。福祉施策とは関係ないことと承知していますが、この先を思うと不安しかありません。【50 代】
- 今現在は、杖 1 本で歩行ができており不自由はありません。障がい者の声を拾ってもらえるだけありがたく思いました。【60 代】
- いろいろと。【50 代】
- 私はほとんど自宅で生活しているため、給付金等がいただけるのはとてもありがたいです。【50 代】
- 財政困難なのに福祉施策などに力を入れて下さりありがとうございます。現在、子どもの面倒を見てもらっていますが、親としては市役所というよりもそちらへの要望が多いです。職員がいなくて支援がなかなか受けられないこと、1 つの作業所に大人数のため、利用者に目が行き届かないこと。それでも利用者 1 人に対する補助金を確保するため、利用者にあった支援がされていないような気がします。親としては子どもの面倒をみてもらう方なので、なかなか言い出せません。【60 代】
- 市役所や支援センターの方はとても温かい対応でありがたいです。いつもありがとうございます。【20 代】
- みんなが譲り合い、住みやすい職場環境にさせていただき、力を込めてほしいです。物価の上昇も値下げに向け協議していただきたいです。【40 代】
- このアンケートの内容に全部答えると、個人が特定できてしまう。【年齢不明】

- 就労移行支援で、ルールや作業工程を説明しているスタッフさん同士でわからないふり、あざといミス等、スタッフさんは病んでいると思う。言葉、小言、言動にしろ、小さい事故を毎日起こしていると、大きな事故につながると自分は思います。【40代】
- 視聴覚障がい者にとって、記入式のアンケートは非常に負担が大きいので、聞き取り調査などにして、電話もしくは対面での調査に代えていただけるといい。【60代】
- 両親が亡くなった後が心配。【50代】
- 親亡き後の、お金の管理、健康面、本人の気持ちが心配です。【70代】
- ケアマネジャーを変えたいときに、利用者から言って変えられるようにしてほしい。【60代】
- 新発田市の市職員さんの対応は、他のところ（他県）と比べてとても素晴らしいと思います。なので、現状維持をお願いいたします！ 東京などの都会ではかなり対応が悪いとよく聞いていますので…。【40代】
- 障がいのある方の生活改善など（時間を長く使って考えたい）。【40代】
- 今後の生活費が不安なので生活費の確保がしたい。【30代】
- 今回のアンケートは障がい者には質問が多過ぎて、答えることが難しい面もあると感じた。各施設の利用の中で聞き取り調査をすとか、ホームアドバイザー（相談支援員）の定期訪問で情報入手するなど、障がい者へのアンケートとしての配慮がほしい。【20代】
- 差別があってはいけない。市役所はアンケートで片付けず、個々に必要な支援に応じてほしい。応じてもないことを与えることになるからだ。ごくわずかだが、市役所職員は教育者じゃないことをわかっていない。言葉遣いが悪い人もいる。それじゃあ市はよくなる。また、そういう職員は辞めさせるべきだ。アンケートなどという仕事を利用者にも求めるな。俺だってわかるだろうが、だから初めから匿名にするな。これ以上バカにするな。新潟に来てから作業所職員の一部や警察官の一部で偽りの罰当たり者を多く見ている。余談だが病院でも（新発田じゃないが）そんな罰当たり者がいた。殺す気か。【50代】
- すみません、障がい福祉サービスの利用意向について、現在から3年後に自分がどうなっているのかが想像できかね、利用しないに○をつけました。足が悪く手術を控えています。軽度にあたる自分の身の置き所が中途半端で、気持ちは前向きなときもありますが、落ち込むこともあります。半端だから相談するというのも大げさ。動きもゆっくりやればなんとかなる。半端な人にもプラスになってもらえる窓口や支援もあったらいいですね。3年後利用しないに○をつけたものの、術後どうなるか見えてこないで利用するかもしれない。わからない、不安です。利用しない自分を希望しています。重度の方にはより手厚いといいとは思いますが。【60代】
- 親亡きあとの家などの処分についてとか知りたい。【40代】
- アンケートの量が多過ぎる。アンケートが文字ばかりだと理解しづらい。図や挿絵があった方が理解しやすい。ふり仮名はいいが文字が小さすぎる。安楽死を認めてほしい。【30代】
- 私は筆記困難なので、自由記述欄をPCで作成した文書を張り付けて提出している。市の電子申請システムやGoogleフォームを駆使するなどして、気軽に提出できるようにしてほしい。【30代】
- 会話がないので、もっと異性と共に、日常生活の中で会話ができればいいと思います。【40代】
- アンケートが多過ぎる！ 【50代】
- ペースメーカーが入っているのですが、人間ドックの胃の検診（バリウム）ができず、胃がんなどの早期発見ができないのではないかと不安。【40代】
- 役所の窓口はいつも丁寧に対応してくれるので、十分充実していると思っている。【30代】
- 身体障がいと精神障がいの対応を同じにしてほしい。違う時点で差別だと思う。心も体も同じ障がいだと思う。【年齢不明】

■ 障がい福祉サービス等の利用に関するクロス集計表

居宅介護（ホームヘルプ）

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	6 6.7%	76 84.4%	8 8.9%
利用している	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
利用していない	81 100.0%	5 6.2%	75 92.6%	1 1.2%
0～5歳	10 100.0%	1 10.0%	9 90.0%	0 0.0%
6～11歳	28 100.0%	0 0.0%	28 100.0%	0 0.0%
12～17歳	43 100.0%	4 9.3%	38 88.4%	1 2.3%

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	62 5.9%	792 75.8%	191 18.3%
利用している	35 100.0%	23 65.7%	2 5.7%	10 28.6%
18～39歳	10 100.0%	7 70.0%	1 10.0%	2 20.0%
40～64歳	24 100.0%	16 66.7%	1 4.2%	7 29.2%
65歳以上	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
利用していない	886 100.0%	34 3.8%	775 87.5%	77 8.7%
18～39歳	289 100.0%	10 3.5%	255 88.2%	24 8.3%
40～64歳	575 100.0%	22 3.8%	506 88.0%	47 8.2%
65歳以上	22 100.0%	2 9.1%	14 63.6%	6 27.3%

重度訪問介護

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	41 3.9%	811 77.6%	193 18.5%
利用している	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%
18～39歳	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
40～64歳	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
65歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	908 100.0%	32 3.5%	795 87.6%	81 8.9%
18～39歳	295 100.0%	10 3.4%	260 88.1%	25 8.5%
40～64歳	590 100.0%	21 3.6%	519 88.0%	50 8.5%
65歳以上	23 100.0%	1 4.3%	16 69.6%	6 26.1%

同行援護

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	2 2.2%	80 88.9%	8 8.9%
利用している	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
利用していない	83 100.0%	2 2.4%	79 95.2%	2 2.4%
0～5歳	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%
6～11歳	28 100.0%	0 0.0%	28 100.0%	0 0.0%
12～17歳	45 100.0%	2 4.4%	41 91.1%	2 4.4%

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	35 3.3%	813 77.8%	197 18.9%
利用している	6 100.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%
18～39歳	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
40～64歳	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
65歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	898 100.0%	24 2.7%	798 88.9%	76 8.5%
18～39歳	293 100.0%	6 2.0%	263 89.8%	24 8.2%
40～64歳	583 100.0%	17 2.9%	518 88.9%	48 8.2%
65歳以上	22 100.0%	1 4.5%	17 77.3%	4 18.2%

行動援護

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	15 16.7%	68 75.6%	7 7.8%
利用している	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
利用していない	82 100.0%	13 15.9%	67 81.7%	2 2.4%
0～5歳	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%
6～11歳	28 100.0%	3 10.7%	25 89.3%	0 0.0%
12～17歳	44 100.0%	10 22.7%	32 72.7%	2 4.5%

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	74 7.1%	777 74.4%	194 18.6%
利用している	14 100.0%	7 50.0%	1 7.1%	6 42.9%
18～39歳	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%
40～64歳	7 100.0%	5 71.4%	0 0.0%	2 28.6%
65歳以上	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
利用していない	894 100.0%	59 6.6%	763 85.3%	72 8.1%
18～39歳	289 100.0%	24 8.3%	243 84.1%	22 7.6%
40～64歳	584 100.0%	31 5.3%	505 86.5%	48 8.2%
65歳以上	21 100.0%	4 19.0%	15 71.4%	2 9.5%

重度障害者等包括支援

事業者がないため未実施です。

18歳未満

		合計	利用したい	利用しない	無回答
全体		90 100.0%	6 6.7%	74 82.2%	10 11.1%
	0～5歳	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%
	6～11歳	31 100.0%	0 0.0%	28 90.3%	3 9.7%
	12～17歳	49 100.0%	6 12.2%	36 73.5%	7 14.3%

18歳以上

		合計	利用したい	利用しない	無回答
全体		1,045 100.0%	37 3.5%	774 74.1%	234 22.4%
	18～39歳	321 100.0%	8 2.5%	256 79.8%	57 17.8%
	40～64歳	696 100.0%	28 4.0%	503 72.3%	165 23.7%
	65歳以上	28 100.0%	1 3.6%	15 53.6%	12 42.9%

施設入所支援

18歳以上

	合計	利用したい			利用しない	無回答
		1年以内希望	3年以内希望	将来的に希望		
全体	1,045 100.0%	22 2.1%	11 1.1%	155 14.8%	664 63.5%	193 18.5%
利用している	54 100.0%	15 27.8%	1 1.9%	7 13.0%	2 3.7%	29 53.7%
18～39歳	15 100.0%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	10 66.7%
40～64歳	36 100.0%	13 36.1%	1 2.8%	5 13.9%	0 0.0%	17 47.2%
65歳以上	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%
利用していない	864 100.0%	6 0.7%	8 0.9%	138 16.0%	651 75.3%	61 7.1%
18～39歳	285 100.0%	1 0.4%	2 0.7%	43 15.1%	218 76.5%	21 7.4%
40～64歳	561 100.0%	5 0.9%	4 0.7%	90 16.0%	424 75.6%	38 6.8%
65歳以上	18 100.0%	0 0.0%	2 11.1%	5 27.8%	9 50.0%	2 11.1%

短期入所（ショートステイ）

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	21 23.3%	63 70.0%	6 6.7%
利用している	6 100.0%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%
0～5歳	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%
利用していない	78 100.0%	16 20.5%	61 78.2%	1 1.3%
0～5歳	9 100.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%
6～11歳	26 100.0%	5 19.2%	21 80.8%	0 0.0%
12～17歳	43 100.0%	11 25.6%	31 72.1%	1 2.3%

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	113 10.8%	738 70.6%	194 18.6%
利用している	53 100.0%	40 75.5%	3 5.7%	10 18.9%
18～39歳	31 100.0%	27 87.1%	1 3.2%	3 9.7%
40～64歳	20 100.0%	13 65.0%	1 5.0%	6 30.0%
65歳以上	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
利用していない	862 100.0%	67 7.8%	721 83.6%	74 8.6%
18～39歳	268 100.0%	27 10.1%	216 80.6%	25 9.3%
40～64歳	575 100.0%	35 6.1%	495 86.1%	45 7.8%
65歳以上	19 100.0%	5 26.3%	10 52.6%	4 21.1%

療養介護

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	55 5.3%	790 75.6%	200 19.1%
利用している	12 100.0%	8 66.7%	2 16.7%	2 16.7%
18～39歳	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
40～64歳	6 100.0%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%
65歳以上	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
利用していない	895 100.0%	41 4.6%	774 86.5%	80 8.9%
18～39歳	290 100.0%	14 4.8%	251 86.6%	25 8.6%
40～64歳	585 100.0%	23 3.9%	510 87.2%	52 8.9%
65歳以上	20 100.0%	4 20.0%	13 65.0%	3 15.0%

生活介護

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	88 8.4%	756 72.3%	201 19.2%
利用している	81 100.0%	51 63.0%	5 6.2%	25 30.9%
18～39歳	38 100.0%	25 65.8%	2 5.3%	11 28.9%
40～64歳	41 100.0%	25 61.0%	3 7.3%	13 31.7%
65歳以上	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
利用していない	828 100.0%	32 3.9%	735 88.8%	61 7.4%
18～39歳	259 100.0%	9 3.5%	231 89.2%	19 7.3%
40～64歳	551 100.0%	21 3.8%	490 88.9%	40 7.3%
65歳以上	18 100.0%	2 11.1%	14 77.8%	2 11.1%

自立生活援助

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	115 11.0%	736 70.4%	194 18.6%
利用している	33 100.0%	22 66.7%	4 12.1%	7 21.2%
18～39歳	7 100.0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%
40～64歳	24 100.0%	15 62.5%	3 12.5%	6 25.0%
65歳以上	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
利用していない	876 100.0%	83 9.5%	722 82.4%	71 8.1%
18～39歳	290 100.0%	39 13.4%	226 77.9%	25 8.6%
40～64歳	565 100.0%	39 6.9%	484 85.7%	42 7.4%
65歳以上	21 100.0%	5 23.8%	12 57.1%	4 19.0%

共同生活援助（グループホーム）

18歳以上

	合計	利用したい			利用しない	無回答
		1年以内希望	3年以内希望	将来的に希望		
全体	1,045 100.0%	13 1.2%	9 0.9%	169 16.2%	661 63.3%	193 18.5%
利用している	34 100.0%	6 17.6%	0 0.0%	6 17.6%	4 11.8%	18 52.9%
18～39歳	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	3 37.5%	4 50.0%
40～64歳	23 100.0%	6 26.1%	0 0.0%	5 21.7%	1 4.3%	11 47.8%
65歳以上	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
利用していない	875 100.0%	5 0.6%	7 0.8%	158 18.1%	641 73.3%	64 7.3%
18～39歳	288 100.0%	4 1.4%	3 1.0%	57 19.8%	204 70.8%	20 6.9%
40～64歳	567 100.0%	1 0.2%	3 0.5%	95 16.8%	426 75.1%	42 7.4%
65歳以上	20 100.0%	0 0.0%	1 5.0%	6 30.0%	11 55.0%	2 10.0%

自立訓練（機能訓練・生活訓練）

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	141 13.5%	701 67.1%	203 19.4%
利用している	63 100.0%	49 77.8%	1 1.6%	13 20.6%
18～39歳	18 100.0%	15 83.3%	0 0.0%	3 16.7%
40～64歳	41 100.0%	31 75.6%	1 2.4%	9 22.0%
65歳以上	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%
利用していない	840 100.0%	83 9.9%	689 82.0%	68 8.1%
18～39歳	273 100.0%	29 10.6%	224 82.1%	20 7.3%
40～64歳	549 100.0%	49 8.9%	454 82.7%	46 8.4%
65歳以上	18 100.0%	5 27.8%	11 61.1%	2 11.1%

就労移行支援

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	156 14.9%	689 65.9%	200 19.1%
利用している	56 100.0%	40 71.4%	4 7.1%	12 21.4%
18～39歳	33 100.0%	26 78.8%	4 12.1%	3 9.1%
40～64歳	19 100.0%	10 52.6%	0 0.0%	9 47.4%
65歳以上	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	844 100.0%	108 12.8%	674 79.9%	62 7.3%
18～39歳	260 100.0%	48 18.5%	195 75.0%	17 6.5%
40～64歳	568 100.0%	59 10.4%	465 81.9%	44 7.7%
65歳以上	16 100.0%	1 6.3%	14 87.5%	1 6.3%

就労継続支援 A 型

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	130 12.4%	710 67.9%	205 19.6%
利用している	39 100.0%	26 66.7%	6 15.4%	7 17.9%
18～39歳	20 100.0%	15 75.0%	4 20.0%	1 5.0%
40～64歳	16 100.0%	9 56.3%	2 12.5%	5 31.3%
65歳以上	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
利用していない	855 100.0%	94 11.0%	692 80.9%	69 8.1%
18～39歳	270 100.0%	36 13.3%	214 79.3%	20 7.4%
40～64歳	568 100.0%	55 9.7%	465 81.9%	48 8.5%
65歳以上	17 100.0%	3 17.6%	13 76.5%	1 5.9%

就労継続支援 B 型

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	160 15.3%	674 64.5%	211 20.2%
利用している	113 100.0%	78 69.0%	6 5.3%	29 25.7%
18～39歳	61 100.0%	44 72.1%	4 6.6%	13 21.3%
40～64歳	50 100.0%	33 66.0%	2 4.0%	15 30.0%
65歳以上	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
利用していない	789 100.0%	75 9.5%	654 82.9%	60 7.6%
18～39歳	233 100.0%	28 12.0%	189 81.1%	16 6.9%
40～64歳	538 100.0%	46 8.6%	450 83.6%	42 7.8%
65歳以上	18 100.0%	1 5.6%	15 83.3%	2 11.1%

就労定着支援

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	134 12.8%	697 66.7%	214 20.5%
利用している	40 100.0%	28 70.0%	4 10.0%	8 20.0%
18～39歳	24 100.0%	18 75.0%	3 12.5%	3 12.5%
40～64歳	16 100.0%	10 62.5%	1 6.3%	5 31.3%
65歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	846 100.0%	98 11.6%	680 80.4%	68 8.0%
18～39歳	264 100.0%	49 18.6%	195 73.9%	20 7.6%
40～64歳	563 100.0%	45 8.0%	471 83.7%	47 8.3%
65歳以上	19 100.0%	4 21.1%	14 73.7%	1 5.3%

計画相談支援

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	265 25.4%	564 54.0%	216 20.7%
利用している	249 100.0%	189 75.9%	11 4.4%	49 19.7%
18～39歳	127 100.0%	101 79.5%	7 5.5%	19 15.0%
40～64歳	116 100.0%	84 72.4%	4 3.4%	28 24.1%
65歳以上	6 100.0%	4 66.7%	0 0.0%	2 33.3%
利用していない	657 100.0%	68 10.4%	544 82.8%	45 6.8%
18～39歳	164 100.0%	22 13.4%	129 78.7%	13 7.9%
40～64歳	477 100.0%	42 8.8%	405 84.9%	30 6.3%
65歳以上	16 100.0%	4 25.0%	10 62.5%	2 12.5%

地域移行支援

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	106 10.1%	728 69.7%	211 20.2%
利用している	32 100.0%	25 78.1%	1 3.1%	6 18.8%
18～39歳	9 100.0%	8 88.9%	0 0.0%	1 11.1%
40～64歳	20 100.0%	15 75.0%	1 5.0%	4 20.0%
65歳以上	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
利用していない	862 100.0%	74 8.6%	717 83.2%	71 8.2%
18～39歳	279 100.0%	27 9.7%	232 83.2%	20 7.2%
40～64歳	565 100.0%	43 7.6%	472 83.5%	50 8.8%
65歳以上	18 100.0%	4 22.2%	13 72.2%	1 5.6%

地域定着支援

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	148 14.2%	685 65.6%	212 20.3%
利用している	45 100.0%	32 71.1%	1 2.2%	12 26.7%
18～39歳	15 100.0%	11 73.3%	0 0.0%	4 26.7%
40～64歳	28 100.0%	19 67.9%	1 3.6%	8 28.6%
65歳以上	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	840 100.0%	104 12.4%	673 80.1%	63 7.5%
18～39歳	268 100.0%	42 15.7%	208 77.6%	18 6.7%
40～64歳	554 100.0%	58 10.5%	453 81.8%	43 7.8%
65歳以上	18 100.0%	4 22.2%	12 66.7%	2 11.1%

児童発達支援

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	31 34.4%	46 51.1%	13 14.4%
利用している	15 100.0%	14 93.3%	1 6.7%	0 0.0%
0～5歳	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
利用していない	68 100.0%	17 25.0%	44 64.7%	7 10.3%
0～5歳	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%
6～11歳	22 100.0%	7 31.8%	13 59.1%	2 9.1%
12～17歳	42 100.0%	10 23.8%	27 64.3%	5 11.9%

医療型児童発達支援

事業者がないため未実施です。

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	22 24.4%	52 57.8%	16 17.8%
0～5歳	10 100.0%	4 40.0%	5 50.0%	1 10.0%
6～11歳	31 100.0%	11 35.5%	12 38.7%	8 25.8%
12～17歳	49 100.0%	7 14.3%	35 71.4%	7 14.3%

放課後等デイサービス

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	51 56.7%	30 33.3%	9 10.0%
利用している	49 100.0%	39 79.6%	7 14.3%	3 6.1%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	22 100.0%	20 90.9%	1 4.5%	1 4.5%
12～17歳	27 100.0%	19 70.4%	6 22.2%	2 7.4%
利用していない	36 100.0%	12 33.3%	23 63.9%	1 2.8%
0～5歳	10 100.0%	7 70.0%	3 30.0%	0 0.0%
6～11歳	6 100.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%
12～17歳	20 100.0%	2 10.0%	17 85.0%	1 5.0%

障害児相談支援

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	55 61.1%	22 24.4%	13 14.4%
利用している	51 100.0%	46 90.2%	1 2.0%	4 7.8%
0～5歳	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
6～11歳	20 100.0%	19 95.0%	0 0.0%	1 5.0%
12～17歳	26 100.0%	23 88.5%	0 0.0%	3 11.5%
利用していない	33 100.0%	9 27.3%	21 63.6%	3 9.1%
0～5歳	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
6～11歳	8 100.0%	1 12.5%	7 87.5%	0 0.0%
12～17歳	20 100.0%	4 20.0%	13 65.0%	3 15.0%

居宅訪問型児童発達支援

事業者がないため未実施です。

18 歳未満

		合計	利用したい	利用しない	無回答
全体		90 100.0%	6 6.7%	74 82.2%	10 11.1%
	0～5歳	10 100.0%	2 20.0%	8 80.0%	0 0.0%
	6～11歳	31 100.0%	0 0.0%	28 90.3%	3 9.7%
	12～17歳	49 100.0%	4 8.2%	38 77.6%	7 14.3%

保育所等訪問支援

18 歳未満

		合計	利用したい	利用しない	無回答
全体		90 100.0%	9 10.0%	71 78.9%	10 11.1%
利用している		3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
	0～5歳	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	6～11歳	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
	12～17歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない		77 100.0%	8 10.4%	66 85.7%	3 3.9%
	0～5歳	9 100.0%	4 44.4%	5 55.6%	0 0.0%
	6～11歳	24 100.0%	3 12.5%	21 87.5%	0 0.0%
	12～17歳	44 100.0%	1 2.3%	40 90.9%	3 6.8%

福祉型障害児入所施設

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	13 14.4%	69 76.7%	8 8.9%
利用している	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%
0～5歳	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
12～17歳	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
利用していない	77 100.0%	9 11.7%	67 87.0%	1 1.3%
0～5歳	9 100.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%
6～11歳	26 100.0%	3 11.5%	23 88.5%	0 0.0%
12～17歳	42 100.0%	6 14.3%	35 83.3%	1 2.4%

医療型障害児入所施設

事業者がないため未実施です。

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	5 5.6%	74 82.2%	11 12.2%
0～5歳	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%
6～11歳	31 100.0%	1 3.2%	26 83.9%	4 12.9%
12～17歳	49 100.0%	4 8.2%	38 77.6%	7 14.3%

相談支援事業

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	51 56.7%	27 30.0%	12 13.3%
利用している	37 100.0%	33 89.2%	1 2.7%	3 8.1%
0～5歳	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	13 100.0%	11 84.6%	1 7.7%	1 7.7%
12～17歳	21 100.0%	19 90.5%	0 0.0%	2 9.5%
利用していない	47 100.0%	18 38.3%	26 55.3%	3 6.4%
0～5歳	7 100.0%	2 28.6%	4 57.1%	1 14.3%
6～11歳	15 100.0%	3 20.0%	12 80.0%	0 0.0%
12～17歳	25 100.0%	13 52.0%	10 40.0%	2 8.0%

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	295 28.2%	546 52.2%	204 19.5%
利用している	195 100.0%	153 78.5%	9 4.6%	33 16.9%
18～39歳	86 100.0%	72 83.7%	2 2.3%	12 14.0%
40～64歳	102 100.0%	76 74.5%	6 5.9%	20 19.6%
65歳以上	7 100.0%	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%
利用していない	710 100.0%	127 17.9%	529 74.5%	54 7.6%
18～39歳	203 100.0%	39 19.2%	147 72.4%	17 8.4%
40～64歳	493 100.0%	82 16.6%	375 76.1%	36 7.3%
65歳以上	14 100.0%	6 42.9%	7 50.0%	1 7.1%

成年後見制度利用支援事業

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	16 17.8%	61 67.8%	13 14.4%
利用している	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	83 100.0%	15 18.1%	61 73.5%	7 8.4%
0～5歳	10 100.0%	2 20.0%	7 70.0%	1 10.0%
6～11歳	27 100.0%	2 7.4%	25 92.6%	0 0.0%
12～17歳	46 100.0%	11 23.9%	29 63.0%	6 13.0%

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	121 11.6%	721 69.0%	203 19.4%
利用している	20 100.0%	12 60.0%	3 15.0%	5 25.0%
18～39歳	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%
40～64歳	16 100.0%	10 62.5%	1 6.3%	5 31.3%
65歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	884 100.0%	102 11.5%	706 79.9%	76 8.6%
18～39歳	288 100.0%	43 14.9%	222 77.1%	23 8.0%
40～64歳	575 100.0%	55 9.6%	469 81.6%	51 8.9%
65歳以上	21 100.0%	4 19.0%	15 71.4%	2 9.5%

成年後見制度法人後見支援事業

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	17 18.9%	60 66.7%	13 14.4%
利用している	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	82 100.0%	16 19.5%	59 72.0%	7 8.5%
0～5歳	9 100.0%	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%
6～11歳	27 100.0%	3 11.1%	24 88.9%	0 0.0%
12～17歳	46 100.0%	11 23.9%	29 63.0%	6 13.0%

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	113 10.8%	728 69.7%	204 19.5%
利用している	11 100.0%	6 54.5%	2 18.2%	3 27.3%
18～39歳	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
40～64歳	9 100.0%	4 44.4%	2 22.2%	3 33.3%
65歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	893 100.0%	99 11.1%	713 79.8%	81 9.1%
18～39歳	292 100.0%	40 13.7%	226 77.4%	26 8.9%
40～64歳	581 100.0%	54 9.3%	475 81.8%	52 9.0%
65歳以上	20 100.0%	5 25.0%	12 60.0%	3 15.0%

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	5 5.6%	79 87.8%	6 6.7%
利用している	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
利用していない	85 100.0%	5 5.9%	78 91.8%	2 2.4%
0～5歳	10 100.0%	2 20.0%	8 80.0%	0 0.0%
6～11歳	28 100.0%	2 7.1%	26 92.9%	0 0.0%
12～17歳	47 100.0%	1 2.1%	44 93.6%	2 4.3%

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	48 4.6%	799 76.5%	198 18.9%
利用している	9 100.0%	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%
18～39歳	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
40～64歳	7 100.0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%
65歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	893 100.0%	33 3.7%	783 87.7%	77 8.6%
18～39歳	292 100.0%	13 4.5%	255 87.3%	24 8.2%
40～64歳	581 100.0%	17 2.9%	514 88.5%	50 8.6%
65歳以上	20 100.0%	3 15.0%	14 70.0%	3 15.0%

日常生活用具給付等事業

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	19 21.1%	65 72.2%	6 6.7%
利用している	13 100.0%	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
0～5歳	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	8 100.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	72 100.0%	6 8.3%	65 90.3%	1 1.4%
0～5歳	8 100.0%	1 12.5%	7 87.5%	0 0.0%
6～11歳	24 100.0%	3 12.5%	21 87.5%	0 0.0%
12～17歳	40 100.0%	2 5.0%	37 92.5%	1 2.5%

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	143 13.7%	707 67.7%	195 18.7%
利用している	65 100.0%	61 93.8%	1 1.5%	3 4.6%
18～39歳	17 100.0%	16 94.1%	0 0.0%	1 5.9%
40～64歳	44 100.0%	41 93.2%	1 2.3%	2 4.5%
65歳以上	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	840 100.0%	73 8.7%	695 82.7%	72 8.6%
18～39歳	277 100.0%	20 7.2%	238 85.9%	19 6.9%
40～64歳	547 100.0%	52 9.5%	446 81.5%	49 9.0%
65歳以上	16 100.0%	1 6.3%	11 68.8%	4 25.0%

福祉タクシー券助成事業

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	34 37.8%	50 55.6%	6 6.7%
利用している	15 100.0%	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
0～5歳	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	9 100.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	70 100.0%	19 27.1%	50 71.4%	1 1.4%
0～5歳	9 100.0%	1 11.1%	8 88.9%	0 0.0%
6～11歳	23 100.0%	6 26.1%	17 73.9%	0 0.0%
12～17歳	38 100.0%	12 31.6%	25 65.8%	1 2.6%

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	343 32.8%	526 50.3%	176 16.8%
利用している	193 100.0%	168 87.0%	6 3.1%	19 9.8%
18～39歳	63 100.0%	56 88.9%	1 1.6%	6 9.5%
40～64歳	127 100.0%	109 85.8%	5 3.9%	13 10.2%
65歳以上	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	724 100.0%	161 22.2%	511 70.6%	52 7.2%
18～39歳	233 100.0%	48 20.6%	172 73.8%	13 5.6%
40～64歳	473 100.0%	105 22.2%	332 70.2%	36 7.6%
65歳以上	18 100.0%	8 44.4%	7 38.9%	3 16.7%

リフト付きタクシー券助成事業

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	9 10.0%	76 84.4%	5 5.6%
利用している	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	80 100.0%	3 3.8%	76 95.0%	1 1.3%
0～5歳	10 100.0%	1 10.0%	9 90.0%	0 0.0%
6～11歳	27 100.0%	1 3.7%	26 96.3%	0 0.0%
12～17歳	43 100.0%	1 2.3%	41 95.3%	1 2.3%

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	58 5.6%	796 76.2%	191 18.3%
利用している	19 100.0%	16 84.2%	0 0.0%	3 15.8%
18～39歳	7 100.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
40～64歳	12 100.0%	9 75.0%	0 0.0%	3 25.0%
65歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	894 100.0%	40 4.5%	784 87.7%	70 7.8%
18～39歳	288 100.0%	5 1.7%	263 91.3%	20 6.9%
40～64歳	583 100.0%	31 5.3%	506 86.8%	46 7.9%
65歳以上	23 100.0%	4 17.4%	15 65.2%	4 17.4%

移動支援事業

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	16 17.8%	67 74.4%	7 7.8%
利用している	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	83 100.0%	13 15.7%	67 80.7%	3 3.6%
0～5歳	10 100.0%	1 10.0%	9 90.0%	0 0.0%
6～11歳	28 100.0%	6 21.4%	22 78.6%	0 0.0%
12～17歳	45 100.0%	6 13.3%	36 80.0%	3 6.7%

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	101 9.7%	754 72.2%	190 18.2%
利用している	23 100.0%	18 78.3%	2 8.7%	3 13.0%
18～39歳	8 100.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
40～64歳	13 100.0%	10 76.9%	2 15.4%	1 7.7%
65歳以上	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
利用していない	888 100.0%	79 8.9%	742 83.6%	67 7.5%
18～39歳	287 100.0%	25 8.7%	243 84.7%	19 6.6%
40～64歳	580 100.0%	49 8.4%	486 83.8%	45 7.8%
65歳以上	21 100.0%	5 23.8%	13 61.9%	3 14.3%

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	4 4.4%	82 91.1%	4 4.4%
利用している	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	82 100.0%	0 0.0%	82 100.0%	0 0.0%
0～5歳	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%
6～11歳	28 100.0%	0 0.0%	28 100.0%	0 0.0%
12～17歳	44 100.0%	0 0.0%	44 100.0%	0 0.0%

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	115 11.0%	733 70.1%	197 18.9%
利用している	31 100.0%	25 80.6%	1 3.2%	5 16.1%
18～39歳	14 100.0%	12 85.7%	0 0.0%	2 14.3%
40～64歳	15 100.0%	11 73.3%	1 6.7%	3 20.0%
65歳以上	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	875 100.0%	86 9.8%	720 82.3%	69 7.9%
18～39歳	278 100.0%	31 11.2%	226 81.3%	21 7.6%
40～64歳	576 100.0%	51 8.9%	482 83.7%	43 7.5%
65歳以上	21 100.0%	4 19.0%	12 57.1%	5 23.8%

訪問入浴サービス事業

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	4 4.4%	79 87.8%	7 7.8%
利用している	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	84 100.0%	2 2.4%	79 94.0%	3 3.6%
0～5歳	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%
6～11歳	28 100.0%	0 0.0%	28 100.0%	0 0.0%
12～17歳	46 100.0%	2 4.3%	41 89.1%	3 6.5%

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	38 3.6%	809 77.4%	198 18.9%
利用している	12 100.0%	9 75.0%	1 8.3%	2 16.7%
18～39歳	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
40～64歳	8 100.0%	6 75.0%	1 12.5%	1 12.5%
65歳以上	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
利用していない	898 100.0%	26 2.9%	797 88.8%	75 8.4%
18～39歳	291 100.0%	4 1.4%	267 91.8%	20 6.9%
40～64歳	585 100.0%	19 3.2%	516 88.2%	50 8.5%
65歳以上	22 100.0%	3 13.6%	14 63.6%	5 22.7%

日中一時支援事業

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	28 31.1%	56 62.2%	6 6.7%
利用している	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	81 100.0%	23 28.4%	56 69.1%	2 2.5%
0～5歳	10 100.0%	4 40.0%	6 60.0%	0 0.0%
6～11歳	28 100.0%	6 21.4%	22 78.6%	0 0.0%
12～17歳	43 100.0%	13 30.2%	28 65.1%	2 4.7%

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	76 7.3%	769 73.6%	200 19.1%
利用している	33 100.0%	27 81.8%	0 0.0%	6 18.2%
18～39歳	22 100.0%	20 90.9%	0 0.0%	2 9.1%
40～64歳	8 100.0%	5 62.5%	0 0.0%	3 37.5%
65歳以上	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
利用していない	878 100.0%	47 5.4%	758 86.3%	73 8.3%
18～39歳	271 100.0%	18 6.6%	236 87.1%	17 6.3%
40～64歳	586 100.0%	25 4.3%	509 86.9%	52 8.9%
65歳以上	21 100.0%	4 19.0%	13 61.9%	4 19.0%

自動車運転免許取得・自動車改造等助成事業

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	12 13.3%	73 81.1%	5 5.6%
利用している	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
利用していない	84 100.0%	11 13.1%	72 85.7%	1 1.2%
0～5歳	10 100.0%	2 20.0%	8 80.0%	0 0.0%
6～11歳	28 100.0%	2 7.1%	26 92.9%	0 0.0%
12～17歳	46 100.0%	7 15.2%	38 82.6%	1 2.2%

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	71 6.8%	795 76.1%	179 17.1%
利用している	21 100.0%	19 90.5%	2 9.5%	0 0.0%
18～39歳	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
40～64歳	16 100.0%	15 93.8%	1 6.3%	0 0.0%
65歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	892 100.0%	47 5.3%	783 87.8%	62 7.0%
18～39歳	290 100.0%	13 4.5%	262 90.3%	15 5.2%
40～64歳	579 100.0%	33 5.7%	503 86.9%	43 7.4%
65歳以上	23 100.0%	1 4.3%	18 78.3%	4 17.4%

更生訓練費給付事業

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	5 5.6%	79 87.8%	6 6.7%
利用している	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
利用していない	84 100.0%	5 6.0%	78 92.9%	1 1.2%
0～5歳	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%
6～11歳	28 100.0%	2 7.1%	26 92.9%	0 0.0%
12～17歳	46 100.0%	3 6.5%	42 91.3%	1 2.2%

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	79 7.6%	770 73.7%	196 18.8%
利用している	16 100.0%	13 81.3%	1 6.3%	2 12.5%
18～39歳	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
40～64歳	9 100.0%	8 88.9%	0 0.0%	1 11.1%
65歳以上	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
利用していない	891 100.0%	62 7.0%	757 85.0%	72 8.1%
18～39歳	287 100.0%	18 6.3%	251 87.5%	18 6.3%
40～64歳	584 100.0%	43 7.4%	491 84.1%	50 8.6%
65歳以上	20 100.0%	1 5.0%	15 75.0%	4 20.0%

18 歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	1 1.1%	83 92.2%	6 6.7%
利用している	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
0～5歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
利用していない	83 100.0%	0 0.0%	81 97.6%	2 2.4%
0～5歳	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%
6～11歳	28 100.0%	0 0.0%	28 100.0%	0 0.0%
12～17歳	45 100.0%	0 0.0%	43 95.6%	2 4.4%

18 歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	24 2.3%	827 79.1%	194 18.6%
利用している	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
18～39歳	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
40～64歳	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
65歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用していない	902 100.0%	15 1.7%	815 90.4%	72 8.0%
18～39歳	292 100.0%	4 1.4%	272 93.2%	16 5.5%
40～64歳	588 100.0%	11 1.9%	525 89.3%	52 8.8%
65歳以上	22 100.0%	0 0.0%	18 81.8%	4 18.2%

ヘルプカード交付事業

18歳未満

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	90 100.0%	48 53.3%	37 41.1%	5 5.6%
利用している	30 100.0%	28 93.3%	2 6.7%	0 0.0%
0～5歳	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～11歳	13 100.0%	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
12～17歳	13 100.0%	11 84.6%	2 15.4%	0 0.0%
利用していない	56 100.0%	20 35.7%	35 62.5%	1 1.8%
0～5歳	6 100.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%
6～11歳	15 100.0%	7 46.7%	8 53.3%	0 0.0%
12～17歳	35 100.0%	10 28.6%	24 68.6%	1 2.9%

18歳以上

	合計	利用したい	利用しない	無回答
全体	1,045 100.0%	248 23.7%	612 58.6%	185 17.7%
利用している	133 100.0%	115 86.5%	4 3.0%	14 10.5%
18～39歳	52 100.0%	46 88.5%	0 0.0%	6 11.5%
40～64歳	78 100.0%	67 85.9%	4 5.1%	7 9.0%
65歳以上	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
利用していない	781 100.0%	125 16.0%	597 76.4%	59 7.6%
18～39歳	241 100.0%	43 17.8%	184 76.3%	14 5.8%
40～64歳	520 100.0%	76 14.6%	402 77.3%	42 8.1%
65歳以上	20 100.0%	6 30.0%	11 55.0%	3 15.0%

アンケート結果からみる課題やニーズ

■ 医療的ケアへの対応

現在医療的ケアを受けている割合は 26.6%で、「受けていない」が 69.2%となっています（問 17：p.12）が、そのうちの 55.9%は「服薬管理」と回答しているため、実際に医療的ケアが必要な割合は、透析が 13.7%、吸引・ストマ等が 5%以内と考えられます。

しかし、障がい者人口の推移などからも、障がい者の高齢化及び医療的ケアが必要な障がい児の増加が予測されるため、身近な地域で適切な医療サービスを受けられる体制の整備が求められます。

自由意見でも、「家の近くに医療機関がない」「障がいについての専門的医療機関がない」という意見とあわせて、「医療的ケアが必要なために福祉サービスの利用ができない」という意見もあがっています。

「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に基づき、医療的ケア児等に対する支援の拠点となる新潟県医療的ケア児支援センターが令和 4（2022）年 4 月 1 日、長岡市に設置されました。効果的に連携するとともに、市の自立支援協議会児童部会において検討を深め、介護する家族への相談支援体制の強化及び放課後等デイサービスや短期入所など、身近な地域で利用できるサービスの確保に努める必要があります。

■ 経済的支援について

地域で生活するために必要な支援（複数回答）では、「経済的な負担の軽減」が 55.7%と最も高く、半数以上の人々が経済的な負担の軽減を求めている状況です（問 23：p.15）。

また、スポーツ活動を行うにあたり不便に感じること（複数回答）では「スポーツ施設の利用やスポーツ教室への参加に料金がかかること」の割合が最も高く、23.4%となっており（問 45：p.44）、外出時に困ること（複数回答）でも、「外出にお金がかかる」が 2 番目に割合が高い 24.6%となっています（問 27：p.18）。

自由意見でも、経済的負担の軽減への要望は多く、タクシー券やおむつ券の助成金額の増額のほか、医療費や通院にかかる交通費などの助成を求める意見があがっています。

今回のアンケートでは本人や世帯の年収等は調査していませんが、障がいがあるために自らの労働による収入を得られないか、あるいは著しく制限されざるを得ない一方で、日常生活の制限等により生じる特別の出費が多い障がいのある人が、地域社会の中で自立した生活を営んでいくためには、少なくとも必要最小限の収入又は収入の不足分を補う経済的支援が求められています。

障がいがあっても、安心して暮らし続けることのできる地域共生社会の実現に向けて、より効果的な経済的支援に資する事業のあり方について検討していく必要があります。

■ 相談体制・情報提供の充実

地域で生活するために必要な支援（複数回答）で、「経済的な負担の軽減」に次いで割合が高いのは「相談対応等の充実」で、34.7%となっています（問 23：p.15）。

また、新発田市の障がい福祉施策について、今後、特に力を入れてほしいこと（複数回答）は、「困ったことやわからないことを、気軽に相談できる相談支援体制の充実」の割合が最も高く51.0%、次いで「情報やサービスがすぐに入手でき、必要なときに使える情報提供の充実」が33.2%となっています（問 47：p.46）。

令和2（2020）年4月1日に「新発田市障がい者基幹相談支援センター」を設置し、相談支援専門員の資質向上及び相談体制の強化を図ってきました。

一方で、悩みや不安の相談先（複数回答）は、「家族や親戚」が66.8%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が29.6%、「友人や知人」が25.6%で、「新発田市障がい者基幹相談支援センター」は5.2%となっています（問 34：p.23）。また、障がいや福祉サービスに関する情報の入手先（複数回答）についても、「家族や親戚、友人や知人」が26.6%と最も高く、次いで「インターネット」が25.1%、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が24.0%で、「新発田市障がい者基幹相談支援センター」は5.6%となっています（問 35：p.24）。

自由意見では、「聞きに行かなくても教えてくれる相談支援体制」と「相談支援員の専門的知識の向上」を求める意見が多くなっています。

「言葉で説明するのが苦手」「自らSOSを発信できない」といった障がいの特性を踏まえた相談支援体制、情報発信のあり方について、関係者間で検討を重ね、重層的支援体制整備事業へとつながる体制を整備していく必要があります。

■ 就労支援と障がい者雇用

平日の日中の過ごし方（複数回答）は、「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が31.5%と最も高くなっています（問 29：p.20）。

18～64歳で、就労している人の勤務形態については、「正社員で他の職員と勤務条件等に違いはない」と「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が40.1%と最も高く、障がい者配慮がある勤務形態で就労している割合は11.7%となっています（問 30：p.21）。

現在就労していない18～64歳の39.7%が、今後「仕事をしたい」と回答しています（問 31：p.21）。また、就労に係る福祉サービスの利用意向者数は、実際の利用数より高くなっています（問 48：p.59～62）。

障がい者の就労支援として必要なこと（複数回答）は、「職場の障がい者理解」が56.7%と最も高く、次いで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が56.3%となっており、障がいについての理解が重視されています（問 33：p.22）。

自由意見でも、職場を含めた日常生活において、周囲が障がいについての理解がないことにより、精神的に苦痛を感じるという意見が多くあがっています。

障がいのある人が、地域で自立した生活を送るために、就労により安定した収入を得ることはとても重要です。働く意欲のある障がい者がその能力や適性に応じて、より力を発揮できるよう支援するとともに、障がい者雇用に関する啓発に取り組み、企業や事業所等と連携して就労先の確保と環境改善を促進していく必要があります。また、就労後の定着支援にも積極的に取り組むことが重要です。

■ 外出支援と社会参加の促進

外出時の移動手段（複数回答）は、「自家用車（自分以外が運転）」が 38.8%と最も高く、次いで「自家用車（自分が運転）」が 38.3%、「徒歩」が 32.6%、「自転車」が 15.5%となっています（問 28：p.19）。

自分で車を運転している人以外にとっては、遠距離の移動は不都合が多くなります。誰かに運転してもらう場合は、その相手の時間を使うことになり、介護者の負担が大きくなります。徒歩は時間がかかりますし、自転車は天気の影響を受けます。公共交通機関は本数が少なく、また周囲に不特定多数の同乗者がいます。タクシーは公共交通機関以上に料金がかかります。外出時に困ることで「公共交通機関がない（少ない）」が 27.4%と最も高く、次いで「外出にお金がかかる」が 24.6%となっています（問 27：p.18）。

必要な就労支援（複数回答）では「通勤手段の確保」が 41.8%となっており（問 33：p.22）、スポーツ活動を行うにあたり不便に感じるもの（複数回答）では「スポーツ施設までの送迎手段がないこと」が 15.5%で、3 番目に割合が高くなっています（問 45：p.44）。18 歳未満の障がい児の保護者がさらに充実させるべきだと思う支援（複数回答）でも「送迎など通園・通学に対するサービス」の割合が 2 番目に高い 56.7%となっています（問 54：p.85）。

自由意見でも、特別支援学校の始業時間が遅いことにより、保護者の就労時間が限られてしまうので改善してほしいという意見が多く上がっています。

外出支援は、障がいのある人が就労を含めた社会活動に参加することを促進するうえでとても重要です。障がいの特性を踏まえた支援のあり方について、社会資源や地域ボランティアの活用などを含め、検討していく必要があります。

■ 障がいへの差別や偏見への対応

障がいがあることを理由に差別を受けたり、嫌な思いをしたりしたことがある割合は「ある」と「少しある」を合わせると 39.4%となっています（問 37：p.26,27）。

「ある」と「少しある」を合わせた割合について、障がいの種別にみると、身体障がいでは年齢が低いほど割合が高く、精神障がいでは年齢が上がるほど高くなっており、知的障がいでは年齢による傾向はみられませんでした（問 37：p.26,27）。

具体的な差別の内容をみると、見た目や行動により変な目で見られたり、侮蔑的な言葉をかけられたという意見がある一方で、見た目からは障がい者だとわからないことによって嫌な思いをしている人も多数いることがわかります。また、福祉サービス等を利用するために手帳を提示しなければならないことが原因となって、嫌な思いをしている人もいます（問 38:p.27～39）。

行政の職員はもちろん、子どもから大人まで、すべての市民を対象に、障がいや障がい者についての理解を広める啓発活動に取り組む必要があります。また、福祉サービスの利用方法やヘルプマークの活用など、障がいのある人が快適に生活することができるよう、工夫できることについて検討し、改善していきます。

また、差別されたり、嫌な思いをしたりしたときに、すぐに相談できるような体制を整備することは、差別を受けたと感じた人が気持ちを受け止めてもらったと感じたり、場合によっては誤解による怒りを取り除いたりすることになるだけでなく、再発を防止する手段を検討するための現状把握ともなるため、障がいのある人とない人の間にある壁を取り除くのに資する取り組みとなります。